

## 日本国憲法

大嶽 浩

### 【授業の概要】

日本国憲法について、その成立の事情や明治憲法との比較を通じ、現行憲法の内容と主要な問題点を講義する。憲法問題における具体的事例にもふれる。

### 【授業計画】

1. 憲法と理想
2. 憲法と法律
3. 憲法と憲法典
4. 国民の司法参加
5. 憲法の最高法規性
6. 憲法の改正

### 【評価方法】

試験とレポートによる評価。

### 【テキスト】

使用せず。プリントを配布。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

## 日本国憲法

初谷良彦

### 【授業の概要】

法と国家は人間のためにある。憲法は、このような法の目的と国家の責務を明らかにしようとするものである。なるべく具体的な現実の問題と関連させて説明したり、裁判例などにも触れ、憲法はわれわれの生活の中に入り込んでいる身近な、確かな存在であることを実感できるようにしたい。

### 【授業計画】

- 第1回 日本国憲法制定の経緯
- 第2回 プライバシー権
- 第3～4回 自己決定権
- 第5～6回 法の下での平等
- 第7～8回 信教の自由と政教分離
- 第9～10回 情報公開、言論・出版の自由、報道の自由
- 第11～12回 生存権、教育権、労働基本権
- 第13回 国会・内閣
- 第14回 裁判所
- 第15回 地方分権

### 【評価方法】

主として単位認定試験の成績によって評価する。

### 【テキスト】

憲法講義 I (第2版) (初谷良彦著 成文堂)

### 【参考文献・資料】

授業の際、随時紹介する。

## 民主主義と人権

初谷良彦

### 【授業の概要】

民主主義の根本原則は人権(人間としての権利)の尊重にある。人権の理想と現実が民主主義のあり方と人間の生き方に大きく影響する。民主主義の制度と仕組みについて、人権を保障する法律やその実態にふれながら、現代の課題として講義する。

### 【授業計画】

- 第1～2回 近代民主主義の思想と制度
- 第3～4回 民主主義と選挙制度
- 第5～6回 民主主義の諸問題
- 第7～8回 民主主義と議会制
- 第9～10回 死刑制度の運用(罪、罰、人権、国家)
- 第11～12回 高齢者の人権と障害者の人権
- 第13回 障害者の国務請求権
- 第14回 21世紀の平和と民主主義をめざして

### 【評価方法】

主として単位認定試験の成績によって評価する。

### 【テキスト】

概説 デモクラシーと国家(初谷良彦他 成文堂)

### 【参考文献・資料】

講義の際、随時紹介する。

## 民主主義と人権

本 秀紀

### 【授業の概要】

日本国憲法は民主主義と人権を保障しているが、その制度と仕組みについて、人権を守る法律やその実態にふれながら、現代の課題として講義する。

### 【授業計画】

- 新聞報道などから、できるかぎり身近で具体的な素材を取り上げつつ、まずは現実を知り、その上で諸問題への対応を考える力を養う。
- 基本的には講義形式で行うが、受講生の問題関心を高めるため、適宜質疑をしたり、ビデオを観る予定である。
- 授業内容は現在のところ、以下の項目から適宜選択する予定だが、そのときどきのトピックによって変更もありうる。
- 1 はじめに:「民主主義と人権」って?
  - 2 企業社会と人権:過労死、育児休業、労働者差別
  - 3 女性と人権:ドメスティック・ヴァイオレンス、労働と女性差別
  - 4 マスメディアと人権:プライバシー侵害、メディア規制立法
  - 5 子どもと人権:校則・体罰、少年法、いじめ・体罰・児童虐待
  - 6 医療と人権:インフォームド・コンセント、安楽死・尊厳死、代理出産
  - 7 外国人と人権:参政権、出入国管理、外国人差別、難民問題
  - 8 ゴミ問題と民主主義:廃棄物処分場と環境、住民投票
  - 9 政治の仕組みと民主主義:選挙制度、国会・内閣、憲法改正

### 【評価方法】

学期末の筆記試験(受講者数によってはレポート)を基本とし、ビデオへの感想などを加味する。

### 【参考文献・資料】

テキストブック現代の人権〔第3版〕(川人博編著 日本評論社 2004年刊行予定)  
人権ウォッチング(前田朗 凱風社 2000年)  
ハンドブック国際化のなかの人権問題〔第3版〕(上田正昭編 明石書店 2002年)  
それぞれの人権〔第2版〕(憲法教育研究会編 法律文化社 2002年)  
など。なお、必要に応じて、講義の際に資料・レジュメ等を配布する。



## 哲学的人間論

高畑祐人

### 【授業の概要】

東西の著名な哲学者の古典的な哲学論にふれながら、現代社会がかかえる諸課題についていかに対応し、対処すべきかについて講義をする。

### 【授業計画】

今日の環境問題や生命・医療をめぐる問題は、われわれの自然への関わり方の問題でもある。自然への関わり方（実践）は「自然」の捉え方（理論）によって規定されている。自然の捉え方から、自然を捉えている人間自身のあり方を照らし出すことが出来る。そこで、この講義では西洋哲学の歴史の中の主な哲学者の思想を「自然」の概念を手がかりにして通覧する。

1. 神話的自然観—ギリシャ神話におけるプロメテウス—
2. ソクラテス以前の自然哲学
3. ソフィストとソクラテス
4. プラトン
5. アリストテレス
6. デカルト
7. カント
8. 進化論的自然観
9. エコロジー的自然観

### 【評価方法】

学期末の筆記試験あるいはレポート、授業への参加態度などで総合的に評価する。

### 【テキスト】

特に指定しない。

### 【参考文献・資料】

西洋哲学史 上・下（シュベグラー 岩波文庫）  
野生の歌が聞こえる（レオポルド 講談社学術文庫）  
エマソン論文集 上（エマソン 岩波文庫）

## 宗教的人間論

梅村敏郎

### 【授業の概要】

世界には数多くの宗教があるが、現在、さまざまな問題を起こしている。宗教の持つ本来の役割と意味について、人間の生きざまという観点から講義する。

### 【授業計画】

- 1 神の「似姿」としての人間
- 2 人間と世界との関わり
- 3 礼拝と祈り—シナゴグ、教会、モスク
- 4 人類共同体
- 5 信仰と「倫理徳」
- 6 神による人間の「救済」

### 【評価方法】

評価方法は、履修者数がおおよそ判明した段階で決めるため、第1回目の授業で発表する。出席率は成績には反映させない。

### 【テキスト】

教科書は使用しない。

### 【参考文献・資料】

参考書・資料等は授業中に適宜紹介する。

## 生命倫理学

加藤太喜子

### 【授業の概要】

現代医学の進歩と発達によって、今や人間の生命の誕生と死は医学よりも倫理の問題になりつつある。「生命」を倫理や哲学の面から講義する。

### 【授業計画】

次の主な項目に従って授業を展開する。

1. 生命倫理学の成り立ち
2. インフォームド・コンセント
3. 脳死と移植医療
4. 生殖医療
5. 代理母
6. 人工妊娠中絶
7. 出生前診断
8. 優生思想とは
9. よりよい自己決定に向けて

### 【評価方法】

レポート及び期末に行う筆記試験により評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する

### 【参考文献・資料】

優生学と人間社会（米本昌平他著 講談社現代新書）  
クローン人間（粥川準二著 光文社新書）

## 現代社会と倫理

大野波矢登

### 【授業の概要】

民主主義社会と自由主義社会は人々に多くの権利を保障しているが、それは人々がモラルや義務を守ることを前提としている。現代社会の守るべき倫理と課題について講義する。

### 【授業計画】

授業はおもに講義形式で行なう。

1. 倫理的視点から見た現代の社会問題
2. 倫理学の概念と理論に関する若干の考察
3. 倫理学理論の応用（道徳的意思決定の方法）
4. 社会の安全性と科学技術者の責任
5. 環境倫理の主張
6. インターネット時代の倫理
7. 内部告発と社会の浄化

### 【評価方法】

期末試験と小レポート（3、4回授業時に書いてもらう予定）の成績によって評価する。

### 【テキスト】

特に指定しない

### 【参考文献・資料】

入門講義 倫理学の視座（新田孝彦著 世界思想社）  
先端技術と人間 21世紀の生命・情報・環境  
（加藤尚武著 NHKライブラリー）  
環境と倫理 自然と人間の共生を求めて（加藤尚武編 有斐閣アルマ）



## ジェンダーと社会Ⅰ

國信潤子 星山幸子 佐藤光 林かぐみ 生江明

### 【授業の概要】

この講義は、まずジェンダーとは何かについて解説し、それらが日本社会において、また開発途上国においてどのように現象化しているかを紹介するオムニバス講座である。4名の開発協力の現場で活躍する講師によって日本、フィリピン、トルコ、バングラデシュ、ネパールなどでの現場の開発協力活動を基礎にジェンダー関係の多様性を紹介する。

持続可能な開発、基本的な生活ニーズの確保、参加型開発、地域住民の意識化など、近年の開発論の理論的展開をもとにジェンダー関係の変容を考察する。

### 【授業計画】

まず、本講座のコーディネーターである國信（本学教授）がジェンダーとは何か、日本社会におけるジェンダー関係の実態、国際開発におけるジェンダー視点の展開について講じる。次に生江明（日本福祉大学教授）による国際統計にみるジェンダー格差の意味を参加型小グループ討議で読み取り、発表、討議する。第三番目の講師は星山幸子（金城学院大学講師）によってトルコ南東部アナトリア地方の綿摘み女性労働者の生活実態とイスラム農村社会にみるジェンダー規範を紹介する。第四番目の講師はアジア保健研修所（AHI）の佐藤光医師および、林かぐみ研究員によって愛知県日進市にある国際的なNGOであるAHIの活動、つまりアジア諸国で実施されている保健リーダーの参加型学習による医療・保健、ジェンダー平等化の促進活動を紹介する。

各講師が3・4回ずつ講義を行うリレー講義である。大半は講義形式である。必要に応じて、小グループ討議、ビデオ視聴なども取り入れる。

### 【評価方法】

期末レポート、出席状況、履修態度、感想カード内容などの総合評価による。

### 【テキスト】

資料配布

### 【参考文献・資料】

開発とジェンダー（田中他 国際開発事業団出版 刊 2001年）

## 女性学・男性学

井深淳子

### 【授業の概要】

男女についての定説化した知識、それによって生まれた役割、人格の内部に及ぶ性別化の影響とその結果生まれる病理などについて、事例や理論を紹介して講義する。

### 【授業計画】

- 第1回 はじめに
- 第2～5回 家族・結婚
- 第6～9回 子育て
- 第10～11回 現代の病巣
- 第12～13回 女性が働き続けること

### 【評価方法】

期末試験、講義時に行う課題や、受講態度等、総合的に評価する。

### 【テキスト】

女性学への招待〔新版〕（井上輝子著 有斐閣）

テキストとともに、講義中に適宜配布する関連資料を用いてすすめる。

## ジェンダーと社会Ⅱ

中島美幸 山下智恵子

### 【授業の概要】

ジェンダーの観点から文学作品を分析することによって、〈女/男〉の規範がどのようにテキストにおりこまれているかを読み解き、さらにテキストがどれほど現実の女と男の生と性を規定してきたかを検証する。（オムニバス方式）

（中島美幸兼任講師）「女性の表現」の観点から日本文学を歴史的に跡づける。特に近代以降の女性表現については外国の女性文学と比較しつつ読み解いていく。

（山下智恵子兼任講師）現代の文学作品を中心に、家族、母娘などの人間関係を、ジェンダーの視点から検証する。

### 【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
  - 第2回 〈ことば〉とジェンダー
  - 第3回 〈書く女〉の登場（1）
  - 第4回 〈書く女〉の登場（2）
  - 第5回 女性を描く男性作家のまなざし（1）
  - 第6回 女性を描く男性作家のまなざし（2）
  - 第7回 母と娘の物語（1）
  - 第8回 母と娘の物語（2）
  - 第9回 家族の物語
  - 第10回 文学の政治性
  - 第11回 文学と映像文化
  - 第12回 まとめ
- \* 内2回は山下智恵子担当。他は中島美幸担当。

### 【評価方法】

出席状況、毎回の感想、学期末のレポートを総合して評価する。

### 【テキスト】

なし。随時、プリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

講義の中でその都度紹介する。

## 女性学・男性学

中村 正

### 【授業の概要】

男女についての定説化した知識、それによって生まれた役割、人格の内部に及ぶ性別化の影響とその結果生まれる病理などについて、事例や理論を紹介して講義する。

### 【授業計画】

- 一日3コマを4日間にわたりおこなう。担当者の専門が社会病理学・臨床社会学・男性研究なので、そうした領域での主題をとりあげることが多い。
- 第1日目 男性学研究の背景・現実・課題  
—日本社会の現実とかかわって—
- 第2日目 男性学研究の方法・内容・理論  
—国際的な研究動向ともかかわって—
- 第3日目 男性学研究の応用・展開  
—ドメスティック・バイオレンス問題を素材に—
- 第4日目 ジェンダー研究と男性学研究の今後（最終コマにレポート）

### 【評価方法】

最終日のレポートで評価する。

### 【テキスト】

第1日目のテーマについては、「男らしさ」からの自由（中村 かもがわ出版）、第3日目のテーマについては、ドメスティック・バイオレンスと家族の病理（中村 作品社）。

### 【参考文献・資料】

講義で配布したり、具体的に紹介したりする。



## 女性学・男性学

竹信三恵子

### 【授業の概要】

男女についての定説化した知識やその内面化が日本の戦後の経済政策や働き方に及ぼした影響を、新聞記者としての体験やマスメディアの検証から明らかにし、これらが産んだ社会病理をどう克服するかを考える。

### 【授業計画】

下記テキスト、当日配布の記事の切り抜きなどの資料、ビデオを利用しつつ、グループ討議も交えて講義する。

1. 戦後経済政策を男女分業はどう支えたか（前半）～高度経済成長から男女雇用機会均等法
2. 戦後経済政策を男女分業はどう支えたか（後半）～バブル経済の崩壊から男女共同参画社会基本法
3. 男女分業主義の浸透とマスメディアの役割～戦後経済政策の背景となった男女分業主義に新聞報道はどう関わったかを検証。
4. 戦後の男女分業の乗り越え～マスメディア報道からは見えにくい現実の男女関係の変化とこれに見合った新しい働き方の展望。

### 【評価方法】

出席状況と簡単なレポートなどによる。

### 【テキスト】

『家事』の値段とは何か  
(久場嬉子・竹信三恵子著 岩波ブックレット 1999年)

### 【参考文献・資料】

ジェンダーから見た新聞のうら・おもて～新聞女性学入門 (田中和子・諸橋泰樹著 現代書館 1996年)、ワークシェアリングの実像～雇用の分配か、分断か (竹信三恵子著 岩波書店 2003年)

## 暮らしの法律

辻田芳幸

### 【授業の概要】

日本は法治国家であり、したがって国家は法律によって運営され、身近な生活も法によって守られている。本講義では日常生活の中で法律がどのように働いているか、具体例をあげて講義する。

### 【授業計画】

- 第1回 導入
- 第2回 Web上の著作物利用と著作権
- 第3回 Webへの写真掲載と肖像権
- 第4回 インターネット上の名誉毀損(1)
- 第5回 インターネット上の名誉毀損(2)
- 第6回 オンラインショッピングと契約法(1)
- 第7回 オンラインショッピングと契約法(2)
- 第8回 インターネット犯罪(1)
- 第9回 インターネット犯罪(2)
- 第10～12回 その他の問題点

### 【評価方法】

出席状況、試験の結果などを総合的に考慮する

## 大衆文化論

鈴木 亙

### 【授業の概要】

現在は大衆化社会と言われ、文化にもまた大衆に愛され、大衆に浸透したものが社会で高い地位を占めている。大衆化社会の中で流行しているさまざまな文化について考察し講義する。

### 【授業計画】

記号空間論に基づいて、自然・身体・言語・制度の観点から大衆文化についてアプローチしたい。

- 1 自然：野球、パチンコなど。
- 2 身体：舞踊、ライブ、ロックなど。
- 3 言語：コマーシャル、落語、漫才、小説、マンガ、メールなど。
- 4 制度：演劇、映画、ゲームなど。

なお、最初に記号分析に慣れるために、コマーシャルの分析から始めたい。

### 【評価方法】

出席、受講態度、提出物によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

未定

### 【参考文献・資料】

必要に応じて、授業中に指示する。

## 文化人類学

三木 誠

### 【授業の概要】

人間は無意識のうちに自然に生れ育った文化からさまざまな影響を受けている。世界中の社会に見られるさまざまな文化的事象を、できるだけ多くの事例をあげて講義する。

### 【授業計画】

以下のようなテーマで講義を行う。それぞれのテーマを総合的に理解するのに不可欠な概念や用語の解説と、テキスト、プリント等を利用した事例研究が主になる。異文化に対する興味や好奇心を喚起するためにVTR資料なども活用する。

1. 文化
2. 性別と社会
3. 婚姻と家族
4. 交換と人間関係
5. 宗教と信仰
6. 民族と国家

### 【評価方法】

定期試験により評価する。ノートは持ち込み可とする。

### 【テキスト】

指定せず。

### 【参考文献・資料】

興味を持った学生にはそのつど指示する。



## 文化人類学

水口千里

### 【授業の概要】

人間の生活や行動様式は、帰属する社会の固有の文化から多くの影響を受けている。本講義では、さまざまな分野にわたる国内外の事例を取り上げ、その文化的背景を学ぶ。

### 【授業計画】

講義形式による。デジタル画像、VTRなど視聴覚教材を併用する。時間中に適宜プリントを配布する。

1. 概論 文化人類学の調査、研究方法
2. 精神文化をひも解く  
(異界からのメッセージ/願い・占い・おまじない/幽霊と妖怪)
3. 食文化を読む  
(飲酒の意味/宴会の型/外食の発展/行事食のあり方)
4. 贈答文化を探る  
(ギフトとプレゼント/贈与交換)
5. 海外の日本文化を知る  
(外国人が見たニッポン/ヨーロッパの博物館の日本コレクション)
6. 総論 異文化理解と自文化理解

### 【評価方法】

おもに単位認定試験(論述形式)で評価する。講義時間中に小レポートを提出させた場合は、これを成績評価に反映する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない

### 【参考文献・資料】

参考文献リストを講義時間中に配布する

## 比較文化論

星山幸子

### 【授業の概要】

国際化が進み、世界の異文化が日本に入り、日本の文化も世界に伝わるようになった。世界の文化の特徴をあげ、日本の文化との比較を考察しながら、異文化交流についても講義する。

とくに、イスラームの文化を事例として取り上げ、異文化に対する視座について検証する。この授業をとおして、多様な文化や価値観を学ぶことにより自分自身の社会や文化を見つめ直すことを目標とする。

### 【授業計画】

1. 文化と文明
2. 文化の理解
3. 民族と国家と文化
4. 南北問題と発展途上国の文化
5. 人の移動と異文化接触
6. イスラームの文化
7. イスラームとジェンダー
8. 文化摩擦と国際問題
9. 中央アジアの人びと
10. トルコの人びとの暮らしと文化
11. 日本社会における異文化交流

### 【評価方法】

出席、授業中の提出物、討論と質疑応答 30%  
期末レポート 70%

### 【テキスト】

テキストは使用しない。授業中にプリント等を配布する。

### 【参考文献・資料】

授業のなかで参考文献リストを配布する。また、ビデオなどの視聴覚資料を使用する。

## 比較文化論

文 嬉眞

### 【授業の概要】

国際化が進み、世界の異文化が日本に入り、日本の文化も世界に伝わるようになった。世界の文化の特徴をあげ、日本の文化との比較を考察しながら、異文化交流についても講義する。

### 【授業計画】

本講義では、主に「日本の文化」に焦点を当て考えることにする。特に、外国人(見る側)が日本という異文化(見られる側の文化)と直接接触した際、どのように評価(表現方法)・認識したかを考察し、その考察からなぜそのような評価・認識があらわれるかを分析する。そして、得られた分析によって外国人(見る側)がもつ「文化」を再分析する。すなわち、外国人(見る側)が「異文化」(見られる側の文化)を見るまなざしに関して考察することによって、自文化(見る側の文化)を再認識するだろう。

1. 異文化との理解・誤解に関する一般的な概論
2. 異文化交流史における本講義の位置付け
3. 前近代の外国人(見る側)における「日本認識」および外国人(見る側)がもつ「文化」に関する考察
4. 近・現代の外国人(見る側)における「日本認識」および外国人(見る側)がもつ「文化」に関する考察
5. 異文化としての「日本文化論」

### 【評価方法】

1. 出席、受講態度、講義時の課題等で全体の50%を評価する。
2. 学期末レポートで残る50%を評価する。

### 【テキスト】

講義の中で随時、配布する。(必ず事前に読んでおくこと)

### 【参考文献・資料】

授業中に指示する。

## 国際政治論

草間秀三郎

### 【授業の概要】

前半では冷戦終結後の国際政治の特徴と課題を検討していく。唯一の超大国となったアメリカの新しい外交・経済・軍事政策を分析し、新世紀における役割を展望する。後半では国連の組織と活動、EUとASEANという地域国際協力機関を比較的に分析し、最後にグローバル化と「人間の安全保障」の諸問題も検討する。

### 【授業計画】

1. 21世紀初頭の国際政治—特徴と課題—
2. アメリカの新しい外交・経済・軍事政策
3. 冷戦終結と激動の世界
4. 同時多発テロと対アフガン・イラク戦争
5. ベトナム戦争後のアメリカ外交
6. 現代アメリカ政治外交の源流
7. 国連の組織と活動
8. 国連平和維持活動(PKO)
9. 欧州連合(EU)と東南アジア諸国連合(ASEAN) — (1) —
10. 欧州連合(EU)と東南アジア諸国連合(ASEAN) — (2) —
11. グローバル化の諸問題
12. ロシア型と中国型
13. 「人間の安全保障」—国連と日本の対応—

### 【評価方法】

期末試験により評価する。出席を重視する。

### 【テキスト】

世紀転換期の国際政治史(福田茂夫他 ミネルヴァ書房)

### 【参考文献・資料】

毎回、テキストの内容に関するレジュメと資料を配布する。



## 国際政治論

瀬戸裕之

### 【授業の概要】

国際関係は冷戦時代の東西対決時代から、協力時代へと変化し、グローバル化が進んでいる。しかし、民族・宗教・地域などの対決と紛争は今も絶えない。国際政治の実情を具体的事象にふれながら講義する。

### 【授業計画】

1. 国際関係の基本概念
2. 国際関係理論
3. 冷戦構造の展開と終焉
4. 国際経済と地域統合
5. 核兵器と安全保障
6. 南北問題と開発
7. 地球環境問題
8. 地域紛争、テロリズム
9. 第二次世界大戦と日本
10. 戦後日本と安全保障
11. 日本の国際協力
12. アジア太平洋のなかの日本

### 【評価方法】

成績評価は、期末試験（筆記）により行う。出欠は考慮しないが、中間試験を受験しないものは、期末試験の受験資格を失う。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。

### 【参考文献・資料】

国際関係学講義 新版（原彬久編 有斐閣）

## 国際交流論

松本一子

### 【授業の概要】

国際化時代といわれる現代社会は、さまざまな形で国際交流や国際協力が行われている。最近ではNGOやNPOの活躍がめざましい。国際交流の歴史を概観しながら、主として日本に滞在する多くの外国人との異文化接触を通しての国際交流のあり方について講義する。

### 【授業計画】

1. 国際交流とは
2. 国際交流の歴史
3. 国際交流活動の現状
  - ・自治体と国際交流
  - ・地域の国際化と多文化共生
  - ・地球市民教育
4. 実践国際交流
  - ・国際文化交流と草の根交流
5. 国際交流活動の課題

### 【評価方法】

レポート及び平常点で評価する

### 【テキスト】

草の根の国際交流と国際協力（毛受敏浩編著 明石書店 2003年）

### 【参考文献・資料】

実践国際交流（国際交流基金・大阪国際交流センター編 1997年）

## 外国の言語と文化1（朝鮮半島）

尹 大辰

### 【授業の概要】

韓国・朝鮮語の基礎を学び、初歩的な語学力を身につけ、ハングルの文字と発音への関心を高める。朝鮮半島の歴史・文化・風土についても学び、アジアの隣国としての共通性や異質性を理解し、違いを共に生きる認識を深める。

### 【授業計画】

- 第1回 訓民正音について
- 第2回 ハングルの文字と発音（1）
- 第3回 ハングルの文字と発音（2）
- 第4回 基本的な日常会話（1）
- 第5回 基本的な日常会話（2）
- 第6回 基本的な日常会話（3）
- 第7回 言語と文化（1）－衣・食・住
- 第8回 言語と文化（2）－社会的構造
- 第9回 言語と文化（3）－漢字語比較
- 第10回 朝鮮半島の風土
- 第11回 朝鮮半島の歴史と文化
- 第12回 まとめ－言語表現から見た文化比較

### 【評価方法】

期末試験とレポート、出席率を加味して評価する。

### 【テキスト】

プリント教材を使用する。

### 【参考文献・資料】

韓国（金両基監修 新潮社）  
韓国と日本の比較文化論（金渙著 明石書店）

## 外国の言語と文化2（ドイツ）

藤井たぎる

### 【授業の概要】

ドイツ語の基礎を学び、初歩的な語学力を身につけ、ドイツ語への関心を高める。ヨーロッパの中でも独特なものを持つドイツの歴史・文化について学び、地理的な位置付けや風土を理解し、違いを共に生きる認識を深める。

### 【授業計画】

ドイツ・オーストリアの生活文化とその言語。現代のドイツ・オーストリア事情の一端を紹介しながら、ドイツ・オーストリアのいろいろな「顔」を発見してもらおう。具体的には下記のような日常的なテーマをもとに、ドイツ・オーストリアの事情を日本のそれと比較しながら、両者の類似性と差異をみてゆく。また初歩的なドイツ語会話の練習もあわせておこなう。

- 1) ドイツ・オーストリアの風土
  - 2) ドイツ・オーストリアの近現代史
  - 3) ドイツ・オーストリアのマス・メディア
  - 4) ドイツ・オーストリアの衣食住
  - 5) ドイツ・オーストリアの消費生活
  - 6) ドイツ・オーストリアの芸術文化
- 講義形式ではあるが、授業中にいろいろな意見を求め、各自の考えるところを発言してもらおう。必要に応じてプリントを配布する。

### 【評価方法】

筆記試験。

### 【テキスト】

適宜、プリントを配布する。



## 外国の言語と文化3 (フランス)

清水ベアトリックス

### 【授業の概要】

ヨーロッパの文化や近代精神の発祥の地ともいわれるフランスの歴史や文化を学び、地理的な位置付けや風土を理解し、違いを共に生きる認識を深める。

### 【授業計画】

毎回、担当教員が指定したテキストの章について議論し、テレビや新聞で報道されたフランスに関する時事問題の中で特に学生の関心を引くようなものを選んで、解説したい。

### 【評価方法】

定期試験を重視するが、宿題（テキストや映画についての感想文）、出席率、受講態度なども考慮に入れる。

### 【テキスト】

変貌するフランス（西永良成 日本放送出版協会）

## 外国の言語と文化4 (ロシア)

丹邊文彦

### 【授業の概要】

ロシア語の基礎を学び、初歩的な語学力を身につけ、ロシア語への関心を高める。ヨーロッパとアジアにまたがるロシアの風土と文化について学び、その歴史や日本とのかかわりなども理解し、違いを共に生きる認識を深める。

### 【授業計画】

第1回～3回 文字と発音

以下1限に2課の割合で下記教科書を一応通読することを目標に授業をすすめる。1期終了・完結の授業で時間が限定されていることを考慮したものである。したがって練習問題（解答付）は自習に任せ、最小限の文法解説に止めて、本文中心に音読と文字への習熟に重点を注ぐことによって、運用力の土台を養成するのが眼目である。その際付属のCDを活用した予・復習は欠かせない。発音教材の補助としてロシア民謡も紹介し、ロシアの風土・歴史・文化への理解を深める。

### 【評価方法】

a.朗読 b.聴取り c.ペーパーテスト の総合

### 【テキスト】

エクспレス ロシア語（桑野隆著 白水社）

### 【参考文献・資料】

ロシア語のすすめ（講談社現代新書）

## 外国の言語と文化4 (ロシア)

杉本一直

### 【授業の概要】

ロシア語の基礎を学び、初歩的な語学力を身につけ、ロシア語への関心を高める。ヨーロッパとアジアにまたがるロシアの風土と文化について学び、その歴史や日本とのかかわりなども理解し、違いを共に生きる認識を深める。

### 【授業計画】

みなさん、知っていますか？日本の大学のなかでロシア語を学ぶことができる場所は本当に少ないんですよ。ということは、「ロシア語がわかる人」は日本ではとても希少価値があるのです！「芸術の国ロシア」の言葉を今すぐ学んでみませんか？映画の鑑賞会もありますから、楽しみにしてくださいね。

初級のわかりやすい辞書を「テキスト」として授業を進めてきます。まず、例の不思議な形をしたキリル文字を覚え、発音を覚え、そのあとは辞書で遊び(?)ながら「使える単語」「使えるフレーズ」を集めていきます。たくさんたくさん集めたら、あれ、いつのまにかロシア語の達人！

辞書以外に補助教材として会話用プリントを配布します。学ぶ項目は以下のとおりです。

- キリル文字と発音
- 大きな声であいさつしよう
- 買い物に行ってみよう
- 乗り物に乗ろう
- おなかがいっぱいなら…
- 自分について話してみよう

### 【評価方法】

定期試験の成績による。

### 【テキスト】

ロシア語ミニ辞典（白水社）

## 外国の言語と文化5 (スペイン)

木下まりあ

### 【授業の概要】

スペイン語の基礎を学び、初歩的な語学力を身につけ、スペイン語への関心を高める。世界でも屈指の言語圏を持つスペインの歴史と文化的影響について学び、独特の風土について理解し、違いを共に生きる認識を深める。

### 【授業計画】

講義方式による。授業中、適宜プリントを配布する。

- スペイン語とスペイン語圏の世界
- スペインの歴史と文化の特色
- スペイン語のアルファベット、音節、アクセント
- 挨拶、自己紹介の仕方
- 名詞の性数、定冠詞と不定冠詞
- 形容詞（性数の一致）
- 人称代名詞、serとestar動詞
- 数詞と時刻の表現
- スペイン語の手紙の書き方
- 旅行に役立つスペイン語会話
- まとめ

### 【評価方法】

筆記試験またはレポートに出席状況を加味して評価。

### 【テキスト】

授業中に指示。



## 日本と外国の歴史1 (日本)

岩口和正

### 【授業の概要】

アジア世界の東辺に位置する日本の歴史は、もっぱら中国や朝鮮半島諸国との交渉の中で展開してきました。にもかかわらず、現代にいたってなお、このような点についての基礎的史実ですら、よく知られていないどころか、しばしば誤解されているのが現実です。そこで、主として、日本国家自身の世界認識と中国や朝鮮半島諸国側からの日本認識とを対比させつつ、東アジア史の一部分としての日本史の特徴を考えます。

### 【授業計画】

- 1) 日本近代のアジア認識 <明治維新と征韓論>
- 2) 朝鮮通信使と朝鮮出兵
- 3) 日本中世における朝鮮半島の交渉
- 4) 蒙古襲来と日本朝廷
- 5) 日宋貿易と平氏政権
- 6) 蕃国としての新羅・渤海
- 7) 大唐皇帝と日本天皇
- 8) 遣隋使と遣唐使
- 9) 日本国家と列島内住民 <蝦夷・単人>
- 10) 日本古代の世界像

### 【評価方法】

成績評価は学期末の試験でおこないます。

### 【テキスト】

使用しません

### 【参考文献・資料】

授業の中で別途で紹介いたします

## 日本と外国の歴史3 (東洋)

土屋 洋

### 【授業の概要】

東洋、特に中国を中心にした東アジア地域やその歴史を概説し、通史を学ぶ。日本は中国や朝鮮半島と歴史的・文化的に関係が深く、相互に影響を強く受けていることについても認識を深めたい。

### 【授業計画】

1. 期間計画指示・授業内容の説明
2. 歴史学とは何か？：歴史リテラシーを身につけよう
3. アジアを考えるとということ：日本においてアジアの歴史を学ぶとは？
4. 東アジアの伝統秩序：中華帝国という世界
5. 中国近現代史への眼差し：歴史観の諸相
6. 中国の近代：「近代」という時代をどう考えるか？
7. 中国の近代と日本：東アジアの近代を日本との関係から考える
8. 日中戦争を考える：南京事件をめぐる歴史認識の溝
9. 新中国の誕生：共産党の政権奪取は日本のおかげ？！
10. 「文革」、「改革開放」、「六四」：東西冷戦構造の狭間で
11. 「台湾」という問題
12. 現代中国と日本：特に歴史認識をめぐって
13. 21世紀の日本、中国、東アジア

### 【評価方法】

学期末に課すレポートの内容、ならびに授業で随時課す感想・意見等の提出状況によって評価する。

### 【テキスト】

基本的に毎回レジュメを配布する。

### 【参考文献・資料】

授業中に提示する。

## 日本と外国の歴史2 (郷土)

秦 達之

### 【授業の概要】

東海地方が戦国統一の舞台になったのは周知の事実だが、その後の歴史については意外に知られていない。東西の文化を巧みに吸収した近世・近代については、一見地味だが、重要な事件や人物を取上げ、受験時の暗記の歴史から脱皮し、考え、愉しみ、哀しみつつ、生きるための歴史を目指したい。

### 【授業計画】

一回一話の読み切り、いや、語り切りで、さまざまなテーマ・内容を取上げる。通史ではないので、時代の前後を往き来する。その時代を生きた人びとの鼓動が聞こえてくるようなものにしたいが、果してうまくいきますか、どうか？

内容は、「元禄名古屋の世相」「伊勢湾の漂流民たち」「江戸時代の農民運動」「名古屋とその周辺の山車(だし)」「渡辺華山とその周辺」「お札降りと「ええじゃないか」「高山における明治維新」「戦争と女性」「モルフィと廃娼運動」「新聞記者・市川房枝」「シーメンス事件と太田三次郎海軍大佐」その他。私自身の研究と共に、他の地道な研究成果も積極的に取上げたい。

こちらで一回毎の史料を用意し、それにもとづいて講義する。必要に応じてビデオ、スライドも使用。出席票に感想を書いて貰い、受講者の声を聞く工夫をしている(受講者もぜひご協力を)。

### 【評価方法】

出席状況(特に厳しいので注意!)と単位認定試験の成績などによるが、毎時間最後に感想を書いて貰い、参考にしている。

### 【参考文献・資料】

- 愛知県百年(塩沢君夫・斎藤勇・近藤哲生共著 山川出版社)
- 愛知県の歴史(三鬼清一郎編 山川出版社)
- 東海・近代へのまなざし(都築亨・大嶋光義編 中部日本教育文化会)

## 日本と外国の歴史4 (西洋)

北村陽子

### 【授業の概要】

ヨーロッパ、アメリカ合衆国を中心にした西洋の歴史を概説する。近代以降の日本にも影響を与えた「国民国家」が形成される過程を追い、「国民意識」とは何かについて理解を深める。

### 【授業計画】

1. はじめに—国民国家とは何か
2. 近代国民アイデンティティ形成の前段階
  - (1) 「個人」の覚醒：ルネサンス
  - (2) 「他者」の認識：大航海時代
  - (3) 普遍性の否定：宗教改革
3. イギリスの国民国家
  - (1) イギリス国教会の成立と絶対主義国家
  - (2) 二つの市民革命—「イングランド」から「イギリス」へ
  - (3) バクス・ブリタニカ—ジェントルマンが支える「大英帝国」の時代
4. アメリカ合衆国の国民国家
  - (1) 対イギリス独立革命
  - (2) フロンティア開拓時代の「他者」認識
  - (3) 奴隷制と南北戦争
5. フランスの国民国家
  - (1) ルイ14世治下における絶対主義の確立
  - (2) フランス革命とナポレオン
  - (3) 「国民」の創出—「単一にして不可分のフランス」成立
6. ドイツの国民国家
  - (1) 三十年戦争とプロイセン・オーストリアの絶対主義
  - (2) 対ナポレオン解放戦争と諸国民の春
  - (3) ビスマルクによる「ドイツ」統一
7. おわりに—20世紀のナショナリズムと国民国家

### 【評価方法】

成績評価は、出席と学期末テストにより総合的に行う。

### 【テキスト】

とくに定めない。

### 【参考文献・資料】

- 国民国家とナショナリズム(谷川稔 山川出版社)
- 国民国家を問う(歴史学研究会編 青木書店)
- その他講義中に指示する。



## 地域コミュニティ論

安藤純子

### 【授業の概要】

現代社会は都市化が進み、地域社会と人々のかかわりが希薄になっている。人々の生活にとって地域社会の果たす役割と問題点について具体例にふれて講義する。

### 【授業計画】

- 1 インTRODククション
- 2 地域社会の歴史と構造 1
- 3 地域社会の歴史と構造 2
- 4 コミュニティの概念
- 5 コミュニティの組織論
- 6 地方分権とコミュニティ
- 7 コミュニティとネットワーク 1
- 8 コミュニティとネットワーク 2
- 9 コミュニティ活動と実践例
- 10 環境・福祉とコミュニティ
- 12 少子・高齢化とコミュニティ
- 13 まとめ

### 【評価方法】

定期試験と出席率など総合的に評価する。

### 【テキスト】

特になし。

### 【参考文献・資料】

授業中に適宜紹介する。

## ビジネスの世界

伊藤義明

### 【授業の概要】

90年代の「バブルの崩壊」の後遺症である長期にわたる経済の低迷から脱するため日本の企業経営は政府の保護規制から離れ、市場競争をベースとするいわゆるFree, Fair, Globalな経営を構築する新たな時代に入った。

学生諸君が専門課程に進む前段階で理解しておくべき、「新しい市場環境」と「企業活動の実際」及び「社会から評価される企業経営」の基本的なスキームを講義する。

### 【授業計画】

- 第1講: Introduction ; ビジネスモデルによる企業活動の概説
- 第2講: 日本の国際競争力 (IMD サーベイ他)
- 第3講: 制度変革と企業活動  
Free, Fair, Global ; 規制緩和と市場競争 ; 自己責任とリスク管理
- 第4講: 企業をとりまく社会システムの変化 — 金融 ; IT ; 環境
- 第5講: 企業の組織 — 会社とは何か? ビジネス (商行為) とは何か? (法的要件)
- 第6講: 企業のマネジメント
- 第7講: 主要産業の特色 — どのように変化に対応してきたか。
- 第8講: マーケットの機能 — 金融、外国為替、株式の各市場について
- 第9講: 経営品質について — 社会に評価される企業経営とは?  
Malcolm Baldrige National Quality Program とISO 及び日本経営品質賞
- 第10講: 日本経営品質賞基準 (その1) リーダーシップと社会的責任
- 第11講: 日本経営品質賞基準 (その2) 市場と顧客の理解; 戦略の構築と展開
- 第12講: 日本経営品質賞基準 (その3) 人材; プロセス; 情報
- 第13講: 第9~12講の総括及びQ & A: テスト

### 【評価方法】

3回のテストの総合評価

### 【テキスト】

レジメ 使用

### 【参考文献・資料】

新聞の経済記事を読むこと

## 東アジアの生活と文化

楊 衛平

### 【授業の概要】

日本は東アジアに位置し、歴史的にも東アジアの影響を強く受けている。日本と関係の深い近隣の国を中心にその生活や文化について講義する。

### 【授業計画】

1. 中国の少数民族の構成
2. 儒教、仏教と道教の相異
3. 中国の年中行事
4. 南北食文化の比較
5. 中医学と西洋医学
6. 気の文化と気功術
7. 飲茶の文化と歴史
8. 伝統美術と映画
9. 少数民族の音楽
10. 少数民族の服装
11. 中国人の姓の色々
12. 中国の名勝物語
13. 中国人と日本人の考え方の相異

### 【評価方法】

出席状況とレポートによって総合的に評価する。

### 【テキスト】

プリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

中国人・文字・暮らし (李順然 東方書店)  
中国仏・道・儒教史話 (劉克蘇 河北大学出版社)  
中国伝統文化導論 (劉榮興 河北大学出版社)

## ビジネスの世界

小池弘道

### 【授業の概要】

現在、いわゆる日本型の雇用システムや商慣習は崩壊しつつあるが、ビジネスの世界には企業を維持・発展させるための企業の倫理や厳しい現実がある。企業の現実を具体例にふれて講義する。

### 【授業計画】

ビジネス社会におけるビジネスの種類  
会社組織について  
仕事の遂行・・・リーダーシップ、創意と工夫、責任と権限、縦糸・横糸 (指示命令系統、部署間の連携)  
日本のビジネス社会が現在抱えている問題点  
企業の業績不振、終身雇用・年功序列の崩壊、グローバル化  
世界経済が抱えている問題点  
ビジネス社会で役立つ個人の能力・知識

### 【評価方法】

単位認定試験の成績と出席状況を総合して評価する。

### 【テキスト】

使用しない (必要に応じ資料配布)

### 【参考文献・資料】

日本の常識は、どこまで通じるか  
(ジョリー・佐々木幸子・小池弘道 風媒社)



## 暮らしの経済

村上貴美子

### 【授業の概要】

生活に密着した経済学の基礎と入門を学ぶとともに、現在の経済社会はグローバル化しているため、国際経済の流れや経済用語についても講義する。

### 【授業計画】

1. 最近の経済状況と用語解説  
生活と経済の関わり
2. やさしい経済用語の説明
3. 消費者の権利と意思決定
4. 生活をとりまく環境変化
5. 本当の「豊かさ」とは何だろうか
6. 「労働」と「生活」
7. 余暇の為に働く「余暇とはなんだろう」
8. 国際化と生活  
毎回、最近の経済ニュースの紹介と解説を予定している。

### 【評価方法】

宿題のレポート・単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。プリント配布

### 【参考文献・資料】

2004年版暮らしの豆知識（国民生活センター 編集・発行）

## 健康と医学

渡邊一功

### 【授業の概要】

日本はますます高齢化社会に入っているが、長生きするための健康は自分で管理し、自立自助が必要である。健康を保ち、命を守るためにどうすればよいか、医学の立場から講義する。

### 【授業計画】

- 1) 性感染症  
感染症とは 性感染症の現状と予防 後天性免疫不全症候群
- 2) 免疫とアレルギー  
免疫のメカニズム、アレルギー反応の分類  
アレルギー疾患
- 3) 嗜好品と健康  
アルコール タバコ 薬物依存
- 4) 生活習慣病の予防  
糖尿病 がん 高脂血症 高血圧
- 5) 生殖の医学  
性機能 避妊 妊娠 分娩
- 6) 胎児からの子育て  
母子相互作用 母と子の絆 小児虐待
- 7) 子どもの成長と発達  
身体的発育 生理機能の発達 精神的発達  
しつけ
- 8) 乳幼児期の主な病気  
一般的症状 主な病気 障害児  
染色体と遺伝子異常

### 【評価方法】

主に筆記試験による。

### 【テキスト】

健康と保健の科学（坂口他著 日本小児医事出版社）

## 健康とくすり

永井慎一

### 【授業の概要】

現在の日本は飽食の時代といわれ、運動不足やストレス過多のため、薬品の助けがなければ健康の維持が難しい。病気と薬品について正しい知識を学び、薬品の効き方と副作用について理解を深める。

### 【授業計画】

- 第1回 受講生に「病気とくすりについて」アンケート調査後、創業の歴史から新薬開発まで、動物実験や治験の評価法も含めて解説
- 第2～3回 くすりの基礎知識として、くすりの投与方法と生体内運命、くすりの効くメカニズムと受容体、危険なくすりの飲み合わせと副作用など2回にわたり解説
- 第4回 くすりの正しい知識のすべてを、イラスト入りの質問形式でわかりやすく教える
- 第5～6回 近年発売されたピルなどの生活改善薬をはじめ、繁用される一般用医薬品（OTC）500種と医者が処方する医療用医薬品200種を薬効別に解説
- 第7回 頭痛、生理痛の原因と治療薬のメカニズム
- 第8回 アトピー性皮膚炎や花粉症の発症メカニズムとくすりの効き方
- 第9回 病気の早期発見に役立つ成人病検査値の見かたと最新の画像診断法を解説
- 第10～13回 検診で見つかる生活習慣病を中心に、高血圧、ガン、糖尿病、エイズなどの発症原因と最先端治療薬の作用機作

### 【評価方法】

配布したプリントからテーマを出題し、レポートの内容で成績評価する。

### 【テキスト】

プリントを毎回配布し講義する。なお、何時でも「病気とくすりに関する質問」をメールで受け付け、プライバシーを守って返答する。

## メンタルヘルス

太田龍朗

### 【授業の概要】

今や子供から大人まで、多くの人が心を病んでいるといわれている。心の病は少年期や青年期に特有のものから、時代や社会に要因のあるものもある。臨床的事例をふまえてメンタルヘルスを考える。

### 【授業計画】

- 概論：1. 心の病：その歴史  
2. 精神症状のとらえ方  
3. 精神障害の種類と分類  
4. ライフサイクルと心：性格、発達と加齢
- 各論：1. 青年期、思春期にはじまる統合失調症  
2. 感情の障害としての躁うつ病（気分障害）  
3. ストレスとその反応：神経症と心身症  
4. やまらない、止まらない：薬物依存  
5. 眠りと食と性の偏り：睡眠、摂食、性障害  
6. 大人とは異なる児童・小児の障害  
7. 老人と高齢者の病：器質性障害
- 総論：1. 病を前にして：治療、面接、カウンセリング  
2. 心の健康に向けて：地域社会、制度と活動
- 終講：単位認定試験

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

大学生のための精神医学（高橋俊彦・近藤三男著 岩崎学術出版社）

### 【参考文献・資料】

精神を病むということ（秋元波留夫・上田敏著 医学書院）  
図解雑学 心の病と精神医学（景山任佐著 ナツメ社）



## ライフサイクルと健康

松田秀子

### 【授業の概要】

人間は年齢に伴い体型も変化し、健康も害しやすくなる。ライフサイクルにあわせた運動と健康の維持について、身近な問題をとりあげて講義する。

### 【授業計画】

1. ライフサイクルと健康とは
2. 姿勢
3. プロポーション（理想と現実）
4. 肥満とやせ
5. 隠れ肥満
6. 骨密度・体脂肪測定
7. 自分のからだを判定しよう
8. 体脂肪を正しく落とす方法
9. 筋肉と運動神経
10. 健康づくりのための運動
11. Walking
12. 性への理解
13. 学生生活と健康

### 【評価方法】

出席状況・レポート・単位認定試験によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

使用しない。

必要に応じて参考資料を配付する。

## スポーツ科学

杉山 和 山本啓子 松田秀子 寺田邦昭 門間博

### 【授業の概要】

スポーツの科学的理論と実技的能力を実践を通じて学ぶ。テニス、ゴルフ、バドミントンなどの各種スポーツをはじめ、ストレッチ体操・トレーニングなど、運動の基礎的技術を習得することに努める。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・原則として、半期間に2種目を行います。（天候によって種目を変更する場合があります。）
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。
- ・授業内容については、担当教官の欄を参照のこと。
- ・ゴルフについては、実習費（300円）を必要とします。

月曜日	2限	杉山	テニス・バドミントン
	3限	杉山	テニス・バドミントン
火曜日	2限	松田	テニス・ゴルフ
	3限	山本	卓球・バレーボール
	3限	松田	バドミントン・ゴルフ
	4限	山本	卓球・バレーボール
	4限	松田	バドミントン・ゴルフ
水曜日	1限	門間	テニス・バスケットボール
	2限	門間	テニス・バスケットボール
	3限	山本	バレーボール・卓球
	3限	門間	テニス・バドミントン
	4限	山本	バレーボール・卓球
	4限	門間	テニス・バドミントン
木曜日	1限	寺田	スキルトレーニング
	2限	寺田	スキルトレーニング
	3限	杉山	バドミントン・テニス
	3限	山本	卓球・バレーボール
	4限	山本	卓球・バレーボール
金曜日	2限	杉山	テニス・バドミントン
	3限	杉山	テニス・バレーボール
	4限	杉山	テニス・バレーボール

### 【評価方法】

70点－（欠席回数/授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## スポーツ科学

杉山 和

### 【授業の概要】

スポーツの科学的理論と実技的能力を実践を通じて学ぶ。テニス、ゴルフ、バドミントンなどの各種スポーツをはじめ、ストレッチ体操・トレーニングなど、運動の基礎的技術を習得することに努める。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

〔テニス〕

1. ガイダンス
2. ラケットとボールに慣れる
3. ボールをコントロールする
4. サービスを練習する
5. ルールとマナーを身につける
- 6～8. ミニゲーム・スキルテスト

〔バドミントン〕

1. ガイダンス
2. ラケットとシャトルに慣れる
3. シャトルをコントロールする
4. ルールとマナーを身につける
- 5～8. ミニゲーム・スキルテスト

〔バレーボール〕

1. ガイダンス、競技の概略
2. パスワーク（オーバーハンド・アンダーハンド）
3. サーブとレシーブ（サーブレシーブ・パスアタックレシーブ）
4. トス・アタック・ブロック（アタックカバー・ブロックフォロー）
- 5～7. ゲームと審判（ルール）、テスト（スキル）

### 【評価方法】

70点－（欠席回数/授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## スポーツ科学

山本啓子

### 【授業の概要】

スポーツの科学的理論と実技的能力を実践を通じて学ぶ。テニス、ゴルフ、バドミントンなどの各種スポーツをはじめ、ストレッチ体操・トレーニングなど、運動の基礎的技術を習得することに努める。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

〔卓球〕

1. ガイダンス、競技の概略
2. ラケットのグリップと打法
3. フォアハンド・バックハンド  
（ロング・ショート・カット・スマッシュ）
4. サービスとレシーブ
5. シングルスゲーム（審判）
- 6～7. ダブルスゲーム（審判とスコア）、テスト（スキル）

〔バレーボール〕

1. ガイダンス、競技の概略
2. パスワーク（オーバーハンド・アンダーハンド）
3. サーブとレシーブ（サーブレシーブ・パスアタックレシーブ）
4. トス・アタック・ブロック  
（アタックカバー・ブロックフォロー）
- 5～7. ゲームと審判（ルール）、テスト（スキル）

### 【評価方法】

70点－（欠席回数/授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等



## スポーツ科学

松田秀子

### 【授業の概要】

スポーツの科学的理論と実技的能力を実践を通じて学ぶ。テニス、ゴルフ、バドミントンなどの各種スポーツをはじめ、ストレッチ体操・トレーニングなど、運動の基礎的技術を習得することに努める。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。
- ・ゴルフについては、実習費(300円)を必要とします。

〔テニス〕

1. ガイダンス
2. ラケットとボールに慣れる
3. ボールをコントロールする
4. サービスを練習する
5. ルールとマナーを身につける
- 6～8. ミニゲーム・スキルテスト

〔ゴルフ〕

1. クラブに慣れる
2. フォーム作り(回転運動のイメージ作り)
- 3～6. スイングの基本を身につける
7. 学外の練習場にてスキルテスト

〔バドミントン〕

1. ガイダンス
2. ラケットとシャトルに慣れる
3. シャトルをコントロールする
4. ルールとマナーを身につける
- 5～8. ミニゲーム・スキルテスト

### 【評価方法】

70点＝(欠席回数/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## スポーツ科学

寺田邦昭

### 【授業の概要】

スポーツの科学的理論と実技的能力を実践を通じて学ぶ。テニス、ゴルフ、バドミントンなどの各種スポーツをはじめ、ストレッチ体操・トレーニングなど、運動の基礎的技術を習得することに努める。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

〔スキルトレーニング〕

オールラウンドプレーヤーを目指し、下記のスポーツスキルを週毎に種目を変えながら練習し、その基本的な動きのコツの獲得を目指す。

打つ技術の獲得

- バッティング(ソフトボールでの打つスキル)
- ショット(ゴルフ・バスケットボールでの打つスキル)
- ストローク(卓球・テニス・バドミントンでの打つスキル)
- スマッシュ(卓球・テニス・バドミントンでの打つスキル)
- アタック(バレーボールでの打つスキル)
- キック(サッカー・ラグビーでの蹴るスキル)

投げる・送る技術の獲得

- スローイング及びパス(ソフトボール・バレーボール・バスケットボール・フライングディスク・サッカー・ラグビーでの投げる・送るスキル)

捕る技術の獲得

- キャッチング(ソフトボール・バスケットボール・ラグビー・フライングディスクでの捕るスキル)

1. ガイダンス
- 2～7. 主にアウトドア種目を中心に実施する。
- 8～13. 主にインドア種目を中心に実施する。
- 14～15. テスト(各種スポーツにおけるスキルテスト)

### 【評価方法】

70点＝(欠席回数/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## スポーツ科学

門間博

### 【授業の概要】

スポーツの科学的理論と実技的能力を実践を通じて学ぶ。テニス、ゴルフ、バドミントンなどの各種スポーツをはじめ、ストレッチ体操・トレーニングなど、運動の基礎的技術を習得することに努める。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

〔テニス〕

1. ガイダンス、競技の概略
2. ラケットとボールに慣れる
3. ボールをコントロールする
4. サービスを練習する
5. ルールとマナーを身につける
- 6～8. ミニゲーム・スキルテスト

〔バスケットボール〕

1. ガイダンス、競技の概略
2. ボールに慣れる
3. 基本的な個人技能の確認
4. チームでの基本的な練習
5. ルールとマナーを身につける
- 6～8. ゲーム・スキルテスト

〔バドミントン〕

1. ガイダンス、競技の概略
2. ラケットとシャトルに慣れる
3. シャトルをコントロールする
4. ルールとマナーを身につける
- 5～8. ミニゲーム

### 【評価方法】

70点＝(欠席回数/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## 健康と運動

杉山和 山本啓子 松田秀子 寺田邦昭 門間博

### 【授業の概要】

現代社会は、運動不足による体力の低下、過食による肥満など健康を阻害する要因が増加している。スポーツ種目の実践を通して、健康の保持増進への理解を深めることを目的とする。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。
- ・授業内容については、担当教官の欄を参照のこと。
- ・ゴルフについては、実習費(600円)を必要とします。

月曜日	2限	杉山	ゴルフ
	3限	杉山	ゴルフ
火曜日	2限	松田	バドミントン
	3限	山本	バドミントン
	3限	松田	テニス
	4限	山本	バドミントン
	4限	松田	テニス
水曜日	1限	門間	バドミントン
	2限	門間	ソフトボール
	3限	山本	バドミントン
	3限	門間	サッカー
	4限	山本	バドミントン
	4限	門間	サッカー
木曜日	1限	寺田	ニュースポーツ
	2限	寺田	ニュースポーツ
	3限	杉山	ゴルフ
	3限	山本	バドミントン
	4限	山本	バドミントン
金曜日	2限	杉山	バレーボール
	3限	杉山	バドミントン
	4限	杉山	バドミントン

### 【評価方法】

70点＝(欠席回数/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等



## 健康と運動

杉山 和

### 【授業の概要】

現代社会は、運動不足による体力の低下、過食による肥満など健康を阻害する要因が増加している。スポーツ種目の実践を通して、健康の保持増進への理解を深めることを目的とする。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。
- ・ゴルフについては、実習費（600円）を必要とします。

〔ゴルフ〕

1. ガイダンス
2. グリップ、スタンス、アドレス
- 3～6. アイアン練習（ショート・ミドルアイアン）
- 7～8. ウッド練習（1、3ウッド）
9. 学外のゴルフ練習場にて練習
- 10～14. 総合練習
15. 学外のゴルフ練習場にて練習

〔バレーボール〕

1. ガイダンス
2. ボールに慣れる、構え、動きの基本姿勢
3. サーブの種類と打ち方
- 4～6. パス、トス、レシーブ、スパイク、ブロック
- 7～15. ゲームの進め方、ルール説明、ゲーム

〔バドミントン〕

1. ガイダンス
- 2～3. ラケットワーク
4. ストローク練習（アンダーハンドを中心に）
5. ストローク練習（サイドハンドを中心に）
6. ストローク練習（オーバーヘッドを中心に）
- 7～15. ゲームの進め方、ルール説明、ダブルスゲーム

### 【評価方法】

70点－（欠席回数/授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## 健康と運動

山本啓子

### 【授業の概要】

現代社会は、運動不足による体力の低下、過食による肥満など健康を阻害する要因が増加している。スポーツ種目の実践を通して、健康の保持増進への理解を深めることを目的とする。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

〔バドミントン〕

1. ガイダンス
2. 歴史的ゲームの追体験（シングルスゲーム）
3. ラケットワーク
4. ストローク練習（アンダーハンドを中心に）
5. ストローク練習（サイドハンドを中心に）
6. ストローク練習（オーバーヘッドを中心に）
7. ゲームの進め方、ルール説明
8. ダブルスゲーム（フォーメーションを中心に）
- 9～15. ダブルスゲーム

### 【評価方法】

70点－（欠席回数/授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## 健康と運動

松田秀子

### 【授業の概要】

現代社会は、運動不足による体力の低下、過食による肥満など健康を阻害する要因が増加している。スポーツ種目の実践を通して、健康の保持増進への理解を深めることを目的とする。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

〔バドミントン〕

1. ガイダンス
2. バドミントンの特徴・歴史的ゲームの追体験
3. ラケットワーク・フットワーク
- 4～6. 各ストローク練習（軸回転運動を中心に）
7. ゲームの進め方、ルールとマナー
8. ハーフコートでのミニゲーム
- 9～最終授業. ダブルスゲーム、スキルテスト

〔テニス〕

1. ガイダンス
2. ラケットとボールに慣れる（グリップ、スタンス）
3. グランドストローク（フォアハンドを中心に）
4. グランドストローク（バックハンドを中心に）
5. サーブ、レシーブ
6. ボレー、スマッシュ
7. ゲームの進め方、ルールとマナー
8. ダブルスゲーム（フォーメーションを中心に）
- 9～最終授業. ダブルスゲーム、スキルテスト

### 【評価方法】

70点－（欠席回数/授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## 健康と運動

寺田邦昭

### 【授業の概要】

現代社会は、運動不足による体力の低下、過食による肥満など健康を阻害する要因が増加している。スポーツ種目の実践を通して、健康の保持増進への理解を深めることを目的とする。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・毎週、40名の受講生を2グループに分け、2種目を交代で履修する。
- ・2～8週までのうち、雨天の場合には、9～12週に予定しているインドア種目に変更して実施する。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

〔ニュースポーツ〕

1. ガイダンス
- 2～6. フライングディスク
- 7～8. ベタンク、ターゲット・バード・ゴルフ
- 9～10. インディアカ、ミニテニス
- 11～12. ダーツ、ソフトバレー
- 13～15. グループによる遊びの創作と発表会

### 【評価方法】

70点－（欠席回数/授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等



## 健康と運動

門間 博

### 【授業の概要】

現代社会は、運動不足による体力の低下、過食による肥満など健康を阻害する要因が増加している。スポーツ種目の実践を通して、健康の保持増進への理解を深めることを目的とする。

### 【授業計画】

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

〔バドミントン〕

1. ガイダンス
- 2～3. ラケットワーク
4. ストローク練習（アンダーハンドを中心に）
5. ストローク練習（サイドハンドを中心に）
6. ストローク練習（オーバーヘッドを中心に）
- 7～15. ゲームの進め方、ルール説明、ダブルスゲーム

〔ソフトボール〕

1. ガイダンス
2. キャッチボールの基本、練習、ゲーム
- 3～5. バッティングの基本、練習、ゲーム
- 6～8. 守備の基本、練習、ゲーム
- 9～11. リーグ戦 1
- 12～15. リーグ戦 2、まとめ（記録整理・レポート）

〔サッカー〕

1. ガイダンス
2. 個人技能の確認
- 3～5. ボールコントロールの正確性、巧みに運ぶための基本技術、基本技術を生かしたミニゲーム
- 6～7. 個人技能をもとにチーム編成をし、ミニゲーム
- 8～10. ミニゲームのリーグ戦
- 11～15. リーグ戦、まとめ（記録整理・レポート）

### 【評価方法】

70点－（欠席回数/授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点・参加の態度・種目理解度等

## ボランティア論

矢島洋子

### 【授業の概要】

ボランティアは今や新しい時代を生きて行くための行動様式のひとつになっている。ボランティア先進国アメリカの実例にふれながら、ボランティアの成り立ち、その存在意義や方法論などについて講義する。

### 【授業計画】

1. ボランティアの思想
2. アメリカのボランティア活動（1）
3. アメリカのボランティア活動（2）
4. アメリカのボランティア活動（3）
5. ヨーロッパのボランティア活動
6. 日本のボランティアの変遷
7. 特定非営利活動促進法（NPO法）
8. 日本のボランティア活動（1）災害とボランティア
9. 日本のボランティア活動（2）高齢者とボランティア
10. 日本のボランティア活動（3）障害者とボランティア
11. 日本のボランティア活動（4）開発とボランティア
12. 日本のボランティア活動（5）難民とボランティア
13. ボランティアの課題

ビデオの活用や当事者による講義も予定している。ボランティアを具体的に理解できる授業を心がけたい。

### 【評価方法】

おもに期末試験により評価する。期中にレポートなどを提出させた場合は、これを成績評価に反映させる。なお、出席率は受験資格にはしない。

### 【テキスト】

使用しない。適宜、資料などを配布する。

### 【参考文献・資料】

- ボランティア学を学ぶ人のために（内海成治他編 世界思想社）
- フィランソロビーの思想：NPOとボランティア（林雄二郎他 日本経済評論社）他

## 現代社会と福祉

見平 隆

### 【授業の概要】

多くの人々が人間らしい生活を営むには、社会的な福祉は避けられない問題である。しかし、「福祉はいかにあるべきか」という課題と解決策は難しい問題でもある。現代社会の福祉について具体的事例にふれて講義する。

### 【授業計画】

1. 現在の生活から社会の現状を知る
2. 福祉とは何かを考える
3. ライフサイクルと福祉の関わりを考える
4. 日本と世界の福祉の現状を知る
5. 現代社会の福祉をめぐる問題を考える
6. これからの福祉の課題を考える

一つのテーマについて1回から数回講義するが、授業についての質問などを適宜書いてもらい、次の授業に反映したい。できるだけプリントを配布する。

### 【評価方法】

定期試験の結果および授業で指示した課題提出により評価する。出席率は受験資格にはしない。

### 【テキスト】

社会福祉キーワード 補訂版（平岡公一・平野隆之・副田あけみ著 有斐閣）

### 【参考文献・資料】

授業中に紹介する。

## 手話・点字

堀 正和

### 【授業の概要】

手話・点字について聴覚障害者や視覚障害者のコミュニケーションや文化におけるその役割や歴史と実践的技術・方法論を講義する。

### 【授業計画】

1. 視覚障害概要
2. 視覚障害者のコミュニケーション方法
3. 点字の概要
4. 点字演習
5. 聴覚障害概要
6. 聴覚障害者のコミュニケーション方法
7. 手話の概要
8. 手話演習

### 【評価方法】

点字や手話の読み取りや表現のテストにより行う。

### 【テキスト】

点訳のしおり・点字器付き（日本点字図書館）及び手話教室入門（全日本ろうあ連盟出版局）



## スポーツ文化論

勝部篤美

### 【授業の概要】

スポーツが文化であることを歴史的社会的事実から論証し、スポーツの生成、発展、衰退に関する諸要因について考え、現代社会における「人間性復権」について展望する。

### 【授業計画】

1. スポーツは遊びから出発し、技能を追求する。
2. スポーツは競争と協力の両面をもち、フェアプレイの精神によって成り立つ。
3. スポーツには富と閑暇が関係し、社会生活と関係が深い。
4. スポーツには教育、政治、科学が関係する。
5. スポーツは地理的環境に影響されることが大きい。
6. スポーツは「強いもの」から「弱いもの」へと対象を拡げつつある。
7. スポーツは「強いこと」から「美しいこと」へと対象を拡げつつある。
8. スポーツは今や人間性の復権へ向って進む。

### 【評価方法】

単位認定試験の成績と出席状況によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず。参考図書は授業のとき指示する。

## 生き物の世界

石崎宏矩

### 【授業の概要】

地球上には多種・多様な動物や植物が生存しているが、それぞれ進化しながら今日の生態系を成している。動物や植物の分類、分布、食性などの基礎知識を学ぶとともに、自然環境保護の視点を視野に入れながら、生き物の世界について講義する。

### 【授業計画】

次のような項目について講義する。○カイコはどうしてクワしか食べないのか○モンシロチョウの雄はどのようにして雌を見分けるか○生物がもっている時計（生物時計）とはどういうものか、時差ボケはどうして起こるか○モンシロチョウの蛹はどのようにして寒い冬をのりこえるか○アヒルのひなは生まれて初めて見た生き物を親として認識し、終生変わらない（刷り込み）。刷り込みの起こる機構は？○生命が地球上に生まれてから40億年、さまざまな生物はどのようにして進化してきたのか、DNAの性質、遺伝子の突然変異、自然淘汰とは。

他に、NHKスペシャル「生命-40億年はかな旅」他のVTRを放映し、解説を加える。

全体として、生物の進化、近未来における地球上の生命-人間を含めての危機について、正しく理解してもらえようとする。

### 【評価方法】

出欠、レポート、試験によって総合評価する。欠席した時は、友人のノートを見せてもらって、内容を理解しておくこと。試験問題が、たまたま欠席した日の授業内容だったからといって白紙であれば、特に区別はしない。

### 【テキスト】

進化とはなんだろうか（長谷川真理子著 岩波ジュニア新書）。これを読んで要約をレポートとして提出してもらうことを単位修得のための必須作業として課する。

### 【参考文献・資料】

随時、授業で指示する。図書館に備えてあるので、自主的に勉強してほしい。

## スポーツ文化論

松田秀子

### 【授業の概要】

スポーツが文化であることを歴史的社会的事実から論証し、スポーツの生成、発展、衰退に関する諸要因について考え、現代社会における「人間性復権」について展望する。

### 【授業計画】

1. スポーツは遊びから出発する
2. スポーツは技能を追求する
3. スポーツは競争と協力の両面をもつ
4. スポーツはフェアプレイの精神によって成り立つ
5. スポーツは自己実現を志向させる
6. スポーツは舞踊とともに祭礼と結びついていた
7. スポーツには富と閑暇が関係する
8. スポーツは社会生活と関係が深い
9. スポーツには教育が関係する
10. スポーツには政治が関係する
11. スポーツには科学が関係する
12. スポーツには地理的環境に影響されることが大きい
13. スポーツには民族性が反映される
14. スポーツには商業主義がつきまとう
15. スポーツにはジャーナリズムがつきまとう
16. スポーツはガス抜き装置としての役割を果たす
17. スポーツのルールは法の体系に似た構造をもつ
18. スポーツは「強いもの」から「弱いもの」へと対象を拡げつつある
19. スポーツは「強いこと」から「美しいこと」へと対象を拡げつつある
20. スポーツは今や人間性の復権へ向って進む
21. スポーツの生成・発展・衰退の過程は、文化の場面と同じである

### 【評価方法】

出席状況・レポート・単位認定試験によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

使用せず。  
必要に応じて参考資料を配付し、参考書籍を指示する。

## 生き物の世界

服部一三

### 【授業の概要】

地球上には多種・多様な動物や植物が生存しているが、それぞれ進化しながら今日の生態系を成している。動物や植物の分類、分布、食性などの基礎知識を学ぶとともに、自然環境保護の視点を視野に入れながら、生き物の世界について講義する。

### 【授業計画】

- |         |   |
|---------|---|
| 第1回     | 1. 生物界の分類<br>2. 生物の進化   |
| 第2-6回   | 3. 植物と人の関わり<br>1) 農耕の始まり<br>2) 世界の農耕文化<br>3) 日本農耕文化の起源と発展   |
| 第7-8回   | 4. 人が手を加えた植物-作物<br>1) 作物とは？<br>2) 世界の作物の起源  |
| 第9回     | 5. 作物改良の原理と方法<br>1) 作物改良の原理<br>(1) メンデルの法則-遺伝学<br>(2) 遺伝の物質的基礎  |
| 第10回    | 2) 作物の改良方法  |
| 第11-12回 | 6. バイオテクノロジー<br>1) バイオテクノロジーとは？<br>2) 作物の改良とバイオテクノロジー<br>(1) 細胞・組織培養<br>(2) 遺伝子操作<br>(3) バイオテクノロジーで得られた作物をいかに考えるか？<br>(1) 倫理<br>(2) 安全性 |

### 【評価方法】

受講資格についてはあえて問わないが、成績評価には出席点を重視し、単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【参考文献・資料】

下記の書籍を参考書籍として使用するが、テキストなどを作成して講義を進めるので、特に買い求める必要はない。  
生物的自然と人間（平田豊著 開成出版）



## 人類と宇宙

安野志津子

### 【授業の概要】

宇宙観の始まり、星の生と死、地球の生成と進化など、日進月歩の宇宙の科学の課題をふまえつつ、人類にとっての宇宙についても考察する。

### 【授業計画】

ー地球のまわり、太陽系、銀河系を知り、宇宙を身近に引き寄せるためにー

1. 宇宙観の変遷
2. 宇宙を観測する手段
3. 太陽系を探る
4. 星の世界
5. 銀河から宇宙へ
6. 宇宙の始めと未来

毎回プリントを配布し、講義を主とするがその内容を中心としたOHP、ビデオ等も利用する。また、講義に関連した質問を出してもらい次回に解答する。なお、随時ホットな話題も取り入れたい。

### 【評価方法】

基本的には、期末テスト（配布プリント、ノート持ち込み可）によるが、出席状況も考慮して判定する。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

- (1) 宇宙論のすべて（池内了 新書館）
- (2) 星と宇宙の物理学読本（並木雅俊 丸善）
- (3) 見えてきた宇宙の神秘（野本陽代 草思社）
- (4) 太陽 ーその素顔と地球環境との関わりー（ケネス.R.ラング著 渡辺 堯・桜井邦朋訳 シュプリンガー・フェアラーク東京）

## 環境保護論

田部一史

### 【授業の概要】

現代は地球規模で自然の環境破壊が進んでいる。自然を守り環境を保護する立場から、生物とそれを取りまく外的環境の問題点を、身近な例をあげて講義する。

### 【授業計画】

- 第1講 序論：自然に学ぶ
- 第2講 森林破壊：森はいのちの母である
- 第3講 砂漠化：世界は水を失いつつある
- 第4講 地球温暖化と異常気象：人為による地球の異常
- 第5講 大気汚染と酸性雨：自然も文明も溶かし去る
- 第6講 フロンとオゾンホール：降りそそぐ有害紫外線
- 第7講 いのちのしくみ1：細胞レベル
- 第8講 いのちのしくみ2：個体レベル
- 第9講 環境汚染とがん：人工化学物質の氾濫
- 第10講 環境ホルモン：いのちのつながりを絶つ
- 第11講 生態系のバランス：人の手で壊される自然
- 第12講 生命の多様性：大量絶滅
- 第13講 環境保護：いのちと自然を守る

### 【評価方法】

出席状況、レポートおよび単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

使用せず。必要に応じてプリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

授業中に指示する。

## 生命の科学

林 博司

### 【授業の概要】

動物の生命の誕生、生体を構成する物質の生殖と遺伝の仕組み、生命の維持や変異するためのメカニズムと機能などについて講義する。

### 【授業計画】

1. 命の惑星地球
2. 命の理解に必要な物理と化学のエッセンス
3. 命を支える器官
4. 器官を作る細胞。
5. 細胞の仕組み
6. 分子機械としての生命
7. 分子機械の設計図：遺伝子
8. 遺伝子の働き
9. 遺伝子を操作する
10. 細胞を操作する
11. 器官を操作する
12. 遺伝子と環境のかかわり

以上12講を実験・映像資料も用いておこなう。

### 【評価方法】

出席点と小テストの得点で総合的に評価する

### 【テキスト】

指定しない

### 【参考文献・資料】

講義中に適宜触れる

## 食品の科学

千葉善根

### 【授業の概要】

基礎的な科学と食品の科学とのかかわり、食品の持つ機能や性質、貯蔵などを学び、食品と酵素の関係や科学物質としての理解を深め、多様化した食生活や加工食品の氾濫の中で生活に役立つ講義をする。

### 【授業計画】

1. 現代食生活の問題点  
食生活の変化と食糧資源について。
2. 糖質と食品  
デンプンの機能と利用、食物せんい、最近の甘味料について。
3. たんぱく質と食品  
変性と加工・調理との関係、加工食品と食物性たんぱく質の利用。
4. 脂質と食品  
脂肪の性質と脂肪酸、油脂の劣化、乳化と乳化学品。
5. 無機質と食品  
骨粗鬆症等。
6. ビタミン  
食品加工・調理との関係、生物学的触媒としての働き。
7. 発酵食品  
食品と酵素・微生物との関係。

### 【評価方法】

定期試験にて評価。

### 【テキスト】

使用しない（プリント配布）。



## 暮らしの化学

八代 有

### 【授業の概要】

健康で豊かな生活を維持していくには、化学の知識と活用は必要不可欠である。身近な生活に拘わる化学的な要素について事例をあげて学ぶ。

### 【授業計画】

1. 栄養のバランスと健康増進を考える
2. 食品成分の化学と食品の安全性
3. ビタミンの化学的性質と疾病とのつながり
4. 生活習慣の改善と疾病予防
5. 薬についての正しい認識
6. 薬が生体に影響を与える因子
7. 尿・血液成分のしくみ
8. 暮らしのなかの酵素の働き
9. 話題となった環境公害
10. 生活のなかでの不思議

### 【評価方法】

テストおよび出席状況により総合的に判定する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず、プリントを適宜配布する。

## 文学2 (中国)

寺尾 剛

### 【授業の概要】

中国の歴史と文化は古く、その影響は世界に与えているが、特に日本文学が受けたものは大きい。中国の代表的な古典を中心に紹介し、鑑賞するとともに、中国文学への興味と関心を高めたい。

### 【授業計画】

毎回、一つのテーマを取り上げ、それにまつわる文学作品を鑑賞していく。

1. 男装の麗人・木蘭の物語
2. 和蕃公主・王昭君の物語
3. 亡国の美女・西施の物語
4. 万里の長城秘話・孟姜女の物語
5. 詩仙李白と酒の歌
6. 詩聖杜甫とそのヒューマニズム
7. 南宋の詩人・陸游～その愛の悲劇
8. 中国の詩人とその妻～悼亡詩の系譜
9. 『封神演義』～中国小説の世界
10. 中国の笑い話～下ネタは下品か?
11. 『論語』の世界～孔子、人生を語る

などを予定している。

### 【評価方法】

出席、平常点と試験。

### 【テキスト】

プリント

### 【参考文献・資料】

教場で指示する。

## 文学1 (日本)

堀尾幸平

### 【授業の概要】

日本の文学史について概説し、日本文学の特徴や外国文学の影響などについてもふれる。古典から近・現代までの著名な作品や名作も鑑賞し、日本文学への興味と関心を高める。

### 【授業計画】

1. 文学とは何か
2. 明治期の文学
3. 坪内逍遙、二葉亭四迷
4. 三輪弘忠、巖谷小波
5. 大正期の文学
6. 小川未明、鈴木三重吉
7. 千葉省三、浜田廣介
8. 少年詩、童謡、金子みすゞ
9. 昭和期の文学
10. 佐藤紅緑、江戸川乱歩
11. 宮澤賢治
12. 新美南吉、坪田謙治
13. 平成期の文学
14. 創作方法理論
15. 試験

### 【評価方法】

定期試験、レポート、出席状況等によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

新日本児童文学論 (堀尾幸平著 中日文化 2,200円)

### 【参考文献・資料】

授業中に適宜紹介する。

## 文学3 (欧米)

小野迪雄

### 【授業の概要】

西洋の文学史や文学思潮を概説し、特にイギリス文学・アメリカ文学を中心に代表的な作品について紹介し、鑑賞して、外国の文学への興味と関心を高める。

### 【授業計画】

本年度はアメリカ文学を中心に講義をする。アメリカは移民の国として、先進国の中では非常に遅い出発をした国であるが、それだけに歴史の古い国にみられる伝統に欠ける面があるものの、他の先進国にみられない文学の活力や著しい特徴がある。アメリカの文学作品には、どんな特質や問題があるのか考えていく。時間の制約上、個々の作品を細かく扱うことが難しいので、中心は作品を生みだした社会的背景や文学思潮におく。話の展開の中でイギリス文学や日本文学にもふれる。

### 【評価方法】

レポートや受講態度を加味するが、評価の中心は定期試験による。

### 【テキスト】

未定。必要に応じてプリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

授業時に紹介する。



## 現代の芸術 1 (書道)

森美恵子

### 【授業の概要】

現代の芸術としての書道の意味と意義について概説し、中国や日本の名筆についても鑑賞する。書写は楷書・行書・草書などを書作し、技法の向上をはかり、書道への関心を高める。

### 【授業計画】

楷書・行書・草書の古法帖を拡大臨書コピーし、その手本に基づき書作した清書作品を提出する。

書写中心であるが、中国の書論に則り、古法帖の概略等も講ずる。

### 【評価方法】

授業内で提出する平素の成績物及び出席状況等にて総合的に評価する。

### 【テキスト】

書の鑑賞と学び方 (上田桑鳩 教育図書研究会)

## 現代の芸術 1 (書道)

小川晃治

### 【授業の概要】

現代の芸術としての書道の意味と意義について概説し、中国や日本の名筆についても鑑賞する。書写は楷書・行書・草書などを書作し、技法の向上をはかり、書道への関心を高める。

### 【授業計画】

講義、実技を一日の時間内に進める。前後期共通の為、各時代の書美、他の美術、文学の対比についての講義は概論とする。現代社会に於ける書美と、日本人の美意識を探求することを基準として進める。

### 【評価方法】

レポート三種、実技作品、学習態度、出欠状況などによる。

### 【テキスト】

担当者の小文、古典法帖。

## 現代の芸術 2 (音楽)

志水博子

### 【授業の概要】

現代芸術としての音楽の意味と意義について概説し、洋楽・邦楽の名曲についても鑑賞する。音楽に関する基礎や知識を学び、歌唱力や鑑賞力の向上をはかり、音楽への関心を高める。

### 【授業計画】

- 第1回 名演奏家によるオペラのビデオ鑑賞
- 第2回 声の出るしくみを知る
- 第3回 腹式呼吸と身体のつかい方の練習
- 第4回 ビデオ鑑賞
- 第5回 発声練習と歌唱
- 第6回 ビデオ鑑賞
- 第7・8回 ピクニックや集会でのやさしいハーモニーの楽しみ方練習
- 第9～12回 各自の課題による実技発表とアドバイス

### 【評価方法】

授業内での実技演奏（各自の得意とする歌唱又は楽器の演奏、アンサンブル可）と出席状況

### 【テキスト】

楽譜プリントは配布

## 現代の芸術 2 (音楽)

浅田まり子

### 【授業の概要】

現代芸術としての音楽の意味と意義について概説し、洋楽・邦楽の名曲についても鑑賞する。音楽に関する基礎や知識を学び、歌唱力や鑑賞力の向上をはかり、音楽への関心を高める。

### 【授業計画】

- 第1講 音楽について
- 第2講 発声のしくみ
- 第3講 ヴォイストレーニング1 (自然体)
- 第4講 音楽療法 1 (歴史と機能)
- 第5講 ヴォイストレーニング2 (呼吸法)
- 第6講 サウンドスケープ (音の風景)
- 第7講 音楽療法 2 (受容性)
- 第8講 音のしくみ1 (メロディーとリズム)
- 第9講 ヴォイストレーニング (楽器の確保)
- 第10講 音のしくみ2 (コードなど)
- 第11講 音楽と旅
- 第12講～発表

\*音楽の機能を健康的に活かし、自己満足的な音楽ではなく、人とコミュニケーションができる音楽を目指します。

\*発表は、個人・またはグループでジャンルを問わない演奏の発表。  
(歌・ギター・ピアノ・コンピューターミュージックなど)

### 【評価方法】

実技・感想・出席状況・授業態度

### 【テキスト】

授業中に指示



## 現代の芸術3 (美術)

横山萬里

### 【授業の概要】

現代芸術としての美術の意味と意義や東西の流派を概説し、西洋や日本の名画についても鑑賞する。美術や絵画への興味と関心を高める。

### 【授業計画】

国宝に指定されている古い絵画あるいは日本の伝統的な絵巻のなかから鳥獣人物戯画を取りあげて日本画の表現、色彩方法を講義する。他、筆ペンにて墨線の模写をしてみる。

また、授業の中で名古屋市内の美術館を訪問し、古画現代画にふれる。

- ・日本画の特徴
- ・鳥獣人物戯画の説明
- ・鳥獣人物戯画における線の強弱と動き
- ・日本画の模写について
- ・日本画の鑑賞

美術館入場料 500円程

筆ペン 500円

費用 計 1,000円

### 【評価方法】

出席状況と感想文レポート(2回提出)線描の模写10種を総合的に評価。

### 【テキスト】

日本の絵巻6「鳥獣人物戯画」

コピーした図を見る。

### 【参考文献・資料】

無料、用意有

## 現代の芸術4 (映画)

吉村英夫

### 【授業の概要】

現代芸術としての映画の意味と意義を概説し、映画の歴史についてもふれ、名作を鑑賞する。ヨーロッパやアメリカ映画などとの比較の視点から日本映画の特徴などを講義し、映画への興味と関心を高める。

### 【授業計画】

映画の楽しさを知ろう! セミ・クラシック映画の魅力を考える。モノクロ映画は見えない学生もいる。黒澤明は誰もが知っているが、彼のダイナミックな映像を見えない学生が意外に多い。欧米、日本を通じて、かつて素晴らしい映画が見つられ、その伝統の上に現代映画が出来上がったことを知りたい。現在の大学生が生まれる以前の映画をセミ・クラシックと考え、優れた映画を参考上映し、その魅力を満喫しながら、映画芸術への理解を深める。古い映画がすばらしいことを知る入門講座としての役割を果たしたい。

参考上映する作品として検討中のもの(予定)

- \* 世界最初の映画、無声映画とチャップリン映画
- \* 『用心棒』(『七人の侍』)黒澤明監督作品
- \* 『砂の器』野村芳太郎
- \* 『幸福の黄色いハンカチ』(『男はつらいよ』)山田洋次
- \* 『生れてはみたけれど』小津安二郎
- \* 『十二人の怒れる男』シドニー・ルメット
- \* 『シェーン』ジョージ・スティーヴンス
- \* 『OK牧場の決闘』ジョン・スターージェス
- \* 『北北西に進路を取れ』アルフレッド・ヒッチコック
- \* 『ウエスト・サイド物語』ロバート・ワイズ
- \* 『ダーティ・ハリー』ドン・シーゲル
- \* 『ロッキー』ジョン・G・アビルドセン
- \* その他

### 【評価方法】

\*学期末のテスト \*随時提出のレポート \*出席 \*テキストは使用しない

## 現代の芸術4 (映画)

HIGH, Peter B.

### 【授業の概要】

映画の意味と意義を概説し、映画の歴史についてもふれ、名作を鑑賞する。アメリカ映画を題材として使って、映画芸術とは何かを考察

### 【授業計画】

授業のやり方としては、映画(全体又は部分)を見終わってから教室で、ディスカッションを行った後、各自、次の授業までに自分の分析を短い文章(原稿用紙2・3枚程度)にまとめて提出する。

課題:「古典ハリウッド映画」の表現手法

今学期、四つの映画を分析対象とする:

- 1) 『駅馬車』(STAGECOACH, 1939年作品、監督: John Ford)
- 2) 『マルタの鷹』(MALTESE FALCON, 1941年作品、監督: John Huston)
- 3) 『市民ケーン』(CITIZEN KANE, 1941年作品、監督: Orson Welles)
- 4) 『第三の男』(THE THIRD MAN, 1949年作品、監督: Carol Reed)

現代の芸術4(映画)の学期末評価は3つの宿題に基づく(学期末試験はない):

- 宿題1:「マルタの鷹」の対極的分析の図(文章化する必要はない)
- 宿題2:「市民ケーン」の対極的分析(原稿用紙3-4枚の文章)
- 宿題3:「第三の男」の対極的分析(原稿用紙3-4枚の文章):この三つの宿題は学期末試験として扱われる

\*今学期学ぶこと:

- 1) 映画分析のための技術:
  - a. セグメンテーション(SEGMENTATION=映画を見ながら、ノーツの取り方)
  - b. 対極的分析法(映画ドラマにおける対立、競争、衝突などに焦点を絞って、ドラマの構造を分析すること)
- 2) 典型的なハリウッド映画(1930年代から現在の「スター・ウォーズ」や「ターミネーターIII」等)にいたるまでのスタイルとストーリーの語り方:
  - a. 「因果的關係」とドラマの盛り上げ方
  - b. FABULA(ファビュラ)=観客が頭の中で作る「映画のストーリーの世界」対SUZHET(シュージェット、つまり「プロット」)=画面から与えられた「映画のストーリーの世界」を作るための「材料」や「ヒント」
  - c. ハリウッド映画はどうやって「リアリズム」の感覚を作り上げるのか
  - d. ハリウッド映画を見ている時に、どうして観客は「自分が映画を見てるんだ」ということを忘れるのか
- 3) ハリウッド映画におけるGENRE(ジャンル)の役割

### 【評価方法】

出席と宿題によって、評価される

### 【テキスト】

テキストはありません。教材は適時配布します。

## 現代の芸術5 (演劇)

海上宏美

### 【授業の概要】

現代芸術としての演劇の意味と意義について概説し、ヨーロッパや日本の演劇の歴史についてもふれる。内外の代表的な演劇について解説し、演劇への興味と関心を高める。

### 【授業計画】

1. 現代芸術としての演劇は多様であるため、演劇を軸としながら国内外のダンス、パフォーマンス、アートを重要な参照項として見ていく。
2. 身体を用いる表現であるため現代の思想やジェンダーとも切り離して考えることはできないので、その関わりを探っていく。
3. 戯曲=テキストの存在が演劇にとって大きな要素なので、演劇における戯曲=テキストの位置の変遷を概説する。
4. 演劇が行われる「劇場」というものがどのような時代思潮を具現しているものなのかを、ヨーロッパと日本の劇場を比較しつつ検討する。
5. 演技というものを身体と言語の関係から見直し、演技というものの在り方を歴史的視点から批評的に見ていく。

授業は上演ビデオや参考スライドを鑑賞しながら進めていく。

### 【評価方法】

レポートの提出と出席状況で評価する。また、実際に劇場等で上演される現代の上演芸術(演劇に限定しない)を見ることを求める。

### 【テキスト】

テキストは使用しない。

### 【参考文献・資料】

授業内で適宜指示する。



## 伝統芸能

林 和利

### 【授業の概要】

国際化が進み、さまざまな異文化にふれる機会も多くなったが、日本の伝統文化にも目を向けることが大切だ。伝統文化の中でも芸能・演劇を中心に講義する。舞楽・能・狂言・歌舞伎・文楽など、実際の舞台をビデオ等で確認しつつ、その歴史や演技・作品などについて講じる。

### 【授業計画】

1. 授業の目的と方針を提示。
2. 日本芸能演劇史概説
3. 芸能の発生について
4. 神楽について
5. 伎楽・舞楽・散楽について
6. 田楽について
7. 猿楽について
8. 能について
9. 狂言について
10. 歌舞伎について
11. 文楽について

また、学外の舞台芸術を有料で鑑賞することもありうる。

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験により総合的に評価する。

### 【テキスト】

日本文化論序説（林和利著 青山社）

## 現代マナー論

近藤乃美子

### 【授業の概要】

人間関係の円滑な親和を保つために必要な基本的マナーを学ぶ。身近な実例をとりあげて講義する。

### 【授業計画】

講義方式による。授業中、適宜プリントを配布する。

1. マナーの基本
2. 会話と傾聴
3. 身だしなみとおしゃれ
4. 服装 フォーマルとカジュアル
5. 訪問と応接 和風
6. " 洋風
7. 茶菓のマナー
8. 贈答のマナー
9. 冠婚のマナー
10. 葬祭のマナー
11. 食事のマナー
12. パブリックマナー

### 【評価方法】

出席状況、授業態度、期末試験等により総合的に評価する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。

### 【参考文献・資料】

参考文献・資料はなし。

## 文章表現

青木 健

### 【授業の概要】

マルチメディアの発達で文章を書く機会が少なくなっているため、自らの意思を文章で表現することが苦手な人も増えている。文章を作り、書くために必要な基礎知識や構成について具体例を示しながら講義する。

### 【授業計画】

- 第1回 人は言葉の織物である。(伝達と表現1)
- 第2回 現代の口語表現について。(伝達と表現2)
- 第3回～9回  
例文をテキストに、文章の構成、語法、リズム、形容修辭法など具体的に講義。
- 第10回～12回  
課題を3回提出し、短文(2～5枚、400字詰)を書かせ、そこから文章表現についての共通の問題点を抽出する。

### 【評価方法】

出席状況、3回の提出原稿などを基準として評価する。

### 【テキスト】

当方にて用意します。参考書籍は授業中に数冊指示します。

## 言語表現

三久保角男

### 【授業の概要】

マルチメディアの発達で人と人が直接的な会話をするのが少なくなり、話すことが苦手な人が増えている。人前で話すことや自分の意志を言葉で伝えるための基礎的な技術を身につける講義をする。

### 【授業計画】

1. 話し言葉概論  
ことばの機能 話し言葉の特徴 共通語と方言
2. 日本語の音声 1 (発声)  
呼吸法 音声器官 発声法
3. 日本語の音声 2 (発音)  
音素 子音 母音 アクセント
4. 話し言葉の表現  
スピード ポーズ イントネーション プロミネンス
5. 話し言葉の実践  
敬語 スピーチ ディベート
6. 朗読

講義が中心になるが、可能な限りの実践を伴う授業にする。

### 【評価方法】

レポート。

### 【テキスト】

必要に応じてプリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

授業中に紹介する。



## メディア表現

鎌田基子

### 【授業の概要】

情報化社会の発達と技術の進歩で、さまざまなメディアが新しい表現を生み、文化を形成している。現在あるメディアの構造と伝達の仕組みやかかわりについて、講義と実践をまじえながら考察する。

### 【授業計画】

1. どこからどこまでがメディアなのか
2. 「編集」がもつ創造力
3. 「伝える」と変化する
4. 人を動かす力
5. 自分との対話
6. 「コンセプト」の功罪
7. 共感する/させる
8. 心を開かなければならないとき

ほぼ毎回WORK SHOPを行なう。一項目に関する講義が複数回にわたる場合もあるので、極力遅刻、欠席のないよう注意してもらいたい。

状況により、可能であればゲストを招いての授業も計画する。

### 【評価方法】

レポートによる。

### 【テキスト】

テキストは使用せず、資料を配布する。

## 職業と人生

伊藤義明 江原昭善 中村 薫 都築久義 山脇正雄 伊藤義尚  
渡邊一正 高平ゆかり 神谷利徳 石田好江 伊藤健治

### 【授業の概要】

将来の職業選択に当たっての必要事項や現代の企業社会の実態、企業へ就職するための基礎知識などをガイダンスする。

### 【授業計画】

5年～10年先の社会発展を展望したとき、学生に求められる資質、即ち「職業人としての心構え」「学識」「専門的スキル」などを社会の第一線で活躍中の学識経験者とプロフェッショナルによるオムニバス形式の連続講演により、具体的に語ってもらいます。

- |   |       |
|---|-------|
| 第1講：動物の社会と人間の社会   | 4月14日 |
| 講師：江原昭善 京都大学名誉教授 日本福祉大学コミュニティースクール校長                            |       |
| 第2講：仕事をすること（勤労の意味を考える）  | 21日   |
| 講師：中村 薫 文学博士 同朋大学大学院教授  |       |
| 第3講：趣味と仕事   | 28日   |
| 講師：都築久義 愛知淑徳大学教授  |       |
| 第4講：この道一筋（職人の生き方—ものづくりのための人づくり）                                 | 5月12日 |
| 講師：山脇正雄 岐阜大学客員教授 前デンソー工業技術研修センター所長（技能オリンピック金メダル選手の指導者）          |       |
| 第5講：自己発見の試み（自分の思考傾向を知り、他者とのコミュニケーション技法を学ぶ）                      | 19日   |
| 講師：伊藤義尚 ブランディングコンサルタント G-Tech.Resource代表                        |       |
| 第6講：多様な働き方（リクルートの専門家が語る）  | 26日   |
| 講師：渡邊一正 リクルート メディアプロデューサー 編集長                                   |       |
| 第7講：専門性を身に着ける（文科系のスキル—女性プロが専門性を身につけるための経験や社会で活躍する人の行動パターンを熟く語る） | 6月2日  |
| 講師：高平ゆかり 株式会社メイフホールディング事業本部副本部長                                 |       |
| 第8講：専門性を身に着ける（その2—プロフェッショナルの世界）                                 | 9日    |
| 講師：神谷利徳 住空間デザイナー 有限会社神谷デザイン事務所長（全国的に著名なワードサービスデザイナーに聞く）         |       |
| 第9講：生涯教育と働く環境   | 16日   |
| 講師：渡邊一正 リクルート メディアプロデューサー 編集長                                   |       |
| 第10講：男女共同参画社会の展望  |       |
| 講師：石田好江 本学現代社会学部教授 本学ジェンダー・女性学研究所所長                             | 23日   |
| 第11講：国際化と職業選択（外資系企業の特長）   | 30日   |
| 講師：伊藤義明 ACCJ在日米商工会議所中部支部ディレクター                                  |       |
| 第12講：インターンシップ   | 7月7日  |
| 講師：伊藤健治 日本碍子株式会社人事部採用研修マネージャー                                   |       |
| 第13講：総括（学生との対話）   | 14日   |

### 【評価方法】

最後に簡単なレポートを提出

### 【テキスト】

原則使用しない一人によりレジメまたはパワーポイント使用

## 生涯学習論

五島敦子

### 【授業の概要】

現代は生涯学習の必要性和重要性が強く説かれている。社会の構造が複雑になるとともに高齢化社会も進む中で、生涯学習の意義と学び方について、身近な事例をふまえて講義する。

### 【授業計画】

1. 生涯学習とは何か
  - (1) 生涯学習の提唱
  - (2) 生涯学習の理念
2. 生涯学習の機会
  - (1) ライフサイクルと生涯学習
  - (2) 社会教育施設の意義
  - (3) 高等教育機関の役割
  - (4) 地域づくりへの参加
  - (5) 子どもの生活と生涯学習
  - (6) 高齢者の学習機会
  - (7) 職場における学習機会
  - (8) 情報化社会における学習情報
3. 現代生涯学習の課題
  - (1) 生涯学習政策の動向
  - (2) 教育改革と生涯学習体系化への移行

### 【評価方法】

レポート、授業内小テスト、出席状況による総合評価

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない

### 【参考文献・資料】

生涯学習と社会参加—おとなが学ぶことの意味  
(佐藤一子 東京大学出版会 1998年)  
社会教育と学校シリーズ・生涯学習社会における社会教育  
(鈴木 真理・佐々木 英和 学文社 2003年)

## 一般心理学

青柳真紀子

### 【授業の概要】

心理学の研究対象と研究方法を明らかにし、行動科学としての心理学を展望する。心理学の一般的方法論や心理学の各領域における基礎的知識を概説する。

### 【授業計画】

1. 無意識の世界
2. 動機づけ
3. ストレスとタイプA性格
4. 錯視の不思議
5. 学習
6. 記憶
7. パーソナリティ
8. 対人関係
9. 態度変容
10. 集団の心理

### 【評価方法】

試験の成績、レポート、出席状況などから総合的に評価する。

### 【テキスト】

随時資料を配布する。



## 一般心理学

加藤智宏

### 【授業の概要】

心理学の研究対象と研究方法を明らかにし、行動科学としての心理学を展望する。心理学の一般的方法論や心理学の各領域における基礎的知識を概説する。

### 【授業計画】

- a. 知覚と感覚
- b. ノンバーバルコミュニケーション
- c. 愛着
- d. アイデンティティ
- e. 学習と記憶
- f. 忘却と変容
- g. 防衛機制と無意識
- h. 心理療法
- i. 心理テスト
- j. 個人・社会・環境

以上について、それぞれ1～2回の講義を予定しています。

また応用分野として、環境心理学や犯罪心理学についても紹介していく予定です。

### 【評価方法】

出席状況と試験の成績によって総合的に評価します。

### 【テキスト】

使用しません。授業中に資料を配付します。

## 一般社会学

長濱一夫

### 【授業の概要】

社会学は人間同士の関係に視座を置いて、個人・社会集団、社会事象について研究する学問である。社会学の領域と一般的研究方法や基礎的知識について概説する。

### 【授業計画】

以下のそれぞれのテーマを主たる切り口とし（順序は入れ替わることがあります）、私たちの社会生活について考えを深めていきたい。

- (1) 社会学とはどんな学問か—個人と社会—
- (2) 都市と農村—地域社会の変容—
- (3) 都市化の進展—その光と陰—
- (4) 人々の暮らし—「出稼ぎ」という暮らし方—
- (5) 現代社会における「豊かさ」と「貧困」  
—国際社会を視野に—
- (6) 高齢化社会と家族

授業は講義形式で行いますが、VTRなども随時、利用していきます。また、人数によっては、意見・感想を求めたり、ディスカッションしてもらうこともあります。

### 【評価方法】

試験（レポートor筆記）および出席状況、平常点によって評価します。

### 【テキスト】

使用しません。

## 法律学

大嶽 浩

### 【授業の概要】

社会生活は「法」という社会規範の中で営まれている。「法」は憲法をはじめ、各種さまざまな領域にわたって制定している。法とは何かという問題を中心に各種の法について概説し、日常生活に関連する法についてもふれる。

### 【授業計画】

1. 法学の入門書と文学作品
2. 法学学習と文学作品
3. 法学学習の方法
4. 法学と政治と文学
5. 法学と活字
6. 法学と批評

### 【評価方法】

試験とレポートによる評価。

### 【テキスト】

使用せず。プリントを配布。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

## 政治学

西尾林太郎

### 【授業の概要】

政治体制や政治制度について概括的に学びながら、現実の政治の動態を日本と諸外国と比較しながら学習する。時事問題や日常的な話題にもふれつつ講義を進める。

### 【授業計画】

1. 国内政治と国際政治
  - a 国際社会とは？
  - b 国民国家、ナショナリズム、外国為替
  - c トランス・ナショナル現象、相互依存性の増大
  - d イスラム原理主義とグローバルスタンダード
2. 古典的デモクラシーとマス・デモクラシー
  - a 市民社会と大衆社会
  - b 立法国家と行政国家
3. 現代の政治過程
  - a 政治と利益団体、NPO
  - b 選挙、官僚、議会
  - c マスメディアとマスコミュニケーション
4. 政治権力とは何か
  - a 人間はどのようにして支配を受け容れるか？
  - b リーダー・シップ、エリート
  - c 支配、被支配の心理
5. 戦後国際社会と日本の政治
  - a 冷戦構造と55年体制
  - b 利権の構造

### 【評価方法】

試験（配布資料と自筆ノートのみ持込可）と出席状況による。

### 【テキスト】

暮らしから考える政治（姜尚中著 岩波ブックレットNo.564）



## 経済学

細野義晴

### 【授業の概要】

経済の仕組みと役割について、マクロ経済とミクロ経済の双方の視点から基礎的知識を学ぶ。日常生活や時事問題としての経済学的事象についてもふれ、経済学を身近なものにする。

### 【授業計画】

1. 経済のしくみの全体像  
マクロの経済とミクロの経済、GDP統計のしくみ、など。
2. 日本の経済と景気  
日本経済の発展と構造変化、日本の景気変動、など。
3. 個人のくらしと経済  
個人の消費行動、消費と貯蓄、など。
4. 企業の経済活動  
企業の投資活動、モノの値段とインフレ・デフレ、など。
5. 政府の経済活動  
財政のしくみと役割、財政事情の悪化と財政再建、など。
6. 金融のしくみと経済  
お金と金融機関の役割、中央銀行の役割と金融政策、金融のビッグバン、など。
7. 日本と世界の経済  
経済のグローバル化と国際収支、外国為替市場と外国為替相場の変動、国際機関の役割、欧州の通貨統合、など。

### 【評価方法】

単位認定試験の成績に出席状況を加味して評価する。

### 【テキスト】

使用しない

### 【参考文献・資料】

- (1) 入門の入門 経済のしくみ (大和総研著 日本実業出版社)
- (2) 図解雑学 マクロ経済学 (井堀利宏著 ナツメ社)

## 物理学

坂井貞彦

### 【授業の概要】

人間の生命に関する分野を除く、自然現象を、数量的、法則的に把握し、普遍的法則や原理を見つけ出すという物理学の基礎を学ぶ。身近な現象の中から物理学的な観察や視野を持てる力を涵養する。

### 【授業計画】

講義方式による。実験は行わない。テキスト及び授業中に配布するプリントの記述のうち基本的なものを説明し、物理学への関心を高める。

- 1 はじめに
- 2 運動と力
- 3 振動と波動
- 4 光と電磁波
- 5 かたちと流れ
- 6 熱とエネルギー
- 7 電気と磁気
- 8 相対性理論
- 9 量子力学
- 10 素粒子

### 【評価方法】

おもに期末試験(筆記)による。(毎回欠席を調査する。欠席回数が多い場合は受験資格を失う。)期中にレポートを提出させた場合は、成績評価に反映させる。

### 【テキスト】

入門ビジュアルサイエンス・物理のしくみ (小暮陽三 日本実業出版社)

## 数学

岡田克彦

### 【授業の概要】

数学は膨大な体系を持つ学問体系であるが、主要な分野の入門的、基礎的な事項を解説する。日常生活はさまざまな数学の恩恵を受けて成り立っているため、暮らしの中の数学といったことにもふれてみたい。

### 【授業計画】

以下の各項目について説明し、演習を行う。

- 1 確率
- 2 統計、偏差値
- 3 ベクトル
- 4 微分
- 5 積分
- 6 物理学への応用

### 【評価方法】

課題及び試験で評価する。

### 【テキスト】

特に使用しない。随時プリントを配布する。

## 統計学

鈴木有美

### 【授業の概要】

さまざまな情報が氾濫している現代社会は、情報処理の手段として統計学は不可欠である。統計学の基本的な概念と手法を講義し、社会統計が現代社会にどのようにかかわっているか、いかに必要かを講義する。

1. 変数の性質
2. 度数分布
3. 基礎統計量—代表値・散布度・尖度・歪度
4. 正規分布
5. 2変量の関係—相関・回帰・連関
6. 母集団と標本
7. 統計的推定—点推定・区間推定
8. 統計的検定—母平均検定・母分散検定
9. 平均値の差の検定—t検定・分散分析
10. ノンパラメトリック検定

### 【授業計画】

講義の内容については、基本的に上記の順に進めるが、受講者の理解・興味に応じて構成していく予定である。また、講義で学んだことについて理解を深めるための課題を随時設ける。

### 【評価方法】

課題の提出とその結果、および定期試験の結果をあわせて評価する。

### 【テキスト】

本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本 (吉田寿夫著 北大路書房)

### 【参考文献・資料】

授業中に紹介する。



下記の科目は、本年度開講しません。

## 生物学

### 【授業の概要】

生物の発生、生命、形態、生態、生理、分類など、生物学の各分野の基礎を概説する。身近な生物学的諸問題についてもふれ、生活に役立つ生物学を講義する。



## 英語コミュニケーション1 (TOEIC I)

山田久美子 NORRIS, Harry T. 他

### 【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い国際コミュニケーション英語能力テストTOEICに向けての基礎的な能力を、文法や語彙など基本事項に重点を置いて身につける。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、文法や語彙などの基本事項の整理を行うのがこの授業の目標である。この目標を達成するために、この授業では、本学に導入しているコンピュータを利用した英語学習システムALC NetAcademy (アルクネットアカデミー) の「初級・中級コース」を活用して、文法や語彙などの基本事項を再確認し、その定着を図る。具体的には、以下のよう

1. 受講生による演習問題への解答
2. 授業担当者による問題解説
3. 演習問題を利用したディクテーション、シャドーウィング、ペア・プラクティスなど
4. Speed ListeningとSpeed Reading機能を活用した速聴・速読練習
5. 確認テストの実施

「初級・中級コース」のうち、「TOEICテスト演習コース」(10ユニット)と「TOEICテストパート演習コースpart V」(20ユニット)の合計30ユニットを修了させることが目標である。

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進度についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

(長久手キャンパス)

13 *Grammatical Keys to the TOEIC Test*: TOEICテスト頻出文法13ポイント

(西谷敦子著 朝日出版社)

*TOEIC Test: Grammatical Trainer* (大学生のためのTOEICテスト英文法)

(高山芳樹著 南雲堂)

以下未定

(星が丘キャンパス)

掲示・配布物にて指示する。

## 英語コミュニケーション3 (Listening II)

石橋千鶴子 NORRIS, Harry T. 他

### 【授業の概要】

英語をより正確に聞き取り、パラグラフや会話文の要点を把握できるようになるための発展的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、会話文・説明文などの内容を正確に把握できるリスニング力を養成することがこの授業の目標である。

この目標を達成するために、さまざまな音声教材、CALLシステムなどを活用し、以下の内容で授業を進める。

1. 英語のリズムとイントネーションの習得
2. 連結・脱落・同化などの聞き取り
3. 数字・地名の聞き取りと、日本人英語学習者が発音・聞き取りを不得手としている音の練習
4. ディクテーション
5. シャドーイング
6. 短文・長文の暗唱
7. ペア・プラクティス

授業で取り上げた教材を、何度も繰り返し声に出して発音する練習を通じて、英語らしいリズムとイントネーションの習得とともに、語彙力と表現力も身につける。英語を頭の中で日本語に置き換えるのではなく、英語を英語として聞き理解できるようにするために、大量・高速の英語を聞く。

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進度についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

掲示・配布物にて指示する。

## 英語コミュニケーション2 (Listening I)

山田久美子 NORRIS, Harry T. 他

### 【授業の概要】

短いフレーズを中心とした英語を正確に聞き取れるようになるための基礎的な能力を、LL教材を用いて演習形式で身につける。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、基礎的なリスニング力を養成することがこの授業の目標である。この目標を達成するために、音声教材、CALLシステムなどを活用し、以下の内容で授業を進める。

1. 英語のリズムとイントネーションの習得
2. 連結・脱落・同化などの聞き取り
3. ディクテーション
4. シャドーイング
5. 短文・長文の暗唱
6. ペア・プラクティス

様々な場面における対話や応答、状況説明などの聞き取りを通じて、語彙の増強と基本的な英語表現の習得も図る。

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進度についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

(長久手キャンパス)

*A New Approach to Natural English*:

ShadowingによるTOEIC, TOEFL制覇 (矢作三蔵著 開文社出版)

リスニング・トレーナー: TOEIC対応レベル別練習

(千田潤一著 朝日出版社)

*Work Sheets for Compact English Listening*:

ワークシート方式リスニングの基本演習 (船田秀佳著 北星堂書店)

以下未定

(星が丘キャンパス)

掲示・配布物にて指示する。

## 英語コミュニケーション4 (Reading I)

横関美津紀 DYCUS, David C. 他

### 【授業の概要】

英文の内容を早く、正確に読みとれる能力を身につけるために、さまざまなタイプの英文を多読・速読する。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、英文の内容を早く、正確に読みとれるようになることがこの授業の目標である。具体的には、1分あたり150語以上のスピードで英文を読み、英語を日本語に訳すのではなく、英語を英語として読み、分からない単語があっても前後の文脈から意味を推測し、パラグラフごとの要点を把握するための訓練を行う。速読の訓練には、本学に導入しているコンピュータを利用した英語学習システムALC NetAcademy (アルクネットアカデミー) のSpeed Reading機能も活用する。授業は以下の内容で進める。

1. 社会・経済、世界の情報、自然科学、文化、広告文などの実用的な英文などさまざまな分野の英文の読解
2. 語彙力の増強
3. 文法事項の整理
4. 練習問題・確認テストなど

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進度についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

(長久手キャンパス)

*Exploring Cultural Issues: Practice in the TOEIC Test Format*

(異文化で学ぶTOEICテスト総合演習) (清水義和他著 成美堂)

*5-Minute Quizzes for TOEIC: Reading* (TOEICのリーディング対策)

(木村恒夫他著 マクミラン ランゲージハウス)

以下未定

(星が丘キャンパス)

掲示・配布物にて指示する。



## 英語コミュニケーション5 (TOEIC II)

松本一喜 DYCUS, David C. 他

### 【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い国際コミュニケーション英語能力テストTOEICに向けての発展的な能力を身につけ、英語の総合力を高めることを目標とする。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、リスニング力とリーディング力を総合的に向上させることがこの授業の目標である。この目標を達成するために、この授業では、本学に導入しているコンピュータを利用した英語学習システムALC NetAcademy (アルクネットアカデミー) の「スタンダードコース」を活用して、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。具体的には、以下のように授業を進める。

1. 「スタンダードコース」の「レベル診断テスト」の受験 (学生の習熟度にきめ細かく対応するため)
2. 受講生による演習問題への解答
3. 授業担当者による問題解説
4. 演習問題を利用したディクテーション、シャドーイング、ペア・プラクティスなど
5. 確認テストの実施

「スタンダードコース」のうち、「リスニング力強化コース」(50ユニット)と「リーディング力強化コース」(50ユニット)の全100ユニットを修了させることが目標である。

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進捗についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

掲示・配布物にて指示する。

## 英語コミュニケーション7 (Oral Communication II)

LONG, Jonathan E.B. 他

### 【Course Content】

ネイティブ・スピーカーの教員によって、実用英会話の応用的な力を身に付ける。

This pre-intermediate course, aims to further develop students' English proficiency by focusing on the practical English skills that will enable them to communicate their needs, views and ideas. Topics commonly included in TOEIC tests will be used as themes for these oral encounters.

Reading, Writing and Listening tasks will be used only as preparation for oral activities. For example, dialogues and roll plays may be used to set the scene for further discussion. The dialogues may be text based or student designed (i.e. homework).

### 【Schedule】

Topics will include such things as: Leisure and Recreation, The Weather, Advertising, Commuting and Transportation, Banking and Shopping.

### 【Assessment】

25% Attendance  
25% Homework  
50% Class-work/Participation/Tests

### 【Textbooks】

To be announced

## 英語コミュニケーション6 (Oral Communication I)

WILLIAMS, Allen D. 他

### 【Course Content】

ネイティブ・スピーカーの教員によって、実用英会話の基礎的な力を身に付ける。

This course aims to develop students' basic English proficiency by focusing on the practical English skills that will enable them to communicate their needs, views and ideas. Topics commonly included in TOEIC tests will be used as themes for these oral encounters.

Reading, Writing and Listening tasks will be used only as preparation for oral activities. For example, dialogues and roll plays may be used to set the scene for further discussion. The dialogues may be text based or student designed (i.e. homework).

### 【Schedule】

Topics will include such things as: Office Conversations, Travel Situations, Talking about Occupations, On the Telephone, Eating out and other TOEIC type situational conversations.

### 【Assessment】

25% Attendance  
25% Homework  
50% Class-work/Participation/Tests

### 【Textbooks】

To be announced

## 英語コミュニケーション8 (Reading II)

石橋千鶴子 DYCUS, David C. 他

### 【授業の概要】

さまざまなタイプの英文の内容を正しく把握できるように、英文精読のトレーニングを行う。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、目的に応じた英文の読み方があることを知り、ある程度のまとまった長さの英文を読みとれるようになることがこの授業の目標である。長い文章は、全体のテーマに行き着くまでに、いくつかのパラグラフが組み合わされてできている。このため、英文の内容を正しく把握するためには、パラグラフごとの要点を把握し、異なるパラグラフが論理的にどのような関係にあるのか、筆者の主張・論点・メッセージは何かを理解する必要がある。授業は以下の内容で進める。

1. 長文の大意把握
2. 語彙力の増強
3. 文法事項の整理
4. 練習問題・確認テストなど

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進捗についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

掲示・配布物にて指示する。



## ASU TOEIC I E

天野純子 太田晶子

### 【授業の概要】

TOEICスコア470点以上の学習者を対象とする全学向けのTOEIC対策講座。日本人教員担当の「ASU TOEIC I」、ネイティブスピーカー担当の「ASU TOEIC II」から成る。最高期に2コマ（I、IIの両科目を受講した場合）、4年間続けて履修できる。週1回に2単位とする。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。毎回、授業外での読解演習（60分×7日×13回）とリスニング演習（60分×7日×13回）（それぞれ91時間相当）が課せられる。課題は毎回チェックされる。授業中に演習に取り組む態度、出席、課題などにより総合的な評価を行う。

### 【授業計画】

第1回 オリエンテーションおよび模擬演習

第2回～第14回 演習・解説、Vocabularyテスト

- ・1週間の宿題の範囲からVocabularyの小テスト・採点・解説（15分）
- ・前回の宿題で間違いが多かった点の解説（15分）
- ・演習（文法問題・Reading・リスニング）（30分）
- ・問題解説（25分）

第15回 模擬テスト

- \*宿題 読解演習・文法問題（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）
- リスニング演習（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）

### 【評価方法】

出席・演習に取り組む態度・宿題の遂行度合いなどにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

掲示（外国語教育センターの掲示板）を参照のこと。

## ASU TOEIC I F

天野純子 太田晶子

### 【授業の概要】

TOEICスコア470点以上の学習者を対象とする全学向けのTOEIC対策講座。日本人教員担当の「ASU TOEIC I」、ネイティブスピーカー担当の「ASU TOEIC II」から成る。最高期に2コマ（I、IIの両科目を受講した場合）、4年間続けて履修できる。週1回に2単位とする。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。毎回、授業外での読解演習（60分×7日×13回）とリスニング演習（60分×7日×13回）（それぞれ91時間相当）が課せられる。課題は毎回チェックされる。授業中に演習に取り組む態度、出席、課題などにより総合的な評価を行う。

### 【授業計画】

第1回 オリエンテーションおよび模擬演習

第2回～第14回 演習・解説、Vocabularyテスト

- ・1週間の宿題の範囲からVocabularyの小テスト・採点・解説（15分）
- ・前回の宿題で間違いが多かった点の解説（15分）
- ・演習（文法問題・Reading・リスニング）（30分）
- ・問題解説（25分）

第15回 模擬テスト

- \*宿題 読解演習・文法問題（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）
- リスニング演習（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）

### 【評価方法】

出席・演習に取り組む態度・宿題の遂行度合いなどにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

掲示（外国語教育センターの掲示板）を参照のこと。

## ASU TOEIC II E

STEPHENSON, Brett DUNKLEY, Daniel

### 【授業の概要】

TOEICスコア470点以上の学習者を対象とする全学向けのTOEIC対策講座。日本人教員担当の「ASU TOEIC I」、ネイティブスピーカー担当の「ASU TOEIC II」から成る。半期に2コマ（I、IIの両科目を受講した場合）、4年間続けて履修できる。週1回に2単位とする。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。毎回、授業外での読解演習（60分×7日×13回）とリスニング演習（60分×7日×13回）（それぞれ91時間相当）が課せられる。課題は毎回チェックされる。授業中に演習に取り組む態度、出席、課題などにより総合的な評価を行う。

### 【授業計画】

第1回 オリエンテーションおよび模擬演習

第2回～第14回 演習・解説、Vocabularyテスト

- ・1週間の宿題の範囲からVocabularyの小テスト・採点・解説（15分）
- ・前回の宿題で間違いが多かった点の解説（15分）
- ・演習（リスニング・Reading）（30分）
- ・問題解説（25分）

第15回 模擬テスト

- \*宿題 読解演習・文法問題（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）
- リスニング演習（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）

### 【評価方法】

出席・演習に取り組む態度・宿題の遂行度合いなどにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

掲示（外国語教育センターの掲示板）を参照のこと。

## ASU TOEIC II F

STEPHENSON, Brett DUNKLEY, Daniel

### 【授業の概要】

TOEICスコア470点以上の学習者を対象とする全学向けのTOEIC対策講座。日本人教員担当の「ASU TOEIC I」、ネイティブスピーカー担当の「ASU TOEIC II」から成る。半期に2コマ（I、IIの両科目を受講した場合）、4年間続けて履修できる。週1回に2単位とする。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。毎回、授業外での読解演習（60分×7日×13回）とリスニング演習（60分×7日×13回）（それぞれ91時間相当）が課せられる。課題は毎回チェックされる。授業中に演習に取り組む態度、出席、課題などにより総合的な評価を行う。

### 【授業計画】

第1回 オリエンテーションおよび模擬演習

第2回～第14回 演習・解説、Vocabularyテスト

- ・1週間の宿題の範囲からVocabularyの小テスト・採点・解説（15分）
- ・前回の宿題で間違いが多かった点の解説（15分）
- ・演習（リスニング・Reading）（30分）
- ・問題解説（25分）

第15回 模擬テスト

- \*宿題 読解演習・文法問題（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）
- リスニング演習（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）

### 【評価方法】

出席・演習に取り組む態度・宿題の遂行度合いなどにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

掲示（外国語教育センターの掲示板）を参照のこと。



## 上級英語セミナー 2004A

WRINGER, Paul

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

### 【Schedule】

Topics will be covered over a two to three week period and will include a variety of interesting and motivating themes selected mostly by the teacher.

First semester (AESa)  
Personal information  
Travel & vacations  
Strange phenomena  
Entertainment  
Crime & capital punishment  
Controversy

### 【Assessment】

Assessment will be continual and based on the following criteria:

ATTENDANCE  
CLASS PARTICIPATION / EFFORT  
HOMEWORK AND ASSIGNMENTS  
END OF SEMESTER REPORTS  
TOEIC SCORES

### 【Textbooks】

To be announced.

「上級英語セミナー2004A」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WRINGER, Paul先生(木曜日1限)、CURRAN, Beverley先生(金曜日5限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004A

CURRAN, Beverley

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

### 【Schedule】

Each week, in my class, a different student will be responsible for selecting a topic and introducing a discussion about it in English. The other students will listen with attention and then continue the discussion through their own questions and comments. The goal in each class is to engage in animated discussion for 90 minutes, giving each student an opportunity to grow more comfortable and confident in initiating and continuing a conversation or discussion in English. Special guests will also be invited to the class to talk about themselves with the students in a relaxed and supportive atmosphere.

### 【Assessment】

Assessment will be based on participation and effort.

### 【Textbooks】

No text required.

「上級英語セミナー2004A」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WRINGER, Paul先生(木曜日1限)、CURRAN, Beverley先生(金曜日5限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004B

WRINGER, Paul

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

### 【Schedule】

Topics will be covered over a two to three week period and will include a variety of interesting and motivating themes selected mostly by the teacher.

Second semester (AESb)  
The past  
Current events in the news  
Relationships  
Food & Health  
Fashion  
The world of work

### 【Assessment】

Assessment will be continual and based on the following criteria:

ATTENDANCE  
CLASS PARTICIPATION / EFFORT  
HOMEWORK AND ASSIGNMENTS  
END OF SEMESTER REPORTS  
TOEIC SCORES

### 【Textbooks】

To be announced.

「上級英語セミナー2004B」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WRINGER, Paul先生(木曜日1限)、CURRAN, Beverley先生(金曜日5限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004B

CURRAN, Beverley

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

### 【Schedule】

In the second semester, discussions will continue, and students will be encouraged to take more responsibility for engaging in discussion and offering support to the speaker through a thoughtful consideration of the topic. Each week will be a chance to grow closer as a group of engaged language learners whose communal energy will motivate individual student growth in English ability and self-confidence. Special guests will also be invited to the class to talk to the students in English in a relaxed but lively atmosphere.

### 【Assessment】

Assessment will be based on participation and effort.

### 【Textbooks】

No text required.

「上級英語セミナー2004B」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WRINGER, Paul先生(木曜日1限)、CURRAN, Beverley先生(金曜日5限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。



## 上級英語セミナー 2004C

横山綾子

### 【授業の概要】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

習得した英語を使い、さらに通訳になるための訓練に進むと、今までの学習内容とは異なったものも要求される事に気がつくでしょう。それは言語の知識、訳出技術に加え論理的思考や外国人と心のcommunicationをしたいと思うか、未知の事柄や社会の問題を知りたいと思う好奇心があるか…等です。

さらに人に頼らず判断し、自分の考えを表現する自主性も大切です。このクラスではニュース記事とテープを使い、時事英語の知識と通訳に欠かせぬFIFO(First in First out)の技術を体得します。さらに自然で美しい日本語への訳し方、学習した時事問題を分かりやすい英語で話す練習もします。

Memoを取りspeedyな訳出も出来るようになって欲しいと思います。最終的には国際的な場面で社会の問題を話し合える知識と技術を身に付ける、そして国際交流に貢献をして欲しいと希望します。

### 【授業計画】

第一回

通訳一般概論 Sight translation

第二～十回

The Student Timesからの記事使用(テープ)

Shadowing Sight translation メモ取り

逐次通訳演習

同時通訳入門

### 【評価方法】

出席状況 平常の実技評価 Translation test

### 【テキスト】

The Student Times その他

「上級英語セミナー2004C」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(水曜日3限)、Long, Jonathan E.B.先生(木曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004D

横山綾子

### 【授業の概要】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

習得した英語を使い、さらに通訳になるための訓練に進むと、今までの学習内容とは異なったものも要求される事に気がつくでしょう。それは言語の知識、訳出技術に加え論理的思考や外国人と心のcommunicationをしたいと思うか、未知の事柄や社会の問題を知りたいと思う好奇心があるか…等です。

さらに人に頼らず判断し、自分の考えを表現する自主性も大切です。このクラスではニュース記事とテープを使い、時事英語の知識と通訳に欠かせぬFIFO(First in First out)の技術を体得します。さらに自然で美しい日本語への訳し方、学習した時事問題を分かりやすい英語で話す練習もします。

Memoを取りspeedyな訳出も出来るようになって欲しいと思います。最終的には国際的な場面で社会の問題を話し合える知識と技術を身に付ける、そして国際交流に貢献をして欲しいと希望します。

### 【授業計画】

第一回

通訳一般概論 Sight translation

第二～十回

The Student Timesからの記事使用(テープ)

Shadowing Sight translation メモ取り

逐次通訳演習

同時通訳入門

### 【評価方法】

出席状況 平常の実技評価 Translation test

### 【テキスト】

The Student Times その他

「上級英語セミナー2004D」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(水曜日3限)、Long, Jonathan E.B.先生(木曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004C

LONG, Jonathan E.B.

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

In this course the students will use all four language skills to explore the similarities and differences between Japanese and North American cultures. The class activities will include some TOEFL test preparation.

### 【Schedule】

Not yet determined.

### 【Assessment】

This will be a combination of attendance, class participation and homework.

### 【Textbooks】

To be announced.

### 【Reference】

To be announced.

「上級英語セミナー2004C」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(水曜日3限)、Long, Jonathan E.B.先生(木曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004D

LONG, Jonathan E.B.

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

In this course the students will use all four language skills to explore the similarities and differences between Japanese and North American cultures. The class activities will include some TOEFL test preparation.

### 【Schedule】

Not yet determined.

### 【Assessment】

This will be a combination of attendance, class participation and homework.

### 【Textbooks】

To be announced.

### 【Reference】

To be announced.

「上級英語セミナー2004D」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(水曜日3限)、Long, Jonathan E.B.先生(木曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。



## 上級英語セミナー 2004E

WOODMAN, Jo-Anne

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。  
4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

Good translation / interpretation / communication requires, among other things, an extensive knowledge of vocabulary, so this course will require students to demonstrate a vast improvement in their vocabulary - in both written and spoken forms.

Vocabulary lists / tests will be generated from:

- teacher presented materials - (ie. CNN and BBC news broadcasts, as well as a wide gamut of newspaper articles)
- student research - (students will be required to prepare one newspaper article for class discussion each week - this will include preparing an extensive vocabulary list as well as brief background and contextual information about the article)
- TOEIC vocabulary text / materials

The course will deal with contemporary issues throughout the world, so emphasis will be placed on encouraging the students to improve their general knowledge of world affairs.

Inherent in this course will be the need for the students to "think on their feet", that is to say they will have to glean as much information as they can from class presentations and then ask questions and participate in discussions.

### 【Schedule】

The aim of this course is to discuss up-to-date issues, so the schedule will be determined by the current events of the week. However, students should expect to address social, economic, political, religious, environmental, medical and other such issues.

### 【Assessment】

Assessment will include the following components:

- Vocabulary tests - 3 types
- Preparation for (and participation in) class discussions
- Listening comprehension activities
- Attendance

「上級英語セミナー2004E」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WOODMAN, Jo-Anne先生(水曜日4限)、横山先生(火曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004E

横山綾子

### 【授業の概要】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。  
4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

習得した英語を使い、さらに通訳になるための訓練に進むと、今までの学習内容とは異なったものも要求される事に気がつくでしょう。それは言語の知識、訳出技術に加え論理的思考や外国人と心のcommunicationをしたいと思うか、未知の事柄や社会の問題を知りたいと思う好奇心があるか...等です。

さらに人に頼らず判断し、自分の考えを表現する自主性も大切です。このクラスではニュース記事とテープを使い、時事英語の知識と通訳に欠かせぬFIFO (First in First out) の技術を体得します。さらに自然で美しい日本語への訳し方、学習した時事問題を分かりやすい英語で話す練習もします。

Memoを取りspeedyな訳出も出来るようになって欲しいと思います。最終的には国際的な場面で社会の問題を話し合える知識と技術を身に付ける、そして国際交流に貢献をして欲しいと希望します。

### 【授業計画】

- 第一回  
通訳一般概論 Sight translation  
第二～十回  
The Student Times からの記事使用 (テープ)  
Shadowing Sight translation メモ取り  
逐次通訳演習  
同時通訳入門

### 【評価方法】

出席状況 平常の実技評価 Translation test

### 【テキスト】

The Student Times その他

「上級英語セミナー2004E」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(火曜日3限)、WOODMAN, Jo-Anne先生(水曜日4限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004F

WOODMAN, Jo-Anne

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。  
4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

Good translation / interpretation / communication requires, among other things, an extensive knowledge of vocabulary, so this course will require students to demonstrate a vast improvement in their vocabulary - in both written and spoken forms.

Vocabulary lists / tests will be generated from:

- teacher presented materials - (ie. CNN and BBC news broadcasts, as well as a wide gamut of newspaper articles)
- student research - (students will be required to prepare one newspaper article for class discussion each week - this will include preparing an extensive vocabulary list as well as brief background and contextual information about the article)
- TOEIC vocabulary text / materials

The course will deal with contemporary issues throughout the world, so emphasis will be placed on encouraging the students to improve their general knowledge of world affairs.

Inherent in this course will be the need for the students to "think on their feet", that is to say they will have to glean as much information as they can from class presentations and then ask questions and participate in discussions.

### 【Schedule】

The aim of this course is to discuss up-to-date issues, so the schedule will be determined by the current events of the week. However, students should expect to address social, economic, political, religious, environmental, medical and other such issues.

### 【Assessment】

Assessment will include the following components:

- Vocabulary tests - 3 types
- Preparation for (and participation in) class discussions
- Listening comprehension activities
- Attendance

「上級英語セミナー2004F」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WOODMAN, Jo-Anne先生(水曜日4限)、横山先生(火曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004F

横山綾子

### 【授業の概要】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。  
4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

習得した英語を使い、さらに通訳になるための訓練に進むと、今までの学習内容とは異なったものも要求される事に気がつくでしょう。それは言語の知識、訳出技術に加え論理的思考や外国人と心のcommunicationをしたいと思うか、未知の事柄や社会の問題を知りたいと思う好奇心があるか...等です。

さらに人に頼らず判断し、自分の考えを表現する自主性も大切です。このクラスではニュース記事とテープを使い、時事英語の知識と通訳に欠かせぬFIFO (First in First out) の技術を体得します。さらに自然で美しい日本語への訳し方、学習した時事問題を分かりやすい英語で話す練習もします。

Memoを取りspeedyな訳出も出来るようになって欲しいと思います。最終的には国際的な場面で社会の問題を話し合える知識と技術を身に付ける、そして国際交流に貢献をして欲しいと希望します。

### 【授業計画】

- 第一回  
通訳一般概論 Sight translation  
第二～十回  
The Student Timesからの記事使用 (テープ)  
Shadowing Sight translation メモ取り  
逐次通訳演習  
同時通訳入門

### 【評価方法】

出席状況 平常の実技評価 Translation test

### 【テキスト】

The Student Times その他

「上級英語セミナー2004F」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(火曜日3限)、WOODMAN, Jo-Anne先生(水曜日4限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。



## 中国語読解 1 A

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

身近な実用読解文を多くとりあげた教材を通じて中国語の初級段階を総合的に学習し、中国語の文法面・表現面における全体像がつかめるような基礎的能力を養成する。さらに、HSK基礎試験の2級に受かることを目標に定め、〈中国漢語水平考試大綱〉に規定された400～900前後の語彙力と70項目の文法力を身につける。このことで、中国語の平易な文面の読解が可能になると同時に、履修翌学期からHSK試験対策コースである〈HSK基礎コースA〉〈HSK基礎コースB〉の履修が可能になる。

### 【授業計画】

- 1、オリエンテーション
- 2、母音、数字、挨拶
- 3、疑問文、形容詞述語文
- 4、子音、声調、曜日表現
- 5、省略疑問文、疑問詞疑問文
- 6、音節、勧誘表現
- 7、動詞述語文、指示代名詞
- 8、我姓松本。自己紹介
- 9、介詞“和”、副詞“也”“都”
- 10、我的家庭。所有・存在の“有”、名詞述語文
- 11、部分否定文、感嘆表現、変調と軽声
- 12、我們的大学。介詞“給”“在”
- 13、名詞の修飾表現
- 14、我的一天。時の表現、方向補語
- 15、まとめ

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

## 中国語読解 1 B

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

講義の内容等とカリキュラム上の位置づけは〈中国語読解1A〉と大同小異であるが、中国語学習に対して特別に関心を示す学生に対して週2回の受講を可能にするため設定された講義である。ただし、文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が〈中国語読解1A〉と異なっている教材を使用する。このことで、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにするを図る。

### 【授業計画】

読解に必要な、基礎的な表現や文法事項を、特に日本人の苦手な部分に重点を置いて、半期にわたって講義する。

- |      |             |
|------|-------------|
| 第一課  | 発音(1)       |
| 第二課  | 発音(2)       |
| 第三課  | 発音(3)       |
| 第四課  | 発音(4)       |
| 第五課  | 人称代名詞・“是”   |
| 第六課  | 指示代名詞・数詞・量詞 |
| 第七課  | 形容詞と形容詞述語文  |
| 第八課  | 動詞述語文       |
| 第九課  | “有”・年月日     |
| 第十課  | 場所・時間・数量    |
| 第十一課 | 前置詞(介詞)・“了” |
| 第十二課 | 能願動詞        |

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

愛知淑徳大学生のための中国語読解1B(中国語教育委員会編)

### 【参考文献・資料】

教場で指示する。

## 中国語会話 1 A

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

分かりやすい実用会話文を多くとりあげた教材を通じて中国語の初級段階を総合的に学習し、中国語の音声面・表現面における全体像がつかめるような基礎的能力を養成する。さらに、HSK基礎試験の2級に受かることを目標に定め、HSK試験センターより出された〈中国漢語水平考試大綱〉に規定された400～900前後の語彙力と70項目の文法力を身につける。このことで、一般的な挨拶・自己紹介などが可能になると同時に、履修翌学期からHSK試験対策コースである〈HSK基礎コースA〉〈HSK基礎コースB〉の履修が可能になる。

### 【授業計画】

初めて中国語を学ぶ学生を対象に日常会話表現の習得を目指す。

- |      |          |
|------|----------|
| 第一課  | 発音(1)    |
| 第二課  | 発音(2)    |
| 第三課  | 発音(3)    |
| 第四課  | 発音(4)    |
| 第五課  | あいさつ表現   |
| 第六課  | 時間の表し方   |
| 第七課  | 年齢を言う    |
| 第八課  | 家庭を語る    |
| 第九課  | 自分の家を語る  |
| 第十課  | 学校について語る |
| 第十一課 | 趣味について語る |
| 第十二課 | 中国へ行く    |

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

愛知淑徳大学生のための中国語会話1A・2(中国語教育委員会編)

### 【参考文献・資料】

教場で指示する。

## 中国語会話 1 B

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは〈中国語会話1A〉と大同小異であるが、中国語学習に対して特別に関心を示す学生に対して週2回の受講を可能にするため設定された講義である。ただし、文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定などが〈中国語会話1A〉と異なっている教材を使用する。このことで、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにするを図る。

### 【授業計画】

- 1、オリエンテーション
- 2、今天星期幾? 曜日と疑問詞利用の疑問文
- 3、我很高興。省略疑問文、形容詞述語文
- 4、我学习中文專業。能願動詞“能”
- 5、現在幾点? 時間表現、語氣助詞“了”
- 6、我的家庭。介詞“在”
- 7、談天氣。天氣表現、選択疑問文、感嘆文、
- 8、邀請。假定文、反復疑問文、部分否定文
- 9、中間テスト
- 10、我的大学。伝聞の表現
- 11、找手機。目的語位置換えの“把”、結果補語“到”
- 12、喜歡甚麼? 過去の経験表現「V+“過”」  
結果や程度表現「V+“得”」
- 13、幫我。能願動詞“會”
- 14、假期做甚麼? 結果補語“好”
- 15、まとめ

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。



## 中国語読解 2

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

読解学習を通じて中国語の全体像がつかめる基礎的能力を養成する。さらに、HSK基礎試験の3級に受かることを目標に定め、〈中国漢語水平考試大綱〉に規定された900~1500前後の語彙力と140項目の文法力を身につける。HSK試験対策のためには〈HSK基礎コースA〉か、〈HSK基礎コースB〉と並行した履修が望ましく、基礎能力の深度を深めるためには〈中国語会話2〉と並行した履修が望ましい。

### 【授業計画】

- 1、就要放暑假了。語気助詞“了”、介詞“和”
- 2、伝聞の表現、能願動詞“想”“要”
- 3、暑假回家的一天。完了の表現、結果補語“到”
- 4、使役の表現“讓”
- 5、鈴木一家。能願動詞“會”“能”
- 6、過去の経験表現「V+“過”」
- 7、我家的照片。動作の進行・状態の持続などの表現「V+“着”」
- 8、介詞“離”、連動文
- 9、終於習慣了。感嘆表現2
- 10、自己の意見表示
- 11、我做了一個夢。動作の進行表現の「“在”+V」、程度補語と可能補語
- 12、副詞用法の“地”
- 13、我太幸福了。目的語位置換えの“把”、比較の表現、受身文
- 14、暑假的計畫。未完了の表現、許諾の表現
- 15、まとめ

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

## 中国語会話 2

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

主として、身近で分かりやすい実用例文を多くとりあげた会話学習を通じて、中国語の音声面・文法面・表現面における全体像がつかめるような基礎的能力を養成する。さらに、HSK基礎試験の3級に受かることを目標に定め、HSK試験センターより出された〈中国漢語水平考試大綱〉に規定された900~1500前後の語彙力と140項目の文法力を身につける。履修後は、旅先での中国語による買い物などが可能になる。

### 【授業計画】

中国語会話1をクリアした学生が、さらに深く生きた中国語を話せるようになることを目指す。学生が、中国に留学している気分で学習できるように配慮した。

- |      |            |
|------|------------|
| 第一課  | 部屋を借りる     |
| 第二課  | 換金する       |
| 第三課  | 道を尋ねる      |
| 第四課  | 交通機関を利用する  |
| 第五課  | 市場での買い物の仕方 |
| 第六課  | デパート       |
| 第七課  | ホテル        |
| 第八課  | 郵便局        |
| 第九課  | 電話         |
| 第十課  | 中国人宅に訪問する  |
| 第十一課 | レストラン      |
| 第十二課 | スピーチの仕方    |

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

愛知淑徳大学生のための中国語会話1A・2（中国語教育委員会編）

### 【参考文献・資料】

教場で指示する

## HSK 基礎コースA ※聴解中心

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

履修後、HSK基礎試験の2級か3級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される400~1500前後の語彙量とその語彙量に相応する文法力を身につける。

### 【授業計画】

12課編成で授業を進める予定である。まず文法の説明から入り、そのあと、練習問題を解いて、練習問題について解説する。各課の文法のポイントは下記の通りである。

1. “了”や“过”の使い方など
2. “时点”の言い方や“时段”の言い方など
3. “小时”や“钟头”の使い方など
4. “方位词表”について
5. “多会儿”や“哪会儿”の使い方など
6. “该”や“应该”の使い方など
7. 介詞の“朝”、“向”と“往”の使い方
8. 比較表現について
9. “是字句”について
10. “愿意”や“想”の使い方など
11. “趋向补语”について
12. “复合趋向补语”である“下来”や“下去”などの意味について  
授業の予習としてホームページを利用することができる。

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

HSK基礎A

## HSK 基礎コースB ※読解中心

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは〈HSK基礎コースA〉と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が〈HSK基礎コースA〉で用いる教材と異なっている教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。

### 【授業計画】

12課編成で授業を進める予定である。まず文法の説明から入り、そのあと、練習問題を解いて、練習問題について解説する。各課の文法のポイントは下記の通りである。

1. “我”と“你”；“左右”と“前后”など
2. “是”；“语气助词”の“吗”と“呢”など
3. “了”；“形容词谓语句”など
4. “动词+过”と“形容词+过”；“在”など
5. “数量补语”；“头”と“面”など
6. “有字句”；结构助词“地”など
7. “量词的重叠”；“把字句”など
8. “从”と“离”；“一边~一边~”など
9. “都”と“一共”；“程度补语”など
10. “被字句”；“在・正・正在”など
11. “趋向补语”；“多么”など
12. “复合趋向补语”；“是~还是~”など  
授業の予習としてホームページを利用することができる。

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

HSK基礎B



下記の科目は、本年度開講しません。

## 中国語読解 3

### 【授業の概要】

読解中心のテキストを用い、更なる意欲で中国語の表現の学習に励み中国語文の読解力と理解力を一層高めていくための講義である。さらに、HSK初等試験の4級に受かることにねらいを定め、1500～2000前後の語彙量とそれに相応する文法項目をマスターしていく。HSK試験対策のためには< HSK初等コースA >か、< HSK初等コースB >と並行した履修が、中国語コミュニケーションの深度を深めるためには< 中国語会話3 >と並行した履修が望ましい。

## 中国語会話 3

### 【授業の概要】

第二外国語として一年間ほど中国語を学んできた学習者が、生活において日常的に取り上げられる話題を中心に構成された会話のテキストを用い更なる意欲で中国語の表現の学習に励み、中国語によるコミュニケーション能力を一層高めていくための講義である。さらに、HSK初等試験の4級に受かることにねらいを定め、1500～2000前後の語彙量とそれに相応する文法項目をマスターしていく。履修後は家族生活・大学生活などについて語るができる。

## HSK 初等コースA ※聴解中心

### 【授業の概要】

履修後、HSK初等試験の4級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される1500～2000前後の語彙量とそれに相応する文法力をマスターしていく。

## HSK 初等コースB ※読解中心

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは< HSK初等コースA >と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が< HSK初等コースA >で用いる教材と異なる教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。

## 中国語読解 4

### 【授業の概要】

読解中心のテキストを用い、更なる意欲で中国語の表現の学習に励み、中国語の読解力と理解力を一層高めていくための講義である。さらに、HSK初・中等試験の5級に受かることにねらいを定め、2000～2500前後の語彙力とそれに相応する文法力を身につける。HSK試験対策のためには< HSK中等上級コースA >か、< HSK中等上級コースB >と並行した履修が、中国語コミュニケーションの深度を深めるためには< 中国語会話4 >と並行した履修が望ましい。

## 中国語会話 4

### 【授業の概要】

1. 5年間ほど中国語を学んできた学習者が、生活において日常的に取り上げられる話題を中心に構成された会話のテキストを用い更なる意欲で中国語の表現の学習に励み、中国語によるコミュニケーション能力を一層高めていくための講義である。さらに、HSK初・中等試験の5級に受かることにねらいを定め、2000～2500前後の語彙力とそれに相応する文法力を身につける。履修後は趣味生活・地域社会などについて語るができる。

## HSK 中等上級コースA ※聴解中心

### 【授業の概要】

履修後、HSK初・中等試験の5級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される2000～2500前後の語彙力とそれに相応する文法力をマスターしていく。

## HSK 中等上級コースB ※読解中心

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは< HSK中等上級コースA >と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が< HSK初等コースA >で用いる教材と異なる教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。



## 中国語作文 1

### 【授業の概要】

第二外国語として2年間ほど中国語を学んできた学習者が、その間会話と読解を中心に習得してきた中国語の表現力と理解力を活用し、みずから平易な中国語文章が書けることにねらいをさだめる。さらに、HSK中等試験の6級または7級に受かることを目標にし、2500~3500前後の語彙量とそれに相応する文法項目をマスターしていく。

## HSK 中高等コース 1 B ※読解中心

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは<HSK中高等コース1A>と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が<HSK中高等コース1A>で用いる教材と異なる教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。

## 中国語作文 2

### 【授業の概要】

2. 5年間ほど中国語を学んできた学習者が、その間会話と読解を中心に習得してきた中国語の表現力と理解力を活用し、中国語の一般的な文章が書けることにねらいを定める。さらに、HSK中等試験の7級または8級に受かることを目標にし、3500~4000前後の語彙量とそれに相応する文法項目を身につける。履修後は、友人・知人への略式手紙、中国官公署向けの書類作成、中国語による日記・メモの作成などが可能になる。

## HSK 中高等コース 2 B ※読解中心

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは<HSK中高等コース2A>と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が<HSK中高等コース2A>で用いる教材と異なる教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。

## HSK 中高等コース 1 A ※聴解中心

### 【授業の概要】

履修後、HSK中等試験の6級または7級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される2500~3500前後の語彙量とそれに相応する文法力をマスターしていく。

## 同時通訳入門 1

### 【授業の概要】

第二外国語として2年間ほど中国語を学んできた学習者が、その間会話と読解を中心に習得してきた中国語の表現力と理解力を活用し、初歩的な同時通訳ができる実力を養成する。ねらいは、高度な中国語の運用能力を身につけ、実社会で中国語を使った仕事ができることに定める。さらに、HSK中等試験の6級または7級に受かることを目標にし、2500~3500前後の語彙量とそれに相応する文法項目をマスターしていく。

## HSK 中高等コース 2 A ※聴解中心

### 【授業の概要】

履修後、HSK中等試験の7級または8級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される3500~4000前後の語彙量とそれに相応する文法力をマスターしていく。

## 同時通訳入門 2

### 【授業の概要】

2. 5年間ほど中国語を学んできた学習者が、その間会話と読解を中心に習得してきた中国語の表現力と理解力を活用し、平易な同時通訳ができる実力を養成する。ねらいは、高度な中国語の運用能力を身につけ、実社会で中国語を使った仕事ができることに定める。さらに、HSK中等試験の7級または8級に受かることを目標にし、3500~4000前後の語彙量とそれに相応する文法項目を身につける。HSK試験対策のためには<HSK中高等コース2A>か、<HSK中高等コース2B>と並行した履修が、中国語表現の深度を深めるためには<中国語作文2>と並行した履修が望ましい。



## 情報技術基礎 I

西荒井学 他

### 【授業の概要】

情報技術に関する基礎的かつ実践的な知識ならびに技法を習得する。このため、基本的なハードウェア構成および各周辺機器の機能や特徴をはじめ、ソフトウェアの役割、情報社会の特質や問題点にも触れながら、一般的な情報関連知識ならびに情報倫理観を育てる。特に、情報技術の基礎として不可欠なネットワーク利用技術ならびにデータ処理操作技術について、コンピュータ実習を通じて学習する。

### 【授業計画】

1. コンピュータの歴史、原理
2. 情報の表現（2進数、16進数）
3. ハードウェアの仕組みとソフトウェアの役割
4. 情報社会と情報倫理1（ネットワーク犯罪）
5. 情報社会と情報倫理2（情報セキュリティ、知的所有権）
6. 情報収集と分析
7. 情報ツールとマナー
8. インターネット基本操作1（電子メール）実習
9. インターネット基本操作2（WWW）実習
10. EXCEL基本操作1 実習
11. EXCEL基本操作2 実習
12. EXCEL基本操作3 実習
13. EXCEL基本操作4 実習

当該科目については、科目履修前に情報技術に関するテストを実施し、受講者を初級クラスと上級クラスに分け、授業を実施していく。また、講義とコンピュータ実習とを約半々の割合で授業を進行していく。コンピュータ実習を伴うため、授業への出席は不可欠な要素である。また、実習の際にはフロッピー・ディスク（またはMO）を必ず持参すること。

### 【評価方法】

出席状況、学期末試験ならびに各コンピュータ実習課題提出内容によって評価する。

### 【テキスト】

未定

## 情報技術基礎 II

西荒井学 他

### 【授業の概要】

情報技術の基礎となる基本ソフトウェアならびに応用ソフトに関する知識ならびに技法を習得する。また、情報の処理能力や創造力を培うだけではなく、情報の表現方法や表現手段について、コンピュータ実習授業を通して学習していく。このため、基本的な文書書式、文書表現の方法や特徴をはじめ、実際にプレゼンテーション・ツールを利用した発表の手段や方法についても学習する。情報技術基礎 I と同様、今後のより専門的な情報技術に関する知識ならびに技能習得に向けての礎を築く、基盤となる授業科目である。

### 【授業計画】

1. Windows基本操作1（キー・タイピングを含む）実習
2. Windows基本操作2 実習
3. WORD基本操作1 実習
4. WORD基本操作2 実習
5. WORD基本操作3 実習
6. WORD基本操作4 実習
7. プレゼンテーションの概要
8. POWERPOINT基本操作1 実習
9. POWERPOINT基本操作2 実習
10. POWERPOINT基本操作3 実習
11. 総合課題（プレゼンテーション資料作成1）実習
12. 総合課題（プレゼンテーション資料作成2）実習
13. 情報発信の管理と運用

当該科目については、情報技術基礎 I と同じく、受講者を初級クラスと上級クラスに分け、授業を実施していく。また講義とコンピュータ実習とを約半々の割合で授業を進行していく。コンピュータ実習を伴うため、授業への出席は不可欠な要素である。また、実習の際にはフロッピー・ディスク（またはMO）を必ず持参すること。

### 【評価方法】

出席状況、学期末試験ならびに各コンピュータ実習課題提出内容によって評価する。

### 【テキスト】

未定

## 情報技術基礎 III

梅田敏文 他

### 【授業の概要】

情報技術基礎 I、情報技術基礎 II を踏まえ、Windowsの高度操作、WORD、EXCELの高度操作、ACCESSの基本操作を学び、より高度で広範囲な情報技術の知識とスキルを習得する。当授業では、レポートや論文作成、ビジネス文書や表作成などを想定して、実践的なノウハウをコンピュータ実習によって学習する。

### 【授業計画】

1. デスクトップの高度操作
2. ファイルの高度操作
3. ネットワークの操作
4. 学術文書、ビジネス文書の操作（WORD）
5. ビジネス情報処理（EXCEL）
6. マクロ操作（1）
7. マクロ操作（2）
8. ACCESSの概要
9. ACCESSの基本操作（1）
10. ACCESSの基本操作（2）
11. ACCESS総合演習（1）
12. ACCESS総合演習（2）
13. まとめ

### 【評価方法】

コンピュータ実習を中心に授業を進行する。授業を欠席すると実習内容が理解できなくなるので出席が不可欠である。出席状況、学期末試験、課題内容によって評価する。

### 【テキスト】

未定

## ネットワーク技術入門

三和義秀 他

### 【授業の概要】

ネットワーク（network）という言葉は、人間を中心とする情報交換の仕組みとして使われたり、コンピュータを中心とする情報通信の仕組みにおいて使われたりしているが、両者には「情報のやり取り」という一義的な目的が存在し、ネットワークを流れるデータは人間の行動を左右する必要不可欠な情報となっている。本授業では、コンピュータネットワークに関する理論と技術の両側面における基礎知識を習得し、ホームページの作成、およびCGIプログラミングの実習によって、ネットワークの基本的な考え方、意義、活用方法、有効性を体得する。

### 【授業計画】

1. ネットワーク理論の基礎知識（1）：ネットワークの仕組みとその意義
2. ネットワーク理論の基礎知識（2）：情報量と通信速度、プロトコル
3. ネットワーク技術の基礎知識（1）：LANの仕組み
4. ネットワーク技術の基礎知識（2）：サーバの種類と仕組み
5. ネットワーク技術の基礎知識（3）：IPアドレスとファイアウォール
6. HTMLとホームページ（1）：HTMLの仕組み
7. HTMLとホームページ（2）：基本タグの設定、ハイパーリンクの設定、画像の表示
8. HTMLとホームページ（3）：サウンドの再生と動画の再生、ファイルの管理方法
9. CGIプログラミング（1）：CGIの仕組みとPerlプログラミングの基礎知識
10. CGIプログラミング（2）：エディタとFTP、パーミッションの設定
11. CGIプログラミング（3）：formタグによるデータ入力フォームの作成
12. CGIプログラミング（4）：環境変数、関数、文字列変換
13. セキュリティと情報倫理：セキュリティ対策と情報倫理の意味と必要性

### 【評価方法】

出席回数、課題提出、期末試験によって総合評価を行う。

### 【テキスト】

ネットワークリテラシー ユビキタス社会におけるネットワーク活用のテクニック（三和義秀著 共立出版）

コン  
活



## 情報処理技術特殊 I

中野雅晴

### 【授業の概要】

基本情報技術者試験合格のための教育科目である。

情報技術全般の基礎知識を活用し、情報システム開発においてプログラムの設計・開発を行うとともに、将来高度な技術者をを目指す者として、以下の知識・能力を身につける。

- 1) 情報技術全般に関する基本的な用語・内容の知識
- 2) 上位技術者の指導のもとにプログラム設計書を作成する能力
- 3) プログラミングに必要な論理的思考能力
- 4) プログラムのテスト手法を理解し実施する能力

### 【授業計画】

- ステップ1 コンピュータ科学基礎
- ステップ2 データベース技術
- ステップ3 コンピュータシステムの開発と運用
- ステップ4 ネットワーク技術
- ステップ5 情報と経営
- ステップ6 セキュリティと標準化

### 【評価方法】

出席状況・小テストなどで評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 情報処理技術特殊 II

中野雅晴

### 【授業の概要】

ソフトウェア開発技術者試験合格のための教育科目である。

情報システム開発のソフトウェア開発技術者として、外部仕様に基づいて内部設計・プログラム設計・プログラム開発を行い、高品質なソフトウェアを開発するための、以下の知識・能力を身につける。

- 1) ネットワーク、データベース、システム構成などの情報技術に関する一般的な知識と、上位技術者の指導のもとに情報システムの設計ができる能力
- 2) 内部設計書・プログラム設計書の作成能力
- 3) プログラミングに必要な高度の論理的思考能力
- 4) ネットワーク、データベースなどに関する実装技術と知識
- 5) プログラムのテスト手法を熟知し、単体テスト・結合テストの計画と管理が行え、テストの実施についてはプログラム開発要員を指導できる能力

### 【授業計画】

- ステップ1 コンピュータ科学基礎上級
- ステップ2 コンピュータシステム上級
- ステップ3 システムの開発と運用
- ステップ4 ネットワーク技術
- ステップ5 データベース技術
- ステップ6 セキュリティと標準化

### 【評価方法】

出席状況・小テストなどで評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 情報処理技術特殊 III

黒部晃一

### 【授業の概要】

「画像情報技能検定試験CG部門 (CG検定)」の2級合格を目標として、その対策を会得する。2級問題は、3級レベルのCGに関する総合的な知識の他に、厳密な理論的知識をも要求されるので、VCによるCGプログラミングのサンプルを解説することでそれを理解する。

### 【授業計画】

- 配布するサブテキストに基づいて、講義方式で行う。
1. CG概論、CG検定試験2級対策
  2. 各種CGツールの紹介、そのデモンストレーションと作例紹介
  3. VisualC++によるGUIプログラミング
  4. VisualC++によるインターフェースの設計
  5. 平成15年度前期CG検定2級試験問題の検証と分析
  6. 平成15年度前期CG検定2級試験問題の検証と分析
  7. 平成15年度後期CG検定2級試験問題の検証と分析
  8. 平成15年度後期CG検定2級試験問題の検証と分析
  9. 平成14年度前期CG検定2級試験問題の検証と分析
  10. 平成14年度後期CG検定2級試験問題の検証と分析
  11. 演習
  12. まとめ

### 【評価方法】

出席状況で評価

### 【テキスト】

技術編 CG標準テキストブック (画像情報教育振興協会)  
平成16年度版 CG検定2級問題集 (画像情報教育振興協会)

### 【参考文献・資料】

- 入門コンピュータグラフィックス (画像情報教育振興協会)
- 基礎から学ぶVisualC++プログラミング (山岡祥 CQ出版社)

## 情報処理技術特殊 IV

黒部晃一

### 【授業の概要】

「画像情報技能検定試験CG部門 (CG検定)」の1級合格を目標として、その対策を会得する。1級問題は、CGプログラミングのスキルを要求されるので、自ら発案するテーマに基づいたプログラミングの実習を行う。

### 【授業計画】

- 前半は講義方式で、後半は主に実習形式で行う。
1. CG検定試験1級の概要と対策
  2. VisualC++によるGUIプログラミング
  3. 平成15年度CG検定1級試験問題 (マークシート) の検証と分析
  4. 平成15年度CG検定1級試験問題 (記述式) の検証と分析
  5. 平成15年度CG検定1級試験問題 (二次試験) の検証と分析
  6. 平成15年度CG検定1級試験問題 (二次試験) の検証と分析
  7. 平成15年度CG検定1級試験問題 (三次試験) の検証と分析
  8. 平成15年度CG検定1級試験問題 (三次試験) の検証と分析
  9. 自ら提議したテーマに基づいたプログラミング実習
  10. 自ら提議したテーマに基づいたプログラミング実習
  11. 自ら提議したテーマに基づいたプログラミング実習
  12. 自ら提議したテーマに基づいたプログラミング実習、まとめ

### 【評価方法】

出席状況で評価

### 【テキスト】

技術編 CG標準テキストブック (画像情報教育振興協会)  
平成16年度版 CG検定1級問題集 (画像情報教育振興協会)

### 【参考文献・資料】

- コンピュータグラフィックス理論と実践 (J.D.Foley, A.v.Dam, S.K.Feiner F.Hughes オーム社)
- 基礎から学ぶVisualC++プログラミング (山岡祥 CQ出版社)



下記の科目は、本年度開講しません。

## プログラミング入門

### 【授業の概要】

システム開発における基本技術であるプログラミング技術について、その基礎知識を習得する。このため、プログラミング言語が持つ特徴ならびに機能の学習からはじめ、データ処理におけるアルゴリズムについての考え方、ならびに最終的なコーディング作業に至るまでの一連のプログラミング工程について学習する。なお、プログラミングに関する理解は、実際のプログラミング作業を経験していくことが不可欠であることから、コンピュータ実習を並行して行う。

## 情報数学入門

### 【授業の概要】

情報の整理、分析、加工といった処理には、基本的な数学的技術の習得が不可欠である。この講義では、高等学校での数学の復習から始めて、情報処理プログラミングに必要な論理数学、情報量と計算量評価、グラフィック処理で必要となる代数幾何の基礎を学ぶ。

## CG 入門

### 【授業の概要】

コンピュータグラフィックス (CG) に関する基礎知識と基礎技術を習得する。CG を効果的に使用した画像・映像は、産業、科学、映画、ゲーム、芸術、教育など多くの分野にみられる。各分野での応用例を紹介した上で、画像・映像についての知識を身につけ、モデリング・レンダリングについての技術を学び、最後に CG 作成に必要なハード/ソフトについて概説する。

## 人工知能入門

### 【授業の概要】

人工知能とは何か、その基本的な考え方ならびに基本技術および情報処理について、その基礎知識を習得する。知識工学という言葉から類推されるように、工学的色彩が高い分野であることから、最も基礎的な内容に範囲を絞り、出来る限り理解しやすい形で授業を進行していく。そのため、システム事例や技術応用例に触れていくと共に、今後の技術展開や今後の応用分野についても触れていくこととする。



## 現代思想

大野波矢登

### 【授業の概要】

20世紀の英米で展開されてきた倫理学の諸理論（功利主義、義務論、徳理論、等）を中心に、近代以降の西洋倫理思想の歴史を概説する。そして、これらの理論によって与えられた議論の類型や概念装置を理解するとともに、今日のわれわれを取り巻く現実、特に医療、環境、情報、科学技術といった領域で提起されている課題について倫理的視点から考察する。

### 【授業計画】

授業はおもに講義形式で行なう。

1. 倫理的視点から見た現代の社会問題
2. 倫理学理論に関する若干の考察（功利主義、義務論、徳理論、など）
3. 倫理的意思決定の方法
4. 生命と医の倫理
5. 環境の倫理
6. 情報の倫理
7. 科学技術の倫理

### 【評価方法】

出席状況と期末試験の成績によって評価する。

### 【テキスト】

先端技術と人間：21世紀の生命・情報・環境  
(加藤尚武著 NHK ライブラリー)

## 文献入門

櫻木貴子

### 【授業の概要】

「文献」を広く捉え、様々な学問分野において有効な情報源となり得る各種情報メディアを取り上げる。

各情報メディアについて、その定義、歴史、特徴をわかりやすく解説し、その利用法や探し方についても具体例を取り混ぜて紹介する。

なお、履修希望者は図書館オリエンテーションおよび学内LAN講習会を履修前に必ず受講しておくこと。

### 【授業計画】

1. 文献、情報メディアとは
2. 文献および情報メディアの定義、歴史、特徴
  - 2.1 図書
  - 2.2 雑誌
  - 2.3 新聞
  - 2.4 地図
  - 2.5 絵画
  - 2.6 ネットワーク情報資源（インターネット）
3. 文献の利用方法
4. 文献の探し方

### 【評価方法】

平常点およびレポートによって評価する。

### 【テキスト】

使用せず（配付資料）。

### 【参考文献・資料】

- ・図書館情報学ハンドブック編集委員会編、「2 メディア」, 図書館情報学ハンドブック, 第2版, 東京, 丸善, 1999, p.163-318.
- ・上田修一、倉田敬子, 情報の発生と伝達, 東京, 勁草書房, 1992, 229p, (図書館・情報学シリーズ, 1) .
- ・図書館情報大学編, メディアそれぞれの時代: 粘土板から電子書物まで: 図書館情報大学開学20周年創基80周年記念特別展示会, 東京, 丸善, 1999, 60p. (全て本学図書館所蔵)

## 脳の働き

富田 武

### 【授業の概要】

人間の精神活動の中核としての脳の構造と、その進化の過程を学び、本能と理性、感情と行動など高度の精神活動の発現と制御の機構を考える。

### 【授業計画】

- 第1講 精神活動の中核を求めて
- 第2講 脳の進化と発達
- 第3講 脳と神経細胞の構築
- 第4講 興奮と抑制
- 第5講 大脳皮質の分業体制
- 第6講 感覚と姿勢運動の制御
- 第7講 喜び、意欲し、言語する脳
- 第8講 利き手、利き脳、大脳辺縁系
- 第9講 本能をうみだし、怒る脳
- 第10講 内臓の統御と、学習、記憶をする脳
- 第11講 睡眠、夢、意識の狭間
- 第12講 行動を操る脳
- 第13講 単位認定試験

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績で総合的に評価する。

### 【テキスト】

脳の話（時実利彦著 岩波書店）

### 【参考文献・資料】

脳の不思議（伊藤正男著 岩波書店）  
脳のしくみと不思議（鈴木智子著 日本文芸社）

## タナトロジー（死生学）

加藤太喜子

### 【授業の概要】

「死んでいくこと」や「死」そのものなど、死に関して様々な側面から考える学問を「死生学」と呼んでいる。この授業では「死」について非常に限定された角度からしか扱えないが、「死」について考えることを通して「現在の生」そのものを共に考えたい。

### 【授業計画】

1. 死生学とは
2. 臓器移植・臓器提供を通して死を考える
3. ベットロスを通して死を考える
4. 犯罪被害を通して死を考える
5. 死の恐怖と受容
6. 看取る人を支える
7. 在宅での看取り
8. ホスピスにおける看取り
9. 喪の悲しみを癒す
10. 死の準備教育

### 【評価方法】

授業中に課す小レポートと、期末レポートにより評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する

### 【参考文献・資料】

授業中に指示する



## こども・教育・社会

酒井晶代

### 【授業の概要】

〈現代児童文学のなかの子どもたち〉

子どもの文学を手がかりとして、「こども・教育・社会」をめぐる諸問題を考える。近代以降、大人たちは子どもの“健やかな”成長や発達を願って、様々な文化を創造してきた。児童文学もその一つであり、個々の作品には社会や作者の子ども観が反映している。大人が書き、子どもが読む児童文学は、「送り手=大人」と「受け手=子ども」との思惑が交差する場所と言えよう。

講義では短編を中心に現代児童文学の代表的な作品をとりあげ、作品に描かれた子ども像や作者の子ども観を確かめながら、現代社会における子どもの問題について考察してみたい。子どもと大人の境界が問われる今日、子どもを問うことは、大人を問うことでもある。子どもの文学を入口として、子どもの中に潜む大人の問題、大人の中に潜む子どもの問題を、教育や社会の側面から探り当てていきたいと考えている。

### 【授業計画】

- 第1回 「子どもの文学」とこども・教育・社会
- 第2回 ときありえ「森本えみちゃん」
- 第3回 那須正幹「六年目のクラス会」
- 第4回 森忠明「楽しい頃」
- 第5回 村中李衣「たまごやきとウインナーと」
- 第6回 岩瀬成子「ダイエツクラブ」
- 第7回 大石真「光る家」
- 第8回 天澤退二郎「赤い風」
- 第9回 牧野節子「赤い靴」
- 第10回 上野瞭「ぼくらのラブ・コール」
- 第11回 あまぎみこ「かくれんぼ」
- 第12回 よもぎ律子「遊太」

### 【評価方法】

出席状況、レポート、試験等により総合的に評価する。

### 【テキスト】

児童文学—新しい潮流—(宮川健郎編著 双文社出版)

## メディカルサイエンス

多田萬里子

### 【授業の概要】

近年の科学技術の進歩により遺伝子治療・臓器移植など医学も目覚ましい発展をとげてきた。

しかし、社会の変化によって疾患の様子も変わり、特に、ライフスタイルの変化によって増加した生活習慣病、環境汚染物質の生体への影響、新しい感染症などが問題となってきた。

先端医学の現段階について紹介し、多様化する社会でいかにして健康を維持するかを考えていきたい。

### 【授業計画】

次の課題について講義する。

1. 遺伝子診断、遺伝子治療
2. 生活習慣病：がん・糖尿病
3. 老化と寿命
4. 新しい感染症：エイズ・狂牛病
5. 臓器移植の課題
6. 生殖医療と生命倫理
7. 現代社会と健康、環境ホルモンなどの環境汚染

### 【評価方法】

学習態度、レポートなどにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

使用せず。講義の要旨はプリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

- 現代社会と医学 (井村裕夫ら編 岩波書店)  
医の現在 (高久史磨著 岩波新書)  
先端のゲノム医学を知る (中村祐輔 羊土社)

## 知的所有権

辻田芳幸

### 【授業の概要】

人の創作活動の成果である著作物は、今日、創作者の人格の発露というばかりか、企業などによる投下資本の結晶という意味合いをも濃くし始めている。近時、情報技術 (IT) の発達によってこのような傾向が顕著である。

そこで、この講義においては、情報社会における知的所有権の役割について、著作権法を中心に解説することとしたい。具体的には、情報社会においてどのような問題が生じ、それがどのようにして解決されるのか、情報の受信者のみならず発信者として、いかなる点に留意しなければならないかを探求する。

### 【授業計画】

- 第1回 情報社会における知的所有権の役割
- 第2回 著作者
- 第3回 著作者の人格的利益
- 第4回 著作者の財産的利益
- 第5回 私的複製
- 第6回 引用
- 第7回 実演家の権利
- 第8回 侵害に対する救済
- 第9～12回 インターネットと著作権法

### 【評価方法】

出席状況、試験の結果などを総合的に考慮する

### 【テキスト】

著作権法の解説 (四訂版) (千野直邦・尾中普子 一橋出版)

## Practical English 1 A

山田久美子 横関美津紀

### 【授業の概要】

TOEICや英検等の資格試験に対応するための授業である。

週2回の授業により、総合的な英語の能力の向上を目指す。

積極的に授業に参加してもらいたい。

### 【授業計画】

この授業は、文法、ヒアリングを中心に行う授業が週に1回、リーディング中心の授業が週に1回行われ、週2回で2単位の科目である。週2回の授業に参加して初めて単位が認められる。

\*文法、ヒアリング中心の授業 (週1回)

月曜日2限担当：横関美津紀

テキストを中心に授業を行う。

\*リーディング中心の授業 (週1回)

木曜日2限担当：山田久美子

テキストを中心に授業を行う。

### 【評価方法】

出席状況、定期試験により総合的に評価する。

なお、評価は、週2回の授業の得点の平均とする。

### 【テキスト】

Workout for the TOEIC Test: Book 1 (大賀リエ他 成美堂 ¥2,000)

Exploring Cultural Issues: Practice in the TOEIC Test Format

(清水義和他 成美堂 ¥1,800)



## Practical English 1 B

山田久美子 横関美津紀

### 【授業の概要】

TOEICや英検等の資格試験に対応するための授業である。週2回の授業により、総合的に英語の能力を向上させる。前期に履修した学生は、新しい気持ちで後期も引き続き授業を受けてもらいたい。また、後期から履修する学生にも対応できるので、積極的な授業参加を期待したい。

### 【授業計画】

この授業は、文法、ヒアリングを中心に行う授業が週に1回、リーディングを中心の授業が週に1回行われ、週2回で2単位の科目である。学生は、週2回の授業に参加して初めて単位が認められる。

#### \*文法、ヒアリング中心の授業 (週1回)

月曜日2限担当：横関美津紀  
テキストを中心に授業を行う。

#### \*リーディング中心の授業 (週1回)

木曜日2限担当：山田久美子  
テキストを中心に授業を行う。

### 【評価方法】

出席状況、定期試験により総合的に評価する。  
なお、評価は、週2回の授業の得点の平均とする。

### 【テキスト】

*Workout for the TOEIC Test: Book 1* (大賀リエ他 成美堂 ¥2,000)  
*Exploring Cultural Issues: Practice in the TOEIC Test Format*  
(清水義和他 成美堂 ¥1,800)

## Practical English 2 A

山田久美子 横関美津紀

### 【授業の概要】

TOEICや英検等の資格試験に対応するための授業。週2回の授業で、総合的に英語の能力を向上させる。

### 【授業計画】

この科目では、木曜日に文法、ヒアリングを、月曜日にリーディングを中心とする授業を行う。学生は、週2回の授業に参加して初めて2単位が認められる。

授業は、テキストを中心に行われる。

月曜日3限：横関美津紀

水曜日2限：山田久美子

### 【評価方法】

出席状況、定期試験により総合的に評価する。  
なお、評価は、週2回の授業の得点の平均とする。

### 【テキスト】

パラグラフ・リーディング (橋本光郎他 朝日出版社)

*Workout for the TOEIC Test: Book 2* (大賀リエ他 成美堂 ¥2,000)

## Practical English 2 B

山田久美子 横関美津紀

### 【授業の概要】

TOEICや英検等の資格試験に対応するための授業。週2回の授業で、総合的に英語の能力を向上させる。

### 【授業計画】

この科目では、木曜日に文法、ヒアリングを、月曜日にリーディングを中心とする授業を行う。学生は、週2回の授業に参加して初めて2単位が認められる。

授業は、テキストを中心に行われる。

月曜日3限：横関美津紀

水曜日2限：山田久美子

### 【評価方法】

出席状況、定期試験により総合的に評価する。  
なお、評価は、週2回の授業の得点の平均とする。

### 【テキスト】

パラグラフ・リーディング (橋本光郎他 朝日出版社)  
*Workout for the TOEIC Test: Book 2* (大賀リエ他 成美堂 ¥2,000)

## Practical English 3 A

NORRIS, Harry T. LEWIS, Paul HARRIS, Richard S.

### 【Course Content】

This course is available to all English Department students.

This course is aimed at low to high intermediate students with academic as well as personal goals. The integrated skills format ensures the development of true communicative language that is authentic and natural.

Emphasis will be predominantly on the development of listening and speaking skills, but reading and writing skills along with vocabulary, comprehension, and grammar will also be cultivated. The work will help students to prepare for Eiken and TOEIC /TOEFL. Teachers from The United Kingdom, North America, and Australia will be teaching this course, providing a well-rounded consideration of contemporary themes.

The course will be graded and students will sit a placement test. See student handbook for more detailed information.

### 【Schedule】

Topics will be covered over a two or three week period and will include a variety of themes selected by the teachers.

### 【Assessment】

Assessment will be continual and will be based on the following criteria:  
ATTENDANCE  
CLASS PARTICIPATION/EFFORT  
HOMEWORK AND ASSIGNMENTS  
END OF SEMESTER REPORT

### 【Textbooks】

To be announced

Practical English 3 Aは、週2回コース授業である。月曜1限、金曜1限の両方の授業に出席し、その平均で評価がでる。



## Practical English 3 B

NORRIS, Harry T. LEWIS, Paul HARRIS, Richard S.

### 【Course Content】

This course is available to all English Department students.

This course is aimed at low to high intermediate students with academic as well as personal goals. The integrated skills format ensures the development of true communicative language that is authentic and natural.

Emphasis will be predominantly on the development of listening and speaking skills, but reading and writing skills along with vocabulary, comprehension, and grammar will also be cultivated. The work will help students to prepare for Eiken and TOEIC /TOEFL. Teachers from The United Kingdom, North America and Australia will be teaching this course, providing a well-rounded consideration of contemporary themes.

The course will be graded and students will sit a placement test. See student handbook for more detailed information.

### 【Schedule】

Topics will be covered over a two or three week period and will include a variety of themes selected by the teachers.

### 【Assessment】

Assessment will be continual and will be based on the following criteria:

- ATTENDANCE
- CLASS PARTICIPATION/EFFORT
- HOMEWORK AND ASSIGNMENTS
- END OF SEMESTER REPORT

### 【Textbooks】

To be announced

Practical English 3 Bは、週2回コース授業である。月曜1限、金曜1限の両方の授業に出席し、その平均で評価がでる。

## Rapid Reading 2

森本素世子

### 【授業の概要】

今日、日米関係はさまざまな局面で日本人の生活に大きな影響を及ぼしているが、本書を通して、ごく平均的なアメリカ人の日常生活を、日本人の生活と比較しながら学んでいきたい。

### 【授業計画】

下記のテキストを適宜、質疑応答を加えながら精読する。各自の予習を前提にテキストを読み進めるが、ただ字面だけを追うのではなく、パラフレーズを通して筆者の意図するところを読み取り、それに対する自らの意見も述べてもらいたい。

13. Entertainment and Sports
14. Art
15. Religion
16. Weddings
17. Divorce
18. Shopping and Homes
19. Holidays and Festivals
20. The Environment
21. Attitudes toward Domestic Matters
22. Attitudes toward Foreign Matters
23. Old Age
24. Science: Changing Our Daily Lives

### 【評価方法】

定期試験および授業時の発表・参加度と出欠状況から総合的に評価する。

### 【テキスト】

*The Daily Lives of Americans and Japanese* (Joseph Lauer, 南雲堂)

## Rapid Reading 1

森本素世子

### 【授業の概要】

今日、日米関係はさまざまな局面で日本人の生活に大きな影響を及ぼしているが、本書を通して、ごく平均的なアメリカ人の日常生活を、日本人の生活と比較しながら学んでいきたい。

### 【授業計画】

下記のテキストを適宜、質疑応答を加えながら精読する。各自の予習を前提にテキストを読み進めるが、ただ字面だけを追うのではなく、パラフレーズを通して筆者の意図するところを読み取り、それに対する自らの意見も述べてもらいたい。

1. Customs and Stereotypes
2. Traveling
3. A Baby Is Born!
4. School Years
5. High School
6. Friends and Social Relations
7. Young People and Sex
8. College
9. Working
10. Women and Work
11. Food and Health
12. Popular Movies, TV, Music and Reading

### 【評価方法】

定期試験および授業時の発表・参加度と出欠状況から総合的に評価する。

### 【テキスト】

*The Daily Lives of Americans and Japanese* (Joseph Lauer, 南雲堂)

## Rapid Reading 3

森本素世子

### 【授業の概要】

現在の世界の暮らしがいかんにかして築かれてきたかを、人類の進化の歴史をたどることで理解し、「人間とは何か」を考えてみたい。

### 【授業計画】

下記のテキストを適宜、質疑応答を加えながら精読する。各自の予習を前提にテキストを読み進めるが、ただ字面だけを追うのではなく、パラフレーズを通して筆者の意図するところを読み取り、それに対する自らの意見も述べてもらいたい。

1. Disease
2. Food
3. Animals
4. IT
5. Work
6. Power and Equality
7. Knowledge

### 【評価方法】

定期試験および授業時の発表・参加度と出欠状況から総合的に評価する。

### 【テキスト】

*New Perspectives* (Paul Stapleton 金星堂)



## Rapid Reading 4

森本素世子

### 【授業の概要】

現在の世界の暮らしがいかにして築かれてきたかを、人類の進化の歴史をたどることで理解し、「人間とは何か」を考えてみたい。

### 【授業計画】

下記のテキストを適宜、質疑応答を加えながら精読する。各自の予習を前提にテキストを読み進めるが、ただ字面だけを追うのではなく、パラフレーズを通して筆者の意図するところを読み取り、それに対する自らの意見も述べてもらいたい。

8. Sex
9. Sexuality
10. Beauty
11. Religion
12. Countries
13. Prejudice
14. Travel
15. Culture

### 【評価方法】

定期試験および授業時の発表・参加度と出欠状況から総合的に評価する。

### 【テキスト】

*New Perspectives* (Paul Stapleton 金星堂)



## 実践日本語表現法 a・b

外山敦子

### 【授業の概要】

これから大学で学ぶ専門教育の基礎として、日本語における基本的な技能（書く・話す・読む・聞く・調べる）について学習する。日本語を有効に活用できる基礎的な知識を身につけること、身につけた知識をもとに実践的な能力を養成することを目標とする。

### 【授業計画】

前期

1. 導入（講義の進め方など）
2. 話し言葉と書き言葉（1）（話し言葉と書き言葉の違い）
3. 話し言葉と書き言葉（2）（書き言葉としてふさわしい表現）
4. 話し言葉と書き言葉（3）（文末表現について）
5. 書き言葉の技能 基礎（1）（文の骨組みを抜き出す、漢字練習1）
6. 書き言葉の技能 基礎（2）（文の骨組みを整える、漢字練習2）
7. 書き言葉の技能 基礎（3）（呼応関係を確認する、漢字練習3）
8. 書き言葉の技能 基礎（4）（接続詞「が」の使い方、漢字練習4）
9. 書き言葉の技能 基礎（5）（句読点の使い方、漢字練習5）
10. 書き言葉の技能 基礎（6）（修飾語と被修飾語、慣用句1）
11. 書き言葉の技能 基礎（7）（修飾語の語順、慣用句2）
12. 学習内容のまとめ（今までの学習内容のまとめと確認）

後期

1. 書き言葉の技能 応用（1）（論の要旨をとらえる）
2. 書き言葉の技能 応用（2）（文章を要約する）
3. 書き言葉の技能 発展（1）（レポートの書き方）
4. 書き言葉の技能 発展（2）（論証の仕方）
5. 話し言葉の技能 基礎（1）（敬語の基礎）
6. 話し言葉の技能 基礎（2）（敬語の種類と使い方）
7. 話し言葉の技能 基礎（3）（間違いやすい敬語表現）
8. 話し言葉の技能 応用（1）（相手を考えて話す）
9. 話し言葉の技能 応用（2）（電話で話す）
10. 総合応用（1）（手紙文とその実例）
11. 総合応用（2）（ビジネス文書とその実例）
12. 学習内容のまとめ（今までの学習内容のまとめと確認）

### 【評価方法】

出席状況、受講態度、課題提出などにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

書き込み式 日本語表現法（名古屋大学日本語表現研究会 三弥井書店）

### 【参考文献・資料】

授業時に指示する。

## 国文学概論 a・b

山下宏明

### 【授業の概要】

まず古代から近世までの日本文学研究のあり方について話す。さらに明治以後、文献学的研究方法から、文芸学、歴史社会学派へと作者論の歩みをたどる。新批評を転機に読者論に変わることを述べ、以後、記号・構造主義、テキスト論、新歴史主義、ポストコロニアル理論、ジェンダー論、文化論、身体論、口語論などへの展開をたどり、その上で、特に、読者論のための物語の方法を具体的に考察指導する。

### 【授業計画】

特に読者論や文字・口語論を、古典はもちろんのこと、近・現代の小説・物語、さらには映画、演劇にも素材を広げて表現・享受の方法を講義する。

### 【評価方法】

出席状況と、試験に（ノートの持込可）による。

### 【テキスト】

前半の批評史の展望、後半の各論を進める上に必要な作品の部分引用など、各種資料をプリントで用意する。その原資料は、これまでの経験から、ほとんど揃っているが、さらに新しい資料をも追加したり、とりかえを行う。

基本的な参考資料として、

文学とは何か（T・イーグルトン 岩波書店）

物語のディスコース（ジェラルド・ジュネット 風の薔薇社）

新しい文学のために（大江健三郎 岩波書店）

新文学入門（大橋洋一 岩波書店）

その他を推薦するはずである。

## 国文学史（1） a・b

日比野浩信

### 【授業の概要】

a 日本の古典文学を概観する。上代から中古・中世そして近世に区分し、それぞれの時代において重要視されるべき著名な作品・作家を中心に、その背景となった文化についても考えたい。ただし、単なる作品解説や作品の列挙ではなく、文学史的観点を導入することに主眼を置き、各自が自らの選んだ作品を文学史的に位置付けることを主たる目的とする。

b 主だった日本の古典文学作品について、その研究史・享受史を概観する。ただし、各自が自ら選出した作品の研究史・享受史を把握することを目的とする。

### 【授業計画】

- a 1 上代の文学  
奈良時代
- 2 中古の文学  
平安前期  
平安中期  
平安後期  
院政期
- 3 中世の文学  
鎌倉時代  
南北朝時代  
室町時代
- 4 近世の文学  
江戸時代
- b 1 和歌の研究と享受  
万葉集  
古今和歌集  
歌学
- 2 物語の研究と享受  
伊勢物語  
源氏物語
- 3 その他

### 【評価方法】

授業への参加状況・態度による平常点および、学期末の試験、もしくはレポートによって評価する。試験かレポートかは、受講人数や授業進度などを考慮して決定する。

### 【テキスト】

日本古典文学史（乾安代他著 双文社出版）

### 【参考文献・資料】

平安文学研究ハンドブック（田中登・山本登朗編 和泉書院）

## 国文学史（2） a

小倉 斉

### 【授業の概要】

〈近代文学の諸相〉：日本の近代文学の諸相を、いくつかのテーマを設定しながら、かなめとなる作家・作品・思潮を検討することによって理解し、あわせて日本文学における「近代」とは何かを考える。

### 【授業計画】

以下の各テーマにしたがって講義をおこなう。

- 1 〈書く〉ことと〈語る〉こと：村上春樹『風の歌を聴け』
- 2 〈模写〉の意味：坪内逍遙『小説神髓』・『当世書生気質』  
二葉亭四迷『浮雲』
- 3 〈わたくし〉の発見：森鷗外『舞姫』
- 4 〈こども〉たちの眼差し：谷崎潤一郎『小さな王国』  
芥川龍之介『杜子春』
- 5 〈新しい女〉と戯画化された主人公：田山花袋『蒲団』
- 6 〈自然の愛〉と〈社会の掟〉：夏目漱石『それから』
- 7 一つの〈語り〉をめぐると三つの物語：谷崎潤一郎『轢間』  
森鷗外『百物語』  
芥川龍之介『ひよつとこ』

### 【評価方法】

授業への出席・参加状況、学期末の試験（自筆ノート持ち込み可・論述問題中心）によって評価する。

### 【テキスト】

舞姫・うたかたの記（森鷗外 岩波文庫）

蒲団・一兵卒（田山花袋 岩波文庫）

それから（夏目漱石 岩波文庫）

近代文学年表（年表の会 双文社出版）



## 国文学史 (2) b

細谷 博

### 【授業の概要】

文学における「近代」とは何か、「現代」とは何か。われわれ自身の〈読むこと〉の問題として考える。

大正後期から昭和期に至る文学の諸相を、要点となる作家・作品を端的におさえることによってたどりなおし、作品の各部をたしかに味わいつつ考える文学史をめざす。

### 【授業計画】

- 第1回 概論、導入
- 第2回 「城の崎にて」他読解
- 第3回 「蟹気楼」他読解
- 第4回 志賀直哉・谷崎潤一郎・芥川龍之介
- 第5回 関東大震災、芥川の死、円本ブーム
- 第6回 近代と現代
- 第7回 堀辰雄
- 第8回 菊池寛
- 第9回 横光利一
- 第10回 川端康成
- 第11回 梶井基次郎
- 第12回 太宰治
- 第13回 井伏鱒二・大岡昇平
- 第14回 三島由紀夫・安部公房
- 第15回 単位認定試験

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

小僧の神様・城の崎にて (志賀直哉著 新潮文庫)  
河童・或阿呆の一生 (芥川龍之介著 新潮文庫)  
現代日本の文学 (双文社出版)

### 【参考文献・資料】

授業時に指示

## 国文学講義 (1) 上代 a

大浦誠士

### 【授業の概要】

古事記には、様々な物語が載せられているが、中でも歌謡を含んで成り立つ歌謡物語は、抒情性に富み、古事記を文学たらしめている要素の一つである。本講義では古事記の歌謡物語の中から主要なものを選び、それらを精読することを通じて、古事記が歌謡を含み持つことの意味、所伝 (物語の部分) と歌謡との関係などについて考えていく。

### 【授業計画】

- 1～2回 歌謡物語の概要と研究史
- 3～4回 赤猪子の物語
- 5～6回 軽太子の物語
- 7～8回 イハノヒメの物語
- 9～11回 ヤマトタケルの物語
- 12～13回 古代の歌と物語

### 【評価方法】

学期末の試験により評価する。

### 【テキスト】

テキストは特に定めない。授業時にプリントを配布する。

## 国語概説 a・b (音声言語及び文章表現を含む)

増井典夫

### 【授業の概要】

前期中心テーマー日本語の音声・音韻・アクセント

後期の中心テーマー方言と共通語

<前期>

日本で使われている言語としてアイヌ語や沖縄の言葉について触れたあと、音声言語という面から、世界の中での日本語の位置を考え、さらには日本語の音韻・アクセント等を考察していく。

<後期>

日本語方言学の研究法・調査法をみながら愛知県方言の位置付け、方言と共通語の使い分け、「新方言」といわれる新しい日本語表現等を考えていく。

### 【授業計画】

講義を行なっていく。

### 【評価方法】

記述式テスト (定期試験)。

### 【テキスト】

国語概説 (佐伯・山内編 和泉書院)

## 国文学講義 (1) 上代 b

島田修三

### 【授業の概要】

〈万葉史の考察〉

『万葉集』の4500首余りの歌は、おおよそ7世紀の半ばから100年間に詠まれた。この100年間は古代社会が激しくシフトして行く時期と重なる。古代律令国家の成立をはじめとして中国文化の流入、生活民俗の変容など多様なシフトが万葉和歌の成立や成熟に色濃く影響を及ぼしている。本講義では、この100年間の作品を歴史的に追うことによって、文学的問題にとどまらぬ万葉和歌の歴史社会的な諸問題を考察していく。

〈前期〉

a: 初期万葉から白鳳万葉へ

万葉和歌の草創期から古代律令国家成立期に至る万葉和歌の展開を追う。作品としては、雄略天皇御製から柿本人麻呂の宮廷讃歌・高市黒人の羈旅歌のあたりまでを対象とする。

〈後期〉

b: 奈良朝万葉の世界

奈良朝初期から天平末期に至る万葉和歌の展開を追う。作品としては、山上憶良・大伴旅人から防人歌・大伴家持のあたりまでを対象とする。

### 【授業計画】

主として下記のテキストおよびプリント資料を用いながら作品を講読していく。

### 【評価方法】

前期・後期末それぞれのテストもしくはレポートによって評価する。

### 【テキスト】

〈前期・後期〉

万葉 文学とその背景 (島田修三他著 おうふう)



## 国文学講義（2）中古 a・b

久保朝孝

### 【授業の概要】

中古文学作品に対する基本的姿勢と読解の基本的方法を身につける。特に本文解釈の多様性の所以と可能性について理解する。前期は『伊勢物語』を、後期は『王朝女流日記』諸作品を対象とする。

### 【授業計画】

＜前期＞a：伊勢物語	
1 導入	8 伊勢物語各章段の精読
2 伊勢物語初段の考察	
	13 伊勢物語各章段の精読
7 伊勢物語初段の考察	14 予備
＜後期＞b：王朝女流日記	
1 導入	7、8 和泉式部日記
2、3 土佐日記	9、10、11 紫式部日記
4、5 蜻蛉日記	12、13 更級日記
6 枕草子	14 予備

### 【評価方法】

出席状況と期末レポート及び学外の自主的学習を総合して評価する。配分については授業時に説明する。

### 【テキスト】

- 前期 a：伊勢物語  
(校注古典叢書 片桐洋一校注 明治書院 1,400円 税別)
- 後期 b：王朝女流日記を学ぶ人のために  
(久保朝孝編 世界思想社 2,300円 税込)

## 国文学講義（4）近世 a・b

阿部一彦

### 【授業の概要】

井原西鶴の浮世草子と近松門左衛門の世話浄瑠璃を読み、近世文学の魅力や面白さを発見し確認していく。

同一事件を題材とした、西鶴の『好色五人女』巻一「姿姫路清十郎物語」・巻三「中段に見る暦屋物語」と近松の『五十年忌歌念仏』・『大経師昔暦』を読み解き、鑑賞する。両作品の比較検討を通して、それぞれの作品・作者の特色を確認するとともに、浮世草子、世話浄瑠璃という近世文学独自のジャンルの創作方法や成立基盤をも考察していく。

#### ＜前期＞

西鶴の『好色五人女』巻一「姿姫路清十郎物語」と近松の『五十年忌歌念仏』を読んでいく。

最初に「近世」の社会的・文化的特徴と文学史を概説する。つづいて、西鶴の文学活動をごくおおまかに概説してから、「姿姫路清十郎物語」を精読する。『五十年忌歌念仏』は受講者それぞれが、西鶴の作品と比較しつつ読んでいくこととなる。この成果を前期試験の課題とする。

#### ＜後期＞

西鶴の『好色五人女』巻三「中段に見る暦屋物語」と近松の『大経師昔暦』を読んでいく。

最初に歌舞伎・浄瑠璃の成立史を簡単に説明する。今度は逆に、近松の『大経師昔暦』を精読する。受講者に「中段に見る暦屋物語」を読んでもらう。後期試験では、『大経師昔暦』を論じてもらう。

### 【授業計画】

講義・講読形式で進めていく。

### 【評価方法】

前期、後期ともにレポートによる。

### 【テキスト】

西鶴と近松（松崎仁・白石梯三 和泉書院 1,545円）

## 国文学講義（3）中世 a・b

岩下紀之

### 【授業の概要】

古典文学は元来写本・版本のかたちで享受されてきた。過去の人々と同じかたちで読書することなしに、古典を解釈・鑑賞することはできない。自分の国の作品では、このような原則的な立場での研究が可能なので、この特権を生かしてほしい。変体仮名の入門を4、5月中に集中しておこなうので、後期からの受講は困難であろう。

散文と韻文に触れてみるべく、前期は、御所本宇治拾遺物語（下）、後期は、御所本百人一首抄を講読する。

### 【授業計画】

一方的に教授することをさけ、学生にしばしば読ませることにしている。

### 【評価方法】

学期末の試験をもって評価する。

### 【テキスト】

- 御所本うち拾遺物語<下>（笠間書院）  
御所本百人一首抄（笠間書院）  
仮名変体集（新典社）

## 国文学講義（5）近代 a・b

永井聖剛

### 【授業の概要】

<sup>a</sup> 近代文学における〈写実=リアリズム〉概念の再検討。主に、自然主義文学成立に至るまでの過程を多角度から考察する。

<sup>b</sup> 異界を主題とした文学作品の検討。〈写実〉の及ばない時空としての異界を描くことの意義を考察する。

### 【授業計画】

- |              |   |
|--------------|---|
| <sup>a</sup> |   |
| 1            | 問題の所在；近代化と文学                                |
| 2            | 新聞小説の誕生とその背景                                |
| 3            | 坪内逍遙『小説神髓』・『当世書生気質』<br>二葉亭四迷『浮雲』・『あひびき』     |
| 4            | 正岡子規と『ホトギス』<br>国木田独歩『武蔵野』<br>島崎藤村『千曲川のスケッチ』 |
| 5            | 島崎藤村『破戒』<br>田山花袋『蒲団』・『田舎教師』                 |
| <sup>b</sup> |   |
| 1            | 問題の所在；近代化と文学の想像力                            |
| 2            | 泉鏡花『高野聖』<br>柳田國男『速野物語』                      |
| 3            | 佐藤春夫『西班牙犬の家』<br>梶井基次郎『闇の絵巻』<br>萩原朔太郎『猫町』    |
| 4            | 安部公房『壁』                                     |
| 5            | 村上春樹『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』                |

### 【評価方法】

授業への出席・参加状況、学期末の試験（自筆ノート持ち込み可・論述問題中心）によって評価する。

### 【テキスト】

- 武蔵野（国木田独歩 岩波文庫）  
田舎教師（田山花袋 新潮文庫）  
高野聖・眉かしの霊（泉鏡花 岩波文庫）  
美しき町・西班牙犬の家（佐藤春夫 岩波文庫）  
世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド（村上春樹 新潮文庫）

### 【参考文献・資料】

講義中に指示する。



## 国文学講義（5）近・現代 a・b

小倉 斉

### 【授業の概要】

〈小説を楽しく読む方法〉：「小説を読む」とはどのような行為なのかという課題について、日本の近・現代を代表する小説の精読および方法意識の検討を通して考察し、言語表現としての小説を楽しく読む方法を追究する。

### 【授業計画】

〈前期〉

- 1 「家」不在のドラマ：夏目漱石『門』
- 2 「観念」の崩壊と「新感覚」：芥川龍之介『歯車』、横光利一『機械』
- 3 「小説の小説」という形式：永井荷風『溷東綺譚』
- 4 「物語」の越境：谷崎潤一郎『吉野葛』

〈後期〉

- 1 小説の「時空間」：堀辰雄『風立ちぬ』
- 2 戦争の「記憶」の語り方：大岡昇平『野火』
- 3 脱線する「自己確認」の旅：後藤明生『挟み撃ち』
- 4 「虚構」性と「物語」性：筒井康隆『虚人たち』

### 【評価方法】

授業への出席・参加状況、学期末の試験（自筆ノート持ち込み可・論述問題中心）によって評価する。

### 【テキスト】

〈前期〉：門（夏目漱石 新潮文庫）、河童・或阿呆の一生（芥川龍之介 新潮文庫）、機械・春は馬車に乗って（横光利一 新潮文庫）、吉野葛・盲目物語（谷崎潤一郎 新潮文庫）、溷東綺譚（永井荷風 岩波文庫）

〈後期〉：風立ちぬ・美しい村（堀辰雄 新潮文庫）、野火（大岡昇平 新潮文庫）、挟み撃ち（後藤明生 講談社文芸文庫）虚人たち（筒井康隆 中公文庫）

## 国語学講義 b

増井典夫

### 【授業の概要】

1 年次「国語概説」の授業に引き続き、日本語の諸問題について概説を行なう。

具体的な内容としては、「文字・表記」「文法・敬語」「文章・文体」の問題を中心とする。

### 【授業計画】

講義を行なう。

### 【評価方法】

記述式テスト（定期試験）。

### 【テキスト】

国語概説（佐伯・山内編 和泉書院）

## 国語学講義 a

犬飼 隆

### 【授業の概要】

古代日本語を対象として、それらを研究するにはどのような資料を用いるか、どのような方法があるか、また、それらの現象には日本語の言語としての特徴がどのようにあらわれているか、さらには、言語に歴史的な変化をもたらす動因は何かなど、「考える授業」をめざす。講義形式で行い、毎回まとめの短いレポートを書く。補助プリントを教材として使うが、口頭の説明が主体になるので、ノートを充分にとる必要がある。

### 【授業計画】

- 第1回 日本語の基本的な特徴
- 第2～4回 古代日本語の資料
- 第5～7回 日本語の文字
- 第8～10回 古代語の音韻
- 第11～13回 古代語の文法

### 【評価方法】

期末試験と毎回書く小レポートによる。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

授業時に紹介する論文や著述を読むように心がけてほしい。

## 中国文学講義（1） a・b

寺尾 剛

### 【授業の概要】

〈先秦漢魏晋南北朝の文学〉

唐に至るまでの中国の文学史を理解するとともに漢文の基礎（文法や文化的背景等）を身につける。

〈前期〉

- ・中国文化の特色—中国人の発想法
- ・『詩経』
- ・『楚辞』
- ・『論語』
- ・秦の統一までの文学史

〈後期〉

- ・『古詩十九首』
- ・建安文学・曹操・曹植
- ・『出師表』
- ・『蘭亭序』
- ・陶淵明
- ・謝朓
- ・漢代から六朝までの文学史

### 【授業計画】

中国の文学の流れを具体的に作品を読みながら理解していく。時間的に余裕があれば輪読していく。

### 【評価方法】

出席、平常点と試験。

### 【テキスト】

中国詩文（中国詩文研究会編 1,700円）  
及びプリント



## 中国文学講義 (2)

寺尾 剛

### 【授業の概要】

〈唐代の文学〉  
唐詩と唐代伝奇小説を読むことを通じ、中国文学研究の方法を理解してゆく。

- ・唐代文学史
- ・『長恨歌』
- ・『杜子春伝』
- ・その他

### 【授業計画】

時間的に余裕があれば輪読していく。

### 【評価方法】

出席、平常点及び試験。

### 【テキスト】

中国詩文 (中国詩文研究会編)  
及びプリント

## 国文学演習 I (2) a・b

久保朝孝

### 【授業の概要】

中古文学作品の読解と研究との基礎的方法を、実践的に身につける。  
元来自撰であったと見られる『紫式部集』を読み解きながら、物語作家の生涯を追跡するとともに、その感性や精神構造の実質を探る。  
特に作品論の基礎となるべき本文の「読み」(解釈)を、辞書・注釈書等を参照・批判・整理しつつ、自らの力によって築き上げる過程を重視したい。  
演習であるから、担当者の発表のみで終わることなく、それに対する質疑・批判、そして回答・反論等が、全員によって躍動的に展開されることを期待する。

なお、夏季休業中に2泊3日の京都・奈良ゼミ旅行(約33,000円)を行う。

### 【授業計画】

- 一、複数のグループを編成する。
- 二、準備学習。
- 三、担当範囲を決定する。  
毎回2～3首。
- 四、研究報告→質疑→回答→討論→助言(毎回の授業)
- 五、学修の成果をレポートにまとめる(期末)。

### 【評価方法】

出席状況、担当範囲についての研究発表(半期に3回程度)、授業中の発言(質問・批判等)、そしてレポート等を総合して評価する。配分については授業時に説明する。

### 【テキスト】

紫式部日記 紫式部集  
(新潮日本古典集成 山本利達校注 新潮社 2,700円 税別)

## 国文学演習 I (1) a・b

島田修三

### 【授業の概要】

〈万葉季節歌群の考察〉  
『万葉集』巻10には人麻呂歌集から奈良天平時代の四季の作者未詳歌540首余りがそれぞれ「雑歌」「相聞」の部立に分かれて収録されている。本授業では、この歌群の子細な読解を通して、四季の節会と歌の場の関係、四季の自然風物が初期の和歌に与えた影響、自然観の深化といった諸問題を考えてみたい。

### 【授業計画】

〈前期〉a  
第1回～2回 古代の自然観と暦の変遷  
第3回～4回 巻10の概観  
第5回～10回 春の歌 演習発表  
第11回～12回 夏の歌 演習発表

〈後期〉b  
第1回～3回 夏の歌 演習発表  
第4回～9回 秋の歌 演習発表  
第10回～11回 冬の歌 演習発表  
第12回 総括  
※原則として一人数首の作品を担当し、指示に従った調査結果のレジュメの用意をしなければならない。発表に基づいて、受講者や島田の質疑が行われる。

### 【評価方法】

出席状況、授業期間中の発表、学期末レポートによって総合的に評価する。

### 【テキスト】

〈前期・後期〉  
萬葉集(訳文篇)(佐竹昭広ほか著 塙書房)

## 国文学演習 I (3) a・b

岩下紀之

### 【授業の概要】

和歌のうち、当時の社会や、歌をよむにあたっての慣例を知らないと解釈が困難な、恋の歌を教材とする。

〈前期〉  
今年は金葉・詞花集をとりあげる。新しい歌風を示すこの両集はいろいろな意味で興味深い。古今、新古今には注釈が多いが、その中間に成立した諸集の研究は、まだこれからと感ぜられることが多い。  
そういう条件から、本集にとりくむのはやりがいのあることと思われる。

〈後期〉  
前期の教材を継続する予定である。

### 【授業計画】

はじめ二回ほど概説と作業を教員が行ない、以後学生に発表させる。

### 【評価方法】

レポートを課する。

### 【テキスト】

新日本古典文学大系 金葉・詞花和歌集(岩波書店 3,600円)



## 国文学演習 I (4) a・b

阿部一彦

### 【授業の概要】

近松門左衛門の『世話浄瑠璃』の典型的な作品である『冥途の飛脚』を影印本を使って解説・鑑賞していく。

金銭と恋愛そして封建制度、そこにおける町人の生きざま（義理と人情）がどのように描かれているかを検証してみたい。『曾根崎心中』・『心中天の網島』をも視野に入れ、現代的視点からも問題にしていこうと思っている。

<前期>

最初に近松の生涯についての論文を受講者全員で輪読していく。次に『曾根崎心中』を読み、内容を把握する。作品の要点を指摘するとともに、「世話浄瑠璃」の第一作としてのこの作品の日本の戯曲・文学史上における意義を明確にしておく。文楽の上演をビデオで鑑賞する。

『冥途の飛脚』（影印本）を、受講者が、分担して解説、調査、研究、発表をおこなう。およそ「上の巻」を終えることができるであろう

<後期>

引き続き「中・下の巻」に進んでいく。最後に、受講者を三グループに分け、<人物論>・<悲劇論>・<義理と人情>の観点から問題を提起し、全員で討論し、検討していく。外国人向けのビデオを見て総括とする。なお、機会をみて大阪の国立文楽劇場に足を運びたいと思っている。

なお、2月か3月に京都のゼミ旅行を行う。

### 【授業計画】

受講者の分担による解説・調査・研究を発表する。

### 【評価方法】

自らの分担の発表が評価の対象となる。そのうえ、前・後期ともにレポートを課す。

### 【テキスト】

曾根崎心中・冥途の飛脚（岩波文庫）

## 国文学演習 I (6) a・b

都築久義

### 【授業の概要】

近代の著名な作家を学生の希望に応じてとりあげ、グループ研究する。

<前期>

3人（学生の希望でとりあげる作家を決める）

<後期>

3人（学生の希望でとりあげる作家を決める）

### 【授業計画】

グループ（4～5人）を編成して、グループ単位で発表。発表を中心に全員で討議する。

### 【評価方法】

平素の学習態度。

### 【テキスト】

なし。

## 国文学演習 I (5) a・b

小倉 斉

### 【授業の概要】

<近代小説の方法—いかに読み、いかに論ずるか—>

日本の近代を代表する小説の精読を通して、「小説を読む」という行為を意識化し、多様な読みを生み出す分析方法や文学研究の方法を実践的に身につける。担当作品についてそれぞれ読み、話し合い、調べ、分析してきたことを、レジュメにより報告する。自分の<読み>と<考え>とを大切にしつつ、それを対象化するために、すぐれた論を読み、質疑応答にも積極的に参加することが望まれる。

### 【授業計画】

<前期>

- 1 <読む>という行為および<読み>の実例：『追儺』（森鷗外）（2回）
- 2 『道草』（夏目漱石）（6回）
- 3 『浅草紅団』（川端康成）（3回）
- 4 『痴人の愛』（谷崎潤一郎）（3回）

<後期>

- 1 『瀬東綺譚』（永井荷風）（3回）
- 2 『風立ちぬ』（堀辰雄）（3回）
- 3 『笹まら』（丸谷才一）（3回）
- 4 『化粧』（中上健次）（3回）
- 5 『文章教室』（金井美恵子）（3回）

### 【評価方法】

学期末のレポートを中心に、授業への参加状況、レジュメの内容、発表・質疑応答の様子などから総合的に評価する。

### 【テキスト】

<前期>：道草（夏目漱石 新潮文庫）、浅草紅団（川端康成 講談社文芸文庫）、痴人の愛（谷崎潤一郎 新潮文庫）

<後期>：瀬東綺譚（永井荷風 新潮文庫）、風立ちぬ・美しい村（堀辰雄 新潮文庫）、笹まら（丸谷才一 新潮文庫）、化粧（中上健次 講談社文芸文庫）、文章教室（金井美恵子 河出文庫）

## 国文学演習 I (7) a・b

細谷 博

### 【授業の概要】

<読むよこび、書いてごたえ>

近代から現代へといたるさまざまな名作を味わいつつ、自分の<読み>をかたちあるものとしてつかみ取り、他に向けてしっかりと（あらわす）ことをめざす。

テキストを丁寧に読み取り解釈すること、さらに、作品全体を端的にとらえて批評することを同時に行い、読む力と書く力を養う。

### 【授業計画】

<前期>

- 第1回 研究方法指導、発表日程・担当の決定
- 第2～14回 作品研究発表・質疑応答
- 第15回 レポート提出

<後期>

- 第1回 研究方法指導、発表日程・担当の決定
- 第2～14回 作品研究発表・質疑応答
- 第15回 レポート提出

### 【評価方法】

出席状況と担当発表、レジュメ、質疑応答、レポート等から総合的に評価する。

### 【テキスト】

前期

- 小僧の神様・城の崎にて（志賀直哉著 新潮文庫）
- 刺青・秘密（谷崎潤一郎 新潮文庫）
- 春琴抄（谷崎潤一郎 新潮文庫）
- 猫と庄造と二人のおんな（谷崎潤一郎 新潮文庫）
- 藤十郎の恋・恩讐の彼方に（菊池寛 新潮文庫）

後期

- 檸檬（梶井基次郎 新潮文庫）
- 機械・春は馬車に乗って（横光利一 新潮文庫）
- 伊豆の踊子（川端康成 新潮文庫）
- 新ハムレット（太宰治 新潮文庫）
- ハムレット（シェークスピア 新潮文庫）

### 【参考文献・資料】

授業時に指示



## 国文学演習 I (8) a・b

佐藤洋一

### 【授業の概要】

日本現代文学の表現論的研究—描写と文体・構造と批評性（普遍性）—

1. 主に戦後から80～90年代、そして近年の現代小説を取り上げ、作家固有の方法と時代を超える批評性の根拠を、特に描写や文体・構造の面から検討する。
2. 20世紀から現在に至る文学の方法は、いわゆる19世紀的な「近代文学」の課題や方法を受け継ぎながらも、それらとは異質な方法意識や枠組みによって描かれている（現代文学的方法）。各時代における文学の可能性と批評性の課題を、時代思潮等も踏まえながら方法的な面から検討していく。

### 【授業計画】

1. 現代小説における家族・個人・恋愛・性・戦争・制度等の課題やテーマが、どのような方法や構造によって描かれているのか。その時代的な意義、文学史的な意味等を学生による演習形式によって考察する。
2. はじめの数は、演習資料作成の基礎指導を兼ね、配付プリント（短編）で現代文学的方法の分析や学び方、課題発見から追求の方法について講義を行う。
3. 扱う主な作家は、大岡昇平・安岡章太郎・日野啓三・村上春樹・重松清・山田詠美・山本文緒・江國香織等を予定している。

### 【評価方法】

1. 出欠席と現代文学研究への課題意識。毎回、出欠を確認し講義内容への課題意識や、演習・報告と討議等についての意見内容を平常点として加える。
2. 演習資料の作成・報告説明・質疑応答等。作品分析と考察、先行研究の資料操作、レジュメの作成、プレゼンテーション技術等を評価に加える。

### 【テキスト】

配付プリントの他、ナイフ（重松清 新潮文庫）、レキシントンの幽霊（村上春樹 文春文庫）、その他、必要に応じて講義で指示する。

## 国語学演習 I a・b

増井典夫

### 【授業の概要】

方言と共通語。日本語の変遷。

日本語の歴史を考えながら、自分たちの母語（生まれ持っている言葉）である方言の持つ意味を考え、新しい日本語表現の問題やその研究の可能性を考えていく。なお、後期のレポートの一部として、「言葉に関するアンケート調査の実施とその報告」を課す。

### 【授業計画】

テキストの担当範囲を割り当て、前期に1回、後期に1回の発表をしてもらう。  
その他、ビデオを見ての感想提出や、プリント配布による講義も行う。

### 【評価方法】

レポート等によって評価する。  
なお、毎時点呼によって出欠席を調査する。

### 【テキスト】

日本語ウォッチング（井上史雄 岩波新書）  
展望現代の方言（真田信治編 白帝社）

## 国文学演習 I (9) a・b

酒井晶代

### 【授業の概要】

＜日本児童文学の近代＞

皆さんが子どもの頃に親しんだ「児童文学」は、どのような起源を持つのだろうか。本演習では、テキストの読解を中心として、明治期から昭和戦前期までの児童文学とその変容を考察する。児童文学は近代以降、一方では教育と、他方では文学と密接な関わりを持ちながら推移してきた。教育史や文学史を中心に、広く社会史・文化史の視座からテキストを精読する試みを通して、児童文学の特質を探り、さらにはジャンルの捉え直しができたら、と考えている。

### 【授業計画】

最初の数回は通史を読む。その後、通史の読みかえ/読み直しも念頭に置きながら、時代順に作品を読み進めていく。いずれも、グループによる調査・分析の報告と、参加者間の質疑応答が授業の中心になる。

＜前期＞

第1～4回 日本児童文学史概観

第5～12回 『日本児童文学名作集（上）』収録作を中心に、明治期～大正前期までの作品精読

＜後期＞

第1～11回 『日本児童文学名作集（下）』収録作を中心に、大正後期～昭和戦前期までの作品精読

第12回 全体のまとめ

### 【評価方法】

出席状況、発表内容や質疑応答の様子、各学期末のレポート等により総合的に行う。

### 【テキスト】

日本児童文学名作集〈上・下〉（桑原三郎・千葉俊二編 岩波文庫）  
はじめて学ぶ日本児童文学史（鳥越信編 ミネルヴァ書房）

## 中国文学演習 I a・b

寺尾剛

### 【授業の概要】

＜李白の詩＞

盛唐の大詩人李白の作品を、主として清の王琦の注釈（『李太白全集』）に基づいて詳細に分析してゆく。中国古典文学に関する高度な知識（とりわけ文法・文化的背景・歴史・地理・資料調査能力）を養ってゆくつもりなので、その覚悟で授業に臨んで欲しい。

前・後期それぞれ6～8首程度読む。特に絶句体のジャンルの作品。

### 【授業計画】

2～3人ずつの班に分かれ、毎回班ごとに事前に調査し、まとめた資料を提出し、それに基づき発表する。

### 【評価方法】

前後期各1回のレポート提出を求めるが、演習時の発表や発言も考慮して成績評価を行う。

### 【テキスト】

- ・プリント。
- ・漢文研究の手びき四訂増補版（中国詩文研究会 750円）
- ・李白詩選（岩波文庫 720円）



## 国文学演習Ⅱ（１） a・b

島田修三

### 【授業の概要】

〈天平季節歌の考察〉

『萬葉集』巻8には大伴家持をはじめとする奈良天平期の歌人による四季の歌250首余りが「雑歌」「相聞」の部立に収録されている。本授業では、この歌群の子細な読解を通して、四季の自然と各歌人の歌風との関係、大伴家文化圏と歌の場の問題、自然観の個性化といった諸問題を考えてみたい。

### 【授業計画】

〈前期〉 a

第1回～2回 巻8の概観  
第3回～8回 春の歌 演習発表  
第9回～11回 夏の歌 演習発表

〈後期〉 b

第1回～2回 夏の歌 演習発表  
第3回～9回 秋の歌 演習発表  
第10回～11回 冬の歌 演習発表  
第12回 総括

※原則として一人数首の作品を担当し、指示に従った調査結果のレジュメの用意をしなければならない。発表に基づいて、受講者や島田の質疑が行われる。

### 【評価方法】

出席状況、授業期間中の発表、学期末レポートによって総合的に評価する。

### 【テキスト】

〈前期・後期〉

萬葉集（訳文篇）（佐竹昭広ほか著 塙書房）

## 国文学演習Ⅱ（２） a・b

久保朝孝

### 【授業の概要】

中古文学作品の読解と研究との応用的方法を、実践的に身につける。

『紫式部日記』は寛弘五年（1008）秋から同七年正月までを範囲として、紫式部が仕える彰子中宮の二度にわたる出産前後の行事や宮廷での見聞等を、女房の立場から克明に記述する。そこに見られる現実凝視の行きつく先はどこか。

作品を読み解きながら、作者自身の内省的記述と客観的描写とが交錯する形で展開する作品構造の意味、あるいは消息（手紙）混入の問題など、この日記が抱えるさまざまな問題について考察したい。

なお、夏季休業中に2泊3日の京都・奈良ゼミ旅行（約33,000円）を、また、必要に応じて卒業論文指導を含めたゼミ合宿を行う。

### 【授業計画】

- 一、複数のグループを編成する。
- 二、準備学習。
- 三、担当範囲を決定する（毎回2頁前後）。
- 四、研究報告→質疑→回答→討論→助言（毎回）
- 五、学修の成果をレポートにまとめる。

### 【評価方法】

出席状況、担当範囲についての研究発表（半期に3回程度）、授業中の発言（質問・批判等）、そしてレポート等を総合して評価する。配分については授業時に説明する。

### 【テキスト】

紫式部日記 紫式部集

（新潮日本古典集成 山本利達校注 新潮社 2,700円 税別）

## 国文学演習Ⅱ（３） a・b

岩下紀之

### 【授業の概要】

『とはずがたり』を読み、中世後宮の女流文学を考える。

本年は巻五から読む。

〈前期〉

宮内庁書陵部本の影印本を使用する。この作品の唯一の伝本で江戸期の書写であり、発見されたのが昭和になってからということで、解釈上問題が多い。諸注にも大きなひらきがあり、学生諸君にも新見を提出する可能性がひらけている。

〈後期〉

前期から継続する。

### 【授業計画】

はじめに概説と具体的な指示を行なう。

### 【評価方法】

レポートを課する。

### 【テキスト】

とはずがたり 五（笠間書院）

## 国文学演習Ⅱ（４） a・b

阿部一彦

### 【授業の概要】

井原西鶴の町人物の傑作、『日本永代蔵』を解説し、考察する。「立身出世談や破滅談を通して金銀万能の町人社会の諸相を鋭く抉りだした」（『近世文学研究事典』）といわれる『日本永代蔵』のなかから十編ほどの短編小説を選び、さまざまな方面から考察を加えていく。

〈前期〉

各短編を受講者が分担して、本文の解説、語釈、口語訳、問題点の指摘と研究、構成と概要、小説としての達成等々の作品研究をおこない、発表する。

〈後期〉

前期に引き続いて作品の研究をする。

それとともに、この作品は〈成立論〉がとくに問題にされてきているので、その代表的な論文を取り上げて検討していきたい。そのことによって、近世文学「研究」の初歩的な方法の修得の一助としたい。

また卒論執筆に必要な文献・論文の扱い方についても学んでいくことにならう。

なお、9月に淑友館でゼミ合宿を行う。

### 【授業計画】

上記のごとき演習形式で進めていく。

### 【評価方法】

レポートによる。

### 【テキスト】

未定。



## 国文学演習Ⅱ（5） a・b

小倉 育

### 【授業の概要】

＜小説の方法—作品をどう読み、どう論ずるか—＞  
日本の近・現代を代表する小説の精読を通して、「小説を読む」という行為を意識化し、多様な読みを生み出す分析方法や文学研究の方法を実践的に身につける。最終的にはその方法を卒論作成に活かすことが目標である。

### 【授業計画】

＜前期＞

- 1 『高野聖』（泉鏡花）
- 2 『行人』（夏目漱石）
- 3 『ころ』（夏目漱石）
- 4 『六の宮の姫君』（芥川龍之介）
- 5 『江戸川乱歩傑作選』（江戸川乱歩）
- 6 『千羽鶴』（川端康成）

＜後期＞

- 1 『斜陽』（太宰治）
- 2 『山椒魚・遙拝隊長』（井伏鱒二）
- 3 『野火』（大岡昇平）
- 4 『潮騒』（三島由紀夫）
- 5 『壁』（安部公房）
- 6 『テニスボーイの憂鬱』（村上龍）

### 【評価方法】

学期末のレポートを中心に、レジュメの内容、発表・質疑応答の様子などから総合的に評価する。

### 【テキスト】

＜前期＞：歌行燈・高野聖（泉鏡花 新潮文庫）、行人（夏目漱石 新潮文庫）、ころ（夏目漱石 ちくま文庫）、地獄変・邪宗門・好色・藪の中（芥川龍之介 岩波文庫）、江戸川乱歩傑作選（江戸川乱歩 新潮文庫）、千羽鶴（川端康成 新潮文庫）

＜後期＞：斜陽（太宰治 新潮文庫）、山椒魚・遙拝隊長（井伏鱒二 岩波文庫）、野火（大岡昇平 新潮文庫）、潮騒（三島由紀夫 新潮文庫）、壁（安部公房 新潮文庫）、テニスボーイの憂鬱（村上龍 幻冬舎文庫）

## 国文学演習Ⅱ（7） a・b

細谷 博

### 【授業の概要】

〈近代・現代文学の読解と研究〉（各自のテーマは自由）  
何より作品を丁寧に読みたいと思う者、読むこと、そして書くことを通して、何事かをたしかに考えてみようと思う者を対象とする。自己の〈読み〉の力——言葉による人間形象の把握力——と、他者へむけての表現の力をつちかうことを目的とする。  
テキストを丁寧に読み取り解釈すること、さらに、作品全体を端的にとらえて批評することを同時に行い、読む力と書く力を養う。  
前期は夏目漱石を中心とした読解研究。後期は各自のテーマにそって進める。

### 【授業計画】

＜前期＞

- 第1回 研究方法指導、発表日程・担当の決定
- 第2～14回 漱石作品等研究発表・質疑応答
- 第15回 レポート提出

＜後期＞

- 第1回 研究方法指導、発表日程・担当の決定
- 第2～14回 各自のテーマ別研究発表・質疑応答
- 第15回 レポート提出

### 【評価方法】

出席状況と担当発表、レジュメ、質疑応答、レポート等から総合的に評価する。

### 【テキスト】

ころ（夏目漱石 新潮文庫）  
Kokoro (Natsume Soseki trans. by E. McClellan Tuttle Co.)  
その他、授業時に指示

### 【参考文献・資料】

授業時に指示

## 国文学演習Ⅱ（6） a・b

都築久義

### 【授業の概要】

卒業論文テーマの作家を中心に演習する。  
卒業論文の進行状況を考慮して進行する。

### 【授業計画】

個人発表。発表内容を中心討論する。

### 【評価方法】

平素の学習態度。

## 国文学演習Ⅱ（8） a・b

佐藤洋一

### 【授業の概要】

日本現代文学の表現論的研究—描写と文体・構造と批評性—  
3年次の国文学演習Ⅰの展開論として、主に戦後以降、80～90年代の現代文学を取り上げ、作家固有の方法と時代を超える批評性の根拠を、特に描写や文体・構造の面から考察する。

### 【授業計画】

1. 現代文学研究と資料操作、批評理論、文学史的評価等についての講義。
2. 研究モデルとなるような作品・作家を例にした演習形式の講義。
3. 選択・指定した作品による実践的な演習と討議、考察等。

### 【評価方法】

出欠席。現代文学研究への意欲と課題意識。資料作成、小レポート等。

### 【テキスト】

配布プリント等。その他、講義の中で指示する。

### 【参考文献・資料】

講義の中で適宜指示する。



## 国文学演習Ⅱ (9) a・b

酒井晶代

### 【授業の概要】

<日本児童文学の現代>

1960年代から1980年代までを中心に、戦後の児童文学を読む。50～60年代「童話伝統批判」によって大きく転換した児童文学は、70年代の「タブーの崩壊」を経て、80年前後に再び分岐点を迎えたと言われる。そこでは何がどのように変わり、その変化を支えたものは何だったのか。まずはテキストを出発点として、個々の作品の子ども観・児童文学観をつぶさに検証したい。一方、児童文学の変容は、子どもをとりまく諸文化のありようと密接に関わっている。出版形態、読まれ方など児童文学・子どもの本の周辺に視野を広げ、変容のメカニズムやジャンルの捉え直しについても考察を進めたい。

### 【授業計画】

時代順に作品を読み進めていく。グループによる調査・分析の報告と、参加者間の質疑応答が授業の中心になる。

<前期>

第1～2回 戦後の児童文学概観

第3～12回 『現代日本児童文学選』収録作を中心に、1960～70年代の作品精読

<後期>

第1～11回 『児童文学—新しい潮流—』収録作を中心に、1980年代以降の作品精読

第12回 全体のまとめ

### 【評価方法】

出席状況、発表内容や質疑応答の様子、各学期末のレポート等により総合的に行う。

### 【テキスト】

現代日本児童文学選 (大藤幹夫他編 森北出版)

児童文学—新しい潮流— (宮川健郎編著 双文社出版)

## 中国文学演習Ⅱ a・b

寺尾 剛

### 【授業の概要】

<中国古典文学研究法>

中国の古典文学に関する研究法・調査法の養成に重点を置く。テキストは受講生との相談によって決定するつもりであるが、希望がなければ、唐代傳奇小説・『白氏文集』・『宋代詞集』を扱うことにしたい。

<前期>

・共通のテキストを用い、輪読し討論する。

<後期>

・卒論の途中経過や自分の関心を持っていることなどをテーマに発表。

### 【授業計画】

前期は輪読形式、後期は発表形式で進める予定。

### 【評価方法】

レポート及び発表の内容で決める。

### 【テキスト】

・プリント

・漢文研究の手びき四訂増補版 (中国詩文研究会 750円)

## 国語学演習Ⅱ a・b

増井典夫

### 【授業の概要】

方言と共通語。日本語の変遷。

現代日本語の問題点や方言の問題点等を考えながら新しい日本語研究の可能性を考えていき、卒業論文につながるものを求めていく。

### 【授業計画】

テキストの担当範囲を割り当て、前期に1回、後期に1回の発表をしよう。

その他、ビデオを見ての感想提出や、プリント配布による講読も行う。

### 【評価方法】

レポート等によって評価する。

なお、毎時点呼によって出欠席を調査する。

### 【テキスト】

敬語はこわくない (井上史雄 講談社現代新書)

応用社会言語学を学ぶ人のために (ロング・中井他編 世界思想社)

## 国文学特殊講義 古典基礎 a

久保朝孝

### 【授業の概要】

古典文学の読解と研究に必要な基礎的事項について、上代・中古を範囲とし、具体例に即しながら分かりやすくていねいに解説する。

### 【授業計画】

1. 導入
2. 古典と文法
3. 古典と国語学
4. 古典と書誌学
5. 古典と文献学
6. 古典と文献資料 (1) 歴史関係
7. 古典と文献資料 (2) 辞書事典
8. 古典と文献資料 (3) 研究書等
9. 図書館の利用法
10. 平安貴族の生活環境
11. 平安貴族の暮らし
12. 古典と宗教・民俗
13. 古典文学の研究テーマ
14. 予備

### 【評価方法】

出席状況と期末筆記試験及び学外の自主的学習を総合して評価する。配分については授業時に説明する。

### 【テキスト】

別冊国文学 No.42 『古典文学基礎知識必携』 (學燈社 1,370円 税込)

その他毎回印刷物を配布する。



## 国文学特殊講義 古典基礎b

阿部一彦

### 【授業の概要】

古典文学の読解と研究に必要な基礎的事項について、中世・近世を範囲とし、具体例に即しながら分かりやすく、いねいに説明する。

古典学修に不安を感じる者は、できるだけ履修することが望ましい。

### 【授業計画】

1. 日本の伝統文化と現代
2. 〈花・花見〉の文学史
3. 〈文字〉の文学史
4. 古典文学とテキスト―芭蕉自筆本『奥の細道』
5. 古典文学を読む『徒然草』137段
6. 古典文学と時間
7. 古典文学と空間
8. 古典文学と自然
9. 古典文学と芸能
10. 古典文学と絵画
11. 古典文学と出版
12. 文献調査・検索入門

### 【評価方法】

出席及び筆記試験による。

### 【テキスト】

プリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

追って発表する。

## 国文学特殊講義 漢文基礎

寺尾剛

### 【授業の概要】

漢文が嫌い、漢文が読めない、漢文の魅力を知りたいといった学生のために特に設けた、漢文の基礎中の基礎を教授する講座。おそらく多くの学生諸君は、高校時代から、漢文句法はただただ暗記するものとして教え込まれてきていてウンザリしていることと思う。この授業はそういった諸君に対して、「なぜ」「どうして」という疑問を徹底的に解きほぐしていくことに主眼を置く。「なぜ漢和辞典は必要なの?」「どうして再読文字なんていう面倒なものがあるの?」などといった根本的な疑問にも答えていくつもりである。そして、この講座が終る段階までには、諸君にも簡単な漢作文が作れるところまでレベルアップさせるというのが本講座の最終目標である。国文学には漢文がつきものである。漢文拒避症からいち早く脱却して、楽しく漢文が読めるようになることを切に願うものである。

### 【授業計画】

漢文法を中心に行なう。折に触れて文化的背景の説明も行なう。

### 【評価方法】

出席、平常点及び試験。

### 【テキスト】

社会人のための漢詩漢文小百科 (大修館書店 1,000円)

## 国文学特殊講義 古典文法基礎

伊藤紫野富

### 【授業の概要】

古文解釈に必要な文法を基礎から学ぶ。用言の活用、助詞、助動詞、敬語法などを、講義を中心に、問題演習を交えながら行う。

### 【授業計画】

- 第1回 授業内容の説明・文法概略
- 第2回 用言(動詞、形容詞、形容動詞)
- 第3回 助詞(係助詞、接続助詞)
- 第4回 助詞(格助詞、副助詞、終助詞)
- 第5回 問題演習
- 第6回 助動詞(る、らる、す、さす、しむ)
- 第7回 助動詞(き、けり、つ、ぬ、たり、り)
- 第8回 助動詞(ず、じ、む、むず、らむ、けむ)
- 第9回 助動詞(べし、まじ、なり、めり、まし)
- 第10回 問題演習
- 第11回 敬語法
- 第12回 総合問題演習
- 第13回 単位認定試験

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

古典文法質問箱(大野晋著 角川ソフィア文庫)  
新古典文法(監修 小町谷照彦 東京書籍)

## 国文学特殊講義 作品講読(古典) a・b

外山敦子

### 【授業の概要】

『源氏物語』の「夕顔」巻を具体的に読み進め、古典文学に対する理解を深める。あわせて、作中世界を解釈するために必要な知識や古典読解の方法についても学ぶ。

### 【授業計画】

基本的にテキストにそって作品を講読しながら、各場面で重要と思われる次のことについて適宜説明する。

1. 病と信仰
2. 平安貴族の恋
3. 引歌表現
4. 雨夜の品定め
5. 乳母
6. 従者と女房
7. 童
8. 植物
9. 動物
10. 月
11. 史実と物語
12. 説話・伝承
13. もののけ
14. 平安貴族の死
15. 平安貴族の葬送

### 【評価方法】

出席状況と期末試験の結果により、総合的に判断する。

### 【テキスト】

校注源氏物語 夕顔(中野幸一 武蔵野書院)

### 【参考文献・資料】

授業時に指示する。



## 国文学特殊講義 作品講読 (近・現代) a・b

佐々木亜紀子

### 【授業の概要】

夏目漱石の小説を精読し、方法意識の検討を通して、言語芸術の分析方法を習得する。前期には〈前期三部作〉といわれる小説群の第一作『三四郎』を取り上げる。新聞小説として発表された初出のカタチを意識しつつ、明治四十一年の風俗や社会、世界思潮との関わりを軸に読むことを目指す。

後期には漱石の小説家としての第一作『吾輩は猫である』を取り上げる。初出『ホトギス』への発表や単行本化の経緯など小説生成のあり方を確認しつつ、小説の方法に目を向けて読むことを目指す。

### 【授業計画】

〈前期〉『三四郎』

- 第1講 夏目漱石の生涯について
- 第2講 『三四郎』の時代
- 第3講～第12講 『三四郎』精読
- 第13講 単位認定試験

〈後期〉『吾輩は猫である』

- 第1講 夏目漱石の小説について
- 第2講 『吾輩は猫である』の時代
- 第3講～第12講 『吾輩は猫である』精読
- 第13講 単位認定試験

### 【評価方法】

授業への参加態度、提出物の内容、単位認定試験によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

- 三四郎 (夏目漱石 岩波文庫)  
吾輩は猫である (夏目漱石 岩波文庫)

### 【参考文献・資料】

授業中に指示する。

## 国文学特殊講義 源氏物語 a・b

安藤 徹

### 【授業の概要】

『源氏物語』のいわゆる「宇治十帖」の始発にあたる「橋姫」巻を具体的に読み進め、その物語社会の特質を論じる。また、それを通じて、『源氏物語』研究史上の要点や、物語を読解し研究するために必要な基本事項あるいは方法・概念などについても講義する。

### 【授業計画】

基本的にテキストにそって物語を読み進めつつ、各場面で重要と思われる点について、物語全体を視野に入れ、さらに研究状況を概観しながら適宜説明する。おおよそ次のような内容を順に取り上げる。

1. 「テキスト」と作者
2. 始まりと終わり
3. 幻想と欲望
4. 本文と注釈
5. 人物造型と表現
6. 王権と貴族社会
7. 時空と感覚
8. 聖と俗
9. 引用の織物とことばの連鎖
10. かいま見と絵画
11. 草子地と話型
12. 老人と語り
13. 歌ことばと伝承
14. 遺言と遺書
15. 文化と歴史

### 【評価方法】

出席状況と期末試験の結果により、総合的に評価する。

### 【テキスト】

- 校注古典叢書 源氏物語 (五) (阿部秋生著 明治書院)  
常用源氏物語要覧 (中野幸一編 武蔵野書院)

### 【参考文献・資料】

必要に応じて授業時に指示・配布する。

## 国文学特殊講義 王朝物語 a・b

安藤 徹

### 【授業の概要】

「物語の出で来はじめの親」と言われる『竹取物語』を具体的に読み進め、その物語社会の特質を論じる。また、それを通じて、王朝物語を読解し研究するために必要な基礎事項や分析方法・概念などについても講義する。

### 【授業計画】

基本的にテキストにそって物語を読み進めつつ、各場面で重要と思われる点について、王朝物語全体を視野に入れながら適宜説明する。おおよそ次のような内容を順に取り上げる。

1. 物語名と主人公
2. 成立と作者
3. 本文と享受
4. 語りの文体と辞
5. 話型と伝承
6. 色好みと結婚
7. 固有名と歴史
8. 時間と空間
9. 対面と対話
10. 虚構と現実感
11. 和歌と「あはれ」
12. 王権と罪
13. 書くことと語ること
14. 構造と主題
15. 引用と物語史

### 【評価方法】

出席状況と期末試験の結果により、総合的に評価する。

### 【テキスト】

新編 竹取物語 (関根賢司・高橋亨編 おうふう)

### 【参考文献・資料】

必要に応じて授業時に指示・配布する。

## 国文学特殊講義 仏教文化論 a・b

渡邊信和

### 【授業の概要】

日本における文化の発展に多大な影響を与えた仏教は、その渡来から日本独自の仏教思想の形成まで、さまざまな様式と美術を残してきた。本講は日本文学の下地を担うものとしての様々な仏教文化を多方面から確認し、日本文学の基礎的な知識を身につけることを目指す。

講義には具体的に建築、彫刻、絵画、装飾・模様などを取り上げその背景となる仏教思想を踏まえつつ見ていく。

### 【授業計画】

最初に仏教文化について定義を行い、前期は仏教の伝播をその造形を中心に、日本に伝来した仏教が、日本化していく過程を見る。

後期は、具体的に建築、荘厳、彫刻、絵画などをあげてその流れを見る。さらに、花祭り(灌仏会)や盆(盂蘭盆会)、などの仏教行事、絵解き、説経などの布教、葬送儀礼などにもふれてみる。

### 【評価方法】

前期、後期ともレポート。

### 【テキスト】

講義時に配布。

### 【参考文献・資料】

仏教上・下 (岩波文庫)、仏教説話の源流と展開 (岩本裕 1978)、その他至文堂の日本の美術シリーズの各冊など。



## 国文学特殊講義 仏教文学 a・b

渡邊信和

### 【授業の概要】

日本仏教文学とは、日本における仏教思想の影響下に成立した文学作品の謂である。すでに『万葉集』に沙弥満誓の詠歌を見ることができるとして、仏教の伝来からそう遠くない時期に文学への取り入れが始まり、爾来長く仏教文学としての文学作品が作られてきた。特に盛んであったのは、院政期から中世前半期で、多く仏教説話集として編纂された。物語や和歌、歌謡、謡曲などに見られる仏教思想も、それらを仏教文学としてとらえることを可能としている。

前期は、江戸時代に成立した絵巻の『善光寺縁起絵巻』を影印で読む。本書は『善光寺縁起』を大幅に改編した異本であり、天竺（インド）から百済を経て日本に渡ってきた三国伝来の阿彌陀如来像の生成と流伝、利益の物語である。

本講を通じて、縁起絵巻の読みを考え、その仏教意識を探る。

### 【授業計画】

講義は影印本で行う。講義時に指名して本文の音読、解釈をしてもらい、その文意、背景に存する説話などについて考察する。講義時に「古語辞典」で語義、文法事項を確認し、有職故実について「国語便覧」を参照することがあるので両書を必携とする。またくずし字が不得手な人はくずし字辞典などを用意すること。

第1講は仏教文学概論と「善光寺縁起」について

第2講以下前期は上巻を、後期は下巻を読む。

読み終わったら、異本について考察を行う。

### 【評価方法】

前期は筆記試験を行う。講義時の音読・解釈などの発表を斟酌する。

後期はレポート提出による。

### 【テキスト】

善光寺縁起絵巻（倉田邦雄編著 竜鳳書房・2003年5月・ISBNコード4-947697-20-2 本体価格5,000円）

### 【参考文献・資料】

室町時代物語大成、中世小説の研究（市古貞次 1955）

## 国文学特殊講義 和歌・連歌 a・b

岩下紀之

### 【授業の概要】

日本古典文学の核心ともいえるべき、和歌と連歌を、最も代表的な歌論・連歌論の講義を通じて、概観する。

<前期>

藤原定家自筆本近代秀歌の影印本を教材とする。写本の解読の手ほどきをし、あわせて、定家の記述を追って背景の説明を適宜、プリントを配布しつつ説明する。定家歌論を読みとくことはもちろん最終的な目標である。

<後期>

心敬の御所本ささめごと（上）の影印本を教材とする。連歌は現代では縁のうすい芸文となっているので、その概説をおこない、連歌史についても説明する。

### 【評価方法】

学期末の試験をもって評価する。

### 【テキスト】

近代秀歌（武蔵野書院）

御所本ささめごと 上（笠間書院）

写本解説がはじめての受講者は仮名変体集（新典社）を購入しておくこと。

## 国文学特殊講義 近代詩 a・b

佐藤洋一

### 【授業の概要】

近現代詩・谷川俊太郎詩のレトリック・表現論

- 1、谷川俊太郎を中心に、詩と詩人の固有な特質と方法を言語・構造・レトリック（言語技術）の観点や、戦後詩以降の現代詩の変遷、1950年代～80年代の歴史的社会的状況との関連等からも考察を行なう。
- 2、文化研究・批評（カルチャラル・スタディーズ）の枠組みの中で、「近代」という制度・戦争と国家・メディアと詩人の表現等の視点から近現代詩の意義と位置づけについて考察する。

### 【授業計画】

- 1、谷川俊太郎を中心に、戦後詩から現代詩の変遷・詩的言語の構造やレトリックを考察するとともに、近現代詩研究の基本的な方法の体得と主体的な課題意識を育成することが主要なねらいの一つである。
- 2、前後期とも、前半は配付プリントやテキストによる講義を行い、後半は簡単な演習形式で進める。演習はグループによる資料作成と発表・討議を中心に行なう。
- 3、前期は「基礎編」として、詩を読む魅力と方法や多様な個性をもつ近現代詩の諸相について述べ、谷川俊太郎の詩的言語について、子ども・生の意識・世界（コスモロジー）・言葉遊びと日本語の探究等の視点から考察する。後期は「展開編」として、谷川俊太郎詩を鮎川信夫等の戦後詩人や大岡信・茨木のり子等の同世代詩人、それ以降の現代詩人達との対比の中で考察したり、1950年～80年代の文化的歴史的な状況の中でより深く考察することが中心になる。

### 【評価方法】

- 1、欠出席。毎回欠を確し講義や発表に対する意欲・講義内容への課題意識や意見等を平常点に加える。
- 2、詩の分析と考察、小レポート等を評価に加える。

### 【テキスト】

配布プリント、その他による。テキストは講義で指示。

## 国文学特殊講義 現代短歌 a・b

加藤孝男

### 【授業の概要】

俵万智さんの『サラダ記念日』が社会現象となったのは、80年代の半ばのことです。それ以降、短歌のつくり手は若い層に広がり、いま歌壇ではきらきらした才能が溢れています。

短歌の世界は面白い、ということをごこの講義で実感してみてください。

### 【授業計画】

a. 前期

第1講 短歌の魅力 I

2～3 口語短歌と俵万智

4～9 俵万智以降の新人

10～12 現代短歌の技法

13～14 まとめ

b. 後期

第1講 短歌の魅力 II

2～3 現代歌人の世界

4～12 短歌創作

13～14 まとめ

### 【評価方法】

前期は試験、後期は作品によって評価します。出席・平常点も重視。

### 【テキスト】

第一回目の講義で指示します。



## 国文学特殊講義 批評理論 a・b

佐藤洋一

### 【授業の概要】

現代・文学批評理論

ー〈批評〉〈方法〉をめぐる近現代文学入門ー

文学批評理論の紹介と考察・作品による具体的検討等を通して、私たちを取り巻く複雑で多面的な「現代」「世界」を文学はどのように描いてきたのか、それを今、どのように読み解いていくかについて検討する。また、現代人の生き方や精神の直面する諸問題や文学作品をめぐるさまざまな課題等も扱っていく。

### 【授業計画】

1. 講義では、特に「現代文学作品」を例としながら取り上げるが、現代文学を取り巻く世界（読者・マスメディア・現代社会・人間関係等）も、研究方法（読者論・フェミニズム批評等）も多様化してきている。
2. 毎回トピック形式でテーマを設定し具体的な作品に即して考察検討していく予定。例、「近代文学と現代文学」「私小説の方法」「描写・語りの技術」「ファンタジーと幻想」「フィクションと事実」「フェミニズムと現代文学」「無意識の発見と主体の分裂」等。

### 【評価方法】

1. 出欠席。毎回出欠を確認し講義や発表への意欲・講義内容への課題意識や考察等を平常点に加える。
2. 小レポートの内容等。

### 【テキスト】

講義中に指示します。  
その他、配布プリントによる。

## 国文学特殊講義 児童文学 a・b

堀尾幸平

### 【授業の概要】

1. 児童文学とは何か。その呼称、特質、形態、研究方法等、児童文学理論を研究する。
2. 児童文学が、どのように発祥、展開してきたか、わが国の文学史を把握し、その今後を展望する。
3. 児童文学をテーマにした小論文を書き、実際に童話を創作する。

### 【授業計画】

- 〈前期 a〉
1. 児童文学とは何か
  2. 明治期の児童文学
  3. 三輪弘忠
  4. 巖谷小波
  5. 大正期の児童文学
  6. 小川未明、鈴木三重吉
  7. 千葉省三、浜田廣介
  8. 少年詩、童謡、金子みすゞ
  9. 児童文学研究史
  10. 試験
- 〈後期 b〉
1. 昭和期の児童文学
  2. 佐藤紅緑、佐々木邦
  3. 宮澤賢治
  4. 新美南吉
  5. いぬいとみこ、松谷みよ子
  6. 中川李枝子、灰谷健次郎
  7. 平成期の児童文学
  8. 児童文学論文
  9. 創作童話理論
  10. 試験

### 【評価方法】

定期試験、レポート、出席状況等によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

新日本児童文学論（堀尾幸平著 中日文化 2,200円）

### 【参考文献・資料】

授業中に適宜紹介する。

## 国文学特殊講義 郷土文学 a・b

都築久義

### 【授業の概要】

郷土の作家と郷土を描いた作品を研究する。

<前期>

郷土出身の作家を10人ほどとりあげる。

<後期>

郷土を描いた作品（近代、古典）を10作品くらいとりあげる。

### 【授業計画】

作品、作家を1回ごとに変える。

### 【評価方法】

テストを実施。

### 【テキスト】

プリントを配付。

## 国文学特殊講義 日本演劇史

林 和利

### 【授業の概要】

日本の演劇史を、古代の神楽から現代の前衛劇にいたるまで、その流れを追って講じる。とくに、伝統演劇である能・狂言・歌舞伎・文楽については詳しく説く。

### 【授業計画】

1. 授業の目的と方針を提示。
  2. 日本演劇史系統図を示して通史を概説する。
  3. 演劇の発生について
  4. 神楽について
  5. 伎楽について
  6. 舞楽について
  7. 散楽について
  8. 田楽について
  9. 猿楽について
  10. 能について
  11. 狂言について
  12. 歌舞伎について
  13. 文楽について
- また、学外の舞台芸術を有料で鑑賞することもありうる。

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験により、総合的に評価する。

### 【テキスト】

日本文化論序説（林和利 青山社）



## 国文学特殊講義 伝統芸能の世界

林 和利

### 【授業の概要】

日本の伝統芸能の流れを概説したうえで、能・狂言に的をしぼり、その技芸の本質について詳しく講じる。それと並行して、能の作品を読解しつつ、ビデオで鑑賞する。公演の案内や鑑賞の手ほどきも行う。

### 【授業計画】

1. 授業の目的と方針を提示。
  2. 日本芸能演劇史概説
  3. 能・狂言入門
  4. 名人の芸
  5. 狂言の世界
  6. 足拍子の効果
  7. 名古屋の能楽
- 毎回、能の作品を少しずつ読解・鑑賞する。また、学外の舞台芸術を有料で鑑賞することもありうる。

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験により総合的に評価する。

### 【テキスト】

日本文化論序説（林和利著 青山社）

## 国文学特殊講義 日本映画史

梶川 忠

### 【授業の概要】

学生であるきみたちは、年に何本の日本映画をみるだろうか。日本映画はみなくていいものになっていないだろうか。

実際には、日本映画は、映画が誕生してすぐに世界の第一線にたっている。世界映画史の中で日本映画は重要な一角を占めているのだ。そういう日本映画を、ビデオを活用しながら、少しずつたどってみることにする。

### 【授業計画】

- 第1回 日本映画の誕生（明治から大正時代）
- 第2～4回 戦前の日本映画（昭和15年頃まで）  
様々な現代劇と時代劇
- 第5回 戦争と映画（昭和20年まで）
- 第6～11回 戦後の日本映画（昭和40年まで）  
日本映画の全盛期から衰退期  
喜劇・メロドラマなどジャンル別
- 第12回 現在の日本映画

### 【評価方法】

2回のレポートで採点する。

## 国文学特殊講義 文学と映像表現

梶川 忠

### 【授業の概要】

日本映画は、日本文学（特に小説）から題材をたくさん得ている。日本文学が盛んでなければ、あるいは日本映画は、存在できなかったかもしれない。いわば日本文学が母であり、日本映画は子供だといえる。

ただしものごとはいい面ばかりではない。日本文学からいつも養分を吸収していることで、日本映画がひ弱になり、現在の衰退を招いたという人もいる。

そういう判断は、しばらく保留しておこう。ここでは個々の小説とその映画化作品とを比較しながら、小説表現の特色や映像表現の特色を探ってみよう。

### 【授業計画】

最初の6回くらいは、向田邦子の「あ・うん」の小説・テレビドラマ・映画を細かく検討する。映像そのものに慣れるためである。

次に映画監督の書いた本をテキストにしなが、1本の映画をみることにする。

### 【評価方法】

2回のレポートで採点する。

### 【テキスト】

あ・うん（向田邦子 文春文庫）

## 国文学特殊講義 軍記物語 a・b

山下宏明

### 【授業の概要】

平家物語を読む。はじめに研究の現状を概説し、わたくしの課題が物語の琵琶法師の語りにあること、それも中世の芸能としてあることを述べる。そのために江戸時代の語りの譜本の曲節に注目し、能や幸若舞をも視野に入れて平家物語を読む。

### 【授業計画】

- 語り本に即して、物語の概要を説明し、読みの課題を提示する。  
平家琵琶の楽器、曲節について概説する。  
物語の方法について述べる。

### 【評価方法】

試験と出席状況によって評価する。

### 【テキスト】

平家物語 1～4（梶原正昭・山下宏明共編 岩波文庫）



## 国語学特殊講義 ことばの認知科学 a・b

藤田知加子

### 【授業の概要】

認知科学とは、人間の知的活動を、哲学、心理学、計算機科学、神経科学、言語学等の立場から、学際的に探求する学問である。

本講義では、人間の知的活動のうち、特に「ことば」の運用に伴う情報処理活動に着目し、「知覚、記憶、思考、発達（学習）」などの観点から検討を加える。さらに、ヒトの脳についての神経科学的知見を概観し、それを基礎とする言語理解モデルについて講究する。なお、受講者には、授業に出席するだけではなく、その中で実施される各種の実験に積極的に参加することが求められる。

### 【授業計画】

#### 前期 (a)

1. 「ことば」に関わる研究分野
2. 「ことば」をめぐる哲学的議論
3. 「ことば」と知覚システム
4. 「ことば」と記憶システム
5. 「ことば」と概念

#### 後期 (b)

6. 「ことば」の運用に関わる脳部位
7. 「ことば」の獲得と喪失
8. 「ことば」の理解に関するモデル
9. 「ことば」の運用規則
10. 「ことば」とコミュニケーション

ただし、受講者数等に鑑みて、順序および内容に変更を加えることもある。

### 【評価方法】

出席状況と期末試験（あるいはレポート）の成績によって、総合的に評価する。

### 【参考文献・資料】

授業の中で、適宜紹介する。

## 書道（書写を中心とする） a・b

堀内千恵子

### 【授業の概要】

王羲之を中心とする中国書道史、空海を中心とした日本書道史をベースに、臨書、鑑賞などの実技を通して、書法の習得をはかる。ある程度、心眼が高まったところで、創作活動への意欲を高め、個々の感性によった作品を創作し、今日的な書表現はどうあるべきか、芸術としての書の在り方を考えさせる。

<前期>（中国書道史と日本書道史をいれかえる場合もある）

- 中国書道史（古典と臨書 書法と創作）
- ◇太古～秦代・篆書・書の意義と特質
  - ◇漢代～六朝時代・漢隸の魅力・六朝文化の特徴
  - ◇隋～唐時代・二大書師について
  - ◇宋～現代まで
  - ・多様化した書道・かな・ペン習字
  - ・書道展の鑑賞

<後期>

- 日本書道史（臨書と創作 書法と創作）
- ◇奈良朝以前・かな・用筆法
  - ◇奈良時代～平安時代
  - ・遣唐使と三筆
  - ・和様体と三蹟・創作（気脈貫通 遅速緩急）
  - ◇鎌倉時代～現代 少字数の作品 多字数の作品・結構法・用墨法・創作方法
  - ・禅林風と和様体 近代詩文の作品
  - ・空海の書法と人
  - ・寛永、幕末の三筆

### 【授業計画】

理論（書道史、書論）40分程度 実技 50分程度  
必要に応じて、プリント（顔真卿・良寛・空海等）や手本を配布する。

### 【評価方法】

・出席日数 ・毎回提出の課題の評価（10段階） ・ペン習字 ・創作活動の評価 ・理論のテスト ・レポートなどの評価 以上の内容の総合評価

### 【テキスト】

書道の旅（堀内千恵 株式会社BMC）

## 文章表現 a・b

梅田卓夫

### 【授業の概要】

文章表現の目標を「自分にしか書けないことを、誰にも分かるように書く」ことに置き、ジャンル（詩・小説・評論…）のワクを超えたすべての言語表現に共通する基本事項について学習する。

作品実作の過程で、受講者が自らの言語観・文章観を検討しつつ、より自由で科学的な方法と理論を習得することをめざす。

1. ことばとの自由で柔軟な関係を回復するためのトレーニングを経て、ことばを操ることのたのしさを体験する。
2. 創造的な文章を目ざして、いくつかの作品（作文）を試みる。
3. 文章制作過程の、各段階ごとに制作技法をとりあげ、実作体験しながら学習する。
4. 自己の制作経験をふり返りながら、意識の働きと技法の両面において、普遍的法則をさぐりあてる。
5. その結果を、各自に文章表現法として体系化することを試みる。
6. さまざまなジャンルの多彩な文章に触れて、文章表現の可能性をひろげるようにする。

### 【授業計画】

実作（実習）と理論化のための講義と作品鑑賞、この三つをくり返しながらすめる。

### 【評価方法】

授業の中で制作する作品群、および期末試験によって行う。

### 【テキスト】

文章表現・400字からのレッスン（梅田卓夫著 ちくま学芸文庫 997円）  
高校生のための文章読本（梅田卓夫他編 筑摩書房 922円）

## 言語学 a・b

中尾比早子 森本俊之

詳細は、後日掲示にて連絡します。



## 比較文学 a・b

池谷敏忠

### 【授業の概要】

比較文学は国際間の（国と国との間の）文学的関係の歴史を調べ研究する学問です。この授業はT.S.エリオットの詩と菊村到の小説など日英米仏文学の影響関係を具体的に考察します。さらにエリオットの詩論と芭蕉俳論などの対比研究も試みます。

### 【授業計画】

前期は次の事項を予定しています。

- 比較文学の定義と本質
- 日本における *The Waste Land* の受容
- T.S.エリオットと立原正秋
- 共同体と個性の文学
- T.S.エリオットと小林秀雄

後期は次の事項を予定しています。

- T.S.エリオットとベルグソン
- 形面上詩人のアルス・ポエティカ
- 芸術作品の創造と伝統の継承
- Spectrum* に見る西脇詩の原型
- T.S.エリオットと西田幾多郎

テキストを用いて講義・解説します。受講生は必ずテキストを持参して下さい。

### 【評価方法】

レポートまたはテストと各自の出席状況を加味して評価します。

### 【テキスト】

比較文学論集（池谷敏忠 晃学出版 2,200円）

## 論文

島田修三 久保朝孝 岩下紀之 阿部一彦 小倉 斉 都築久義  
細谷 博 佐藤洋一 酒井晶代 増井典夫 寺尾 剛

### 【授業の概要】

論文の書き方全般にわたって指導する。

### 【授業計画】

各担当教員が提示する。

### 【評価方法】

論文の学術的及び教育的価値によって評価する。

### 【テキスト】

各担当教員の指示による。

## 外国語としての日本語 a・b

石橋千鶴子

### 【授業の概要】

日本語の特徴を文法の面から英語を使って考察し、日本語を母語としない人を対象にした日本語教授法を指導する。

### 【授業計画】

日本語テキストおよびビデオ日本語教材を用いて、初級日本語教育で扱う文型、文法事項の英語による具体的指導法を考察する。外国語としての日本語の文法基礎知識を得ることが期待される。

### 【評価方法】

期末試験および日常の勉学状況により評価を行う。

### 【テキスト】

未定。



## 実践日本語表現法 a・b

人見恭司

### 【授業の概要】

これから大学で学ぶ専門教育の基礎として、日本語における基本的な技能（書く・話す・読む・聞く・調べる）について学習する。日本語を有効に活用できる基礎的な知識を身につけること、身につけた知識をもとに実践的な能力を養成することを目標とする。

### 【授業計画】

- a
1. 導入（講義の進め方など）
2. 話し言葉と書き言葉（1）（話し言葉と書き言葉の違い）
3. 話し言葉と書き言葉（2）（書き言葉としてふさわしい表現）
4. 話し言葉と書き言葉（3）（文末表現について）
5. 書き言葉の技能 基礎（1）（文の骨組みを抜き出す、漢字練習1）
6. 書き言葉の技能 基礎（2）（文の骨組みを整える、漢字練習2）
7. 書き言葉の技能 基礎（3）（呼応関係を確認する、漢字練習3）
8. 書き言葉の技能 基礎（4）（接続詞「が」の使い方、漢字練習4）
9. 書き言葉の技能 基礎（5）（句読点の使い方、漢字練習5）
10. 書き言葉の技能 基礎（6）（修飾語と被修飾語、慣用句1）
11. 書き言葉の技能 基礎（7）（修飾語の語順、慣用句2）
12. 学習内容のまとめ（今までの学習内容のまとめと確認）
- b
1. 書き言葉の技能 応用（1）（論の要旨をとらえる）
2. 書き言葉の技能 応用（2）（文章を要約する）
3. 書き言葉の技能 発展（1）（レポートの書き方）
4. 書き言葉の技能 発展（2）（論証の仕方）
5. 話し言葉の技能 基礎（1）（敬語の基礎）
6. 話し言葉の技能 基礎（2）（敬語の種類と使い方）
7. 話し言葉の技能 基礎（3）（間違いやすい敬語表現）
8. 話し言葉の技能 応用（1）（相手を考えて話す）
9. 話し言葉の技能 応用（2）（電話で話す）
10. 総合応用（1）（手紙文とその実例）
11. 総合応用（2）（ビジネス文書とその実例）
12. 学習内容のまとめ（今までの学習内容のまとめと確認）

### 【評価方法】

出席状況、受講態度、課題提出などにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

書き込み式 日本語表現法（加藤良徳他 三弥井書店）

### 【参考文献・資料】

授業時に指示する。

## 英語コミュニケーション2 (Listening I)

SUTHONS, Philip HARRIS, Richard S.  
WILLIAMS, Allen D. SMITH, September

### 【授業の概要】

短いフレーズを中心とした英語を正確に聞き取れるようになるための基礎的な能力を、LL教材を用いて演習形式で身につける。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、基礎的なリスニング力を養成することがこの授業の目標である。この目標を達成するために、音声教材、CALLシステムなどを活用し、以下の内容で授業を進める。

1. 英語のリズムとイントネーションの習得
2. 連結・脱落・同化などの聞き取り
3. ディクテーション
4. シャドーイング
5. 短文・長文の暗唱
6. ペア・プラクティス

様々な場面における対話や応答、状況説明などの聞き取りを通じて、語彙の増強と基本的な英語表現の習得も図る。

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進度についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

〈長久手キャンパス〉

*A New Approach to Natural English:*  
ShadowingによるTOEIC, TOEFL制覇（矢作三蔵著 開文社出版）  
リスニング・トレーナー：TOEIC 対応レベル別練習  
（千田潤一著 朝日出版社）  
*Work Sheets for Compact English Listening:*  
ワークシート方式リスニングの基本演習（船田秀佳著 北星堂書店）  
以下未定

〈星が丘キャンパス〉

掲示・配布物にて指示する。

## 英語コミュニケーション1 (TOEIC I)

NORRIS, Harry T. DYCUS, David C.  
CAMERON, Leona R. PUDWILL, Larry A.

### 【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い国際コミュニケーション英語能力テストTOEICに向けての基礎的な能力を、文法や語彙など基本事項に重点を置いて身につける。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、文法や語彙などの基本事項の整理を行うのがこの授業の目標である。この目標を達成するために、この授業では、本学に導入しているコンピュータを利用した英語学習システムALC NetAcademy（アルクネットアカデミー）の「初級・中級コース」を活用して、文法や語彙などの基本事項を再確認し、その定着を図る。具体的には、以下のよう

1. 受講生による演習問題への解答
2. 授業担当者による問題解説
3. 演習問題を利用したディクテーション、シャドーイング、ペア・プラクティスなど
4. Speed ListeningとSpeed Reading機能を活用した速聴・速読練習
5. 確認テストの実施

「初級・中級コース」のうち、「TOEICテスト演習コース」（10ユニット）と「TOEICテストパート演習コースpart V」（20ユニット）の合計30ユニットを修了させることが目標である。

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進度についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

〈長久手キャンパス〉

*13 Grammatical Keys to the TOEIC Test:* TOEICテスト頻出文法13ポイント（西谷敦子著 朝日出版社）

*TOEIC Test: Grammatical Trainer*（大学生のためのTOEICテスト英文法）（高山芳樹著 南雲堂）  
以下未定

〈星が丘キャンパス〉

掲示・配布物にて指示する。

## 英語コミュニケーション3 (Listening II)

NORRIS, Harry T. PUDWILL, Larry A.  
REINTSMA, Sharell STEPHENSON, Brett

### 【授業の概要】

英語をより正確に聞き取り、パラグラフや会話文の要点を把握できるようになるための発展的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、会話文・説明文などの内容を正確に把握できるリスニング力を養成することがこの授業の目標である。

この目標を達成するために、さまざまな音声教材、CALLシステムなどを活用し、以下の内容で授業を進める。

1. 英語のリズムとイントネーションの習得
2. 連結・脱落・同化などの聞き取り
3. 数字・地名の聞き取りと、日本人英語学習者が発音・聞き取りを不得手としている音の練習
4. ディクテーション
5. シャドーイング
6. 短文・長文の暗唱
7. ペア・プラクティス

授業で取り上げた教材を、何度も繰り返し声に出して発音する練習を通じて、英語らしいリズムとイントネーションの習得とともに、語彙力と表現力も身につける。英語を頭の中で日本語に置き換えるのではなく、英語を英語として聞き理解できるようになるために、大量・高速の英語を聞く。

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進度についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

掲示・配布物にて指示する。



## 英語コミュニケーション4 (Reading I)

DYCUS, David C. CAMERON, Leona R.  
WILLIAMS, Allen D. STEPHENSON, Brett

### 【授業の概要】

英文の内容を早く、正確に読みとれる能力を身につけるために、さまざまなタイプの英文を多読・速読する。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、英文の内容を早く、正確に読みとれるようになることがこの授業の目標である。具体的には、1分あたり150語以上のスピードで英文を読み、英語を日本語に訳すのではなく、英語を英語として読み、分からない単語があっても前後の文脈から意味を推測し、パラグラフごとの要点を把握するための訓練を行う。速読の訓練には、本学に導入しているコンピュータを利用した英語学習システムALC NetAcademy (アルクネットアカデミー)のSpeed Reading機能も活用する。授業は以下の内容で進める。

1. 社会・経済、世界の情報、自然科学、文化、広告文などの実用的な英文などさまざまな分野の英文の読解
2. 語彙力の増強
3. 文法事項の整理
4. 練習問題・確認テストなど

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進捗についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

(長久手キャンパス)

*Exploring Cultural Issues: Practice in the TOEIC Test Format*  
(異文化で学ぶTOEICテスト総合演習) (清水義和著 成美堂)  
*5-Minute Quizzes for TOEIC: Reading* (TOEICのリーディング対策)  
(木村恒夫他著 マクミラン ランゲージハウス)  
以下未定

(星が丘キャンパス)

掲示・配布物にて指示する。

## 英語コミュニケーション6 (Oral Communicaton I)

### 【Course Content】

ネイティブ・スピーカーの教員によって、実用英会話の基礎的な力を身に付ける。

This course aims to develop students' basic English proficiency by focusing on the practical English skills that will enable them to communicate their needs, views and ideas. Topics commonly included in TOEIC tests will be used as themes for these oral encounters.

Reading, Writing and Listening tasks will be used only as preparation for oral activities. For example, dialogues and roll plays may be used to set the scene for further discussion. The dialogues may be text based or student designed (i.e. homework).

### 【Schedule】

Topics will include such things as: Office Conversations, Travel Situations, Talking about Occupations, On the Telephone, Eating out and other TOEIC type situational conversations.

### 【Assessment】

- 25% Attendance
- 25% Homework
- 50% Class-work/Participation/Tests

### 【Textbooks】

To be announced

## 英語コミュニケーション5 (TOEIC II)

### 【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い国際コミュニケーション英語能力テストTOEICに向けての発展的な能力を身につけ、英語の総合力を高めることを目標とする。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、リスニング力とリーディング力を総合的に向上させることがこの授業の目標である。この目標を達成するために、この授業では、本学に導入しているコンピュータを利用した英語学習システムALC NetAcademy (アルクネットアカデミー)の「スタンダードコース」を活用して、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。具体的には、以下のように授業を進める。

1. 「スタンダードコース」の「レベル診断テスト」の受験 (学生の習熟度にきめ細かく対応するため)
2. 受講生による演習問題への解答
3. 授業担当者による問題解説
4. 演習問題を利用したディクテーション、シャドーイング、ペア・プラクティスなど
5. 確認テストの実施

「スタンダードコース」のうち、「リスニング力強化コース」(50ユニット)と「リーディング力強化コース」(50ユニット)の全100ユニットを修了させることが目標である。

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進捗についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

掲示・配布物にて指示する。

## 英語コミュニケーション7 (Oral Communicaton II)

### 【Course Content】

ネイティブ・スピーカーの教員によって、実用英会話の応用的な力を身に付ける。

This pre-intermediate course, aims to further develop students' English proficiency by focusing on the practical English skills that will enable them to communicate their needs, views and ideas. Topics commonly included in TOEIC tests will be used as themes for these oral encounters.

Reading, Writing and Listening tasks will be used only as preparation for oral activities. For example, dialogues and roll plays may be used to set the scene for further discussion. The dialogues may be text based or student designed (i.e. homework).

### 【Schedule】

Topics will include such things as: Leisure and Recreation, The Weather, Advertising, Commuting and Transportation, Banking and Shopping.

### 【Assessment】

- 25% Attendance
- 25% Homework
- 50% Class-work/Participation/Tests

### 【Textbooks】

To be announced



## 英語コミュニケーション 8 (Reading II)

### 【授業の概要】

さまざまなタイプの英文の内容を正しく把握できるように、英文精読のトレーニングを行う。

### 【授業計画】

英語運用能力育成を目指す全学共通科目の一つとして、目的に応じた英文の読み方があることを知り、ある程度のまとまった長さの英文を読みとれるようになることがこの授業の目標である。長い文章は、全体のテーマに行き着くまでに、いくつかのパラグラフが組み合わさってできている。このため、英文の内容を正しく把握するためには、パラグラフごとの要点を把握し、異なるパラグラフが論理的にどのような関係にあるのか、筆者の主張・論点・メッセージは何かを理解する必要がある。授業は以下の内容で進める。

1. 長文の大意把握
2. 語彙力の増強
3. 文法事項の整理
4. 練習問題・確認テストなど

なお、担当教員や使用テキストなどにより、若干の変更が生じる場合がある。授業の計画や進捗についての詳細は、1回目の授業で担当教員から説明される。

### 【評価方法】

出席25%、宿題25%、授業への積極的参加・授業内活動・テスト50%

### 【テキスト】

掲示・配布物にて指示する。

## Introduction to American History

LONG, Jonathan E.B.

### 【Course Content】

In this course the students will read about, discuss and write about the major trends and influences on American history. It is hoped that this will help them to better understand America and americans.

### 【Schedule】

To be announced.

### 【Assessment】

Students will be assessed on attendance, class participation, assignments and tests.

### 【Textbooks】

To be announced.

## Introduction to British History

EASLEY, Keith

### 【Course Content】

This course deals with British History from its beginnings to the Twentieth Century, concentrating on events, people and places. The links between past and present will be stressed, and the main aim is to increase students' cultural understanding of the UK while developing language skills.

If it is necessary to limit class size, there may be a written test in the first lesson.

Teaching will be by lecture, discussion and small-group work.

### 【Schedule】

Topics to be considered may include:

The Romans and their mark on Britain  
British races: Anglo-Saxons, Celts and others  
Feudal society  
Christianity  
Elizabeth I: war, trade, exploration and culture  
The unification of the UK  
Democracy and expansion in the Eighteenth Century  
Britain, Europe and North America from the Eighteenth Century  
The Industrial Revolution  
The development and decline of the British Empire  
Victorian Britain  
Britain in the Twentieth Century

Each topic will take between one and two weeks, with time given to review and consolidation.

### 【Assessment】

Assessment will be based on attendance, class participation, homework and examination

### 【Textbooks】

The textbook will be announced during the first class.

## Introduction to Australian History

WOODMAN, Jo-Anne

### 【Course Content】

Australian poems, songs, movies, documentaries, and magazine articles are just some of the resources that will be used to introduce the students to Australia's colourful and controversial history. Students will be "exposed to" famous people and incidents that have helped shape Australia.

### 【Schedule】

Section 1 : The Early Years: "I am Australian" / Banjo Paterson · The Man from Snowy River/ Waltzing Matilda etc..  
Section 2 : Shameful Times : Nuclear tests/ The Lost Generation/White Australia Policy/ Unbelievable events etc..  
Section 3 : Influential people - Aboriginal artists/Famous actors/ Politicians/Women in Public life, and how they have affected Australia.

### 【Assessment】

Students will be required to write a number of reports about their reactions to the materials/issues discussed in class. There will also be frequent vocabulary tests, which will emphasize Australian English.



## Current UK

EASLEY, Keith

### [Course Content]

This course examines the UK today and aims to deepen students' understanding of Britain and its place in the world while developing language skills. A range of political, social, economic and cultural issues will be considered.

If it is necessary to limit class size, there may be a written test in the first lesson.

Teaching will be by lecture, discussion and small-group work.

### [Schedule]

Topics to be considered may include:

Identities and multinationalism  
Britain and Europe: Britain and the USA  
The media  
The English languages  
Democracy  
The making of money  
Devolution: countries and regions in the UK  
Men and women: changes and continuities  
Crime  
Health

Each topic will take between one and two weeks, with time given to review and consolidation.

### [Assessment]

Assessment will be based on attendance, class participation, homework and examination.

### [Textbooks]

The textbook will be announced during the first class.

## Current Australia

WOODMAN, Jo-Anne

### [Course Content]

Australian pop music, contemporary dramas, gossip magazines, and TV news programs/documentaries will be used to introduce the students to life Down Under. Emphasis will be placed on trying to understand Aussie language and culture so that the students will feel more affinity with Australia and its people.

### [Schedule]

Section 1 : Facts and Figures - We will look at a variety of Australian facts and figures which demonstrate some unique characteristics of Australia and its people eg. Pop'n density/concentration; percentage of single mothers; the divorce rate;cost of tertiary education, etc..

Section 2 : What's happening? - popular songs, dramas, and magazine articles will provide the students with an opportunity to delve into the psyche of young Australian people.

Section 3 : What's in the news? - TV news programs/documentaries and newspaper articles will allow the students to become familiar with high profile people and events in contemporary Australia.

### [Assessment]

Students will be required to write a number of reports highlighting the similarities and differences between Japan and Australia. There will also be frequent vocabulary tests -both oral and written.

## Current USA

LONG, Jonathan E.B.

### [Course Content]

In this course the students will be expected to read about, discuss in English and write about American current events and life.

### [Schedule]

To be announced.

### [Assessment]

Assessment will be based on the students class participation, attendance, assignments and tests.

### [Textbooks]

To be announced.

## Vocabulary I

WOODMAN, Jo-Anne

### [Course Content]

This course is designed to explore vocabulary and other aspects of language and culture through analysis of songs, newspaper articles, and movie scripts.

Special emphasis will be placed on understanding slang and idiomatic expressions in both informal and formal (business) situations. The students will be encouraged to appreciate the importance of idiomatic expressions in communicating with native English speakers.

### [Schedule]

To be decided.

### [Assessment]

Vocabulary tests (oral and written) 80%  
Class participation etc. 20%



## Vocabulary II

WOODMAN, Jo-Anne

### 【Course Content】

This course will encourage the students to continue developing their vocabulary by engaging them in a variety of activities which will stimulate their interest in learning new words and expressions. Particular emphasis will be placed on the importance of phrasal and idiomatic expressions.

Activities may include such things as : the analysis of pop music lyrics; articles about famous people etc., plus new computer software systems ex. "Powerwords". This computer system allows the student to choose a level and speed which is appropriate for them, so it is regarded as a very satisfying and rewarding way to work on vocabulary development.

### 【Schedule】

To be decided.

### 【Assessment】

Vocabulary tests (oral and written) 80%  
Class participation etc. 20%

## English Collaboration

NORRIS, Harry T.

### 【Course Content】

This is an introductory course for college English education. The aim of this course is to motivate students to learn to use English as a life-skill tool. This will be done through the use of various indoor and outdoors activities. This course will motivate students to learn English through action and need, with minimal use of literary English. This means that students learn English, not by writing or speaking English intentionally, but by participating in various activities. Students are expected to enrich their vocabulary through repetition of use and to become familiar with idiomatic and onomatopoeic expressions.

### 【Schedule】

In most cases classes will begin with oral explanation followed by the activity. Classes will vary from using the Internet to craft activities, group projects and sports on the field.

### 【Assessment】

Assessment will be based on attendance and participation.

### 【Textbooks】

None

### 【Reference】

None

## 英語音声学 I

中郷 慶

### 【授業の概要】

英語の発音の特徴を、日本語と比べながら明らかにする。言語音の分類、母音と子音の体系など、英語音声の基礎的事項を学ぶ。また、英語らしいリズムとイントネーションについても、その理論を学ぶとともに、実践練習を行い定着を図る。

### 【授業計画】

英語（および日本語）音声の特徴の全体像を明らかにするように、次のような内容で授業を進める。

1. 英語のリズムとイントネーション
2. リズムの担い手と強勢パターン
3. 語強勢と文強勢
4. イントネーションと意味
5. 発音の仕組み
6. 音韻論と音声学

受講生はこれまでに、英語を何年間も学習してきたとしても、おそらく、何が英語の発音の特徴であるのか理解していないように思われるし、十分な発音指導を受けてきたこともないと思われる。英語を勉強していくうえで、一度、徹底的に英語の音声を基礎から勉強しておくことは不可欠なことである。この授業はヒアリング力の向上にも役立つであろう。

### 【評価方法】

出席状況、レポート、定期試験の成績により総合的に評価する。

### 【テキスト】

こうすれば英語が聞ける： *Ways to be better listeners*  
(中郷安浩・中郷慶共著 英宝社)

### 【参考文献・資料】

授業中に指示。

## 英語音声学 II

中郷 慶

### 【授業の概要】

前期開講科目「英語音声学 I」に引き続き、英語（および日本語）の音声の特徴の全体像を、さらに明らかにすることを目標とする。特に、日本人英語学習者にとって発音と聞き取りが難しい個々の音の発音方法を学び、より英語らしく読み、話す実践的練習を、歌・映画・小説の朗読などを題材に行う。

### 【授業計画】

以下の内容で、講義と実践的練習を行う。

1. シャドーウィングとディクテーション
2. 日本人英語学習者が不得手な子音の発音と聞き取り
3. 日本人英語学習者が不得手な母音の発音と聞き取り
4. 英語の音変化（同化・脱落・連結・縮約など）
5. 英語の音節構造
6. 音節とモーラ

### 【評価方法】

出席状況、レポート、定期試験の成績により総合的に評価する。

### 【テキスト】

こうすれば英語が聞ける： *Ways to be better listeners*  
(中郷安浩・中郷慶共著 英宝社)

### 【参考文献・資料】

授業中に指示。



## Writing I (Diary & Daily Life)

LONG, Jonathan E.B.

### 【Course Content】

In this course students will improve their basic writing skills in English by keeping a diary and researching, discussing and writing about their daily lives.

### 【Schedule】

To be announced

### 【Assessment】

Assessment will be based upon class participation, attendance and homework.

### 【Textbooks】

To be announced

## Writing II (Paragraph Writing)

LONG, Jonathan E.B.

### 【Course Content】

In this course the students will learn how to write good paragraphs in English by example and practice.

### 【Schedule】

To be announced

### 【Assessment】

Assessment will be based on class attendance, participation and homework.

### 【Textbooks】

To be announced

## Reading I (Literature)

太田直子

### 【授業の概要】

英米文学の短編を読む。英語を日本語に訳すだけではなく、作品、作家の背景を知ることによって深くそして楽しく物語を読んでいけるかを学ぶ。

### 【授業計画】

William Saroyan, "The First Day of School"  
Erskine Caldwell, "The Strawberry Season"  
Ernest Hemingway, "Indian Camp"  
Lafcadio Hearn, "A Dead Secret"  
Herbert E. Bates, "A Love Story"  
O. Henry, "Witches' Loaves"  
Graham Greene, "I Spy"  
Somerset Maugham, "The Happy Man"

### 【評価方法】

学期末のテスト。

### 【テキスト】

*The Happy Man and Other Stories* (金星堂)

## Reading II (Linguistics)

金子輝美

### 【授業の概要】

前期は、言語と文化の関係についての平易なエッセイを読み、英語と日本語表現を比較しながら、異文化の理解に務めます。速読による大意把握に重点を置きます。全部で11課ありますので、1回に必ず1課を読みます。

後期は、語彙に関する言語学的エッセイを読みます。「語とは何か、語の意味とは何か、語はどのように使われるのか」というような根本的問題について、豊富な事例を通して学びます。1回に1課を通読します。

### 【授業計画】

家庭での予習を前提にして読み進み、重要なところを解説します。英語表現や内容について頻りに質問して、理解度を確かめます。英語学習や研究の目的を明らかにし、実用的英語読解力の向上を計るとともに、言語学・英語学・コミュニケーション論のような専門的分野にも興味をもてるような授業をしたいと思います。

### 【評価方法】

小テスト、課題、学習意欲、期末テスト、出席状況などを総合的に判断して成績評価をします。実力涵養の立場から、学習事項に関連した応用問題が出されることもあります。

### 【テキスト】

<前期> *Polite Fictions in Collision :Why Japanese and Americans Seem Rude to Each Other* (Nancy Sakamoto & Shijo Sakamoto, 金星堂, 2004年発行)

<後期> *The World of Words :Understanding and Using Vocabulary* (Vance E. Johnson, 金星堂 1996年発行)

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介します。



## English Grammar I

金子輝美

### 【授業の概要】

高校時代に学習した英文法の知識をさらに深め、英語を使用する際に生かせるように努力する。多くの英文に触れ、〈理論〉と〈実践〉の両面から、英語表現そのもの理解し、味読できるようにする。次の事項を中心に講義を進める。

1. 現在、過去時制
2. 進行形
3. 完了形
4. 助動詞

### 【授業計画】

テキストは懇切丁寧に解説されているので、家庭でそれを熟読し、例文を理解し、練習問題を解いてみることを希望する。授業では、難解な部分を解説し、学生に頻繁に質問することによって理解度を確認する。小テストを実施したり、宿題を出すこともある。基本的文法事項を活用して、自己発信（話す、書く）できるようにする。また、短文ではなくて、まとまったパラグラフを通読する時間を設ける。文法のための文法学習ではなくて、最終的には、オールラウンドな英語力の涵養を目標とする。

### 【評価方法】

座席を指定し、出席状況を重視する。授業態度も成績評価に加味する。課題、小テスト、定期試験前の予備テスト、定期試験を実施する。各試験では、学習事項に関連した応用問題が出されることもある。

### 【テキスト】

*Focus on Grammar vol.A* (LONGMAN (2000))

## English Grammar II

金子輝美

### 【授業の概要】

高校時代に学習した英文法の知識をさらに深め、英語を使用する際に生かせるように努力する。教科書に加えて最新の英字新聞や雑誌などの補助教材を用いて、多くの英文に触れ、〈理論〉と〈実践〉の両面から、英語表現そのもの理解し、味読できるようにする。

5. 能動態と受動態
6. 関係詞
7. 不定詞と動名詞
8. 仮定法

### 【授業計画】

テキストは懇切丁寧に解説されているので、家庭でそれを熟読し、例文を理解し、練習問題を解いてみることを希望する。授業では、難解な部分を解説し、学生に頻繁に質問することによって理解度を確認する。小テストを実施したり、宿題を出すこともある。基本的文法事項を活用して、自己発信（話す、書く）できるようにする。また、短文ではなくて、まとまったパラグラフを通読する時間を設ける。文法のための文法学習ではなくて、最終的には、オールラウンドな英語力の涵養を目標とする。

### 【評価方法】

座席を指定し、出席状況を重視する。授業態度も成績評価に加味する。課題、小テスト、定期試験前の予備テスト、定期試験を実施する。各試験では、学習事項に関連した応用問題が出されることもある。

### 【テキスト】

*Focus on Grammar vol.B* (LONGMAN (2000))

## 英米思想

柳原佳枝

### 【授業の概要】

文学や言語を学び理解するには、それらの基盤をなすものについての知識が必要不可欠である。

欧米のアイデンティティを性格づける中心的要素はキリスト教である。

この講義では、英米におけるキリスト教の人間観や価値観を論考する。

なお、講義の進め方については、極めて基本的な内容にとどめること、および、関心や理解を深めるために、具体的な例証を取り上げ解説することに留意する。

### 【授業計画】

以下のようなテーマで講義を行う。

- ・聖書
- ・キリスト教
- ・人間の尊厳
- ・キリスト教と欧米文化
- ・事例研究

T.モア、A.リンカーン、マザー・テレサ、他

### 【評価方法】

学期末の試験、および出席・平常点も重視して、総合的に評価する。

### 【テキスト】

配布プリント。その他、講義で指示する。

### 【参考文献・資料】

講義中に適宜配布又は指示する。

## Speaking I

WOODMAN, Jo-Anne

### 【Course Content】

This course aims to make the students more comfortable and confident in initiating and continuing a conversation in English. It will emphasize the vocabulary and other communication skills needed in normal everyday-life situations. The resources and teaching techniques employed will focus on situations relevant to Japanese students, for example: meeting foreigners in social settings; dealing with foreign customers; getting along with a host family during a home stay etc..

Cultural differences, relevant to each topic, will be introduced and discussed.

### 【Schedule】

Students will talk about a wide variety of things including: their family; interests; part-time jobs etc.. They will be required to make tape-recordings of their information / opinions as part of the on-going assessment.

### 【Assessment】

Active participation in all class activities will constitute the majority of marks awarded for this course. However, additional points will be awarded for the individual tape-recordings completed for homework.



## Speaking II

WOODMAN, Jo-Anne

### 【Course Content】

This course aims to develop students' speaking proficiency, with particular emphasis placed on public speaking. The natural progression of speaking to a partner, then to small groups, and finally to larger groups will be the basis on which the class will be structured. Students will be encouraged to choose topics which will allow them to make such a transition relatively easily. Explaining about features of Japan and Japanese culture (in English) will be a key part of the practice sessions, and will provide the students with opportunities to appreciate the fundamentals of speaking in public.

### 【Schedule】

To be decided.

### 【Assessment】

Classwork (preparation and participation) 70%

Homework (tape recordings) 30%

## ドイツ語II

濱田義孝

### 【授業の概要】

ドイツ語の基礎を習得する。

ドイツ語は英語と同じく西ゲルマン語から出た言語で類似点も多いが、英語に比べてかなり保守的で、面倒な語形変化などがある。しかし一見やっかいそうな文法もいったん慣れてしまえば、かえって語句の関係が明確であり構文の把握も容易になる。

言葉は何よりもまず音声であるから、初めにドイツ語の発音に慣れること。そのためには教師（またはテープ）のドイツ語をよく聞いて、積極的に口を動かして真似ること。こうして繰り返し反復練習することによって、基本的なドイツ語の語句や言い回しになじみ、やさしい文を覚えていけば、週一回という短時間の学習でも、ドイツ語の基礎をマスターできるでしょう。

またドイツ語の学習を通してドイツやオーストリアの生活と文化に触れることもできる。

### 【授業計画】

テキストは全12課で、各課ともドイツ語の会話と基本的な文法事項、練習問題から構成されている。LL方式のパターン練習で基本構文や表現パターンを覚え、それをペアで行なう対話練習で実践し、段階的に表現能力を身に付けてゆく。

1課を2回の授業で修了するくらいのゆっくりしたペースで進む。

### 【評価方法】

授業での平常点と期末試験の成績を総合して評価する。

### 【テキスト】

コミュニケーションのためのドイツ語（在間・田畑共著 第三書房）

## ドイツ語I

濱田義孝

### 【授業の概要】

ドイツ語の基礎を習得する。

ドイツ語は英語と同じく西ゲルマン語から出た言語で類似点も多いが、英語に比べてかなり保守的で、面倒な語形変化などがある。しかし一見やっかいそうな文法もいったん慣れてしまえば、かえって語句の関係が明確であり構文の把握も容易になる。

言葉は何よりもまず音声であるから、初めにドイツ語の発音に慣れること。そのためには教師（またはテープ）のドイツ語をよく聞いて、積極的に口を動かして真似ること。こうして繰り返し反復練習することによって、基本的なドイツ語の語句や言い回しになじみ、やさしい文を覚えていけば、週一回という短時間の学習でも、ドイツ語の基礎をマスターできるでしょう。

またドイツ語の学習を通してドイツやオーストリアの生活と文化に触れることもできる。

### 【授業計画】

テキストは全12課で、各課ともドイツ語の会話と基本的な文法事項、練習問題から構成されている。LL方式のパターン練習で基本構文や表現パターンを覚え、それをペアで行なう対話練習で実践し、段階的に表現能力を身に付けてゆく。

1課を2回の授業で修了するくらいのゆっくりしたペースで進む。

### 【評価方法】

授業での平常点と期末試験の成績を総合して評価する。

### 【テキスト】

コミュニケーションのためのドイツ語（在間・田畑共著 第三書房）

## フランス語I

清水ベアトリックス

### 【授業の概要】

この授業は初級者を対象とし、フランス語の習得だけでなく、フランスの風俗、文化、習慣も「味わいながら」学ぶことを意図する。担当講師はフランス語の授業を通じて受講者の対仏国理解を深める手助けをすることを切に望む。

#### 前期

日本で出版された平易なフランス語テキスト（CD付き）とビデオを使用する。

前期には、テキストの目次に沿って進み、フランス人講師が直接教えるので、受講者は「フランスに浸り」、「純粋な」フランス語の発音と文法の基礎を身に付ける。

できる限り前期では、下記の文法を学ぶ：

発音、名詞の『性』と『数』、冠詞、不定詞と動詞の活用：直接法現在形、疑問文：疑問代名詞と疑問形容詞、否定文、品質形容詞、指示形容詞、所有形容詞。

#### 後期

前期に引き続き同じテキストを使用し、より高レベルの文法・語彙を学ぶ。しかし、特にコミュニケーションに重点を置くので、「純粋なフランスの環境」の中で簡単な作文を書いたり、寸劇をすることにより、受講者自身の考えをフランス語で表現する能力を養成することを主目的とする。

後期では、下記の文法事項を学ぶ：

目的語となる人称代名と強勢形、冠詞の縮約、半過去、複合過去、未来形。

### 【授業計画】

毎回学んだフランス語を会話練習に積極的に使用するとともに、文法を体系的に学んだり、平易なフランス語の文章を和訳する。

### 【評価方法】

定期試験を重視するが、小テスト（3回）、宿題、出席率、受講態度なども考慮に入れる。

### 【テキスト】

*Elle est gourmande*（藤田裕二 朝日出版社）



## フランス語Ⅱ

清水ベアトリックス

### 【授業の概要】

この授業は初級者を対象とし、フランス語の習得だけでなく、フランスの風俗、文化、習慣も「味わいなから」学ぶことを意図する。担当講師はフランス語の授業を通じて受講者の対仏国理解を深める手助けをすることを切に望む。

#### 前期

日本で出版された平易なフランス語テキスト（CD付き）とビデオを使用する。前期には、テキストの目次に沿って進み、フランス人講師が直接教えるので、受講者は「フランスに浸り」、「純粋な」フランス語の発音と文法の基礎を身に付ける。

できる限り前期では、下記の文法を学ぶ：

発音、名詞の『性』と『数』、冠詞、不定詞と動詞の活用：直接法現在形、疑問文：疑問代名詞と疑問形容詞、否定文、品質形容詞、指示形容詞、所有形容詞。

#### 後期

前期に引き続き同じテキストを使用し、より高レベルの文法・語彙を学ぶ。しかし、特にコミュニケーションに重点を置くので、「純粋なフランスの環境」の中で簡単な作文を書いたり、寸劇をすることにより、受講者自身の考えをフランス語で表現する能力を養成することを主目的とする。

後期では、下記の文法事項を学ぶ：

目的語となる人称代名と強勢形、冠詞の縮約、半過去、複合過去、未来形。

### 【授業計画】

毎回学んだフランス語を会話練習に積極的に使用するとともに、文法を体系的に学んだり、平易なフランス語の文章を和訳する。

### 【評価方法】

定期試験を重視するが、小テスト（3回）、宿題、出席率、受講態度なども考慮に入れる。

### 【テキスト】

*Elle est gourmande*（藤田裕二 朝日出版社）

## ロシア語Ⅱ

杉本一直

### 【授業の概要】

ロシア語Ⅰに引き続き、ロシア語の基礎を学びます。ロシア語Ⅱでは、基礎的な文法事項の習得に重点をおきます。

### 【授業計画】

毎回ひとつの重要な文法事項をクローズ・アップし、ひとつづつじっくり習得していきます。

取り上げる文法事項の主なものは以下の通り。

- ・動詞の過去形
- ・名詞の前置格
- ・名詞の対格
- ・名詞の生格
- ・不完了体と完了体
- ・関係代名詞と関係副詞

### 【評価方法】

定期試験の成績による。

### 【テキスト】

ロシア語ミニ辞典（白水社）

## ロシア語Ⅰ

杉本一直

### 【授業の概要】

みなさん、知っていますか？日本の大学のなかでロシア語を学ぶことができるところは本当に少ないですよ。ということは、「ロシア語がわかる人」は日本ではとても希少価値があるのです！「芸術の国ロシア」の言葉を今すぐ学んでみませんか？

この授業では、初歩のロシア語を学びながらロシアの芸術や文化や街について楽しく紹介していきます。映画の鑑賞会もありますから、楽しみにしててくださいね。

### 【授業計画】

初級のわかりやすい辞書を「テキスト」として授業を進めてきます。まず、例の不思議な形をしたキリル文字を覚え、発音を覚え、そのあとは辞書で遊び(?)ながら「使える単語」「使えるフレーズ」を集めていきます。たくさんたくさん集めたら、あれ、いつのまにかロシア語の達人！

辞書以外に補助教材として会話用プリントを配布します。学ぶ項目は以下のとおりです。

- キリル文字と発音
- 大きな声であいさつしよう
- 買い物に行ってみよう
- 乗り物に乗ろう
- おなかがかすいたら...
- 自分について話してみよう
- 好きな音楽について
- 手紙を書こう（本当にロシアへ送るぞ!）

### 【評価方法】

定期試験の成績による。

### 【テキスト】

ロシア語ミニ辞典（白水社）

## British Culture

EASLEY, Keith

### 【Course Content】

英語によるイギリス文化理解のための特別講座  
イギリスの文化全般について、特にイースト・アングリア大学で行われる春期研修へとつながる内容を含みながら、英語聴解・発表力を養成すべく、指導するものである。併せて日本文化を相対化する視点・獲得も意図する。

The course will last for approximately twelve weeks, one period a week. Many of the following subject areas will be considered :

- Britain's Contribution to World Culture
- Money and Work
- Language & History
- Education
- Food & Drink
- Traditions, Manners, and Attitudes
- Art, Film and Music
- Britain's Class System.
- Britain & Japan
- Everyday Living

These subjects are not exclusive of one another, & their interconnectedness will be emphasised. Throughout the course, the aim will be to show Britain's place in the World, historically & now. As opportunities arise, the connections between ASU & UEA will be emphasised. Class size will be limited and there may be a test in the first lesson.

### 【Schedule】

The course will be taught entirely in English. Each week there will be a lecture on one of the topics.

### 【Assessment】

Assessment will be continual, supplemented by a test at the end of the semester, & an individual written project to be completed by each student during the semester.

### 【Textbooks】

None



## American Culture

DYCUS, David C.

### 【Course Content】

This course will be a general introduction to the culture, customs, common practices, and common values of the people of the United States of America, and the historical background behind them. The goal of the course is to familiarize class participants with what are commonly termed "mainstream" values and practices (essentially those of the dominant white middle-class) as well as those of the major minority groups which form an increasingly large percentage of the population of the country. A solid understanding of any culture requires a general understanding of major social institutions such as religion, education, and the family, so these topics will also be covered.

### 【Schedule】

The list below presents the topics which will be discussed in the class but not necessarily the order in which they will be presented.

1. Common American values and attitudes and how they shape the American world view
2. Living history: an overview of certain major events and figures in American history up to the present and which influence modern American culture.
3. Religion and its place in modern American culture
4. Immigration in the past and ethnic relations today
5. The American Indians, past and present
6. The influence of "the West" on American thought
7. Marriage and family relations
8. Schooling
9. Holidays and ceremonial events
10. Communication preferences and style
11. Gender relations
12. Pop/youth culture and its roots

Depending on student interest, other topics may be addressed during the course of the semester.

### 【Assessment】

Assessment will be based on 1) attendance and participation (25%), 2) quizzes (25%), and a final test (50%). Both quizzes and the final test will assess whether participants in the course recognize important people, events, and general aspects of American culture by name and recognize the basic implications they have to American culture. The tests and quizzes will be in English and will be a combination of multiple-choice and True-False questions.

### 【Textbooks】

To be announced

## Irish Culture

CULLEN, Brian

### 【Course Content】

The course will be centered around Irish history, moving from early history up to the formation of the Irish Republic. The culture, traditions and literature of Ireland will also be presented through short readings, videos, puzzles and activities. Most of the factual information will be presented in a source book. Depending on time, some of this material will not be covered in class. Students are encouraged to read further into their areas of interest in the source book or in the other reference materials which are suggested.

The literature of Ireland shall also be introduced through short pieces from famous Irish writers. There will be a mixture of new and old, including Yeats, Patrick Kavanagh, Oscar Wilde, Roddy Doyle and George Bernard Shaw. The songs of Ireland will also be well-represented in the course, linking into the various topics as much as possible.

### 【Schedule】

Method: Students will be required to participate actively in class discussions and activities.

### 【Assessment】

Assessment: Grades will be based on participation, homework and a test.

### 【Textbooks】

Text book: An original text compiled by the teacher will be made available before the start of the course.

## 海外セミナー I

大野光子 EASLEY, Keith

### 【授業の概要】

<イギリス文化・英語夏期研修>

夏期休暇期間中に、イギリスのオックスフォード・ブルックス大学 (OBU) ICELSにおいて開催される国際サマースクールに参加し、世界各国からの留学生と共に3週間一般英語の集中指導を受けた後、1週間程度の英国国内研修旅行を行う。修了者には、2単位が認定される。

2004年度の予定は下記の通り。

8月16日(月)～9月10日(金)

3週間: OBU ICELSにて英語・英国文化研修

その後: 本学学生のための英国国内バス旅行

午前及び午後: 主に教室内学習

午後または夜: 見学または観劇等

合計約60時間の学習

週末は、土曜日毎にロンドン、ブライトン等への日帰りツアー、

日曜日は自由行動

現地では、学生寮に他の留学生とともに滞在し、自炊ないしは外食

### 【授業計画】

オックスフォード・ブルックス大学 (OBU) ICELSによって運営される国際プログラムであって、出発前研修以外、全ての指導は現地教員により英語で行われる。なお、サマースクール終了後の英国国内バスツアーは、本学教員が引率することもあるが、原則として日本人添乗員が同行する。

### 【評価方法】

ICELS教員の評価により本学が単位を認定する。

### 【テキスト】

現地にて指示。

本プログラムに参加するには、事前に「イギリス文化」または「アイルランド文化」を受講し、単位を取得することが条件となる。

### 【参考文献・資料】

出発前研修中に指示する。

## 英文学基礎演習 a・b

柳原佳枝

### 【授業の概要】

英文読解力を深めると共に、英文学の作品理解に必要な基礎的知識を高めることを目指す。

文学作品の豊かさや作家それぞれに異なる作風の鑑賞にも留意。

教室では、作品を精読し、構成や人物描写、テーマや作品の背景、その他様々な視点から総合的に作品を理解する演習を行う。

併せて、小説の<読み方>及びレポートや論文の<書き方>についての検討も目指す。

### 【授業計画】

作品の精読をもとに、受講学生によるレポートや意見の発表に重点をおく。

前期に予定する作家:

J. Galsworthy, J. Cary, S. Maugham, 他

後期に予定する作家:

K. Mansfield, T. Hardy, 他

### 【評価方法】

定期試験、平常点(積極的な発言、レポート、出席、等)などで総合的に評価する。

### 【テキスト】

*Selections from Contemporary British Writers*

(大橋和男他編註 南雲堂)

及びプリント配布。

### 【参考文献・資料】

授業中に随時指示する。



## 英文学基礎演習 a・b

久野幸子

### 【授業の概要】

英文読解力と英文学作品の理解に必要な基礎知識を深めることを目指す。

### 【授業計画】

授業は輪読形式、レポーター形式及びグループディスカッション形式で行なう。

### 【評価方法】

前後期とも平常点（出席・予習・発表など）と定期試験またはレポートによって、総合的に評価する。

### 【テキスト】

未定

### 【参考文献・資料】

授業中に指示する他、プリント配布。

## 米文学基礎演習 a・b

太田直子

### 【授業の概要】

アメリカ20世紀を代表する3人の作家、John Steinbeck, Ernest Hemingway, William Faulknerの短編を読んでいく。作品を読みながら、いろいろな角度からアメリカの姿を読みとってほしい。

### 【授業計画】

前期: Hemingway, "Ten Indians", Faulkner, "A Rose for Emily", Steinbeck, "Breakfast"  
後期: Hemingway, "An Alpine Idyll," Faulkner, "That Evening Sun, Steinbeck, "The Chrysanthemums"

### 【評価方法】

各学期末の試験。  
後期にレポート。課題については、授業中に説明する。

### 【テキスト】

*Best American Stories - The Twentieth Century -*  
(Katsuji Takamura (ed.) 栄光社)

## 英文学基礎演習 a・b

中島賢二

### 【授業の概要】

長編推理小説の元祖とされるコリンズ作『白衣の女』をテキストにして、英文を正確に読解する訓練とともに、長編小説を楽しみながら読み通すことを目指します。

また、この作品から読みとられるさまざまな問題（ヴィクトリア朝の社会、価値観、女性の地位、フェミニズム等々）を併せ考え、ヴィクトリア朝小説、その時代への理解を深めてほしいと思っています。

### 【授業計画】

長い作品のため、全てを原文で読むのは時間的に不可能ですので、「さわり」部分を精読し（プリントで用意します）、読めなかったところは翻訳で読み、筋をしっかりと把握しておいてもらいます。推理、ミステリー小説好きの人歓迎。（本を読むのは嫌いという人は受講しないでください。）学期の最後に、作品に関連した簡単なレポート（テーマ自由、1400字）を出してもらいますので、読みながら、自分で問題点を見つけてください。

前期 第一部、 第二部 マリアンの話

後期 第二部の残り、 第三部

### 【評価方法】

レポート、定期試験、授業に誠意をもって臨んだか、等を総合して評価します。

### 【テキスト】

白衣の女（上）（中）（下）（ウィルキー・コリンズ作 岩波文庫）  
原文はプリントで配布

### 【参考文献・資料】

ゴシック小説を読む（小池滋著 岩波書店）  
世紀末の赤毛連盟（高橋祐子著 岩波書店）  
ヴィクトリア朝万華鏡（高橋祐子著 新潮社）  
19世紀ロンドンはどうな匂いがしたのだろう（ダニエル・プール著 青土社）

## 米文学基礎演習 a・b

小野迪雄

### 【授業の概要】

テキストを精読することによって、作者がどのような意図で作品を書いたのかを探るのが、中心のテーマである。このことは、読者の方でどんな読み方が出来るかの側面もある。英語を通して、作品の意図を読みとり、それがわれわれにとってどんな意味があるかを考える。

〔前期〕 テーマを発展させるために、テキストを読むと同時に、作者や作品の特徴についての知識を習得する。また作品は作者の思想や書かれた時代の社会などを反映していると考えられるから、そこに読みとれる問題を考えてみる。できるだけ比較文学の視点からも説明を加える。テキストは精読していくが、文法事項の説明は必要最小限にとどめる。

本年度はHenry Jamesの中編小説 *Daisy Miller* を読む。作者はニューヨーク生まれの作家でアメリカの上流階級の生活を熟知し、繊細な筆で人々の心の動きを見事に描いた。常にアメリカ人という意識をもち、アメリカ対ヨーロッパという、いわゆる国際テーマを扱いながらヨーロッパにおけるアメリカ人の姿を描いた。格調のある流麗な文体で魅力的な文学を生み出したが、初期の作品である *Daisy Miller* はその代表作といえよう。

〔後期〕 前期の方針の継続。

### 【授業計画】

学生の積極的な意欲に期待し、指名などによって、成果を発表してもらう。テキストを中心に進行するが、必要に応じてプリントを配布し、内容理解の補助とする。

### 【評価方法】

筆記試験、レポート、授業に対する平常の準備（予習）などを総合して行なうが、筆記試験に最も重点をおく。

### 【テキスト】

*Daisy Miller* 『アメリカ娘デイズー・ミラー』（Henry James 南雲堂）



## 米文学基礎演習 a・b

今井加寿

### 【授業の概要】

アメリカ文学への入門講座として、20世紀アメリカを代表する作家の短編小説を精読する。その過程で、1. 短編小説を読解できる英語力の養成、2. 作品の背景にあるアメリカ文化風土についての考察、3. 読者の単なる個人的な感想を脱し、ある程度客観的な批評へとつながる読みの試み、を主なコース目標としたい。学期末には作品の中からひとつを選び、レポートを書くための段階的な学習を経て、レポートを提出する。

また出来る限り多様なアメリカ文学に触れる機会を得るため、映像化されたアメリカ文学の名作のビデオ鑑賞や、日本語訳の作品も紹介したい。

### 【授業計画】

学生は毎回、担当箇所をレポート形式で発表する。

- 第1回 授業計画及び評価方法の説明
- 第2回～第13回 テキストに沿って演習
- 第14回 期末試験

前期：Ernest Hemingway, "The End of Something"  
Erskine Caldwell, "Rachel" "The Visitor"  
Truman Capote, "Miriam"  
Tennessee Williams, "Portrait of a Girl in Glass"  
ビデオ映画『私のアントニア』

後期：Sherwood Anderson, "Nice Girl"  
Irwin Shaw, "Search through the Streets of the City"  
Bernard Malamud, "A Summer's Reading"  
Raymond Carver, "Everything Stuck to Him"  
ビデオ映画『エデンの東』

### 【評価方法】

出席・授業態度、レポート、筆記試験を総合的に評価する。

### 【テキスト】

*Focus on Youth -Modern American Stories-* (桐原書店)  
*Mysterious Girls in Fantastic American Short Fiction* (三修社)

### 【参考文献・資料】

授業中に随時紹介する。

## 英語学基礎演習 a・b

榎木勇作

### 【授業の概要】

英語学入門

英語の言語的研究について、基礎知識を身につけることを目標とする。英語学研究の基礎力となる、英語の読解・リスニング能力の向上も目指す。

英語学の扱う領域のうち、次の分野について演習を行う。形態論 (Morphology)、音声学 (Phonetics)、音韻論 (Phonology)、統語論 (Syntax)、意味論 (Semantics)、言語の多様性 (Language Variation)、言語変化 (Language Change)、語用論 (Pragmatics)。

それぞれの分野の知識を実際の英語運用で活かせるよう、最新映画のスク립トや洋楽の歌詞を使って応用を試みる。

本演習は包括的な概論ではなく、上記分野の特定の側面を垣間見るにすぎない。理論よりも、言語事象に焦点をおく。

### 【授業計画】

説明→演習問題→解答の確認

<前期 a>

1. Morphology
2. Phonetics
3. Phonology
4. Syntax

<後期 b>

1. Syntax
2. Semantics
3. Language Variation
4. Pragmatics

### 【評価方法】

レポート+平常点 (出席・授業態度)。

### 【テキスト】

*A Linguistics Workbook Fourth Edition*  
(Ann K Farmer and Richard A. Demers (2001), MIT Press)

## 米文学基礎演習 a・b

今井知子

### 【授業の概要】

20世紀現代アメリカ文学を代表する作家、Ernest Hemingway, John Steinbeck, William Saroyan, J.D.Salinger, John Updikeなどの作品を熟読し、作品の構成、作家の特徴など文学的アプローチを試みると共に、その背景にある文化、思想を知り、現代のアメリカ全体を形作っているものの実態に迫りたい。

### 【授業計画】

第1回 年間計画の検討。

第2回～12回 作品を精読し、作家およびアメリカの問題を考える。

第13回 単位認定試験。

### 【評価方法】

出席状況・平常点・レポート・単位認定試験を総合的に評価する。

### 【テキスト】

*American Solitude* (南雲堂 1600円)

## 英語学基礎演習 a・b

加藤主税

### 【授業の概要】

ゼミ形式で授業を進めます。自主的、積極的に参加して下さい。全員が毎時間1回以上発言すること。ワイワイ、ガヤガヤとニギヤカにしかも、わきあいあいとエイゴ学に取り組んでいきましょう。決していねむりする余裕はありません。

### 【授業計画】

[前期] 「人がことばを使うには、どんな能力が必要か?」という問題にアプローチするため、母国語言語能力を意識化し、規則化する過程を経て、英語分析に進みます。各言語理論、分析方法の概要、基礎を習得し、それを参考にして、各自の収集したデータの規則化を試みます。資料収集方法、問題設定方法、疑問問題検索方法については、前期のうちに、充分体得してほしいと思います。

[後期] 前期で体得した分析能力を語用論的分野まで拡大します。さまざまな言語現象を語用論的に分析し、その規則化を試みます。特にこの分野に関心を持つことは、日常の言語感覚を敏感にすることでしょう。この経験は、必ず将来の言語生活に役立つと思います。

### 【評価方法】

出席を重視します。授業中の発言回数とその内容、さらに積極性あるいは授業態度などを評価します。もちろん定期試験も重要です。

### 【テキスト】

英語観察学 (奥田隆一著 鷹書房弓プレス)

### 【参考文献・資料】

日本語七変化 (加藤主税著 中央公論新社)、フシギことば学 (加藤主税著 翔雲社)、日本語発掘—和語の世界 (加藤主税編著 晃学出版)、ちから教授のコトバ学 (加藤主税著 ミネルヴァ書房) など、その他は授業中に指示。



## English 201 a・b

WRINGER, Paul

### 【Course Content】

This course covers all four language skills, with particular emphasis on listening and speaking. There will be a detailed treatment of grammar with a variety of controlled and freer practice exercises. Throughout the course there will be emphasis on meaningful communicative practice. Students will have the opportunity to personalize the language they learn, to make use of their own world knowledge, and to express their ideas and opinions.

The course makes frequent use of pairwork, groupwork, and whole class activities, maximizing their opportunity to speak English in class.

The student's role is to participate actively and creatively in learning, using both the materials they study in the course and their own knowledge and language resources.

### 【Schedule】

(activities will be selected from the following units)

201 a

- 1) What a wonderful world
- 2) Happiness
- 3) Telling tales
- 4) Doing the right thing
- 5) On the move
- 6) Likes and dislikes

201 b

- 7) The world of work
- 8) Imagine!
- 9) Relationships
- 10) Obsessions
- 11) Tell me about it
- 12) Two weddings, a birth and a funeral

### 【Assessment】

Assessment is continual and will be based on the following criteria:

Attendance  
Class participation  
Homework and assignments  
End of semester progress test

### 【Textbooks】

*New Headway (Intermediate)* (Liz & John Soars OUP)

## English 202 a・b

ABE, David

### 【Course Content】

This course is design to develop the four-macro skills of speaking, listening, reading, and writing. In class work will be focusing on the speaking and listening, while homework will also be given to cover the reading and writing section. The goal is to use activities that engage in real-life situation using authentic materials, which will be interesting and motivational to students.

### 【Schedule】

Students will work in groups, and will select their own topics with a purpose and an objective in mind. The following are topic for the first semester.

Current events  
Entertainment  
Business issues  
Cultural differences  
Traveling

### 【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation, homework, and a final test.

### 【Textbooks】

The book is to be announced on the first day of class.

## 比較文化

松本青也

### 【授業の概要】

日米文化の比較

何気なく喋ったり、行動したりしているつもりでも、私たちは常に自国文化の影響を受けています。「文化」を、集団が共有する価値観や規範の体系としてとらえ、日本人とアメリカ人の考え方や生き方を豊富な事例をもとに比較対照しながら、それぞれの文化の特質を浮き彫りにします。

アメリカのテレビ番組や新聞雑誌の分析を加えながら講義と意見交換で進行するこの授業は、いわば自国文化に縛られた自分の姿を映し出す鏡。覗いてみると、もっと自由で伸びやかな生き方が目の前に広がります。

### 【授業計画】

1. 文化論
- 2～9. 文化変形規則 (CTR)
10. システムとしての CTR
11. 研究対象としての CTR
12. 日本語の衝突と CTR
13. CTR と学校英語教育
14. これからの日米文化

### 【評価方法】

レポート、学習態度、出席状況による総合評価。

### 【テキスト】

日米文化の特質 (松本青也 研究社)

## 英語学概論 a・b

田中智之

### 【授業の概要】

英語学の様々な分野の中でも統語論を中心に議論する。具体的には、統語論研究の枠組みである生成文法の基本的概念を概観し、それに基づいて英語の構文がどのように分析されるのかを考察する。

### 【授業計画】

1. 理論的枠組み
2. 受動文
3. 助動詞と否定
4. 命令文
5. 副詞
6. WH移動
7. 関係節と空演算子構文
8. 分裂文
9. 二重目的語構文
10. 句動詞
11. 名詞表現
12. 不定詞
13. 小節と叙述
14. 補文のタイプと意味
15. 右方移動
16. 倒置
17. 数量詞と否定の作用域
18. 省略

### 【評価方法】

期末試験 (筆記)、および毎回の欠出席により評価する。

### 【テキスト】

英語の構文 (田中智之・寺田寛著 英潮社)



## 英文学史 a・b

EASLEY, Keith

### 【Course Content】

We will study British literature historically from its beginnings through the mid-Victorian Period. We will focus on the literature itself, from *Beowulf* through Dickens, reading poetry, fiction, and plays.

### 【Schedule】

(FIRST SEMESTER) a

From the Anglo-Saxon Period through the 16th century, focusing on *Beowulf*, Chaucer, and Shakespeare.

(SECOND SEMESTER) b

From the Metaphysicals through the mid-Victorian Period, focusing on Swift, Blake, Wordsworth, Keats, and Dickens.

### 【Assessment】

Each semester will include several tests, course-work and a final examination. If it is necessary to limit class size, there may be a test in the first lesson.

### 【Textbooks】

*Past Into Present* (Gower, Longman)

## 英文学講義 I a・b

山田久美子

### 【授業の概要】

イギリス・アイルランド文学の中で、20世紀の演劇を取り上げる。20世紀の演劇は、リアリズム演劇や前衛的な演劇など様々な手法やテーマが混在している。それらは、作者の思想、社会・文化的背景によるものである。

本講義では、社会・文化的背景を理解した上で、女性の主人公を中心に、「夢と現実」を共通テーマとして、様々な手法の演劇を読解していく。

また、視聴覚教材などを利用し、表現芸術としての演劇のおもしろさを理解する。

### 【授業計画】

前期

George Bernard Shaw, *Pygmalion*

後期

Caryl Churchill, *Top Girls*

### 【評価方法】

レポート、学期末テストにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

*Pygmalion* (George Bernard Shaw 英潮社)

*Top Girls* (Caryl Churchill 英潮社)

### 【参考文献・資料】

講義時に適宜紹介する。

## 米文学史 a・b

池谷敏忠

### 【授業の概要】

文学は言語による芸術で、国の文学は歴史的に、地域的に展開いたします。この講義はアメリカ英語で表現された米文学を通史的に講義・説明し、作家・作品の特質についても指摘いたします。

### 【授業計画】

前期は下記の内容について講義します。

植民地時代

独立から南北戦争まで

南北戦争から第一次世界大戦まで

後期は下記の内容について講義します。

第一次世界大戦以後

第二次世界大戦以後

テキストを用い、講義・解説します。受講生は必ずテキストを持参してください。

### 【評価方法】

レポートまたはテストの結果に各自の出席状況を加味して評価します。

### 【テキスト】

アメリカ文学史 (西田実 成美堂 2100円)

## 米文学講義 I a・b

太田直子

### 【授業の概要】

アメリカ文学を形成してきた数多くの作家たちに親しむために、作家たちの生涯や作品形成の裏にあったエピソードなどについて書かれた英文を読みながら、解説していく。文学を読むための基礎的な知識を学習してもらう。

### 【授業計画】

前期：

- 1 R.W. Emerson
- 2 H.D. Thoreau
- 3 N. Hawthorne
- 4 Herman Melville
- 5 H.W. Longfellow
- 6 Edgar Allan Poe
- 7 Walt Whitman
- 8 Emily Dickinson
- 9 Mark Twain
- 10 Henry James
- 11 Robert Frost
- 12 Jack London

後期：

- 1 Ezra Pound
- 2 Sinclair Lewis
- 3 Eugene O'Neill
- 4 F.Scott Fitzgerald
- 5 William Faulkner
- 6 Ernest Hemingway
- 7 John Steinbeck
- 8 Tennessee Williams
- 9 Arthur Miller
- 10 Henry Miller
- 11 Saul Bellow
- 12 James Baldwin

### 【評価方法】

各学期末のテスト。

### 【テキスト】

- ・ *The Writers of American Literature* (John Dougill, Macmillan Language House)
- ・ プリント



## 英語学講義 a・b

中野弘三

### 【授業の概要】

伝統的な動詞の意味分析から、新しい言語理論に基づく最近の動詞意味論に至るまで、文の中心要素である動詞の意味の分析方法を紹介し、動詞の意味分析の有用性や問題点を知ってもらう。

### 【授業計画】

前期は伝統的な英語動詞の意味分類を紹介し、その分類と完了相、進行相との関係を考察する。後期は新しい言語理論に基づく動詞の意味分析を紹介し、動詞と項構造 (argument structure) の関係、項の意味役割、動詞と事態構造 (event structure) などの問題を考察し、理論に基づく動詞の意味分析の有用性を考察する。

前期、後期ともに講義内容をよりよく理解してもらうために、練習問題を用意し、宿題とすることもある。

### 【評価方法】

各学年末の試験により評価する。

### 【テキスト】

プリントを使用する。

### 【参考文献・資料】

*Meaning and the English Verb* (2nd Edition) (1987) (G.N. Leech ひつじ書房)

*The English Verb* (2nd Edition) (1987) (F.R. Palmer Longman)

語の意味と意味役割 (2001) (米山三明・加賀信宏著 研究社)

## 英米文学特殊講義 I a・b

CURRAN, Beverley

### 【Course Content】

Britain shaped a "national" literary identity through borrowing from other languages and inflected and inflected other languages and literatures in the course of cultural migrations that occurred in Europe since at least the medieval period onward. English as a language and as a literature, however, has not been contained by national boundaries for some time, and in fact is now more comfortably conceived in the plural, or as uncountable, like a multidirectional flow. In this course, we will look at how literature "travels" across languages, cultures, genres and media.

### 【Schedule】

The course will begin examining the notion of "intertextuality" and how one story can be found in another. We will then move on to look at how a story can "travel" by examining examples of traditional stories changing by adaptation, translation, or rewriting. One of the works we will consider is Shakespeare's *Othello* and how it is rewritten in Canadian literature in black playwright Djanet Sears' *Harlem Duet*.

### 【Assessment】

Assessment is ongoing and based on attendance, effort, and participation in discussion. An essay will be assigned and evaluated, as well.

### 【Textbooks】

Texts will be announced in class.

## 英語学特殊講義 I a・b

大室剛志

### 【授業の概要】

主に現代英語の統語構造について学ぶ。その際、自然言語一般にあてはまる普遍的な統語属性と現代英語だけにあてはまる個別的な統語属性との区別に注意を払う。また、手作業やコーパス検索による資料収集を通じて、言語事実をおろそかにしない態度を養う。

### 【授業計画】

次のを各2週ずつのペースで進む。講義中心の授業。

1. Preliminaries
2. Motivation for the X-bar Convention
3. A Theory of Phrase Structure
4. Complements
5. NP Specifiers
6. Specifiers of X"
7. Relative Clauses
8. Degree Clauses
9. Deverbalizing Rules
10. More General Implications
11. Report and Discussion 1
12. Report and Discussion 2
13. まとめ

### 【評価方法】

出席と学期末試験で評価する。

### 【テキスト】

プリントを使用する。

### 【参考文献・資料】

*X-bar Syntax: A Study of Phrase Structure*,  
(Jackendoff, Ray S. (1977). Cambridge: MIT Press.)

その他は授業において指示する。

## English 301 a・b

LONG, Jonathan E.B.

### 【Course Content】

In this course the students will watch videos, without subtitles, based on famous short stories in English. They will also extensively discuss and write in English about these videos in regards to their literary, cinematic and cultural significance. In this way the students will employ all four language skills and critical thought.

### 【Schedule】

Usually, each video will require three weeks:

- 1 st Week script
- 2 nd Week video
- 3 rd Week discussion

### 【Assessment】

Assessment is based on attendance, class participation in English and reaction papers to be written for each video.

### 【Textbooks】

none



## English 301 a • b

NORRIS, Harry T.

### [Course Content]

This course is designed to be taken in two semesters. (a+b)

The course aims to improve the students' ability to communicate using English.

To help them transmit their ideas to other Japanese people and native speakers of English. The course will show students key points about public speaking that will allow them to speak English confidently in front of groups. Teaching strategies and techniques, voice control, and use of teaching aids will be studied. Reading, writing, listening and speaking will be addressed throughout the course.

Speaking and listening being the main areas of assessment.

### [Schedule]

- (a) The first semester course, will be aimed mainly at teaching techniques used to increase confidence when speaking English.
- (b) The second semester course, will be aimed at students giving seminars on a variety of topics in English.

### [Assessment]

- (a) First semester assessment will be based on attendance, speaking ability and improvement, attitude and a report.
- (b) Second semester assessment will be based on attendance, research, seminar and a report.

### [Textbooks]

No text, as necessary worksheets will be given.

## English 301 a • b

SMITH, September

### [Course Content]

The purpose of this four-skills English course is to utilize and develop all aspects of language learning. Using social themes and issues that are of interest or concern for young adults, the class format of this course allows an intensive exploration of these topics applying all four language skills.

The concurrent focus on speaking, listening, reading and writing provides a general strengthening of the learners' overall second-language skills and also affords the opportunity to compare the differences in English in its spoken and written forms. The internet will be used, in English, for assignment research, assignment submission and for communication purposes, both between the students and the instructor, and between the students themselves.

### [Schedule]

The areas from which topics are to be drawn for this course include:

- 1) Interpersonal Relationships
- 2) Issues of Today
- 3) The Working World
- 4) The Supernatural and the Unexplained
- 5) The Future: Yours and Ours

### [Assessment]

Assessment will be based on assignments, participation, effort made by the students to communicate in English in the class, and attendance. No test will be given.

### [Textbooks]

No textbooks will be used, but a series of reading and worksheets will be provided

## English 301 a • b

LEWIS, Paul

### [Course Content]

During this course, students will practice listening and speaking activities intended to increase their ability to communicate in a wide variety of situations. In particular we shall focus the importance of asking and answering questions when learning a language. At the same time, efficient and effective strategies for learning vocabulary will be considered. The aim of this course is to improve ' fluency, flexibility, and confidence in English.

The course will be presented entirely in English.

### [Schedule]

Students will work mostly in groups or pairs, practising the strategies outlined above. Among other activities, we shall look at information exchange and negotiation, problem solving, and occasionally role-plays.

### [Assessment]

Assessment will be according to class participation, attendance, and occasional homework reports. No test will be given.

### [Textbooks]

No textbook will be used.

## English 301 a • b

STEPHENSON, Brett

### [Course Content]

The focus of this programme is the improvement of students' communication capabilities. Listening and speaking will be strongly emphasized, but students will have the opportunity to improve in all areas through engaging in grammar and skills work. Authentic sources will form the basis of the majority of in-class activities and students will be expected to participate actively in group and pair-work activities.

Although there will not be a final examination for this programme, students will be assessed progressively on their performance & level of participation in each class. Certain class-based activities will be assessed and there will also be homework assignments to complete.

### [Schedule]

The progress of the class will closely follow the content of the selected textbook. All students should therefore ensure that they purchase their textbook before the first lesson.

### [Assessment]

In-class Participation 80%  
Homework Activities 20%

### [Textbooks]

*New Headway Intermediate*  
(John & Liz Soars, Oxford University Press) ISBN: 0194702235



## English 301 a · b

CURRAN, Beverley

### [Course Content]

This course will combine film and language learning through voice acting. Films will be chosen and students will be taught how to use a video as a model for pronunciation, and as a tool for listening and speaking practice. The cultural implications of language and gesture will also be discussed.

### [Schedule]

In each semester, at least two films will be chosen for viewing and language practice. First, students will engage in communal voice acting of a single scene, and then extend that practice to pair work. In the next film, students will work more independently in pairs or small groups to select a scene from the film and enact it.

### [Assessment]

Assessment will be based on effort and participation in all classes, as well as progress and proficiency.

### [Textbooks]

None

### [Reference]

None

## English 302 a · b

WOODMAN, Jo-Anne

### [Course Content]

This course is designed to explore vocabulary and other aspects of language and culture through analysis of poems, short stories, songs, and movies. Contemporary materials will be used, covering such topic areas as: 'young people and their changing behaviour'; 'relationships'; 'personal problems'; 'environmental problems'; 'current issues in society' etc.

Students will be required to spend considerable time on vocabulary development, hence the majority of assessment will be based on vocabulary tests, as well as participation in class discussions etc..

### [Schedule]

To be decided.

### [Assessment]

Class activities /reports -30%  
Vocabulary tests -70%

### [Textbooks]

None

## English 302 a · b

DAVIES, Alun

### [Course Content]

The aim of this course is to develop students' speaking and listening skills.

It is a fluency-based course, which means that the emphasis is firmly on using English for communication in a wide range of different speaking and listening tasks, such as those shown below in the 'Schedule' section.

Students will be expected to contribute actively to these communication tasks, which are designed to afford students opportunities to express their feelings, ideas and opinions on a broad selection of topics.

Other features of this course include a strong emphasis on building a sound 'lexical chunks' vocabulary, and an emphasis on developing good pronunciation habits and gaining awareness of the importance of rhythm, stress and intonation for good communication.

The number of students permitted to join this class is limited, and final selection of students will be decided by the teacher during the first one or two classes.

### [Schedule]

Tasks and topics to be covered include the following items, but final decisions about content will be discussed and negotiated with students during the course. Students' suggestions for content are most welcome, and if suitable, will be included in the list below.

1. Interpreting practice
2. Role play of common, everyday situations in English-speaking countries
3. Listening and responding to authentic TV news/drama programmes
4. Drama, based on TV video shows
5. Discussion
6. Communication games

### [Assessment]

Assessment is based on the degree of active participation for each class. Attendance and attitude are also taken into account when determining the final overall grade.

### [Textbooks]

No textbook is usually required for this course.

## English 302 a · b

NORRIS, Harry T.

### [Course Content]

The aim of the course is to develop students' comprehension of English. This will be a four skills course, ie reading, writing, listening and speaking. Popular videos using English subtitles will be studied. Vocabulary found in the videos will be an important part of the discussion and comprehension of the movies. Work sheets and reports will be completed with each movie.

### [Schedule]

On the first day of classes the students will be given a selection of CINEX videos to choose from. Once the videos have been selected a three week cycle will include vocabulary study, movie viewing, comprehension discussion and report writing.

### [Assessment]

Attendance, classwork, participation and homework will be used for assessment.

### [Textbooks]

None.



## English 302 a · b

WRINGER, Paul

### 【Course Content】

This course is designed to provide students with both the language tools necessary for good communication and the stimulus to use those skills in daily life. It covers all four language skills, with particular emphasis on listening and speaking. Also included are effective vocabulary skills exercises that are designed to increase students' vocabulary while helping them to cope with new words.

The course makes frequent use of pair work, group work, and whole class activities, giving the student every opportunity to speak English in class.

### 【Schedule】

1 ST SEMESTER: Topics (there are 6 in each section) will be chosen from the following sections:

Issues in lifestyles  
Issues in family  
Issues in relationships  
Issues in life and death  
Issues in society

2 ND SEMESTER: Topics will be chosen from the following sections:

Issues in lifestyles  
Issues in family  
Issues in relationships  
Issues in life and death  
Issues in society

### 【Assessment】

ASSESSMENT will be continual and include the following:

ATTENDANCE; CLASS PARTICIPATION/EFFORT; HOMEWORK; PRESENTATION.

### 【Textbooks】

There will be a textbook. It is called IMPACT ISSUES by RICHARD DAY & JUNKO YAMANAKA.

Published by Longman Asia ELT

## English 302 a · b

DYCUS, David C.

### 【Course Content】

The general goal of this course is continue students' development in the four skills. There will be a strong focus on discussion and problem solving activities as a means of exchanging ideas and opinions. The approach will be topic based but will involve mastery of relevant grammatical structures needed to clearly express oneself in such discussions, especially those involving modals and conditional forms to perform communicative functions like criticizing and expressing regret. Another focus will be on learning and using phrasal verbs commonly used in conversational English.

Discussion topics/activities will provide the basis for writing assignments.

### 【Schedule】

The topics around which lessons will be based will be determined in part after consultations with students. As for specific grammatical structures involving modals and conditional forms, they will be studied starting first with simpler forms and advancing to the more complex ones. They will be studied in connection with discussion topics. Phrasal verbs will be studied independently of discussion topics.

### 【Assessment】

Assessment will be based on attendance and completion of exercises/activities during class, homework, occasional quizzes, and an end of term test.

### 【Textbooks】

To be announced

## English 302 a · b

HARRIS, Richard S.

### 【Course Content】

The aim of the course is for students to learn how to write in many different ways and styles, and to discuss their work in both small and large groups.

We will examine many different writing styles during the course. Students will be encouraged to explore different writing methods. The class will be exposed to both intensive and extensive writing, as well as some personal letter writing.

### 【Schedule】

Lesson 1 - 2 telling a story  
Lesson 3 - 4 writing personal letters  
Lesson 4 - 5 Business letters  
Lesson 7 - 8 writing descriptions of people  
Lesson 9 writing about a fictional event in the future.  
Lesson 10-12 writing a technical paper.

### 【Assessment】

Students will be evaluated through their written work and class participation.

### 【Textbooks】

Textbook will be announced during the first class

## 英文学講義演習 I a · b

柳原佳枝

### 【授業の概要】

〈英文学とキリスト教文化 I〉

文学や言語を研究するには、その背景（文化、社会、時代、更には気候、風土なども含めて）を知ることが非常に大切である。欧米の文化の根底をなすもの一つはキリスト教の信仰や精神である。英語という言語そのものにも、又その文学にも、聖書やキリスト教世界の諸相が深く関わっている。この講義演習では、その点を重視しながら、英文学の作品理解を深めることを目指す。

### 【授業計画】

受講学生によるテキストの読解やレポートを中心に、授業担当者が随時補足する。  
〈前期〉

C. G. Rossettiによる詩を取り上げる。多くの作品にみられる、信仰・希望・愛、そして生と死のテーマ、更に色彩豊かな描写など、様々な視点から作品の理解を深める。

〈後期〉

異なる作家の小説及び児童文学などを数編取り上げ、そのキリスト教的主題や背景などを考察する。

積極的な質疑応答や研究発表を通して、作品の読解や鑑賞力を深めると共に、英文学の基礎的知識を習得する努力を重ねたい。

### 【評価方法】

期末のレポートと平常点（事前の準備、活発な意見の発表、授業に参加する積極的な姿勢など）で総合的に評価する。

### 【テキスト】

前期：プリント配布。

後期：授業中に随時指示。プリント教材も含む。

### 【参考文献・資料】

授業中に随時指示する。



## 英文学講義演習 I a・b

山田幹郎

### 【授業の概要】

英国ルネサンス演劇研究 I

英国における初期演劇の展開を概観するなかで、主として16世紀の劇作家たちの作品を読みます。

### 【授業計画】

a では George Peele の喜劇を丹念に読み解き、時代背景を踏まえながら人物たちの劇的社会的な意味合いを考察していきます。

b では Robert Greene の喜劇を対象とし、ピールやシェイクスピアと比較しながらその特色を探ります。

個人と並びにグループによる学習研究発表の場にしましょう。

### 【評価方法】

平常点とレポート（あるいはテスト）により総合評価します。

### 【テキスト】

プリント等によります。

### 【参考文献・資料】

授業時に指示します。

## 英文学講義演習 I a・b

久野幸子

### 【授業の概要】

16世紀から19世紀までの英文学作品から数篇を選び、原作を読み解くと同時に、それらが書かれた時代との関係を、歴史的、社会的、文化的視点から考察する。英文学作品は映像化されている場合が多いので、視聴覚教材を多用する予定である。

### 【授業計画】

前期は〈英文学と新世界発見〉をテーマに、16世紀から17世紀までの英文学から作品を選ぶ。原作を深く読む愉しさを実感することを目指す。

後期は〈英文学と帝国主義〉をテーマに、18世紀から19世紀までのイギリス小説から作品を選ぶ。後期は、原作を読むことに加え、文献リサーチ法も学び、どのようにして論文あるいはレポートにまとめるのかも各自体験してもらう。個人発表やグループ発表、クラス討議も適宜行なう予定である。

### 【評価方法】

平常点（出席、受講・発表態度、教室での発言など）と期末の筆記試験、レポートなどで総合的に評価する。

### 【テキスト】

未定

### 【参考文献・資料】

授業中に指示する他、プリント配布。

## 英文学講義演習 I a・b

大野光子

### 【授業の概要】

アイルランド文学演習では、19世紀末のアイルランド文芸復興運動の中で W. B. Yeats 等が復活させた古代ケルト神話や妖精物語・詩から出発し、時代を遡る形でアイルランド文学史を概観することによって、独自の伝統を理解する。主に詩の読解力をつけるとともに、文学や映像メディアを通してアイルランド社会や文化全般についての知識を深める。

1. ケルトの薄明の中へー妖精と英雄の物語
  - (1) 文芸復興と妖精詩：W. B. Yeats を中心に
  - (2) ケルト神話とキリスト教：口承物語の伝統
  - (3) 妖精とヴィクトリア朝文学：絵画的表現との関係
2. 植民地アイルランドの独立ー貧困と移民の物語
  - (1) アイルランド詩の伝統：古代から19世紀まで
  - (2) 独立運動と文学：D. Hyde, Lady Gregory, J. M. Synge を中心に
  - (3) 詩／小説／劇に見るアイルランド社会（研究発表）

### 【授業計画】

前期で詩や物語など英語文献の多読・速読を通して英語力を養成し、併せて英文学の基礎知識を習得したことを前提に、後期はディスカッションを通して作品の解釈・観賞力を高めるとともに、文献リサーチ法を学び、ジャンル別に選択した作品についてグループごとの研究発表を行なう。なお、アイルランド文学講演や朗読会の参加等の学外教育が行われることがある。

### 【評価方法】

ゼミでの積極的な発言や研究発表を含む平常点と、学期毎のレポートによって成績評価をおこなう。

### 【テキスト】

*Irish Literature – A Reader* (Syracuse University Press) 予定  
女性たちのアイルランド（平凡社）  
他にプリント教材

## 英語学講義演習 I a・b

橋本勇作

### 【授業の概要】

現代英語学 I

最近の英語学の研究動向を知ること、研究テーマを見つけ出すこと、英語力を向上させることを目標とする。英語を言語学的な点から研究している論考・論文を雑誌や論集から選び、ディスカッションの材料とする。同時に、英字新聞やテレビの英語ニュースを教材にして、英語運用能力の向上も目指す。

### 【授業計画】

1. 英字新聞 (Reading & Discussion)
2. リスニング練習
3. テキストの解説
4. 英語プレゼンテーション
5. 英語発音トレーニング

### 【評価方法】

レポート＋小テスト＋平常点（出席・授業態度）。

### 【テキスト】

*Linguistics An Introduction to Language and Communication FIFTH EDITION* (Adrian Akmajian, Richard A. Demers, Ann K. Farmer, and Robert M. Harnish (2001), MIT Press \$35.00 (paper))



## 英語学講義演習 I a・b

五島幸一

### 【授業の概要】

このゼミでは、人の言語および非言語に影響を及ぼしている文化について、コミュニケーションの観点から考える。特に日本とアメリカの文化の違いに焦点を当て、文化がどのように私たちの日々の生活に入り込んでいるのか、そしてどのような行動を引き起こしているのかを探る。

また、学生は自分の関心のある事柄をトピックとして、自分で調べたことを発表する。

### 【授業計画】

テキストを中心に行うが、副教材としてプリント、ビデオなどを使用する。ゼミでは学生の発表を主体とする。

### 【評価方法】

授業への参加度およびチームペーパーで評価する。

### 【テキスト】

異文化コミュニケーション

(古田監修 石井・岡野・久米著 有斐閣選書)

## 英語学講義演習 I a・b

丹羽郁美

### 【授業の概要】

英語学基礎演習で学んだ内容をもとに、英語学の様々な領域の中から、特に言語の構造に注目した分野である統語論と、実際に言葉が話される場合に何がおきているのかに注目した分野である語用論とを中心に、さらに一歩踏み込んだ研究をする。

### 【授業計画】

前期a

第1回 Introduction

第2回 基礎知識の復習

これ以降、統語論・語用論の二分野を内容に応じて、毎時二本立て、もしくは、1週交替で研究していく。場合に応じて、関連する論文・書物を和文・英文をまじえて読み、研究する。

後期b

前期の方法に準じながら、自分が最も興味をもった分野についてさらに資料研究を進める。最終的に自分の研究した内容をレポートにまとめる。

### 【評価方法】

授業に望む姿勢、レポートなどを総合的に評価する。

### 【テキスト】

必要に応じて配布・指示する。

## 英語学講義演習 I a・b

小泉直

### 【授業の概要】

英文法再考

最近の文法研究で得られた成果を盛り込みながら、日本人が興味を持ちそうな文法事項を中心に英文法を再考する。また、英語を多面的に捉える目を養うため、時々社会言語学や言語文化学の研究についても紹介する。

### 【授業計画】

学生が輪番で割り当てられたセクションをレポートし、必要に応じて補足説明を加えていく。

取り上げる文法事項

前期：様々なタイプの文・句

後期：品詞、構文等

### 【評価方法】

平常点（出席状況や授業での発表）と章ごとに課す課題とにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

*Essentials of Modern English Grammar* (K. Imai et al. 研究社)

### 【参考文献・資料】

授業中に適宜紹介する。

## 米文学講義演習 I a・b

池谷敏忠

### 【授業の概要】

アメリカ近代詩研究と題し、19世紀アメリカの代表的詩人の作品を取り上げ、絵画的性、音楽性を考えながら、意味を考察します。

### 【授業計画】

前期は下記の詩人の作品を取り上げます。

Walt Whitman

E. A. Poe

and others

後期は下記の詩人の作品を取り上げます。

Emily Dickinson

Anne Bradstreet

and others

信頼できる詩集の有名な詩を選んでプリントにし、輪読します。

### 【評価方法】

レポートまたはテストに演習内容、各自の出席状況を加味して評価します。

### 【テキスト】

原書のプリント。



## 米文学講義演習 I a・b

太田直子

### 【授業の概要】

20世紀アメリカ小説の研究 I

20世紀アメリカ文学を中心に、代表的な作品を読み、アメリカ文学を概観する。

### 【授業計画】

前期：

Benjamin Franklin, from Autobiography  
Ralph W. Emerson, from "The American Scholar"  
Herman Melville, from Moby-Dick  
Mark Twain, "The Celebrated Jumping Frog of Calaveras County"  
Stephen Crane, "The Open Boat"  
Theodore Dreiser, *An American Tragedy*  
Sherwood Anderson, "The Egg"  
Sinclair Lewis, "Babbitt"

後期：

John Dos Passos, *U.S.A.*  
William Faulkner, "A Rose for Emily"  
Ernest Hemingway, "The Killers"  
John Steinbeck, "The Chrysanthemums"  
Ralph Ellison, *Invisible Man*  
James Baldwin, *A Native Son*  
Eugene O'Neill, "Bound East for Cardiff"

### 【評価方法】

ゼミでの発表等の平常点とレポート

### 【テキスト】

*Masters of American Literature - An Anthology 2 nd Edition*  
(上野直蔵 南雲堂)

## 英文講読Ⅲ a・b

天野純子

### 【授業の概要】

1999年 Pulitzer Prize を取った Michael Cunningham の *The Hours* を読んでいく。後半では、この作品に関係している Virginia Woolf, Mrs. Dalloway にも言及し、テキストも読んでいきたい。

### 【授業計画】

1回の授業で4-5ページずつ読み進めて行く予定。

### 【評価方法】

出席状況、平常点、定期テストによる。

### 【テキスト】

*The Hours* (Michael Cunningham)

## 英文講読Ⅲ a・b

水岡久

### 【授業の概要】

テキストは、retoldされたものであるが、副筋や脇役が十分配慮され、原作の持ち味が生かされたものである。最初の講義で、シェイクスピアの波乱万丈に富んだ人生をビデオで紹介する。本講に於いては、作品 *Hamlet* を扱う。この作品は、シェイクスピアの四大悲劇の一つであり、復讐劇として有名である。この主題である「生と死」「瞑想」について考え、有名な台詞や独白に触れシェイクスピア英語の素晴らしさを味わう。巻末には馴染みのある独白 "Frailty, thy name is woman!" (I. ii. 146) (弱き者よ、汝の名は女なり) や "To be, or not to be, that is the question." (III. i. 55) (生きるべきか死ぬべきか、それが問題だ) などが原文のまま掲載されている。

[プロット] (1) 亡霊の出現 (2) 劇中劇 (3) オフィーリアの狂乱 (4) ハムレットの復讐 (5) クローディアスの兄殺害

### 【授業計画】

本講では、読解力を身につけることが主眼であるが、毎時間この作品のテープを聴き、併せて聴解力も養う。読了してから、「ハムレット」のビデオを鑑賞する。最初に「シェイクスピアの生涯と作品」と題するレポートと最後にこの作品に関する小論文を課す。

### 【評価方法】

定期試験の成績、レポート・小論文の評価、出席・予習状況、受講態度などの総合評価を行う。

### 【テキスト】

*New Tales from Shakespeare*  
(R. L. Green・川地美子注解 成美堂 1,200円)

## 英文学講義Ⅱ a・b

山田幹郎

### 【授業の概要】

なぜ英文学をやり、いかに英文学をやるのかについて書かれた基礎的なテキストにより、今日の英文学の諸問題を考えます。

### 【授業計画】

aでは英文学をいかに読むか、そして何を読むかについて考えます。  
bでは読みと意味、そして英文学研究とは何かについて考えます。

### 【評価方法】

レポートとテストによります。

### 【テキスト】

「英文学」とは何か  
(ロバート・イェグルトン 川口喬一訳 研究社 2003)

### 【参考文献・資料】

随時紹介します。



## 米文学講義Ⅱ a・b

小野迪雄

### 【授業の概要】

スタインベック研究。1920年代に文学的出発をした作家は、何等かの形で第一次世界大戦の影響を受け、「失われた世代 (Lost Generation)」と呼ばれた。特別にグループを形成していたわけではなく、個々に作家活動をしていた。

ジョン・スタインベックはその世代からやや遅れて作家活動に入った作家で、色々な意味で戦争の影響を免れたものの、経済恐慌後の不信の時代、政治の時代とも言える多難な1930年代とどのように係わったかは、彼のアメリカ観を形成したと考えられるだけに、興味ある点である。主要な作品は全てカリフォルニアを背景にしているが、ローカルな作家ではない。地方性を越えて普遍的な多様な人間像を描き出している。代表作には『二十日鼠と人間と』『怒りのぶどう』『エデンの東』などがある。講義のテキストは『赤い小馬』を用い、四つの短編からなる連作の中で主人公の少年の成長のあとをたどるが、巧妙に作られたこれらの作品は詩的で叙情的な点で特徴的であり彼の1930年代の他の短編と多くの共通点をもっている。作品を分析し構造などを手がかりにしてスタインベックの文学を考えたい。

### 【授業計画】

テキストを精読、鑑賞する。作者の他の作品にも触れながら作者について検討する。また随時時代背景や作者と同時代の作家・作品にもふれながら、作者のアメリカ文学史上の位置についても考えてみる。

### 【評価方法】

各学期末の試験及びレポートによって評価する。

### 【テキスト】

*The Red Pony* (John Steinbeck 英光社) / プリント

### 【参考文献・資料】

適宜紹介する

## 英語学特殊講義Ⅱ a・b

大室剛志

### 【授業の概要】

概念意味論の基本的なメカニズムについて講義した後、英語の具体的な構文をいくつか取り上げ、その構文の統語的特徴、意味的特徴などについて論じる。英語学の研究テーマの発見の仕方、英語学での議論の立て方などを学ぶ。

### 【授業計画】

前期

概念意味論の基本的なメカニズムについての講義、存在文、動名詞構文、挿入文、名詞節としてのif節、半動名詞構文、など。

後期

同族目的語構文、動作表現構文、One's Way構文、特定の同族目的語、No sooner...than構文のバリエーション、I'd rather you didn'tをめぐって、など。

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績により評価する。

### 【テキスト】

入門 生成言語理論 (田中伸一・阿部潤・大室剛志著 ひつじ書房)

## 英米文学特殊講義Ⅱ a・b

山田幹郎

### 【授業の概要】

今年度は一つの試みとして西欧の演劇論や文学論の基であるギリシアローマ時代の批評の基礎的知識を修得することを目指します。

### 【授業計画】

aではアリストテレスの悲劇論などを概観します。

bではホラティウスの詩論などを概観します。

受講者の要約とレポートを求めます。

### 【評価方法】

レポート及び各学年末試験により評価します。

### 【テキスト】

プリントと翻訳 (アリストテレス詩学 ホラティウス詩論 岩波文庫) によります。

### 【参考文献・資料】

授業時に指示します。

## インターリンガルコミュニケーション a・b

WOODMAN, Jo-Anne

### 【Course Content】

This course aims to engage the students in discussions about contemporary Japanese culture, whilst also providing some introductory training for basic interpreting.

Students will have to talk about, and explain, aspects of Japanese culture and lifestyle in English. Participants in the course will be required to display self-confidence in discussions, and demonstrate a learned interest in Japanese culture as well as cultural differences.

Students who have already travelled overseas, or who have a keen interest in communicating with foreigners, will benefit the most from this course.

### 【Schedule】

Section 1. Topics. "How to Survive in Japan".

Section 2. Topics. "Show and Tell"

Section 3. Topics. Cultural conundrums.

Section 4. Topics. Student videos/ "Show and Tell"

### 【Assessment】

The assessment procedure will be outlined in the first lesson.

### 【Textbooks】

None



## クリエイティブライティング a・b

EASLEY, Keith

### 【Course Content】

The aim of this course is to develop students' abilities to produce original, imaginative writing in English. Models of prose, poetic & dramatic forms will be studied, with a view to students producing their own work in these forms. The course will, therefore, involve some reading & critical discussion, but the emphasis throughout will be on the students' own writing.

The course will be limited to a maximum of fifteen students. Prospective students must bring an example of their own writing to the first class: this may be any form of original, imaginative writing. Eligibility for the course will depend on the quality of this writing.

### 【Schedule】

In the first semester we will focus on descriptive writing, poetry, and narrative. In the second semester we will also concentrate on dialogue, situation and viewpoint expressed in a number of forms.

### 【Assessment】

The course involves regular written homework. Assessment will be continuous.

There will be no final test.

### 【Textbooks】

NONE.

## 英文学講義演習Ⅱ a・b

柳原佳枝

### 【授業の概要】

<英文学とキリスト教文化Ⅱ>

3年次の<英文学とキリスト教文化Ⅰ>に引き続き、英文学とキリスト教文化の関わりに視点をおいて英文学の作品研究を進める。

### 【授業計画】

受講学生による読解や意見の発表、及びレポートを中心に、授業担当者が適宜補足する。

〈前期〉

J. Donne, W. Blake, J. H. Newman, などによる宗教詩を取り上げ、そこにみられる心象や象徴などについて検討し、詩想を考察する。

〈後期〉

G. Greene, M. Spark などによる長編小説を取り上げ、その特性を考察する。

題材は受講学生が選択し、レポートを担当する。

### 【評価方法】

期末のレポートと平常点（事前の準備、活発な意見の発表、担当した課題についてのレポートの成績、など）で総合的に評価する。

### 【テキスト】

前期：プリント配布。

後期：授業中に指示。

### 【参考文献・資料】

授業中に随時指示。

## 英文学講義演習Ⅱ a・b

山田幹郎

### 【授業の概要】

英国ルネサンス演劇研究Ⅱ（シェイクスピア）

この科目はシェイクスピアコーナーです。

### 【授業計画】

aでは *Othello* その他関連作品を読みます。

bでは *Othello* 批評史を概観しながら具体的に作品批評のあり方を探究します。

個々人並びにグループによるさらなる学習研究発表の場にしましょう。

### 【評価方法】

平常点とレポート（あるいはテスト）により総合評価します。

### 【テキスト】

*Othello*（笹山隆編注 大修館書店）

その他プリントによります。

### 【参考文献・資料】

授業時に指示します。

## 英文学講義演習Ⅱ a・b

大野光子

### 【授業の概要】

アイルランド文学演習Ⅱでは、ノーベル賞受賞者 Seamus Heaney の作品を含む、20世紀のアイルランド文学を読む。アイルランド国内作家の他、イギリスやアメリカに移住した作家の作品や、現代女性作家や詩人の作品も視野に入れて、文学批評をおこなう。

#### 3. 20世紀のアイルランド文学

—カトリック・アイルランドとナショナリズム

(1) W. B. Yeats と S. O'Casey の女性像をめぐって

(2) J. Joyce の *The Dubliners*

(3) 検閲制度と表現

(4) アメリカ移民とアイルランド映画

#### 4. 現代アイルランド文学

—紛争を越えて

(1) 南北アイルランド社会と文学表現

S. Heaney, M. Longley, B. Friel を中心に

(2) 文学とジェンダー

E. Boland, N. Ni Dhomhnaill を中心に

(3) 詩／小説／劇／映画 に見るアイルランド社会

### 【授業計画】

「演習Ⅰ」に続いて、詩・演劇・小説の各ジャンルから学生が選択した作品について、グループ毎にリサーチや討論を行い、パソコンによる資料作成や英語によるプレゼンテーションも含めて、2回程度の発表を課す。個々のゼミ論文作成指導も行ない、学生はゼミ論文集を編集・制作する。なお、アイルランド文学講演や朗読会への参加等の学外教育が行われることがある。

### 【評価方法】

ゼミでの積極的な発言や研究発表を含む平常点と、学期毎のレポートによって成績評価をおこなう。

### 【テキスト】

*Irish Literature—A Reader* (Syracuse University Press) 予定

女性たちのアイルランド (平凡社)

他にプリント教材



## 英文学講義演習Ⅱ a・b

久野幸子

### 【授業の概要】

イギリス小説とそれらが書かれた時代との関係を、社会の諸制度、政治、経済、宗教、生活習慣などさまざまな視点から検討・考察し、ゼミ小論文の作成を目指す。視聴覚教材も多用する予定である。

### 【授業計画】

前期はジェイン・オースティンの小説を輪読形式で精読する。後期は作家や作品と当時の社会との関係を考察する。個別発表やグループ発表、クラス討議などの場を多く用意する。ゼミ小論文集を編集する。

### 【評価方法】

平常点（出席、受講・発表態度など）と期末の筆記テスト・レポート及び小論文で総合的に評価する。

### 【テキスト】

未定

### 【参考文献・資料】

授業中に指示する他、プリント配布。

## 英文学講義演習Ⅱ a・b

横関美津紀

### 【授業の概要】

英語圏文学の研究Ⅱ

昨年に引き続き「英語で書かれた文学」を研究の対象とします。最近の文学研究の動向に注目しながら、作品が書かれた時代や社会、歴史、文化に関する資料と併せて作品を読解し、テーマや表現方法についての考察を通して、理解を深めることを目標とします。

### 【授業計画】

今年度は、イギリス、アイルランド、アメリカの作家による、主に20世紀以降に書かれた詩や小説を、共通するテーマ毎に取り上げる予定です。（中でも、アイルランド文学により重点を置きます。）教材には映画や洋楽の歌詞も加えます。

受講生各自の関心に基づいてグループを作り、研究対象とする作品に関する調査やプレゼンテーションを行い、ディスカッションをします。最終的には、それらの発表をもとにしたレポートを全員が作成し、「ゼミレポート集」へ集約させる予定です。

### 【評価方法】

授業の事前準備や発表および積極的な参加を含む平常点と、学期毎に課すレポートによる総合評価とします。

### 【テキスト】

アイルランド文学小事典（松村賢一編 研究社）  
他のテキストは未定

### 【参考文献・資料】

授業内で指示します。

## 英文学講義演習Ⅱ a・b

山田 豊

### 【授業の概要】

文学は芸術と呼ばれ、独立した固有の分野であった時代は終焉し、作品はテキストとなり、他のジャンルとの境界は非常に低くなっている。歴史や文化の内部に置かれて初めて生じる意味もある。前期はイギリスの文化を広く眺め、必要な知識を身に付ける。

### 【授業計画】

12の章から成る教科書に沿って、原則として一回の講義で一章のペースで進む予定だが、各受講者に自分で読んでもらうだけの章や、2週にわたる章もある。章ごとに英文の原典がついて射るので、可能な限り時間をかけて読みたい。

後期分は、最初の授業で指示します。

### 【評価方法】

講義方式で行うが、可能な限り受講者に参加してもらう予定。その成果と、出席の具合や期末試験の結果を見て評価をつける。

### 【テキスト】

概説イギリス文化史（佐久間康夫等編著 ミネルヴァ書房）  
後期分は未定

英文学講義演習Ⅱ b（後期）に関してはテキスト等については未定だが、前期との連続性を保ちながら、文学の通史か、ある時代の文学か、何か特定のテーマを扱った教材を探し、前期の教科書のどこか一章を特化したものになる可能性が高い。

## 英語学講義演習Ⅱ a・b

樗木勇作

### 【授業の概要】

現代英語学Ⅱ

最近の英語学の研究動向を知ること、研究テーマについての考察を深めること、英語力を向上させることを目標とする。英語の言語学的な研究など、英語についての各自の研究テーマを、英語でプレゼンテーションする。同時に、英字新聞やテレビの英語ニュースを教材にして、英語運用能力の向上を目指す。

### 【授業計画】

1. 英字新聞 (Reading & Discussion)
2. リスニング練習
3. テキストの解説
4. 英語プレゼンテーション

### 【評価方法】

レポート+小テスト+平常点（出席・授業態度）。

### 【テキスト】

*Linguistics An Introduction to Language and Communication* FIFTH EDITION (Adrian Akmajian, Richard A. Demers, Ann K. Farmer, and Robert M. Harnish (2001), MIT Press \$35.00 (paper))



## 英語学講義演習Ⅱ a・b

丹羽都美

### 【授業の概要】

英語という言語について、その背景にある事柄を音韻論、形態論、統語論、意味論などの各領域から分析し、英語の基礎知識を身につけることを目標とします。

### 【授業計画】

<前期 a>

- 第1回 Introduction (言語とは)
- 第2回～第4回 音韻論
- 第5回～第7回 形態論
- 第8回～第12回 統語論

<後期 b>

- 第1回～第3回 統語論
- 第4回～第6回 意味論
- 第7回～第9回 語用論
- 第10回～第12回 様々な英語

### 【評価方法】

出席、考査等を総合して評価します。

### 【テキスト】

必要に応じて配布または指示します。

## 英語学講義演習Ⅱ a・b

太田浩司

### 【授業の概要】

本演習では、演習Ⅰで培った社会言語学の基礎をベースにして、コミュニケーションという方面へ目をむけて行く。特に異なった社会集団に属する人々同士の間で行われるコミュニケーションにおいて、人々がどのように自らの言葉を調節しているかについて、その心理面、言語面、人間関係面に焦点をあてて探っていく。演習Ⅰ同様、テキストや論文を読んで知識を高めると同時に、実験・観察などを通して実際に集めたデータを分析しながら言語に対する感覚をより高めていきたい。

### 【授業計画】

各学期の最初の授業に詳しい予定を提示する。

### 【評価方法】

出席、口頭発表、ペーパー

### 【テキスト】

*An Introduction to Sociolinguistics 2nd Edition*  
(Janet Holmes 著 Longman)  
その他、論文を適宜配布する

### 【参考文献・資料】

随時配布する。

## 英語学講義演習Ⅱ a・b

小泉直

### 【授業の概要】

英文で書かれた文法書を、特に日本人が苦手とする文法事項を中心に精読し、英文法に関する知識を深めることを目指す。

使用する文法書は最近の文法研究の成果を取り入れているだけでなく、旧来の規範的な立場を排し、徹底的な事実中心主義の立場から解説を行っているので、新しい文法観の形成にも役立つものと思われる。

### 【授業計画】

学生が輪番で割り当てられたセクションをレポートし、必要に応じて補足説明を加えていく。

取り上げる文法事項

前期：冠詞、時制・相、法助動詞等

後期：条件文、間接目的語、不定詞・動名詞等

### 【評価方法】

平常点（出席状況や授業での発表）と章ごとに課す課題とにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

授業中に随時プリントを配布する。

## 米文学講義演習Ⅱ a・b

唐澤 恪

### 【授業の概要】

この講義演習では、プリント資料により、アメリカ史の重要事項を次のような区分で概観し、これと各時代の文化との関連を考察する。

<前期>

1. ヴァイキングたちの北米への進出から南北戦争時代まで。
2. 南北戦争後から大恐慌前まで。

<後期>

3. 大恐慌時代から現代まで。

後期にはさらに、上記の1～3の時代について、主に宗教、文学などの観点から考察する。

### 【授業計画】

要所要所で宿題を課し、報告を求める。毎回、(学生の報告)→学生の訳読ないし大意発表→質疑応答→教師による注釈、という順序で授業を進める。

### 【評価方法】

成績評価は、平常点（特に重視する）とレポートによる。

### 【テキスト】

プリント配布。



## 米文学講義演習Ⅱ a・b

池谷敏忠

### 【授業の概要】

現代アメリカの代表的詩人の重要な詩を取り上げ、絵画的性、音楽性などを多角的に探究して、思想、情緒を研究します。

### 【授業計画】

前期は下記の詩人の代表的な作品を取り上げます。

Wallace Stevens  
Robert Frost  
W. C. Williams  
and others

後期は下記の詩人の代表的な作品を取り上げます。

T. S. Eliot  
Robert Bly  
James Wright  
and others

プリントを用いて講義・解説し、討論もします。

### 【評価方法】

レポートまたはテストと出席状況を加味して評価します。

### 【テキスト】

信頼できる原書のプリント。

## 論文

柳原佳枝 山田幹郎 大野光子 久野幸子 横関美津紀 山田 豊 池谷敏忠  
唐澤 格 太田直子 榎木勇作 丹羽都美 太田浩司 小泉 直

### 【授業の概要】

各自が選定したテーマに関して、「論文」担当者（ゼミ担当教員）の指導のもとに卒業論文を完成させる。なお、論文は英語で書き、ワープロを使用するのが望ましい。

### 【授業計画】

「論文」担当者の指示に従い、「論文」を受講する。さらに、次の各締切日は厳守しなくてはならない。

5月12日（水）	午後4時	提出締切
	論文骨子（2～3ページ）	
7月14日（水）	午後4時	提出締切
	論文梗概（5～6ページ）	
10月13日（水）	午後4時	提出締切
	論文初稿（約30ページ）	
12月10日（金）	午後4時	提出締切
	論文	

### 【評価方法】

「論文」担当者を中心に、題目の選定、論旨の展開、文章表現法、注のつけ方等に注目し、総合的に評価する。

### 【テキスト】

各担当教員の指示に従うこと。

論文の書き方の一般的な説明については、以下の図書を参考にとよい。

英文科学生必携ハンドブック（研究社）

MLA 新英語論文の手引（北星堂）

卒論を書こう（榎木伸明 三修社）

## 米文学講義演習Ⅱ a・b

太田直子

### 【授業の概要】

20世紀アメリカ小説研究Ⅱ

William Faulknerの*Light in August*を読む。南部の歴史、作品の構成、時代背景を考察する。

### 【授業計画】

前期：

1章～10章

後期： 発表形式で

11章～21章

### 【評価方法】

レポートおよび、平常点（発表）

### 【テキスト】

*Light in August* (William Faulkner Vintage International)

MLA 英語論文の手引き（第5版）

(J.ジバルディ編著・原田敬一監修・原田謙治訳編 北星堂 ¥2,600)

## 言語学 a・b

ABE, David

### 【Course Content】

Teachers who are involved in language teaching, whether they are teaching first or second language are generally not aware of the educational and social issues involved in bilingualism and biculturalism/multiculturalism. This course looks mainly at education issues, but these are set against the social ramifications of bilingualism and multiculturalism.

On successful completion of this course students will be able to:

1. Speak and think about bilingualism more precisely;
2. discuss various typologies of bilingualism that have been proposed;
3. demonstrate more precise understanding of what is meant by multiculturalism by being able to talk about it in more defined terms;
4. show greater understanding about the social forces that impinge upon societal bilingualism and hence multiculturalism by discussing these forces and the relationships between them and phenomenon of bilingualism and multiculturalism with both childhood and adult bilinguals;

### 【Schedule】

Defining Bilingualism  
Defining Multiculturalism  
The Relationship between Bilingualism and Multiculturalism  
The measurement of Bilingualism  
Features of Bilingual Speech  
The Study of Bilingual Children  
Patterns of Bilingual Language Acquisition  
Cognitive and Educational Aspects of Bilingualism  
Language Choice, Maintenance and Shift  
International Models of bilingual Education  
Multiculturalism as a public Policy  
Impact of Multicultural Policy on Education  
Multiculturalism and Languages

### 【Assessment】

Attendance 30%  
2 examinations  
Mid-exam 15%  
Final-exam 25%  
2 report (15% each) 30%

### 【Textbooks】

*Foundations of Bilingual Education and Bilingualism 3rd Edition*  
(Colin Baker Multilingual Matters LTD)



## 比較文学 a・b

池谷敏忠

### 【授業の概要】

比較文学は国際間の（国と国との間の）文学的関係の歴史を調べ研究する学問です。この授業はT.S.エリオットの詩と菊村到の小説など日英米仏文学の影響関係を具体的に考察します。さらにエリオットの詩論と芭蕉俳論などの対比研究も試みます。

### 【授業計画】

前期は次の事項を予定しています。

比較文学の定義と本質  
日本における *The Waste Land* の受容  
T.S.エリオットと立原正秋  
共同体と個性の文学  
T.S.エリオットと小林秀雄

後期は次の事項を予定しています。

T.S.エリオットとベルグソン  
形面上詩人のアルス・ポエティカ  
芸術作品の創造と伝統の継承  
*Spectrum* に見る西脇詩の原型  
T.S.エリオットと西田幾多郎

テキストを用いて講義・解説します。受講生は必ずテキストを持参して下さい。

### 【評価方法】

レポートまたはテストと各自の出席状況を加味して評価します。

### 【テキスト】

比較文学論集（池谷敏忠 晃学出版 2,200円）

## 外国語としての日本語 a・b

石橋千鶴子

### 【授業の概要】

日本語の特徴を文法の面から英語を使って考察し、日本語を母語としない人を対象にした日本語教授法を指導する。

### 【授業計画】

日本語テキストおよびビデオ日本語教材を用いて、初級日本語教育で扱う文型、文法事項の英語による具体的指導法を考察する。外国語としての日本語の文法基礎知識を得ることが期待される。

### 【評価方法】

期末試験および日常の勉学状況により評価を行う。

### 【テキスト】

未定。



## 実践日本語表現法 a・b

人見恭司

### 【授業の概要】

これから大学で学ぶ専門教育の基礎として、日本語における基本的な技能（書く・話す・読む・聞く・調べる）について学習する。日本語を有効に活用できる基礎的な知識を身につけること、身につけた知識をもとに実践的な能力を養成することを目標とする。

### 【授業計画】

- a
1. 導入（講義の進め方など）
  2. 話し言葉と書き言葉（1）（話し言葉と書き言葉の違い）
  3. 話し言葉と書き言葉（2）（書き言葉としてふざわしい表現）
  4. 話し言葉と書き言葉（3）（文末表現について）
  5. 書き言葉の技能 基礎（1）（文の骨組みを抜き出す、漢字練習1）
  6. 書き言葉の技能 基礎（2）（文の骨組みを整える、漢字練習2）
  7. 書き言葉の技能 基礎（3）（呼応関係を確かめる、漢字練習3）
  8. 書き言葉の技能 基礎（4）（接続詞「か」の使い方、漢字練習4）
  9. 書き言葉の技能 基礎（5）（句読点の使い方、漢字練習5）
  10. 書き言葉の技能 基礎（6）（修飾語と被修飾語、慣用句1）
  11. 書き言葉の技能 基礎（7）（修飾語の語順、慣用句2）
  12. 学習内容のまとめ（今までの学習内容のまとめと確認）
- b
1. 書き言葉の技能 応用（1）（論の要旨をとらえる）
  2. 書き言葉の技能 応用（2）（文章を要約する）
  3. 書き言葉の技能 発展（1）（レポートの書き方）
  4. 書き言葉の技能 発展（2）（論証の仕方）
  5. 話し言葉の技能 基礎（1）（敬語の基礎）
  6. 話し言葉の技能 基礎（2）（敬語の種類と使い方）
  7. 話し言葉の技能 基礎（3）（間違いやすい敬語表現）
  8. 話し言葉の技能 応用（1）（相手を考えて話す）
  9. 話し言葉の技能 応用（2）（電話で話す）
  10. 総合応用（1）（手紙文とその実例）
  11. 総合応用（2）（ビジネス文書とその実例）
  12. 学習内容のまとめ（今までの学習内容のまとめと確認）

### 【評価方法】

出席状況、受講態度、課題提出などにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

書き込み式 日本語表現法（加藤良徳他 三弥井書店）

### 【参考文献・資料】

授業時に指示する。

## 図書館情報学概論 I

村主朋英

### 【授業の概要】

この科目は、図書館情報学に関する学習の基礎固めのためのものである。Iでは、図書館情報学における基本的な考え方および分野の特徴について概説する。

### 【授業計画】

1. 情報と知識の研究と実務に関わる分野  
図書館学/情報学/図書館情報学  
図書館情報学を学ぶための情報源/指定図書
2. 情報の概念  
概念・考え方・観点・立場  
定義の多様性と現象の多面性  
情報概念の歴史/情報・知識・データ  
定義の整理のための枠組み/構造的な理解  
認識・認知・ころろ/人間・人・ヒト
3. 情報検索の過程

### 【評価方法】

定期試験

注1)「図書館情報学概論I」の単位を取得済でない学生については、「同II」の単位を認定しない。

注2)「図書館情報学概論I」の最終日に夏休みレポート課題を提示する。採点は「同II」の成績に組み込む。今年度「同II」のみ履修予定の学生は、7月初旬までに問い合わせること。

### 【テキスト】

図書館情報学用語辞典（丸善 3,800円 税別定価）

## 図書館情報学概論 II

村主朋英

### 【授業の概要】

この科目は、図書館情報学に関する学習の基礎固めのためのものである。IIでは、図書館・情報サービスの実際に関して、最低限知っておくべき事項を紹介し、今後の学習への指針を提供する。

### 【授業計画】

1. 情報の流通過程  
情報の流れと情報メディア/学術情報の流通過程
2. 図書館・情報サービスの世界  
構成要素と機能/情報システムとしての図書館
3. 協力と競合  
図書館ネットワーク/競合する情報サービス
4. 図書館員と情報専門職の世界
5. 図書館情報学の未来

### 【評価方法】

定期試験と夏休みレポート

注1)「図書館情報学概論I」の単位を取得済でない学生については、「同II」の単位を認定しない。

注2)「図書館情報学概論I」の最終日に夏休みレポート課題を提示する。採点は「同II」の成績に組み込む。今年度「同II」のみ履修予定の学生は、7月初旬までに問い合わせること。

### 【テキスト】

図書館情報学用語辞典（丸善 3,800円 税別定価）

## 卒業論文ゼミ I

岡澤和世

### 【授業の概要】

情報学の誕生とその時代背景を振り返り、その軌跡を共通認識として、情報行動を中心に情報システムとの関係を論じる。

特に、社会と人間と情報を中心テーマに、人間と機械のインターフェースや人への影響などの問題点を利用者の観点から評価し、社会と人間と機械の賢明な関係を模索する。講義中心の授業よりも、自主的な参加型授業を行う。

オリエンテーション

1. 情報学の起源  
1) 図書館学の歴史と教育 2) Meadowsの考え 3) Sheraの考え
2. 情報学の研究範囲  
1) 情報学の基準 2) B. C. Vickeryの範囲 3) 情報学の主要論文
3. 情報学の基礎  
1) B. C. Brookes 2) 社会と情報 3) 情報の研究-F. Machlupら
4. 課題と展望

### 【授業計画】

講義は教科書を使って共通確認を共有する。その後、各自の意見や考えを出し合い討論する。

新聞記事などを使って人間・メディア・社会についての問題を考える。

### 【評価方法】

レポート 卒業論文

### 【テキスト】

情報学講義ノート〈3〉（岡澤和世 敬文堂 1989）  
インフォ・リッチ：インフォ・ブア  
（Travor Haywood 岡澤和世訳 敬文堂 1997）



## 卒業論文ゼミ I

西荒井学

### 【授業の概要】

情報システムの構築に必要な情報処理技術、ならびにプログラミング技術に関わる問題を扱う。この範囲内で受講者各自が設定すべき卒業論文のテーマについての指導を行っていく。

### 【授業計画】

- 1) 卒業論文の書き方
- 2) テーマの選び方
- 3) 基本図書の調査と内容紹介
- 4) 先行研究についての調査と紹介
- 5) 卒論テーマの決定と研究方法

受講者各自が、指示された内容について、指定日時までに必要な作業を実施してくる。これら作業内容に関して、作業方法、作業結果、問題点などについて、各自が報告する。

報告された内容については、受講者全員で検討していく。受講者全員が、4年次での卒論作成作業に問題なく移行できるように準備をする。なお、情報処理技術ならびにプログラミング技術における新しい専門用語などについても、折りに触れて学習していく。

### 【評価方法】

提示課題についての進捗状況、提示課題の報告内容、平常の作業活動内容、課題レポートなどによって総合評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。

## 卒業論文ゼミ I

林 博司

### 【授業の概要】

生命現象の中心である自己複製、種の多様化、環境への適応等の現象を司っている情報を整理し、新しい情報を産み出す事を目的として卒論をかく。取り上げる問題には脳神経系、内分泌系、免疫応答系、消化栄養系、生殖系がある。これらに関する情報整理、データベースの利用と開発を理解する。

上記の身体情報システムについての疾患と予防・治療・原因の整理。  
遺伝情報を変化させるバイオテクノロジー技術の整理。  
突然変異・遺伝子組み換えに関する情報の整理。  
環境破壊因子・環境改善策・地球環境の変化等に関する政策と活動の整理。  
ゲノム解析、ゲノムの機能解析に関する知見の整理。

以上のトピックス以外の生命情報に関する研究に関しても、各人の興味あるテーマを選んで、それらの歴史・現状・問題点を関連論文の収集、整理を通じて分析する。

基本的には卒論をスタートさせるための基盤の検討とテーマの選択を目的とし、そのための準備である。

### 【授業計画】

関連論文、総説を収集し理解し、随時まとめた原稿を討論の対称とし、論文にするための方法を考察する。卒業論文作成に役立つ資料と論議の進め方を学習する。英文の要旨の作成を行う。

### 【評価方法】

まとめた原稿を提出し、その内容と発表を以って評価し、学期の間の進歩を高く考慮する。出席とゼミ活動を含めた総合評価とする。

### 【テキスト】

特に定めません。日経サイエンスなどの科学雑誌に注目して下さい。

## 卒業論文ゼミ I

野添篤毅

### 【授業の概要】

自然科学分野、とくに生物医学、健康分野における各種情報の流過程で起こっている種々の問題について卒業研究を行っていくための足がかりを得るためのセミナーを行う。

### 【授業計画】

受講生の関心のあるテーマについて、最新の内外の学術研究論文を、デジタル情報資源などによって調査、収集し、その中から適切なものを個人個人が読みレポートをまとめ、発表し、討論していく。

### 【評価方法】

ゼミへの参加度および毎回のレジュメ。

### 【テキスト】

その都度、指示する。

## 卒業論文ゼミ I

山崎茂明

### 【授業の概要】

現代社会の発展を基礎づけている科学研究活動を対象にして、コミュニケーションと情報メディアに着目して、さまざまな視点から考察してみたいと思います。卒業論文テーマの明確化のために、関連文献の収集とレビューを行ない、調査対象の特定と方法について検討する。そして、論文発表と口頭発表のためのプレゼンテーション技法について学ぶ。

### 【授業計画】

みなさんが取り上げるテーマは多岐にわたると思いますが、ゼミ学生相互の意見交換はお互いに有益なものになると考えますので、ゼミを発表と討論の場として活用してください。今ひとつテーマをしばらく切れないといった悩みも問題解決のための一歩と考えていますので、そのことに正面から向き合うよう希望します。英文論文は良いものを選んでじっくり取り組んでみてください。多様な考えや新しいアプローチなど、みなさんの世界を広げてくれるはずです。

### 【評価方法】

卒業論文、レポート。

### 【テキスト】

講義内容に関係する基本文献を随時配付する。



## 卒業論文ゼミⅠ

山本 進

### 【授業の概要】

卒論のテーマとして取り上げる分野—館種を問わず図書館現場における『資料組織』・『サービス』・『施設と設備』・『図書館サービスの地域計画と図書館のシステムサービス』・『図書館協力』・『図書館業務のコンピュータ処理』・『図書館員の専門性』等—配付資料（講義シラバス）によって解説を行う。

### 【授業計画】

シラバスによる解説と、私からの問題提起、それに対する全員でのディスカッション、その中から問題意識を喚起し、ある程度の方向性を見出して、それらについてのノウハウを与え卒論の仮テーマを考える。

1～3月中旬に、公共図書館・大学図書館の現場で学外研修を実施し、卒論テーマを決定し、文献収集のうえ卒論の骨組みを決める。

### 【テキスト】

使用しない。

## 卒業論文ゼミⅠ

菅野育子

### 【授業の概要】

図書館情報学の中心課題の一つである情報流通に関する研究を行なう。特に情報メディアから見た情報流通について検討する。情報メディアとは、情報が生産され利用される場面で媒体として機能するものを意味するが、たとえば、図書、雑誌、学術論文、新聞記事、ネットワーク情報資源などである。これらの情報メディアが情報の生産、加工、蓄積、利用の過程でどのような役割を果たしているのかについて、現状を把握するための調査や実験を行なう。また、その基礎となる文献講読を行ないながら、背景知識を得る。卒業論文の作成は、文献レビューと調査を基に研究成果を記述することである。

### 【授業計画】

3年後期から開始されるゼミでは、3年次中に研究テーマを決定する。この間は、関連文献を探索し、主要な文献のレビューを行ない、その内容をレジュメとともに口頭で発表する。4年次（卒業論文ゼミⅡ・Ⅲ）からは、研究テーマに基づく調査や実験を行なう。既往研究も参考にしながら、調査方法を検討した上で調査を実施する。夏期休暇中にゼミ合宿を行ない、中間報告をレジュメと口頭で行なう。卒業論文を執筆した後は、最終発表会に向けてパワーポイントを用いたプレゼンテーションの準備を行なう。

### 【評価方法】

研究への取り組みとゼミでの発表内容から評価する。

### 【テキスト】

なし

## 卒業論文ゼミⅠ

三和義秀

### 【授業の概要】

現在のハイパーテキスト・システムの仕組みやその応用分野を理解し、既存のハイパーテキスト・システムの機能を評価しながら本質的な問題点を探る。

ハイパーテキストが応用されているシステム（CD-ROM百科事典、WWWなど）を実際を使ってそれらシステムの機能を評価し、さらにその仕組みについて理解する。特に、インターネットとハイパーテキストの相互関係及びJava、CGI (Common Gateway Interface) またはJSP (Java Server Pages) によるプログラミングに焦点を当てる。この範囲内で各自の卒論テーマの決定及び卒論執筆に向けての準備作業の指導を行う。

### 【授業計画】

講義及びコンピュータを使った実習にて進める。

### 【評価方法】

レポートにて評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 卒業論文ゼミⅠ

村主朋英

### 【授業の概要】

卒業論文のための研究の準備を行う。  
各自の問題意識を醸成し、それと研究動向についてのレビューをもとにテーマを決め、研究に入る。

### 【授業計画】

1. 仮テーマ決定
2. 用語調査と概念マップ作成
3. 関連分野の同定
4. 基本文献の収集・分析
5. 研究テーマの決定
6. 図書館情報学と自分のテーマの関係付け

### 【評価方法】

平常点（出欠、課題の提出状況）、最終レポート

### 【テキスト】

情報と文献の探索 第3版（丸善）（諸君がすでに履修した別講義で使用）



## 卒業論文ゼミⅠ

伊藤真理

### 【授業の概要】

卒業論文に向けて研究準備を行う。各自の興味のあるテーマについて、関連文献の収集および分析を行い、卒業論文テーマの決定と研究方法を検討する。取りあげるテーマは、図書館など情報サービス機関での諸問題や、人文学分野を中心とすることが望ましい。

### 【授業計画】

まず論文作成について概説する。履修者は各自の関心テーマに基づいて、4年次での卒業論文作成作業に必要な文献収集を行い、文献のまとめを報告する。各自の報告を履修者全員で討議、検討し、研究テーマ、調査方法決定の準備段階とする。

### 【評価方法】

平常点、レポートの総合評価。

### 【テキスト】

使用せず。

## 卒業論文ゼミⅡ

岡澤和世

### 【授業の概要】

現在既存の情報システムが利用者の多様な要求に応えられない理由を明らかにし、情報技術へのヒューマン・ファクターと人間工学の導入の必要性を指摘する。利用者を中心に据えた情報技術の方法と道具を考察する。ゼミの目的は変動の激しい情報環境に生きている私たち利用者が、氾濫する情報に溺れることなく、正しい情報理解能力（リテラシー）を習得し、活用する方法を考察することである。

<前期>

オリエンテーション：情報環境

1. 情報と知識を結ぶ鎖
2. 情報アクセス
3. 情報瞬間
4. 情報と文化の関係
5. 情報メディア
6. 書物の歴史
7. 図書館の役割
8. 情報と女性
9. レポートの書き方

<後期>

オリエンテーション：卒論について

1. 情報環境
2. 情報学の歴史
3. 情報過多現象
4. 人間工学
5. インターネット
6. 情報政策
7. 情報の要求と利用
8. 情報社会の展開過程
9. 将来の情報環境

### 【授業計画】

前期は講義を中心に行なう。後期は各自の卒論テーマに従って解説する。

### 【評価方法】

レポート。卒業論文。出席回数。

### 【テキスト】

情報学講義ノート〈3〉(岡澤和世 敬文堂 1989)

インフォ・リッチ：インフォ・ブア

(Trevor Haywood 岡澤和世訳 敬文堂 1997)

## 卒業論文ゼミⅡ

西荒井学

### 【授業の概要】

3年次履修科目である卒業論文ゼミⅠにおいて、各自が設定した卒業論文のテーマに従い、卒論指導を行う。

### 【授業計画】

- 1) 卒業論文タイトルの決定 (4月)
- 2) 卒論(章)の構成 (5月上旬)
- 3) 文献リスト作成 (5月下旬)
- 4) 卒論(節)の構成 (6月)
- 5) 1節分の論文執筆仮提出 (7月下旬)
- 6) 中間発表 (8月下旬～9月上旬)
- 7) 卒論仮提出 (11月中旬)
- 8) 卒論本提出 (12月中旬)

受講者各自が、卒論作成年間スケジュールに従い、それぞれ指示された内容について、指定日時までに必要な作業を実施してくる。受講者各自の卒論テーマに関する問題点について、受講者同士互いに発表、討論していくことにより、卒論完成に向けての相乗効果を図っていく。なお、中間発表は、夏期休暇中に合宿にて行う場合もあるので、注意すること。

### 【評価方法】

卒論作成作業の進捗状況、報告内容などについても一部考慮しない訳ではないが、その大半は提出卒業論文の内容により評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。

## 卒業論文ゼミⅡ

野添篤毅

### 【授業の概要】

3年後期に行った卒業論文ゼミⅠによって、絞り込まれた卒業研究のテーマに沿って調査・研究、論文作成の指導を行う。

### 【授業計画】

毎回、自己のテーマについてのレポートをまとめ、発表し、討論していく。

### 【評価方法】

ゼミへの参加度および毎回のレジュメ。

### 【テキスト】

その都度、指示する。



## 卒業論文ゼミⅡ

林 博司

### 【授業の概要】

卒業論文ゼミⅠの期間に各自が設定した研究テーマに基づき卒業論文を完成させる。そのために各自で文献の収集、データの整理、問題点の把握、論旨の展開を行う。このゼミでは、こうした作業の進行状況を随時報告し、他の構成員らから建設的な批判を受け、論文をより深いものとするを目的とする。

### 【授業計画】

11月中旬までにドラフトが完成するよう、各学生に応じた方法で弾力的に指導する。

### 【評価方法】

各学生の積極性を重視し、楽しく学ぶ人を評価する。

### 【テキスト】

特に定めない。必要に応じて配布資料を教員が用意する。

## 卒業論文ゼミⅡ

山崎茂明

### 【授業の概要】

現代社会の発展を基礎づけている科学研究活動を対象にして、コミュニケーションと情報メディアに着目して、さまざまな視点から考察してみたいと思います。4年次後期には、論文テーマについての文献レビューや調査データについて、さらに発表と討論を積み重ね卒業論文をまとめていきます。

### 【授業計画】

みなさんが取りあげるテーマは多岐にわたると思いますが、ゼミ学生相互の意見交換はお互いに有益なものになると考えますので、ゼミを発表と討論の場として活用してください。今ひとつテーマをしばり切れないといった悩みも問題解決のための一歩と考えていますので、そのことに正面から向き合うよう希望します。英文論文は良いものを選んでじっくり取り組んでみてください。多様な考えや新しいアプローチなど、みなさんの世界を広げてくれるはずです。

### 【評価方法】

卒業論文、レポート。

### 【テキスト】

講義内容に関係する基本文献を随時配付する。

## 卒業論文ゼミⅡ

山本 進

### 【授業の概要】

3年後期の「卒業論文ゼミ」において決定した卒業論文のテーマに従って、論文の構成・使用文献等についての集団指導及び個別指導を行い、夏休み前までには卒業論文の全体構成が眼に見える形になるよう、組み立てを終える。

### 【授業計画】

卒業論文に調査や調査統計が必要な場合は、調査の内容や項目、方法・結果の集約と纏めについて、具体的な調査の実施方法について指導を行う。卒業論文の進捗状況中間発表のため、9月の上・中旬に2泊3日のゼミ合宿を実施し発表や討論を行う。

12月上旬卒業論文の提出、1月中旬に行われる卒業論文の発表に向けて指導を行う。

### 【テキスト】

使用しない。

## 卒業論文ゼミⅡ

菅野育子

### 【授業の概要】

図書館情報学の中心課題の一つである情報流通に関する研究を行なう。特に情報メディアから見た情報流通について検討する。情報メディアとは、情報が生産され利用される場面で媒体として機能するものを意味するが、たとえば、図書、雑誌、学術論文、新聞記事、ネットワーク情報資源などである。これらの情報メディアが情報の生産、加工、蓄積、利用の過程でどのような役割を果たしているのかについて、現状を把握するための調査や実験を行なう。また、その基礎となる文献講読を行ないながら、背景知識を得る。卒業論文の作成は、文献レビューと調査を基に研究成果を記述することである。

### 【授業計画】

4年次からは、研究テーマに基づく調査や実験を行なう。3年次で検討した既往研究も参考にしながら、調査方法を吟味した上で調査を実施する。夏期休暇中にゼミ合宿を行ない、中間報告をレジュメと口頭で行なう。卒業論文を執筆した後は、最終発表会に向けてパワーポイントを用いたプレゼンテーションの準備を行なう。

### 【評価方法】

研究への取り組みと卒業論文の内容から評価する。

### 【テキスト】

なし



## 卒業論文ゼミⅡ

三和義秀

### 【授業の概要】

各自の研究テーマに関する指導を行う。  
卒業論文を完成するために、各自のテーマに従った先行研究の理解やシステム構築のためのプログラミングを行う。

### 【授業計画】

個別指導及び各自研究の進捗をゼミ生全員で発表・討論する。

### 【評価方法】

卒業論文にて評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 卒業論文ゼミⅡ

村主朋英

### 【授業の概要】

卒業論文のための研究過程に沿って指導する。  
卒論ゼミは、学術論文を作成するための機関である。ゼミでは、ほかのゼミ生や担当教員との意見交換を行いながら、基本的には自分で判断し、自分のモチベーションを機動力に研究を進める必要がある。

### 【授業計画】

1. 先行研究の分析、研究動向の把握
2. 問題設定
3. 研究方法の決定
4. 研究計画の策定
5. 研究の実施
6. 論文の企画・執筆

### 【評価方法】

平常点（出欠、課題の提出状況）。

### 【テキスト】

なし。

## 卒業論文ゼミⅡ

伊藤真理

### 【授業の概要】

3年次に設定した各自のテーマに従って、学術論文を作成するための指導を行う。履修者全員による発表・討議を通して研究を進め、卒業論文をまとめていく。

### 【授業計画】

前期では、3年次から継続している先行研究のレビューのまとめと批判的考察を行い、各自で実施する調査について履修者全員で討議、検討する。  
後期では、論文の文章表現法、執筆規程、引用などについて授業を行い、個別指導を中心とする。

### 【評価方法】

平常点、レポートの総合評価。

### 【テキスト】

使用せず。

## 卒業論文ゼミⅢ

岡澤和世

### 【授業の概要】

現在既存の情報システムが利用者の多様な要求に応えられない理由を明らかにし、情報技術へのヒューマン・ファクターと人間工学の導入の必要性を指摘する。利用者を中心に据えた情報技術の方法と道具を考察する。ゼミの目的は変動の激しい情報環境に生きている私たち利用者が、氾濫する情報に溺れることなく、正しい情報理解能力（リテラシー）を習得し、活用する方法を考察することである。

<前期>

- オリエンテーション：情報環境
1. 情報と知識を結ぶ鎖
  2. 情報アクセス
  3. 情報瞬間
  4. 情報と文化の関係
  5. 情報メディア
  6. 書物の歴史
  7. 図書館の役割
  8. 情報と女性
  9. レポートの書き方

<後期>

- オリエンテーション：卒論について
1. 情報環境
  2. 情報学の歴史
  3. 情報過多現象
  4. 人間工学
  5. インターネット
  6. 情報政策
  7. 情報の要求と利用
  8. 情報社会の展開過程
  9. 将来の情報環境

### 【授業計画】

前期は講義を中心に行なう。後期は各自の卒論テーマに従って解説する。

### 【評価方法】

レポート。卒業論文。出席回数。

### 【テキスト】

情報学講義ノート〈3〉（岡澤和世 敬文堂 1989）  
インフォ・リッチ：インフォ・ブア  
（Trevor Haywood 岡澤和世訳 敬文堂 1997）



## 卒業論文ゼミⅢ

西荒井学

### 【授業の概要】

3年次履修科目である卒業論文ゼミⅠにおいて、各自が設定した卒業論文のテーマに従い、卒論指導を行う。

### 【授業計画】

- 1) 卒業論文タイトルの決定 (4月)
- 2) 卒論 (章) の構成 (5月上旬)
- 3) 文献リスト作成 (5月下旬)
- 4) 卒論 (節) の構成 (6月)
- 5) 1節分の論文執筆仮提出 (7月下旬)
- 6) 中間発表 (8月下旬～9月上旬)
- 7) 卒論仮提出 (11月中旬)
- 8) 卒論本提出 (12月中旬)

受講者各自が、卒論作成年間スケジュールに従い、それぞれ指示された内容について、指定日時までに必要な作業を実施してくる。受講者各自の卒論テーマに関する問題点について、受講者同士互いに発表、討論していくことにより、卒論完成に向けての相乗効果を図っていく。なお、中間発表は、夏期休暇中に合宿にて行う場合もあるので、注意すること。

### 【評価方法】

卒論作成作業の進捗状況、報告内容などについても一部考慮しない訳ではないが、その大半は提出卒業論文の内容により評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。

## 卒業論文ゼミⅢ

野添篤毅

### 【授業の概要】

3年後期に行った卒業論文ゼミⅠによって、絞り込まれた卒業研究のテーマに沿って調査・研究、論文作成の指導を行う。

### 【授業計画】

毎回、自己のテーマについてのレポートをまとめ、発表し、討論していく。

### 【評価方法】

ゼミへの参加度および毎回のレジュメ。

### 【テキスト】

その都度、指示する。

## 卒業論文ゼミⅢ

林 博司

### 【授業の概要】

卒業論文ゼミⅠの期間に各自が設定した研究テーマに基づき卒業論文を完成させる。そのために各自で文献の収集、データの整理、問題点の把握、論旨の展開を行う。このゼミでは、こうした作業の進行状況を随時報告し、他の構成員らから建設的な批判を受け、論文をより深いものとするを目的とする。

### 【授業計画】

11月中旬までにドラフトが完成するよう、各学生に応じた方法で弾力的に指導する。

### 【評価方法】

各学生の積極性を重視し、楽しく学ぶ人を評価する。

### 【テキスト】

特に定めない。必要に応じて配布資料を教員が用意する。

## 卒業論文ゼミⅢ

山崎茂明

### 【授業の概要】

現代社会の発展を基礎づけている科学研究活動を対象にして、コミュニケーションと情報メディアに着目して、さまざまな視点から考察してみたいと思います。4年次後期には、論文テーマについての文献レビューや調査データについて、さらに発表と討論を積み重ね卒業論文をまとめていきます。

### 【授業計画】

みなさんが取りあげるテーマは多岐にわたると思いますが、ゼミ生相互の意見交換はお互いに有益なものになると考えますので、ゼミを発表と討論の場として活用してください。今ひとつテーマをしばり切れないといった悩みも問題解決のための一歩と考えていますので、そのことに正面から向き合うよう希望します。英文論文は良いものを選んでじっくり取り組んでみてください。多様な考えや新しいアプローチなど、みなさんの世界を広げてくれるはずです。

### 【評価方法】

卒業論文、レポート。

### 【テキスト】

講義内容に関係する基本文献を随時配付する。



## 卒業論文ゼミⅢ

山本 進

### 【授業の概要】

3年後期の「卒業論文ゼミ」において決定した卒業論文のテーマに従って、論文の構成・使用文献等についての集団指導及び個別指導を行い、夏休み前までには卒業論文の全体構成が眼に見える形になるよう、組み立てを終える。

### 【授業計画】

卒業論文に調査や調査統計が必要な場合は、調査の内容や項目、方法・結果の集約と纏めについて、具体的な調査の実施方法について指導を行う。卒業論文の進捗状況中間発表のため、9月上・中旬に2泊3日のゼミ合宿を実施し発表や討論を行う。

12月上旬卒業論文の提出、1月中旬に行われる卒業論文の発表に向けて指導を行う。

### 【テキスト】

使用しない。

## 卒業論文ゼミⅢ

菅野育子

### 【授業の概要】

図書館情報学の中心課題の一つである情報流通に関する研究を行なう。特に情報メディアから見た情報流通について検討する。情報メディアとは、情報が生産され利用される場面で媒体として機能するものを意味するが、たとえば、図書、雑誌、学術論文、新聞記事、ネットワーク情報資源などである。これらの情報メディアが情報の生産、加工、蓄積、利用の過程でどのような役割を果たしているのかについて、現状を把握するための調査や実験を行なう。また、その基礎となる文献講読を行ないながら、背景知識を得る。卒業論文の作成は、文献レビューと調査を基に研究成果を記述することである。

### 【授業計画】

4年次からは、研究テーマに基づく調査や実験を行なう。3年次で検討した既往研究も参考にしながら、調査方法を吟味した上で調査を実施する。夏期休暇中にゼミ合宿を行ない、中間報告をレジュメと口頭で行なう。卒業論文を執筆した後は、最終発表会に向けてパワーポイントを用いたプレゼンテーションの準備を行なう。

### 【評価方法】

研究への取り組みと卒業論文の内容から評価する。

### 【テキスト】

なし

## 卒業論文ゼミⅢ

三和義秀

### 【授業の概要】

各自の研究テーマに関する指導を行う。

卒業論文を完成するために、各自のテーマに従った先行研究の理解やシステム構築のためのプログラミングを行う。

### 【授業計画】

個別指導及び各自研究の進捗をゼミ生全員で発表・討論する。

### 【評価方法】

卒業論文にて評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 卒業論文ゼミⅢ

村主朋英

### 【授業の概要】

卒業論文のための研究過程に沿って指導する。

卒業ゼミは、学術論文を作成するための機関である。ゼミでは、ほかのゼミ生や担当教員との意見交換を行いながら、基本的には自分で判断し、自分のモチベーションを機動力に研究を進める必要がある。

### 【授業計画】

1. 先行研究の分析、研究動向の把握
2. 問題設定
3. 研究方法の決定
4. 研究計画の策定
5. 研究の実施
6. 論文の企画・執筆

### 【評価方法】

平常点（出欠、課題の提出状況）。

### 【テキスト】

なし。



## 卒業論文ゼミⅢ

伊藤真理

### 【授業の概要】

3年次に設定した各自のテーマに従って、学術論文を作成するための指導を行う。履修者全員による発表・討議を通して研究を進め、卒業論文をまとめていく。

### 【授業計画】

前期では、3年次から継続している先行研究のレビューのまとめと批判的考察を行い、各自で実施する調査について履修者全員で討議、検討する。

後期では、論文の文章表現法、執筆規程、引用などについて授業を行い、個別指導を中心とする。

### 【評価方法】

平常点、レポートの総合評価。

### 【テキスト】

使用せず。

## 図書館情報学特殊演習Ⅰ

岡澤和世

### 【授業の概要】

「情報環境」というコンセプトに焦点を当て、現代社会の情報問題を考える。演習を中心に各自の中心のテーマを決め、相互理解を深めていく。

今、情報環境が大きな変貌を遂げようとしている。高度情報化社会に生きている私たちは変わりゆく情報環境について認識を深め、氾濫する情報に溺れることなく、正しい情報理解力（リテラシー）を発揮できるよう求められている。本講義では、そのために必要な情報は何かを中心に論じる。

### 【授業計画】

オリエンテーション：情報環境

1. 情報環境とニューメディア
2. 情報メディア
3. 情報アクセス
4. 情報不均衡
5. 情報と知識を結ぶ鎖
6. 記憶と情報
7. ニューラル・ネットワーク
8. 言語と会話
9. 書物の歴史
10. 女性と情報
11. インフォ・リッチ：インフォ・プア
12. 情報の質
13. 情報過多
14. 情報と文化の関係
15. 情報と漫画
16. 情報と広告
17. 情報とテレビ
18. 情報の一極集中化
19. 社会変化
20. 情報社会の展開過程と現状

### 【評価方法】

小論文と出席日数。

### 【テキスト】

情報学講義ノート〈3〉(岡澤和世 敬文堂 1989)

インフォ・リッチ：インフォ・プア

(Trevor Haywood 岡澤和世訳 敬文堂 1997)

## 図書館情報学特殊演習Ⅰ

西荒井学

### 【授業の概要】

各自が設定したテーマに応じ、プログラム言語あるいはアプリケーション・ソフトウェアを使用して、実際にシステム構築（もしくはプログラム開発）を行い、それらの内容を演習形式で学習していく。

### 【授業計画】

- 1) テーマの決定
- 2) プログラム設計
- 3) プログラミング
- 4) テスト
- 5) 仕様書の作成
- 6) 評価

受講者各自が設定したテーマに従って、毎時間実際にシステム構築（もしくはプログラム開発）に必要な各種作業を実施していく。取り扱うプログラミング言語あるいはアプリケーション・ソフトウェアについては、情報科学センターが所有するソフトウェアの範囲内であれば、それ以上の条件は別に設定しない。ただし、表計算ソフトウェアなどのアプリケーション・ソフトウェアを使用する場合においては、マクロを使用するなど、唯一、プログラミングの要素を含むことを条件とする。

なお受講者各自に対して、最終的には、開発の目的、プログラム設計書（入力、出力、ファイル、プロセス）、ソース・リスト、操作マニュアル、総合評価からなるレポートの提出を義務付ける。

### 【評価方法】

プログラム開発の理解度ならびに進捗状況、課題レポートなどによって評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。

## 図書館情報学特殊演習Ⅰ

野添篤毅

### 【授業の概要】

自然科学分野、とくに生物医学分野における学術情報資源を探するための種々の手段（マニュアル、オンライン、インターネット）、デジタル化されたツールについて演習形式で学んでいく。

取り上げるテーマとしては、

MEDLINEデータベース(PubMed)の索引手法と検索、原文献(電子媒体を含む)の収集、および検索文献の質的評価(フィルタリング)の実習

を予定している。インターネットを使用するので情報科学教育センターでIDを取得すること。

### 【授業計画】

上記のテーマについて演習を行い、レポートをまとめる。また、PowerPointなどを使って演習成果の発表会を各学期末に行う予定。

### 【評価方法】

演習への参加度およびレポート、発表会。

### 【テキスト】

その都度、指示する。



## 図書館情報学特殊演習 I

林 博司

### 【授業の概要】

生命現象の中心である自己複製、種の多様化、環境への適応等の現象を司っている情報を収集・整理・分析・評価するための手法を学習する。自然科学のレビュー誌、紹介記事等を元にデータベースの構築をする為の基礎を研究する。資料は国内紙に留めず英文のバイオ関係科学誌からも取り入れる。4年生時の特殊演習のための基礎を作る。

邦文・英文の生命科学雑誌・学術雑誌・レビュー誌の紹介。  
現在の論文検索システムの紹介とその利用。  
キーワードに依る検索とキーワードの設定。  
遺伝子・ゲノム・タンパク質分子の機能等のデータベースの紹介。  
遺伝情報の解説・セントラルドグマ等の理解。  
古典進化論と分子進化の理解。

演習では情報の作成・情報の伝達等について広範な知識を習得し、それを基に、情報の整理と利用度の拡張・新方式の作成を行う為の基礎作りをする。そのために、これまでの講義の内容の復習も取り入れる。

### 【授業計画】

講義以外は演習室を利用し、可能な限り実際のプロセスを楽しんでもらう。その為に文献を読む・整理する等に力を注ぐ。

### 【評価方法】

レポート、出席状況、論文・レビュー等の内容の把握努力で評価する。  
意見の発表の頻度・内容を評価対象とする。

### 【テキスト】

特に定めない。

## 図書館情報学特殊演習 I

山本 進

### 【授業の概要】

取り上げるテーマは、館種を問わず、図書館の現場における資料組織、サービス、図書館の施設設備、図書館建築の諸問題、図書館サービスの地域計画、図書館サービスの測定と評価、図書館員の専門性等の諸問題について論ずる。

### 【授業計画】

講義内容に沿った資料を配付し、順次論述を進め、その中から、毎月1回程度レポートの提出を義務づけ、問題意識の集約を図る。

1～3月中に、公共図書館・大学図書館の現場で学外研修を実施し、研究テーマを確定したうえ文献収集を行い論文の骨組みを決める。

### 【テキスト】

使用しない。

## 図書館情報学特殊演習 I

山崎茂明

### 【授業の概要】

フォーマルコミュニケーションの最も主要なメディアとして発展してきた学術雑誌を主たるテーマにして、学術雑誌の創刊時を中心とした歴史的アプローチ、現在の出版状況を数量的に把握する生態論的アプローチ、電子ジャーナルを中心とした未来論的アプローチ、レフェリーシステムに代表される本質論的アプローチ、投稿や雑誌の利用に焦点をあてた行動的アプローチなど、さまざまな視点から学術雑誌の機能を検討します。ゼミ参加者は情報学Ⅲ(科学コミュニケーション)と情報メディア論Ⅴ(科学技術情報)を履修し、そこで話されている内容に興味ある方が適切です。

3年時には、執筆、投稿、審査、編集、流通といったプロセスを、著名な総合科学雑誌NATURE誌を例にして、その歴史的な発展や電子化への取り組み、ニュースメディアとの関係、記事の種類と役割など、具体的に取ります。また、レフェリーシステムの役割をロールプレイにより体験し、信頼性の高い学術情報がいかに形成されているかを理解してみましょう。実際に多くの学術雑誌を手に触れながら、どのような人が、どんな目的で発表し、読んでいるのか、科学研究世界への想像力を持って取り組みたい。

### 【授業計画】

各自やグループにおける問題解決のプロセスを実践的に学ぶ機会としたい。そのために、基本文献の概要と動向のまとめ(文献レビュー)、論文のまとめかたと会議でのプレゼンテーション(PowerPoint実習を含む)など、調査と発表のための基礎知識もとりあげます。

### 【評価方法】

総合研究報告、レポート。

### 【テキスト】

講義内容に関する基本文献を随時配付する。

## 図書館情報学特殊演習 I

菅野育子

### 【授業の概要】

図書館や博物館といった図書館情報学関連のテーマを題材に、特殊演習ゼミ生全員でガイドを共同作成する。ガイド作成は以下のような段階で行なう。

- (1) テーマに関する基礎知識を得るために、関連文献を探索し講読する
- (2) 関連文献を評価するために、文献の要旨についてレジュメと口頭で発表する
- (3) テーマに関する現状を把握するために、取材を行なう
- (4) 文献と取材から得たデータや知識を文章にまとめる
- (5) ガイドの構成やレイアウトを検討する
- (6) ガイドに採用する検索システムを決定するために、検索システムの調査を行なう

### 【授業計画】

3年次の半期間は、ガイド作成のための基礎知識をゼミ生全員で共有するために、文献の探索、講読、口頭発表を繰り返す。それと同時に、ガイドの構成や内容についてコンセンサスを得るために話し合いを定期的に行なう。ゼミの最終週には、次年度に向けての計画について報告会を開く。

### 【評価方法】

ゼミ活動への取り組みと発表内容から評価する

### 【テキスト】

なし



## 図書館情報学特殊演習 I

三和義秀

### 【授業の概要】

ハイパーテキストの仕組みを理解して本質的な問題点を探り、その改善手法について討論する。その範囲内で最終レポートのテーマ等を決定する。

CD-ROM百科事典やWWWなどを実際に使ったり、HTML、Java、CGI (Common Gateway Interface)、JSP (Java Server Pages) などを使ってホームページを作りながらハイパーテキスト・システムの機能を評価して本質的な問題点を探る。また、それら問題の解決手法に関する先行研究を調査する。

### 【授業計画】

講義及び実習で進める。

### 【評価方法】

レポートにて評価。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 図書館情報学特殊演習 I

村主朋英

### 【授業の概要】

私の特演ゼミでは、歴史情報に関わる演習を行なう。個別テーマごとに、種々の歴史情報源を活用した歴史の探求を行なう。

テーマとしては、情報に関わる事項（情報活動・情報技術・情報サービス・情報学の理論・情報専門家など）にとどまらず、科学技術・哲学・文学・芸術・芸能・音楽、また教育や法律など、人間の生活や社会活動に関わる任意の事象の中から、各自の意思にもとづいて決める。

3年次においては、予備知識・基礎知識をかため、問題意識を育むための作業を行う。

### 【授業計画】

1. テーマの設定
2. 用語調査と概念マップ作成
3. 年表の枠組みの検討
4. 基本文献の同定・講読
5. 年表（概略版）の作成および基礎知識のまとめ

### 【評価方法】

平常点（出欠、課題の提出状況）、最終報告書。

### 【テキスト】

情報と文献の探索 第3版（丸善）  
（諸君がすでに履修した別の講義で使用）

## 図書館情報学特殊演習 I

伊藤真理

### 【授業の概要】

今日インターネットが最も身近なメディアになりつつあり、有用な情報も多く存在するようになった。このような環境において、情報の組織化（メタデータ）とその利用の意義について理解を深めることを目的とする。人文学分野の電子情報資源を対象として、メタデータおよびその利用や提供について、演習を通して検討する。

### 【授業計画】

3年次では、電子情報資源の組織化に関する基礎的な知識の習得を中心とする。前半は講義形式で電子情報資源を対象とした様々な記述フォーマットなどについての基礎知識を学び、後半は様々な事例の考察を通して理解を深める。

### 【評価方法】

平常点、レポートの総合評価。

### 【テキスト】

使用せず（プリント配布）。

## 図書館情報学特殊演習 II

岡澤和世

### 【授業の概要】

「情報環境」というコンセプトに焦点を当て、現代社会の情報問題を考える。演習を中心に各自の中心のテーマを決め、相互理解を深めていく。

今、情報環境が大きな変貌を遂げようとしている。高度情報化社会に生きていく私たちは変わりゆく情報環境について認識を深め、氾濫する情報に溺れることなく、正しい情報理解力（リテラシー）を発揮するよう求められている。本講義では、そのために必要な情報は何かを中心に論じる。

### 【授業計画】

- オリエンテーション：情報環境
1. 情報環境とニューメディア
  2. 情報メディア
  3. 情報アクセス
  4. 情報不均衡
  5. 情報と知識を結ぶ鎖
  6. 記憶と情報
  7. ニューラル・ネットワーク
  8. 言語と会話
  9. 書物の歴史
  10. 女性と情報
  11. インフォ・リッチ：インフォ・プア
  12. 情報の質
  13. 情報過多
  14. 情報と文化の関係
  15. 情報と漫画
  16. 情報と広告
  17. 情報とテレビ
  18. 情報の一極集中化
  19. 情報倫理
  20. 情報社会の展開過程と現状

### 【評価方法】

出席とレポート。

### 【テキスト】

情報学講義ノート〈3〉（岡澤和世 敬文堂 1989）  
インフォ・リッチ：インフォ・プア  
（Trevor Haywood 岡澤和世訳 敬文堂 1997）



## 図書館情報学特殊演習Ⅱ

西荒井学

### 【授業の概要】

各自が設定したテーマに応じ、プログラム言語あるいはアプリケーション・ソフトウェアを使用して、実際にシステム構築（もしくはプログラム開発）を行い、それらの内容を演習形式で学習していく。

### 【授業計画】

- 1) テーマの決定
- 2) プログラム設計
- 3) プログラミング
- 4) テスト
- 5) 仕様書の作成
- 6) 評価

受講者各自が設定したテーマに従って、毎時間実際にシステム構築（もしくはプログラム開発）に必要な各種作業を実施していく。取り扱うプログラミング言語あるいはアプリケーション・ソフトウェアについては、情報科学センターが所有するソフトウェアの範囲内であれば、それ以上の条件は別に設定しない。ただし、表計算ソフトウェアなどのアプリケーション・ソフトウェアを使用する場合においては、マクロを使用するなど、唯一、プログラミングの要素を含むことを条件とする。

なお受講者各自に対して、最終的には、開発の目的、プログラム設計書（入力、出力、ファイル、プロセス）、ソース・リスト、操作マニュアル、総合評価からなるレポートの提出を義務付ける。

### 【評価方法】

プログラム開発の理解度ならびに進捗状況、課題レポートなどによって評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。

## 図書館情報学特殊演習Ⅱ

林 博司

### 【授業の概要】

3年後期に引き続き、生命科学を中心とした、自然科学情報のデータベース作成を目指す。階層構造の構成から、データのコンポーネントまで全員で検討し、わかりやすく、楽しく、役に立つデータベースの構築を成し遂げる。

### 【授業計画】

目的を達成するために必要な指導を構成員のニーズに合わせて弾力的に展開する。

### 【評価方法】

各学生の作業への関わり方を総合的に評価する。

### 【テキスト】

必要に応じて手交する。

## 図書館情報学特殊演習Ⅱ

野添篤毅

### 【授業の概要】

自然科学分野、とくに生物医学分野における学術情報資源を探すための種々の手段（マニュアル、オンライン、インターネット）、デジタル化されたツールについて演習形式で学んでいく。

取りあげるテーマとしては、

- a. インターネットでアクセスできる生物医学関係の情報資源の調査・分析・評価（4年前期）
- b. インターネットによる情報発信の実習（ホームページの作成など）（4年後期）

など、を予定している。インターネットを使用するので情報科学教育センターでIDを取得すること。

### 【授業計画】

上記のテーマについて演習を行い、レポートをまとめる。また、PowerPointなどを使って演習成果の発表会を各学期末に行う予定。

### 【評価方法】

演習への参加度およびレポート、発表会。

### 【テキスト】

その都度、指示する。

## 図書館情報学特殊演習Ⅱ

山崎茂明

### 【授業の概要】

フォーマルコミュニケーションの最も主要なメディアとして発展してきた学術雑誌を主たるテーマにして、学術雑誌の創刊時を中心とした歴史的アプローチ、現在の出版状況を数量的に把握する生態論的アプローチ、電子ジャーナルを中心とした未来論的アプローチ、レフェリーシステムに代表される本質論的アプローチ、投稿や雑誌の利用に焦点をあてた行動的アプローチなど、さまざまな視点から学術雑誌の機能を検討します。4年次には、個人やグループで特定テーマを設定し、最終的には「特殊演習報告書、総合研究：学術雑誌」としてまとめることを目標にして、調査と発表をおこなっていきます。

### 【授業計画】

各自やグループにおける問題解決のプロセスを実践的に学ぶ機会としたい。文献検討だけでなく、訪問調査、見学なども取り入れ、実践的に考えていきたい。

### 【評価方法】

総合研究報告、レポート。

### 【テキスト】

講義内容に関する基本文献を随時配付する。



## 図書館情報学特殊演習Ⅱ

山本 進

### 【授業の概要】

3年後期で問題意識の集約をした事項について、研究のテーマを決定し、論文の構成・使用文献等についての集団指導及び個別指導を行い、夏休み前までには研究論文の全体構成が眼に見える形になるよう、組み立てを終える。

### 【授業計画】

研究論文に調査や調査統計が必要な場合は、調査の内容や項目、方法・結果の集約と纏めについて、具体的な調査の実施方法について指導を行う。

12月上旬研究論文を提出。

### 【評価方法】

指導教員が日常の受講態度、出席状況、提出研究論文の内容等を審査し評価する。

### 【テキスト】

使用しない。

## 図書館情報学特殊演習Ⅱ

菅野育子

### 【授業の概要】

図書館や博物館といった図書館情報学関連のテーマを題材に、特殊演習ゼミ生全員でガイドを共同作成する。ガイド作成は以下のような段階で行なう。

- (1) テーマに関する基礎知識を得るために、関連文献を探索し講読する
- (2) 関連文献を評価するために、文献の要旨についてレジュメと口頭で発表する
- (3) テーマに関する現状を把握するために、取材を行なう
- (4) 文献と取材から得たデータや知識を文章にまとめる
- (5) ガイドの構成やレイアウトを検討する
- (6) ガイドに採用する検索システムを決定するために、検索システムの調査を行なう
- (7) 作成したガイドを公表し、第三者による評価を行なう

### 【授業計画】

3年次に講読した文献からのデータも参考にしながら、前半は取材活動を中心に行なう。この間も、文献の探索・講読や、ガイドの構成・内容についての話し合いを継続する。ガイド作成後は、第三者によるガイド評価を行ない、その結果も含めた最終報告書を作成する。

### 【評価方法】

ゼミ活動への取り組みとガイドの内容から評価する

### 【テキスト】

なし

## 図書館情報学特殊演習Ⅱ

三和義秀

### 【授業の概要】

各自のレポート・テーマに関する研究を行い、レポートを完成する。  
各自の研究内容に関するシステム構築のためのプログラミングを行う。

### 【授業計画】

講義及び実習で進める。

### 【評価方法】

レポートにて評価。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 図書館情報学特殊演習Ⅱ

村主朋英

### 【授業の概要】

3年次に引続き、歴史情報に関わる演習（卒業研究）を進める。  
ゼミの最終報告書となるプロダクトは、下記のいずれかのパターンとする（どれか一つ、または複数のパターンの組み合わせ）。

- (1) 叙述（物語・描写）
- (2) 詳細な年表（年表データベース、ハイパー年表）
- (3) 論考（仮説－検証）
- (4) 史料データベース作成
- (5) その他（WWWページ作成など）

### 【授業計画】

1. 問題の分析と仮説の設定
2. 史料の網羅的収集
3. 史料から得られる情報の分析・総合
4. プロダクト（報告書）の作成
5. プレゼンテーション（口頭発表等）

### 【評価方法】

平常点（出欠、課題の提出状況）、最終報告書

### 【テキスト】

使用せず。



## 図書館情報学特殊演習Ⅱ

伊藤真理

### 【授業の概要】

3年次に習得した電子情報資源の組織化（メタデータ）に関する知識を応用しながら、個々の環境にあわせたメタデータの利用・提供について考察する。メタデータの効果的な利用について学ぶために、各自（個人またはグループ）で特定のテーマを選び、レファレンスツールの作成を行う。

### 【授業計画】

前期では、メタデータの利用・提供について事例を収集し、比較検討を行う。併せて各自のテーマを選定し、作成に向けて目的、実行方法を決定する。後期では、前期に提出したテーマに基づいて、電子情報資源を対象としたレファレンスツールの作成を行う。最後にプロジェクトの報告書を作成する。

### 【評価方法】

平常点、レポートの総合評価。

### 【テキスト】

使用せず。その都度指定する。

## 図書館情報学特殊演習Ⅲ

西荒井学

### 【授業の概要】

各自が設定したテーマに応じ、プログラム言語あるいはアプリケーション・ソフトウェアを使用して、実際にシステム構築（もしくはプログラム開発）を行い、それらの内容を演習形式で学習していく。

### 【授業計画】

- 1) テーマの決定
- 2) プログラム設計
- 3) プログラミング
- 4) テスト
- 5) 仕様書の作成
- 6) 評価

受講者各自が設定したテーマに従って、毎時間実際にシステム構築（もしくはプログラム開発）に必要な各種作業を実施していく。取り扱うプログラミング言語あるいはアプリケーション・ソフトウェアについては、情報科学センターが所有するソフトウェアの範囲内であれば、それ以上の条件は別に設定しない。ただし、表計算ソフトウェアなどのアプリケーション・ソフトウェアを使用する場合においては、マクロを使用するなど、唯一、プログラミングの要素を含むことを条件とする。

なお受講者各自に対して、最終的には、開発の目的、プログラム設計書（入力、出力、ファイル、プロセス）、ソース・リスト、操作マニュアル、総合評価からなるレポートの提出を義務付ける。

### 【評価方法】

プログラム開発の理解度ならびに進捗状況、課題レポートなどによって評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。

## 図書館情報学特殊演習Ⅲ

岡澤和世

### 【授業の概要】

「情報環境」というコンセプトに焦点を当て、現代社会の情報問題を考える。演習を中心に各自の中心のテーマを決め、相互理解を深めていく。

今、情報環境が大きな変貌を遂げようとしている。高度情報化社会に生きている私たちは変わりゆく情報環境について認識を深め、氾濫する情報に溺れることなく、正しい情報理解力（リテラシー）を発揮するよう求められている。本講義では、そのために必要な情報は何かを中心に論じる。

### 【授業計画】

オリエンテーション：情報環境

1. 情報環境とニューメディア
2. 情報メディア
3. 情報アクセス
4. 情報不均衡
5. 情報と知識を結ぶ鎖
6. 記憶と情報
7. ニューラル・ネットワーク
8. 言語と会話
9. 書物の歴史
10. 女性と情報
11. インフォ・リッチ：インフォ・ブア
12. 情報の質
13. 情報過多
14. 情報と文化の関係
15. 情報と漫画
16. 情報と広告
17. 情報とテレビ
18. 情報の一極集中化
19. 情報倫理
20. 情報社会の展開過程と現状

### 【評価方法】

出席とレポート。

### 【テキスト】

情報学講義ノート〈3〉（岡澤和世 敬文堂 1989）

インフォ・リッチ：インフォ・ブア

（Trevor Haywood 岡澤和世訳 敬文堂 1997）

## 図書館情報学特殊演習Ⅲ

野添篤毅

### 【授業の概要】

自然科学分野、とくに生物医学分野における学術情報資源を探すための種々の手段（マニュアル、オンライン、インターネット）、デジタル化されたツールについて演習形式で学んでいく。

取りあげるテーマとしては、

- a. インターネットでアクセスできる生物医学関係の情報資源の調査・分析・評価（4年前期）
- b. インターネットによる情報発信の実習（ホームページの作成など）（4年後期）

など、を予定している。インターネットを使用するので情報科学教育センターでIDを取得すること。

### 【授業計画】

上記のテーマについて演習を行い、レポートをまとめる。また、PowerPointなどを使って演習成果の発表会を各学期末に行う予定。

### 【評価方法】

演習への参加度およびレポート、発表会。

### 【テキスト】

その都度、指示する。



## 図書館情報学特殊演習Ⅲ

林 博司

### 【授業の概要】

3年後期に引き続き、生命科学を中心とした、自然科学情報のデータベース作成を目指す。階層構造の構成から、データのコンポーネントまで全員で検討し、わかりやすく、楽しく、役に立つデータベースの構築を成し遂げる。

### 【授業計画】

目的を達成するために必要な指導を構成員のニーズに合わせて弾力的に展開する。

### 【評価方法】

各学生の作業への関わり方を総合的に評価する。

### 【テキスト】

必要に応じて手交する。

## 図書館情報学特殊演習Ⅲ

山崎茂明

### 【授業の概要】

フォーマルコミュニケーションの最も主要なメディアとして発展してきた学術雑誌を主たるテーマにして、学術雑誌の創刊時を中心とした歴史的アプローチ、現在の出版状況を数量的に把握する生態論的アプローチ、電子ジャーナルを中心とした未来論的アプローチ、レフェリーシステムに代表される本質論的アプローチ、投稿や雑誌の利用に焦点をあてた行動的アプローチなど、さまざまな視点から学術雑誌の機能を検討します。4年次には、個人やグループで特定テーマを設定し、最終的には「特殊演習報告書、総合研究：学術雑誌」としてまとめることを目標にして、調査と発表をおこなっていきます。

### 【授業計画】

各自やグループにおける問題解決のプロセスを実践的に学ぶ機会としたい。文献検討だけでなく、訪問調査、見学なども取り入れ、実践的に考えていきたい。

### 【評価方法】

総合研究報告、レポート。

### 【テキスト】

講義内容に関係する基本文献を随時配付する。

## 図書館情報学特殊演習Ⅲ

山本 進

### 【授業の概要】

3年後期で問題意識の集約をした事項について、研究のテーマを決定し、論文の構成・使用文献等についての集団指導及び個別指導を行い、夏休み前までには研究論文の全体構成が眼に見える形になるよう、組み立てを終える。

### 【授業計画】

研究論文に調査や調査統計が必要な場合は、調査の内容や項目、方法・結果の集約と纏めについて、具体的な調査の実施方法について指導を行う。

12月上旬研究論文を提出。

### 【評価方法】

指導教員が日常の受講態度、出席状況、提出研究論文の内容等を審査し評価する。

### 【テキスト】

使用しない。

## 図書館情報学特殊演習Ⅲ

菅野育子

### 【授業の概要】

図書館や博物館といった図書館情報学関連のテーマを題材に、特殊演習ゼミ生全員でガイドを共同作成する。ガイド作成は以下のような段階で行なう。

- (1) テーマに関する基礎知識を得るために、関連文献を探索し講読する
- (2) 関連文献を評価するために、文献の要旨についてレジュメと口頭で発表する
- (3) テーマに関する現状を把握するために、取材を行なう
- (4) 文献と取材から得たデータや知識を文章にまとめる
- (5) ガイドの構成やレイアウトを検討する
- (6) ガイドに採用する検索システムを決定するために、検索システムの調査を行なう
- (7) 作成したガイドを公表し、第三者による評価を行なう

### 【授業計画】

3年次に講読した文献からのデータも参考にしながら、前半は取材活動を中心に行なう。この間も、文献の探索・講読や、ガイドの構成・内容についての話し合いを継続する。ガイド作成後は、第三者によるガイド評価を行ない、その結果も含めた最終報告書を作成する。

### 【評価方法】

ゼミ活動への取り組みとガイドの内容から評価する

### 【テキスト】

なし



## 図書館情報学特殊演習Ⅲ

三和義秀

### 【授業の概要】

各自のリポート・テーマに関する研究を行い、リポートを完成する。  
各自の研究内容に関するシステム構築のためのプログラミングを行う。

### 【授業計画】

講義及び実習で進める。

### 【評価方法】

リポートにて評価。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 図書館情報学特殊演習Ⅲ

村主朋英

### 【授業の概要】

3年次に引続き、歴史情報に関わる演習（卒業研究）を進める。  
ゼミの最終報告書となるプロダクトは、下記のいずれかのパターンとする  
（どれか一つ、または複数のパターンの組み合わせ）。

- (1) 叙述（物語・描写）
- (2) 詳細な年表（年表データベース、ハイパー年表）
- (3) 論考（仮説-検証）
- (4) 史料データベース作成
- (5) その他（WWWページ作成など）

### 【授業計画】

1. 問題の分析と仮説の設定
2. 史料の網羅的収集
3. 史料から得られる情報の分析・総合
4. プロダクト（報告書）の作成
5. プレゼンテーション（口頭発表等）

### 【評価方法】

平常点（出欠、課題の提出状況）、最終報告書

### 【テキスト】

使用せず。

## 図書館情報学特殊演習Ⅲ

伊藤真理

### 【授業の概要】

3年次に習得した電子情報資源の組織化（メタデータ）に関する知識を応用しながら、個々の環境にあわせたメタデータの利用・提供について考察する。メタデータの効果的な利用について学ぶために、各自（個人またはグループ）で特定のテーマを選び、レファレンスツールの作成を行う。

### 【授業計画】

前期では、メタデータの利用・提供について事例を収集し、比較検討を行う。併せて各自のテーマを選定し、作成に向けて目的、実行方法を決定する。

後期では、前期に提出したテーマに基づいて、電子情報資源を対象としたレファレンスツールの作成を行う。最後にプロジェクトの報告書を作成する。

### 【評価方法】

平常点、レポートの総合評価。

### 【テキスト】

使用せず。その都度指定する。

## プラクティカルイングリッシュ

山崎茂明

### 【授業の概要】

図書館員や情報専門家として働くときに必要と思われる英文資料や情報源を教材として取りあげ、読解力と背景となる事象へのアプローチを学ぶ。職業人として求められる身近な英語の文章を読んでいく。

### 【授業計画】

辞書を引く、人と会う（名刺を読む）、図書館訪問（手紙、電子メール）、Bethesda公共図書館、Enoch Pratt Free Library、米国議会図書館、米国の医学図書館、図書館の組織とサービス、求職情報からみた図書館、ケネディ記念倫理研究所図書館の活動、書評を読むなど。参加者は、必ず英和辞典を持参すること。時間内での英訳や自宅での課題など予定している。

### 【評価方法】

訳読レポート、試験。

### 【テキスト】

課題文や資料を随時配付する。



## プロフェッショナルリーディング

村主朋英

### 【授業の概要】

情報学・図書館学の学術論文等、専門的な文献を読解し利用する技能を養うための科目である。演習を中心に進めるため、努力の積み重ねを必要とするが、「英文であることを意識せずに効果的・効率的に読む」ことをめざすため、高度な英語力は要求しない。4年生の履修も大いに歓迎する。

### 【授業計画】

1. 論文の流れの掴み方  
文章の構造的・効率的な読解のテクニック/専門用語を憶えることの意義
2. 演習(1): 短文全訳で腕試し
3. 演習(2): 文脈のわかっている英文の読解
4. 演習(3): 長文の斜め読み
5. 演習(4): コンピュータ関連の英文
6. レジュメの作り方  
レジュメの要件/読みながらのレジュメ作成

### 【評価方法】

以下の三つを組み合わせる。

- (1) 平常点 (出欠および宿題の提出状況)
- (2) 試験 (情報関連の専門用語、短文読解)
- (3) レポート (外国語論文を読んでレジュメを作成)

### 【テキスト】

図書館情報学用語辞典

(日本図書館学会用語辞典編集委員会編 丸善 税別定価3,800円)

そのほか、各自英和辞典を持参すること。

## 情報学Ⅰ (生命情報増幅)

林博司

### 【授業の概要】

生命は多くの情報システムによって支えられている。原始生命以来存在する先天的な遺伝情報系について学ぶ。

- 1: 地球の誕生と生命の起源
- 2: 遺伝子とは何か
- 3: 核酸の構造と遺伝暗号
- 4: 遺伝情報の伝達と発現
- 5: タンパク質の構造と機能
- 6: 情報発現の制御機構
- 7: 遺伝子像の変遷
- 8: 遺伝子による生命現象の支配
- 9: 遺伝情報系と言語情報系

### 【授業計画】

テキストに沿って体験的、視聴覚的に学ぶ。

### 【評価方法】

出席率、発言、レポートなどを基に総合的に評価する。

## 情報学Ⅱ (生命情報増幅)

林博司

### 【授業の概要】

生命は多くの情報システムによって支えられている。ここでは後天的な情報システムである脳神経系の情報処理について学ぶ。

- 1: 脳科学の歴史
- 2: 脳の構造と機能
- 3: 神経細胞の成り立ちと神経回路
- 4: 脳の可塑性
- 5: 記憶のメカニズム
- 6: 意識・感情についての理解
- 7: 感覚系の進化
- 8: 情報とは何か

### 【授業計画】

テキストに沿って体験的、視聴覚的に学ぶ。

### 【評価方法】

出席率、発言、レポートなどを基に総合的に評価する。

### 【参考文献・資料】

情報生物学入門 (鈴木英雄他著 培風館 2,427円)

## 情報学Ⅲ (図書館と情報検索の歴史)

村主朋英

### 【授業の概要】

図書館情報サービスと知識の組織化過程の発達を中心に、図書館情報分野に関わる歴史を概観する。<人類の情報環境の発達過程を概観する>というコンセプトを掲げ、とくに<情報・知識の伝達・継承のために人類がどのような活動を行ってきたか>という問題を軸に探求する。

具体的には、まず環境要因となるメディア技術(情報・通信技術)の発達過程を概観し、つぎに情報流通の制度・機構(情報サービス機関や情報専門職など)、および情報の蓄積・検索の技術・技法が整備されていった過程を詳述する。それらも、人類にとって一種の環境要因である。その上で、そうした環境要因と人間との関わりによって生ずる現象(とくに情報の社会的蓄積・継承)を論ずる。

Ⅲでは、古代から中世までを対象とし、Ⅳに引き継ぐ。

### 【授業計画】

1. 古代文明のメディアと情報・知識
2. ギリシア・ローマにおける進展
3. 中世の学術と書物・図書館
4. 印刷革命

### 【評価方法】

定期試験 ※穴埋め・訂正問題、論述問題

### 【テキスト】

歴史のなかの科学コミュニケーション (勁草書房 税別定価3,800円)

図書館情報学用語辞典 (丸善 税別定価3,800円)



## 情報学Ⅳ（図書館と情報検索の歴史）

村主朋英

### 【授業の概要】

図書館情報サービスと知識の組織化過程の発達を中心に、図書館情報学分野に関わる歴史を概観する。Ⅳでは、Ⅲの知見を踏まえた上で、近・現代を対象とする。

### 【授業計画】

1. 印刷のもたらした近代  
学術情報流通システムの成立/新聞と雑誌/読書大衆
2. 図書館の世紀
3. 書誌とドキュメンテーション
4. 情報メディア技術の発達
5. 20世紀の情報流通システムと情報検索
6. 図書館学と情報学
7. 未来を求めて：Vannevar BushのMemex構想をもとに

### 【評価方法】

定期試験 ※穴埋め・訂正問題、論述問題

### 【テキスト】

歴史のなかの科学コミュニケーション（勁草書房 税別定価3,800円）  
図書館情報学用語辞典（丸善 税別定価3,800円）

## 情報処理概説Ⅰ

### 【授業の概要】

情報処理に必要なコンピュータのハードウェアおよびソフトウェアに関する基礎知識の習得、ならびに情報処理機器の基本操作、技法をコンピュータ実習に重点を置きながら習得していく。特に、コンピュータ技術は日進月歩の勢いで変化してきているが、その原理・原則には不変、かつ共通している部分が少なくない。本授業では、情報のコンピュータ内部表現、コンピュータの基本機能など、ハードウェアならびにソフトウェアにおいて普遍的なコンピュータ技術基盤に焦点を絞って学習していく。

### 【授業計画】

- 1) コンピュータの歴史的発展過程
  - 2) 情報の表現と情報単位 (1)
  - 3) 情報の表現と情報単位 (2)
  - 4) コンピュータの仕組
  - 5) キー・タイピング練習：実習
  - 6) 基本ソフトウェアと応用ソフトウェア
  - 7) 基本ソフトウェアの操作・実習
  - 8) 応用ソフトウェアの操作：ワープロ・ソフト基礎実習
  - 9) 応用ソフトウェアの操作：ワープロ・ソフト応用実習
  - 10) ネットワークの利用（電子メール）：実習
  - 11) ネットワークの利用（WWW）：実習
  - 12) 情報処理方式とシステム形態
  - 13) 計測・制御システムの機能と特徴
  - 14) 情報構造（ファイルとデータベース）
  - 15) 情報処理技術の応用分野と今後の情報処理
- 講義と情報科学センターにおけるコンピュータ実習とを約半々の割合で授業を進行していく。

### 【評価方法】

学期末試験ならびにコンピュータ実習課題提出内容によって評価する。

### 【テキスト】

未定

## 情報学Ⅴ（科学コミュニケーション）

山崎茂明

### 【授業の概要】

現在社会の発展を基礎づけている科学研究活動を対象にして、そこで発生するコミュニケーションの実態を、情報メディアと研究者に着目して、具体的な事例をもとに検討したい。とくに、科学研究の不正行為に焦点をあて、科学コミュニケーションの生態と機能を明らかにし、全体像への理解を試みる。

1. 科学研究の目的
2. 研究資金、研究者、成果としての学術論文
3. 17-21世紀の科学研究
4. 科学は信頼されているか
5. 科学研究の不正行為
6. 不正行為の生態
7. 日本における事例
8. 海外での事例
9. 主要国における対応
10. レフェリーシステムと不正行為
11. 学術論文の撤回と不正行為
12. 雑誌編集者の役割
13. 信頼できる科学コミュニケーションの確立

### 【授業計画】

講義を中心に行う。教科書はできるだけ事前に読んでもらいたい。講義内容に関係する資料を随時配付する。

### 【評価方法】

期末レポート、小レポート（授業時間内）

### 【テキスト】

科学者の不正行為（山崎茂明 丸善）

### 【参考文献・資料】

背信の科学者たち（Broad, W. 他 化学同人）  
リトルサイエンス・ビッグサイエンス（Price, D.J.D. 創元社）  
アメリカの研究費とNIH（白楽ロックビル 共立出版）  
生命科学論文投稿ガイド（山崎茂明 中外医学社）  
論文投稿のインフォマティクス（山崎茂明 中外医学社）  
研究評価（根岸正光・山崎茂明 丸善）  
科学技術白書（<http://www.wpp.mext.go.jp/>）

## 情報処理概説Ⅱ

### 【授業の概要】

情報処理技術におけるソフトウェアの意義、ならびに有用性について、基礎的なプログラミング実習を通して、必要な基礎知識を習得していく。また、パッケージ系ソフトウェアとユーザー・ジョブ・プログラムの本質的な相違点を理解すると共に、ソフトウェア開発の本質的意義、および基本的な技法について学習していく。

なお、プログラミング実習については、VB（Visual Basic）を使用することから、VBの特徴、機能等についても併せて触れていく。

### 【授業計画】

- 1) 開発系ソフトウェアの種類と歴史
  - 2) パッケージ系ソフトとユーザー・ソフト
  - 3) 表計算ソフトウェア基礎：実習
  - 4) 表計算ソフトウェア応用：実習
  - 5) プレゼンテーション・ソフト：実習
  - 6) 情報処理ステップ
  - 7) プログラム開発基礎手順（問題解析、開発）
  - 8) VB（Visual Basic）の特徴と機能
  - 9) プログラミングの前に、VBの起動、操作：実習
  - 10) 演算処理、プロジェクトの保存／呼び出し：実習
  - 11) 判断分岐、繰り返し処理：実習
  - 12) 関数の利用、配列：実習
  - 13) モジュールの追加、変数の共有：実習
  - 14) VBアプリケーション開発練習1：実習
  - 15) VBアプリケーション開発練習2：実習
- 講義と情報科学センターにおけるコンピュータ実習とを約半々の割合で授業を進行していく。

### 【評価方法】

学期末試験ならびにコンピュータ実習課題提出内容によって評価する。

### 【テキスト】

未定



## ネットワークリテラシ

### 【授業の概要】

情報社会を形成する重要な社会技術のひとつであるネットワーク技術について、その機能の有用性と脆弱性を主に実習を積み重ねながら習得していく。特に、現在の重要な情報基盤であるインターネット環境に焦点を当て、情報の受発信に係る操作・作成技法を学習する。操作技法については、電子メールおよびWWW (World Wide Web) での応用操作技術、ならびに作成方法については、WWW上でのホームページを効果的に作成・運用していく技術、CGIプログラミングを通してのネットワーク構築、およびセキュリティ技術を本授業の中心課題とする。

なお、授業内容に準じて、ネットワーク技術利用の意義、作成する情報コンテンツに対する配慮や心構え、および情報倫理、セキュリティの問題についても触れていく。

### 【授業計画】

- 1) コンピュータ技術とネットワーク技術の概要
- 2) インターネット環境の基礎
- 3) 電子メールの応用操作技術 (1): 実習
- 4) 電子メールの応用操作技術 (2): 実習
- 5) WWWの応用操作技術: 実習
- 6) Webページの基本構造とHTMLタグ
- 7) Webページの作成 (HTMLの記述1): 実習
- 8) Webページの作成 (HTMLの記述2): 実習
- 9) Webページの作成 (画像の貼り付け): 実習
- 10) CGIの仕組みと機能
- 11) CGIプログラミング (プログラミングの手順): 実習
- 12) CGIプログラミング (基本文法): 実習
- 13) CGIプログラミング (ネットワーク構築技術): 実習
- 14) CGIプログラミング (セキュリティ技術): 実習
- 15) まとめ (情報発信の意義と責任)

### 【評価方法】

出席回数、課題 (プログラミング)、および定期試験により評価を行う

### 【テキスト】

ネットワークリテラシ ―ユビキタス社会におけるネットワーク活用のテクニック―  
(三和義秀 共立出版)

## プログラミング実習

三和義秀

### 【授業の概要】

プログラミングは、単なる机上の問題として理解していくことだけでは、残念ながら、真の意味での理解には繋がらない。本授業では、C言語とJavaを用いて、実際に手続き指向、並びにオブジェクト指向のプログラミング実習を重ねていくことにより、プログラミングの基礎能力を養うと共に、プログラミングの本質を理解していく。

提示するプログラミング実習課題に関して、問題の解析から最終的なコーディングに至るまでの一連の作業を繰り返していくことにより、基本的なプログラミング・テクニックを習得していく。なお、実習課題を解決するに必要な処理の概要ならびに技術的な問題については、適宜、補足的に説明していくこととする。

### 【授業計画】

- 1) プログラム制御 (1)
- 2) プログラム制御 (2)
- 3) プログラム制御 (3)
- 4) 配列の考え方
- 5) 配列の処理 (一次元)
- 6) 配列の処理 (多次元)
- 7) アルゴリズムとプログラミング (1)
- 8) アルゴリズムとプログラミング (2)
- 9) アルゴリズムとプログラミング (3)
- 10) C言語による関数設計 (1)
- 11) C言語による関数設計 (2)
- 12) Javaによるクラス設計 (1)
- 14) Javaによるクラス設計 (2)
- 15) Javaによるクラス設計 (3)

### 【評価方法】

出席回数、レポート、及び定期試験により評価を行う。

### 【テキスト】

入門Javaプログラミングのテクニック (三和義秀 共立出版)

## プログラミング論

三和義秀

### 【授業の概要】

適切な情報処理を実現するにあたって、ユーザー・ジョブ・プログラムの開発は、必要不可欠な場合が多い。このようなことから、本授業では、プログラミングの必要性、意義を理解すると共に、原則的なプログラム開発手順ならびにアルゴリズムを中心とするプログラム開発に必要な基礎知識を習得する。

なお、具体的なプログラム開発手順およびアルゴリズムを正しく理解していくために、本授業では、UNIX/Cを用いる際のプログラミングにおける問題点や考え方を例示していく。よって、プログラミングの問題点と共に、UNIXについても併せて触れていくこととする。

### 【授業計画】

- 1) アルゴリズム (1)
- 2) アルゴリズム (2)
- 3) プログラミングとコーディング
- 4) フローチャート
- 5) UNIXセッションとコマンド
- 6) UNIXのエディタ (1)
- 7) UNIXのエディタ (2)
- 8) C言語プログラムの開発手順 (1)
- 9) C言語プログラムの開発手順 (2)
- 10) 情報の表現方法 (1)
- 11) 情報の表現方法 (2)
- 12) 変数とデータ型 (1)
- 13) 変数とデータ型 (2)
- 14) 書式指定子
- 15) 算術演算子

### 【評価方法】

出席回数、レポート、及び定期試験により評価を行う。

### 【テキスト】

情報処理のテクニック (西洗井学・三和義秀 共立出版)

## プログラム設計応用 I (C)

三和義秀

### 【授業の概要】

構造化プログラミングの技法とUNIX/Cによるプログラミングを行う。さらにオブジェクト指向の考え方を学び、Visual C++によるプログラミングを行う。

### 【授業計画】

- 第1回から第2回 記憶クラス
- 第3回から第4回 アドレスとポインタ
- 第5回から第6回 構造体
- 第7回から第8回 ファイル操作
- 第9回 オブジェクト指向プログラミング
- 第10回から第13回 Visual C++によるオブジェクト指向プログラミング

### 【評価方法】

定期試験、レポート及び出席回数にて総合評価する。特に出席回数を重視する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。



## プログラム設計応用Ⅱ (COBOL)

西荒井学

### 【授業の概要】

近年、アプリケーション・ソフトウェアの中でも多様なパッケージ・ソフトウェアが提供されることが多くなってきている。しかしながら、提供されるパッケージ・ソフトウェアだけで、すべてを充足することは困難を極める場合が少なくない。本授業では、事務処理用言語であるCOBOLを使用して、実際のプログラム作成に関する基礎技術を学習していくことにより、プログラミングの本質を理解していく。

プログラミングは、単なる机上の問題ではなく、実際にコンピュータ実習を重ねていくことにより、理解を一層深めていくことができる。よって、授業内では出来る限りCOBOLプログラムを数多く作成していくことにより、プログラミングの本質的な問題を理解していくと共に、COBOLというプログラム言語が持っている本質的な特徴を理解していく。なお、COBOLプログラミングの実習については、情報処理における基本的な処理プロセスを題材にした実習問題を解決していく。

### 【授業計画】

- 1) プログラミングの必然性と基本手順
- 2) COBOLの基本構造と特徴
- 3) 予約語、利用者定義語、コーディング書式
- 4) 識別部の役割とコーディング
- 5) 物理装置と論理装置に対する考え方
- 6) 環境部の役割とコーディング
- 7) ファイルの構造とレベル番号
- 8) データ部の役割とコーディング 1 (FILE記述、レコード記述)
- 9) データ部の役割とコーディング 2 (作業領域、出力編集)
- 10) 手続き部の役割とコーディング 1 (手続き名、入出力文)
- 11) 手続き部の役割とコーディング 2 (制御文、その他)
- 12) プログラミング実習 1 (実習問題A~H)
- 13) プログラミング実習 2 (実習問題A~H)
- 14) プログラミング実習 3 (実習問題A~H)
- 15) プログラミング実習 4 (実習問題I~)

全授業回数の内、前半はCOBOL言語に関する文法について解説していく。後半は、提示された課題プログラムの作成を各自実習形式で行なう。

### 【評価方法】

提出課題プログラム数、提出課題プログラムの内容、ならびに学期末試験にて総合評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず (プリント配布)

## プログラム設計応用Ⅲ (Java)

三和義秀

### 【授業の概要】

オブジェクト指向の考え方を学び、Javaを用いてオブジェクト指向プログラミングの基礎を習得する。

### 【授業計画】

- 第1回 オブジェクト指向、オブジェクト指向プログラミングとは
- 第2回 Javaの特徴とJavaプログラムの開発環境
- 第3回から5回 クラス設計とJavaのプログラム構造
- 第6回から9回 オブジェクトとコンストラクタ
- 第10回から第11回 クラスの継承と抽象クラス
- 第12回から第13回 アクセス制御

### 【評価方法】

定期試験、レポート及び出席回数にて総合評価する。特に出席回数を重視する。

### 【テキスト】

入門Javaプログラミングのテクニック (三和義秀 共立出版)

## データ管理論Ⅰ (表計算と統計)

三和義秀

### 【授業の概要】

調査研究において収集したデータを整理・分類し、それらの性質や状態を数量的に表現して全体としての法則性を見つけ出すための手法と、どのようにコンピュータを統計処理に活用するかについて表計算ソフトExcelを使って学ぶ。

### 【授業計画】

- 第1回 統計とは何か、度数分布表とヒストグラム
- 第2回 データ入力、表・グラフの作成
- 第3回 関数の使い方
- 第4回 統計量の求め方
- 第5回 度数分布表、ヒストグラムの作成
- 第6回 ドットプロット、クロス集計表の作成
- 第7回 平均値、範囲、最頻値、分散と標準偏差等の意味
- 第8回 代表値と散布度を求める
- 第9回 確率分布と正規分布
- 第10回 2項分布と標準正規分布
- 第11回 相関係数の求め方とその意味、回帰分析
- 第12回 散布図の作成、相関係数、回帰係数
- 第13回 検定の仕組みと方法

### 【評価方法】

定期試験、レポート及び出席回数にて総合評価する。特に出席回数を重視する。

### 【テキスト】

Excelで学ぶ“やさしい統計処理のテクニック” (三和義秀 共立出版)

## データ管理論Ⅱ (DB構築)

原伸之

### 【授業の概要】

パソコン活用の3本の柱の1つである「データベース」を取り上げる。世の中のコンピュータ利用の大部分が、このデータベース利用であると言っても過言ではない。金融機関での預金の出し入れ、座席の予約さらにコンビニでの商品管理など。これらは、データベースの応用システムである。

また、昨今日常生活にまで入り込んできた「インターネット」も、広い意味での「データベース」応用である。授業では、これらのシステムの核となっている「データベース」の理解・構築技法・利用方法を講義と実技で体験・習得する。

1. データベース概論  
…データベースとは  
データベースの理解  
カード型データベースと関係データベースのちがいは  
関係データベースの特徴
2. 関係データベース・ソフトウェア「ACCESS」  
データベースの定義  
データベースの構築  
データベースの利用
3. 関係データベースの構築 (ACCESSを使用して)  
…事例を作成・体験  
基本的なデータベース  
Wordで作成した文書のデータベース化  
インターネットから取り込んだ画像のデータベース化  
関数を使用したデータベース
4. 構築したデータベースの事例発表  
…習得したデータベースの構築技法を使って、身近なところで考えられるデータベースを構築し、その活用をレポートする。

### 【授業計画】

配布されたプリントに基づいて、講義・実習を行う。

### 【評価方法】

習得した技術および知識を基にして、各自が構築した「身近なところで考えられるデータベース」の内容を評価し、成績とする。

### 【テキスト】

プリント配布。



## 情報システム設計基礎Ⅰ

西荒井学

### 【授業の概要】

情報システムの設計・開発に必要なシステムの概念、システム設計の基本的枠組や基本的な設計手順、ならびに設計技法について学習していく。通常の住宅建設においても、施主の要望を十分に充足することができるように、種々の建築設計が行われ、各設計書に基づき実際に施工・工事がなされていく。このことは、システム構築においても、建築設計とは設計内容等の差異はあれ、決して例外ではない。本授業では、システムの具体的な設計内容に重要な影響を及ぼすシステム分析、要求定義ならびに基本設計に焦点を絞り、システム設計の考え方や設計技法について理解していく。

なお、コンピュータ技術の急速な進展に伴い、システムは巨大化、高度化してきた。この結果、システム技術においても専門化、多様化してきており、システム設計自体にも変化が見え隠れしてきている。このようなことから、授業内容に準じて、システム設計に関わる技術背景や技術変遷等についても、その都度解説していく。

### 【授業計画】

- 1) システム化の必然性と情報システムの種類
- 2) システムの定義と概念
- 3) システムの基本機能とシステムの階層性
- 4) システム設計手順の全体像
- 5) システム設計へのアプローチ
- 6) コンピュータ業務区分とSEの役割
- 7) SEの基本的要件
- 8) ソフトウェア開発の現状と問題
- 9) ソフトウェア工学（開発技法、開発工程）
- 10) コンピュータ・システムの処理形態
- 11) コンピュータ技術と通信技術の進展
- 12) システム分析の意義と内容
- 13) 要求分析の必然性
- 14) 環境調査から機能分析まで
- 15) 基本設計の内容と重要性

毎週講義終了10～15分間を使用して、小テストを実施する。

### 【評価方法】

小テスト、課題レポート、ならびに学期末試験にて総合評価する。

### 【テキスト】

図解システム設計の基礎（加藤英雄 共立出版）

## 情報システム論Ⅰ（情報システム開発）

西荒井学

### 【授業の概要】

情報システム開発の骨格ならびに開発工程における技法や問題点について、実際にシステム開発手順を実習形式にて学習していくことにより習得していく。特に、情報ファイルの設計ならびに管理の問題、中でも電子化されていく情報ファイルの問題に焦点を当てて解説していく。また、最近の電子情報の多量化、文字情報からイメージ情報にまで拡大してきている現状を踏まえ、今後の電子情報ファイルが抱える課題や将来像についても触れていく。

なお、システム開発実習については、簡単な文書データ検索システムのサブ・システム構築を事例に取り上げるが、授業では個人単位でのシステム開発実習とグループ単位でのシステム開発実習を併せて実施していく。開発実習で利用するソフトウェアは、本来、プログラム言語の利用が望ましいが、本授業ではExcelのマクロ、あるいはVBA (Visual Basic for Application) を対象とする。

### 【授業計画】

- 1) システム開発の概要と意義
- 2) システム開発工程手順
- 3) 電子ファイリング・システムの必要性
- 4) 電子ファイリング・システムの機能と特徴
- 5) 画像イメージと記録媒体
- 6) 電子ファイリング・システムの適用分野
- 7) 事例：文書データ検索システムの機能と特徴
- 8) ExcelのマクロとVBAの概要
- 9) マクロの利用方法
- 10) システム開発実習1（個人別課題）
- 11) システム開発実習2（個人別課題）
- 12) システム開発実習3（グループ別課題）
- 13) システム開発実習4（グループ別課題）
- 14) システム開発実習5（グループ別課題）
- 15) システム評価

前半では、システム開発全般に関する問題について講義を実施する。後半では、受講者をグループに分け、簡単なシステムを実際に開発する。

### 【評価方法】

出席状況、課題レポート、実習課題の成果、ならびに学期末試験にて評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず（プリント配布）

## 情報システム設計基礎Ⅱ

西荒井学

### 【授業の概要】

情報システム設計は、究極的にはプログラム開発に至るまでの一連の情報システム構築手順において、重要な要素を担っている。システム設計の良し悪しが、情報システムの有効性、効率性、ならびに運用性の良否に帰結する。本授業では、情報システム設計手順における概要設計および詳細設計に焦点を絞り、具体的なシステム設計内容ならびに設計技法について学習していく。

なお、具体的な概要設計および詳細設計における考え方、方法を学習していくと共に、情報システム設計の成果であるソフトウェア・ドキュメントの意義や作成方法、および各システム設計段階における問題点についても解説していく。簡単な事例システムを取り上げ、実習形式を中心にして具体的に学習する。

### 【授業計画】

- 1) 情報システム設計の意義と役割
- 2) 基本設計、概要設計、詳細設計の3段階
- 3) コードの機能とコードの種類
- 4) コード設計の意義と設計内容（実習を含む）
- 5) ユーザー・インターフェースについての考え方
- 6) 出力設計の意義と設計内容（実習を含む）
- 7) 入力設計の意義と設計内容（実習を含む）
- 8) ファイル設計の意義と設計内容（実習を含む）
- 9) データベース設計への展開
- 10) 情報処理における基本処理パターン
- 11) プロセス設計の意義と設計内容（実習を含む）
- 12) システム障害における障害対策・保守
- 13) 信頼性設計の意義と設計内容（実習を含む）
- 14) ソフトウェア・ドキュメントの種類と特質
- 15) システムの評価、システム監査

毎週講義終了10～15分間を使用して、小テストを実施する。

### 【評価方法】

小テスト、課題レポート、ならびに学期末試験にて総合評価する。

### 【テキスト】

図解システム設計の基礎（加藤英雄 共立出版）

## 情報システム論Ⅱ（情報ネットワーク）

野添篤毅

### 【授業の概要】

研究・教育活動を支援する大学・学術図書館における学術情報サービスの基盤となる情報ネットワークについて論じる。とくに、米国で構築されている、情報資源マネージメントを基礎とした医科大学における情報システム、そして米国国立医学図書館を中心とした医学・医療情報ネットワーク、インターネット上の仮想図書館であるデジタル図書館について考察する。また、「根拠に基づく医療EBM」の活動の発展とともに必要とされつつある新しい情報サービス、新しい情報専門職についても議論する。

### 【授業計画】

1. 学術情報資源マネージメントの考え方
2. 情報マネージメントを基礎とした未来の図書館へのシナリオ
3. 組織内における情報ネットワークの構築
4. 統合型学術情報マネージメント・システムIAIMSの考え方
5. IAIMSの実現例、次世代のIAIMS
6. インターネットと情報サービス
7. 米国国立医学図書館を中心としたデジタル情報資源サービス・ネットワーク
8. デジタル情報資源の評価方法
9. Evidence Based Medicine（根拠に基づく医療）と情報活動
10. インターネット環境下の新しい情報専門職（Informationist）

### 【評価方法】

レポート（2回程度）および小テスト。

### 【テキスト】

プリントを配布。



## 情報システム論Ⅲ (大学図書館)

澁川雅俊

### 【授業の概要】

人々の知の展開がダイナミックに営まれている大学において、それをサポートすべき中核的ロジスティクスである大学図書館はいま変換と改革を迫られている。

その背景には、長期にわたった書物図書館がパラメディア図書館に変換し、さらにエレクトロニック図書館へと進行するなか、人々の情報要求は進展するデジタル情報技術を最大限に応用し、デジタルライブラリーへのパラダイムシフトを促している。そのような状況を踏まえ本論では革新期における大学図書館のマネジメントの在り方と実際を考察する。

### 【授業計画】

第1セッション：イントロダクトリーノート (知識情報の生成と蓄積)

第2セッション：教育研究と図書館

第3セッション：大学図書館の基本活動とそのマネジメント

第4セッション：大学図書館マネジメントの基本

(予算管理、専門職技能管理、施設・設備管理)

第5セッション：多面化するマネジメント1 (情報資源管理、事務管理)

第6セッション：多面化するマネジメント2 (図書館システム管理)

第7セッション：多面化するマネジメント3

(図書館資源の共有、セキュリティマネジメント、新しいマネジメント手法)

第8セッション：大学図書館のダイナミクス1 (機能・構造的拡張展開)

第9セッション：大学図書館のダイナミクス2 (組織的拡張展開)

第10セッション：演習「大学図書館はいま...」

(わが国大学図書館の現状分析)

第11セッション：大学図書館パラダイムシフト (わが国大学図書館政策の展開)

第12セッション：デジタルライブラリーへの展望

第13セッション：クロージングノート (クォ・ヴァディス、大学図書館!)

### 【評価方法】

総合評価 (出席・レポート・クイズ)

### 【テキスト】

使用しない

### 【参考文献・資料】

○情報を使う大学と図書館改革

(Breivik, P. S. & E. G. Gee 三浦逸雄他訳 勁草書房 1995年)

○デジタル時代の大学と図書館～21世紀における学術資料資源マネジメント

(Hawkins, B. L. & P. Battin, ed. 三浦逸雄他訳 玉川大学出版部

2002年)

## 情報サービス基礎論Ⅱ

逸村 裕

### 【授業の概要】

図書館で行われる情報サービスには幅広いものがある。また、これらのサービスはその対象、館種、主題、規模ごとに多くの特徴を持つ。さらに今日、伝統的な図書館サービスに加え、情報通信技術の普及発展に伴う新たな対応を迫られている。

これら図書館情報サービスの紹介と評価の視点から講義を行なう。

1. この講義の対象と範囲

2. パブリック・サービス (奉仕・直接サービス)

- A. 貸出閲覧
- B. レファレンスサービス
- C. 相互協力
- D. 視聴覚資料
- E. パブリックサービスの今後

3. テクニカル・サービス (資料組織・間接サービス)

- A. 選書
- B. 収書
- C. 整理
- D. 雑誌
- E. テクニカルサービスの今後

4. 評価の視点から見た情報サービス

- A. 蔵書
- B. 人的サービス
- C. 図書館アメニティ
- D. コンソーシアム
- E. その他のサービス

### 【授業計画】

講義中心に行なう。適宜、小テスト、レポートを課す。

「インターネット講習会」を受講しておくこと

### 【評価方法】

小テスト、レポート、期末試験による総合評価。詳細は初回講義の際に説明する。

### 【テキスト】

大学図書館の21世紀 (勁草書房 2004夏刊行予定)

### 【参考文献・資料】

図書館情報学辞典 第2版 (丸善 2002)

## 情報サービス基礎論Ⅰ

逸村 裕

### 【授業の概要】

情報化社会は社会における産業構造の変化をもたらしている。「情報」を扱う産業は、急速に増大し、社会に大きな影響力を与えている。この科目では、図書館情報学の観点から現代社会における特徴的な情報産業の現状を概観し、「情報」を商品化するプロセスを考察するとともに、すべての職業において進展している「情報化」の持つ意味を検討する。また進路としての情報関連産業について論じる。さらに、情報産業の事例紹介を論じ、職業倫理と勤労観についても言及する。

### 【授業計画】

1. 情報化社会と情報産業
2. 産業と職業における情報とITの意味
3. 情報サービス事例1：メディア産業と通信
4. 情報サービス事例2：通信と出版産業
5. 情報サービス事例3：図書館情報
6. 情報サービス事例4：マルチメディアリソース
7. 情報サービス事例5：電子ジャーナル
8. 情報サービス事例6：電子ブック
9. 情報サービス事例7：情報分析・シンクタンク
10. 情報産業と大学
11. 情報化社会における知的所有権問題
12. 情報化社会と情報倫理
13. 情報産業における勤労観と職業倫理

講義中心に行なう。適宜、小テスト、レポートを課す。  
「インターネット講習会」を必ず受講しておくこと。

### 【評価方法】

小テスト、レポート、期末試験による総合評価。  
詳細は初回講義の際に説明する。

### 【テキスト】

使用せず。

### 【参考文献・資料】

図書館情報学辞典 第2版 (丸善 2002)

## 情報メディア基礎論Ⅰ

菅野育子

### 【授業の概要】

情報流通における情報メディアの役割について論じる。各種メディアの生産から流通までを対象に、その過程での問題点について議論し、より効果的な情報流通のための情報メディアのあり方を検討する。

### 【授業計画】

1. 情報流通と情報メディア
2. 学術情報の流通モデル
3. 情報メディアの特徴と問題点
  - (1) 図書  
出版流通過程と制度  
オンライン書店、オンデマンド出版
  - (2) 雑誌  
学術雑誌の機能、査読制度  
雑誌論文の構成  
抄録作成法、引用法、  
プレプリント、e-print  
レター、editorial comment
  - (3) 新聞  
新聞の流通制度  
新聞記事の構成
  - (4) 会議資料  
学会、会議録
  - (5) 特許資料  
特許制度  
パテントファミリー、引用特許
  - (6) 規格票  
規格制度、情報関連の標準化活動
  - (7) データベース  
情報検索システムの歴史  
検索技術、シソーラス
  - (8) インターネット  
ネットワーク情報資源の特徴  
WWWの評価  
Web citation、メタデータ  
ウェブ・アーカイビング
4. 情報流通モデルの修正
5. 電子環境下における情報メディア

### 【評価方法】

期末試験と出席回数によって評価する。

### 【テキスト】

なし。

### 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。



## 情報メディア基礎論Ⅱ

菅野育子

### 【授業の概要】

情報流通における情報メディアの役割について論じる。各種メディアの生産から流通までを対象に、その過程での問題点について議論し、より効果的な情報流通のための情報メディアのあり方を検討する。

### 【授業計画】

- 1 情報流通と情報メディア
- 2 学術情報の流通モデル
- 3 情報メディアの特徴と問題点
  - (1) 図書  
出版流通過程と制度  
オンライン書店、オンデマンド出版
  - (2) 雑誌  
学術雑誌の機能、査読制度  
雑誌論文の構成  
抄録作成法、引用法、  
プレプリント、e-print  
レター、editorial comment
  - (3) 新聞  
新聞の流通制度  
新聞記事の構成
  - (4) 会議資料  
学会、会議録
  - (5) 特許資料  
特許制度  
パテントファミリー、引用特許
  - (6) 規格票  
規格制度、情報関連の標準化活動
  - (7) データベース  
情報検索システムの歴史  
検索技術、シソーラス
  - (8) インターネット  
ネットワーク情報資源の特徴  
WWWの評価  
Web citation、メタデータ  
ウェブ・アーカイビング
- 4 情報流通モデルの修正
- 5 電子環境下における情報メディア

### 【評価方法】

期末試験と出席回数によって評価する。

### 【テキスト】

なし。

### 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。

## 情報メディア論Ⅱ（書誌情報DB構築）

上田修一

### 【授業の概要】

この授業では、まず、書誌（文献）データベースは、どのような展開をとげ、現在どのような状況にあるのか、そして、図書館情報学の中で書誌データベースの構築はどのように位置づけられるのか（なぜ書誌データベースを作るのか）を述べます。その後で、書誌データベースの作成方法について、書誌記述、主題索引法を中心にして説明していきます。

### 【授業計画】

集中講義。前半は講義を主体としますが、後半のデータ項目の選定、索引作成、シソーラスの作成については、授業内で演習を行います。Microsoft Accessを使ったデータベース作成を行います。

1. 書誌コントロールとデータベース
2. 書誌データベースサービス
3. 書誌データベースの作成手順
4. データ項目 演習：データ項目
5. 主題と索引法
6. 演習：索引作成（1）
7. 索引法 演習：索引作成（2）
8. 演習 データベース作成（1）
9. 演習 データベース作成（2）
10. 演習 データベース作成（3）
11. シソーラス
12. 演習 シソーラス作成
13. まとめ

### 【評価方法】

出席は取りません。しかし出席を取るかわりに6回にわたって演習の結果の提出を求めます。また、最後に試験を行います。提出物は、A、B、C、Dの4段階で評価を行い、これに試験の成績を加味して、総合評価を行います。提出物が無い場合、試験を受けない場合は評価の対象とはしません。

### 【テキスト】

プリントを配布します。

## 情報メディア論Ⅰ（マルチメディア）

三和義秀

### 【授業の概要】

社会、教育現場における情報機器の発展経緯、種類、機能、ならびに情報メディアの発達と変化について論じながら、情報メディアの特性、視聴覚メディア、図形処理と画像処理を中心とするソフトウェア、インターネットとシミュレーションに係るツールの活用方法、情報メディアと情報通信（ネットワーク）技術やマルチメディアとの関係について考察する。また、技術的な側面として、インターネットでの情報の検索手法、ハイパーテキスト・システムの本質的問題、およびその設計・開発手法についても触れていく。

### 【授業計画】

- 1) ガイダンス：授業の目的、方法、授業計画について説明
- 2) メディアとは何か
- 3) 情報機器の発展経緯と種類、機能
- 4) 情報メディアの発展経緯と特性
- 5) 視聴覚メディアの種類と特性
- 6) 図形・画像処理とソフトウェア
- 7) 情報通信とメディア
- 8) マルチメディアと情報通信技術
- 9) ネットワーク技術とインターネット
- 10) 放送の高度化とマルチメディア
- 11) 通信の高度化とマルチメディア
- 12) インターネットとシミュレーション
- 13) インターネットでの情報の検索手法
- 14) ハイパーテキストの仕組みと本質的問題
- 15) ハイパーテキスト・システムの作成手法

### 【評価方法】

出席回数、レポート、および定期試験により評価を行う。

### 【テキスト】

授業時に提示する。

## 情報メディア論Ⅲ（医学情報メディア）

野添篤毅

### 【授業の概要】

科学分野での効果的な情報サービスを行うための基礎として自然科学分野の学術情報の発生から加工・利用までの一連の過程について学ぶ。とくに生物医学分野の学術情報の最新流れを中心に論じる。

### 【授業計画】

1. 自然科学分野の研究の広がり
2. 科学研究活動の指標
3. 研究活動と情報活動
4. 情報の発生・加工・利用のサイクル
5. 一次情報—論文構成からみた学術雑誌
6. 二次情報—一次情報とリンクしたデータベース
7. 主要な情報機関の活動—米国国立医学図書館
8. 文献データベース MEDLINE—入力から出力まで
9. わが国の学術情報サービスの動向
10. 学術情報サービスの最近のトピックス

### 【評価方法】

レポート（2回程度）および小テスト。

### 【テキスト】

医学文献サーチガイド 第2版  
(山崎茂明 日本医書出版協会 2,575円)



## 情報メディア論Ⅳ（人文社会情報メディア）

菅野育子

### 【授業の概要】

人文・社会科学分野における情報メディアの特徴から、学問分野における学術情報の生産と利用について検討することを目的とする。

### 【授業計画】

- 1 学問分野と情報メディア
- 2 自然科学分野と人文・社会科学分野
- 3 人文・社会情報メディア
  - 3.1 美術分野
  - 3.2 音楽分野
  - 3.3 文学
  - 3.4 ビジネス分野
  - 3.5 法律分野
  - 3.6 心理学
  - 3.7 図書館情報学
- 4 情報メディアからみた情報の生産と利用

### 【評価方法】

レポートと出席回数によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

### 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。

## 情報メディア論Ⅴ（科学技術情報メディア）

山崎茂明

### 【授業の概要】

自然科学領域における主要な一次情報源である学術雑誌を中心に解説します。学術雑誌と科学論文についての知識は、情報サービス専門家に欠かせない知識です。学術雑誌を理解するポイントは、図書館資料としての狭い枠組みでなく、研究活動と科学コミュニケーションのなかで、その役割や問題を知ることにあります。とくに、研究者による論文生産の視点から、学術雑誌について検討します。

1. 環境としての学術情報
2. 文献情報と文献調査
3. 学術雑誌の歴史と生態
4. 総合誌、レビュー誌、レター誌
5. 日本からの英文論文発表
6. 主要海外誌への日本からの発表傾向
7. 生物医学雑誌への統一投稿規程
8. オーサーシップからみた学術論文
9. 出版倫理と利害の衝突
10. ニュースメディアと学術雑誌
11. レフェリーシステム
12. 一流誌への発表
13. インパクトファクターの批判的吟味
14. 電子メディア（データベース、一次雑誌）の現在

### 【授業計画】

講義を中心に行う。教科書はできるだけ事前に読んでもらいたい。講義内容に関係する資料を随時配付する。

### 【評価方法】

期末レポート、小レポート（授業時間内）

### 【テキスト】

論文投稿のインフォマティクス（山崎茂明著 中外医学社）

### 【参考文献・資料】

電子時代の学術雑誌（Lambert, J. 著 日本図書館協会）  
出版産業の起源と発達（Thompson, J.W. 著 出版同人）  
歴史としての学問（中山茂著 中央公論社）  
生命科学論文投稿ガイド（山崎茂明著 中外医学社）  
医学文献サーチガイド 第2版（山崎茂明著 日本医書出版協会）  
研究評価（根岸正光・山崎茂明著 丸善）

## 情報メディア分析論

菅野育子

### 【授業の概要】

情報メディアの機能に関する基礎的な知識を学ぶために、学術情報だけでなく一般社会における情報の流通に関係する各種情報メディアについて概説する。

具体的には、新聞（新聞記事）、雑誌（雑誌記事）、図書、特許資料、絵画（美術作品）などを取り上げ、その特徴を概観する。

さらに、各情報メディアの分析を行ないながら、分析結果からどのような情報を得ることができるのかについて議論する。

### 【授業計画】

- 1 情報メディアの機能
- 2 情報メディア（1）新聞
- 3 新聞記事の分析：新聞記事DBとの比較
- 4 情報メディア（2）雑誌
- 5 雑誌記事の分析：索引語付与と抄録作成
- 6 情報メディア（3）図書
- 7 図書の分析：主題分類と書誌記述
- 8 情報メディア（4）特許資料
- 9 特許資料の分析：技術動向調査
- 10 情報メディア（5）：絵画（美術作品）
- 11 絵画の分析：CDWAとAATシソーラス
- 12 情報メディアの分析から得られる情報

### 【評価方法】

レポートと出席回数で評価する。

### 【テキスト】

なし。

## 資料組織論

伊藤真理

### 【授業の概要】

情報の組織化に関する理論と概念について理解することを目的とする。様々な情報資源を念頭において、資料組織業務の標準化と統一化の流れを把握し、目録の機能を理解することを目指す。

目録に関する用語と、英米目録規則、日本目録規則、主要な分類表および主題件名標目表を網羅する。

### 【授業計画】

- 第1回 情報の組織化
- 第2回 目録
- 第3回 書誌コントロール
- 第4回 書誌ユーティリティ
- 第5回 目録規則の標準化、統一
- 第6回 記述目録と主題目録
- 第7回 記述目録（1）AACR 2r、NCR
- 第8回 記述目録（2）アクセス・ポイントの選定；標目形
- 第9回 記述目録（3）典拠コントロール
- 第10回 主題目録（1）概要
- 第11回 主題目録（2）主要分類法
- 第12回 主題目録（3）主要件名標目表
- 第13回 MARC
- 第14回 メタデータ

### 【評価方法】

平常点、試験

### 【テキスト】

初回時にテキスト配布。



## 資料組織演習

伊藤真理

### 【授業の概要】

資料組織論で学んだ理論について、演習を通してより深い理解と習得を目的とする。

講義内容は、記述目録法と主題目録法の2部から成り、オムニバス形式で授業を進める。

記述目録では、目録規則の適用について学ぶ。カード目録作成により、ISBDや記述目録の基本を理解し、オンライン目録の実習を通して、書誌ユーティリティを利用したオンライン目録作業について理解を深める。主題目録法では日本十進分類法、国際十進分類法、基本件名標目表などを取り上げる。主に図書資料を対象として、書誌レコードを作成する。

本科目の履修については、「資料組織論」の履修を条件とする。

### 【授業計画】

- ・目録作業の概要
- ・主題目録法
  - 分類：NDC
  - 主題件名標目表：BSH
- ・記述目録法
  - ISBD
  - カード目録
  - オンライン目録
  - アクセス・ポイント
  - 典拠コントロール

### 【評価方法】

出席、実習およびレポート提出

### 【テキスト】

「資料組織論」で配布したテキストを使用

## 資料組織演習

田中敦司

### 【授業の概要】

資料組織論で学んだ理論について、演習を通してより深い理解と技術の習得を目的とする。

講義内容は、資料目録法と資料分類法を中心とし、それぞれについて事例に即して実習する形式とする。

資料目録法では、目録規則の適用について、NCRを中心に学ぶ。カード目録作成により、目録の基本を理解し、オンライン目録を通して、書誌ユーティリティを利用したオンライン目録作業について理解を深める。また、資料分類法では、日本十進分類法、基本件名表目表を取り上げる。主に図書資料を対象として、書誌レコードを作成する。

図書館の現場では、コピーカATALOGINGの機会が大半であるが、まったく修正せずに使用できるデータは限られている。利用のための資料組織ができることを目指して、演習を行う。

本科目の履修については、「資料組織論」の履修を条件とする。

### 【授業計画】

- ・目録作業の概要
- ・資料分類法
  - 分類：NDC
  - 主題件名標目表：BSH
- ・資料目録法
  - カード目録
  - オンライン目録
  - ISBD
  - アクセス・ポイント
  - 典拠コントロール

### 【評価方法】

出席状況、提出したレポート、最後に行う試験を総合して評価。

### 【テキスト】

「資料組織論」で配布したテキストを使用

### 【参考文献・資料】

資料組織演習 新訂版 (吉田憲一編著 日本図書館協会)

## 資料組織演習

岡澤和世 菅野育子

### 【授業の概要】

資料組織論で学んだ理論について、実習を通してより深い理解と習得することを目的とする。

講義内容は、記述目録法と主題目録法の2部から成り、オムニバス形式で授業を進める。主題目録法では日本十進分類法や基本件名標目表などを取り上げ、記述目録については、国際的な標準規則として認められている英米目録規則を用いる。主に図書資料を対象として、書誌レコードを作成する。

本科目の履修については、「資料組織論」の履修を条件とする。

### 【授業計画】

- ・目録作業の概要
- ・主題目録法
  - 分類：NDC
  - 主題件名標目表：BSH
- ・記述目録法
  - ISBD
  - アクセス・ポイント
  - 標目形
- ・MARCについて

### 【評価方法】

出席、実習およびレポート提出

### 【テキスト】

「資料組織論」で配布したテキストを使用

## レファレンスサービス論

佐藤義則

### 【授業の概要】

図書館における情報サービスの中核を成してきたレファレンスサービスに関して、レファレンスコレクションの構築、レファレンス質問からその回答にいたる一連のレファレンスプロセス、サービス組織のあり方、等について理解を深めることを主な目的として講義を進める。この科目は、「情報検索演習Ⅲ (情報と文献の探索)」と相互に補完するものとして扱う。

### 【授業計画】

1. 情報ニーズに応える情報サービス
2. レファレンスサービスから情報サービスへ
3. レファレンス機能に基づくレファレンス業務
4. レファレンスサービスのための情報源
5. レファレンス質問を起点とするレファレンスプロセス
6. 質問の受付から内容の確認へ
7. 質問内容の分析から探索の実行へ
8. 質問回答とレファレンスプロセスの終結
9. レファレンスサービスの組織と運営

### 【評価方法】

講義の最終日に試験を行う。出題形式等については、講義の最初に説明する。

### 【テキスト】

レファレンスサービス：図書館における情報サービス (長澤雅男著 丸善1995)

### 【参考文献・資料】

講義において指示する。



## 情報検索演習 I (情報探索入門)

櫻木貴子

### 【授業の概要】

各種情報資源およびその利用に関する知識・技術を学び、基本的な情報リテラシーを修得する。

なお、履修者は図書館オリエンテーションおよび学内LAN講習会を履修前に必ず受講しておくこと。

また、授業の際には「図書館情報学用語辞典第2版」および本授業で使用する全配付資料を毎回必ず持参すること。

### 【授業計画】

- (1) 情報資源の種類および特徴を知る
  - ・一次資料と二次資料
  - ・書誌情報
- (2) 情報資源の探索法を知る
  - ・目録、書誌などの二次資料の種類・特徴
  - ・各種オンライン目録、データベース、サーチエンジンの種類・特徴・利用法
  - ・論理演算
  - ・部分一致
- (3) 既習の探索法を利用して収集した情報を基に、レポートを作成する。
  - ・レポートの書き方
  - ・引用と引用文献の書誌情報の書き方 (SIST02およびISO 690、690-2)
  - ・著作権

### 【評価方法】

平常点、レポート、試験によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず (配付資料)。

### 【参考文献・資料】

山内祐平 デジタル社会のリテラシー：「学びのコミュニティ」をデザインする。東京、岩波書店、2003、238p。(ISBN 4-00-024004-8)

## 情報検索演習 I (情報探索入門)

松井美紀

### 【授業の概要】

各種情報資源およびその利用に関する知識・技術を学び、基本的な情報リテラシーを修得する。

なお、履修者は図書館オリエンテーションおよび学内LAN講習会を履修前に必ず受講しておくこと。

また、授業の際には「図書館情報学用語辞典第2版」および本授業で使用する全配付資料を毎回必ず持参すること。

### 【授業計画】

- (1) 情報資源の種類および特徴を知る
  - ・一次資料と二次資料
  - ・書誌情報
- (2) 情報資源の探索法を知る
  - ・目録、書誌などの二次資料の種類・特徴
  - ・各種オンライン目録、データベース、サーチエンジンの種類・特徴・利用法
  - ・論理演算
  - ・部分一致
- (3) 既習の探索法を利用して収集した情報を基に、レポートを作成する。
  - ・レポートの書き方
  - ・引用と引用文献の書誌情報の書き方 (SIST02およびISO 690、690-2)
  - ・著作権

### 【評価方法】

平常点、レポート、試験によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず (配付資料)。

### 【参考文献・資料】

山内祐平 デジタル社会のリテラシー：「学びのコミュニティ」をデザインする。東京、岩波書店、2003、238p。(ISBN 4-00-024004-8)

## 情報検索演習 I (情報探索入門)

伊藤真理

### 【授業の概要】

各種情報資源およびその利用に関する知識・技術を学び、基本的な情報リテラシーを修得することを目的とする。

なお、履修者は図書館オリエンテーションおよび学内LAN講習会を履修前に必ず受講しておくこと。

また、授業の際には「図書館情報学用語辞典第2版」および本授業で使用する全配付資料を毎回必ず持参すること。

### 【授業計画】

- (1) 情報資源の種類および特徴を知る
  - ・一次資料と二次資料
  - ・書誌情報
- (2) 情報資源の探索法を知る
  - ・目録、書誌などの二次資料の種類・特徴
  - ・各種オンライン目録、データベース、サーチエンジンの種類・特徴・利用法
  - ・論理演算
  - ・部分一致
- (3) 既習の探索法を利用して収集した情報を基に、レポートを作成する。
  - ・レポートの書き方
  - ・引用と引用文献の書誌情報の書き方 (SIST02およびISO 690、690-2)
  - ・著作権

### 【評価方法】

平常点、レポート、試験によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず (配付資料)。

### 【参考文献・資料】

山内祐平 デジタル社会のリテラシー：「学びのコミュニティ」をデザインする。東京、岩波書店、2003、238p。(ISBN 4-00-024004-8)

## 情報検索演習 II (学術情報の探索)

伊藤真理

### 【授業の概要】

学術論文を対象として、オンライン情報検索システムの活用に必要な知識と技術を習得することを目的とする。テーマ検索の実習に基づき、検索過程の把握や検索ツールの利用、および検索結果に対する評価について理解する。

当科目は、情報検索演習 I (図書館情報学科の学生のみ)、図書館情報学概論 I、II の履修を前提条件とする。また、LAN講習会を必ず受講すること。

### 【授業計画】

1. 情報検索とは
2. 抄録・索引誌
3. CD-ROM検索
4. オンライン情報検索システム
  - 4.1 JOIS
  - 4.2 シソーラス
  - 4.3 DIALOG
5. テーマ検索

### 【評価方法】

平常点、小テストと、レポート作成の総合評価。

### 【テキスト】

使用せず (プリント配布)。



## 情報検索演習Ⅱ（学術情報の探索）

松井美紀

### 【授業の概要】

学術論文を対象として、オンライン情報検索システムの活用に必要な知識と技術を習得することを目的とする。テーマ検索の実習に基づき、検索過程の把握や検索ツールの利用、および検索結果に対する評価について理解する。

当科目は、情報検索演習Ⅰ（図書館情報学科の学生のみ）、図書館情報学概論Ⅰ、Ⅱの履修を前提条件とする。また、LAN講習会を必ず受講すること。

### 【授業計画】

1. 情報検索とは
2. 抄録・索引誌
3. CD-ROM検索
4. オンライン情報検索システム
  - 4.1 JOIS
  - 4.2 シソーラス
  - 4.3 DIALOG
5. テーマ検索

### 【評価方法】

平常点、小テストと、レポート作成の総合評価。

### 【テキスト】

使用せず（プリント配布）。

## 情報検索演習Ⅲ（情報と文献の探索）

櫻木貴子

### 【授業の概要】

情報検索演習Ⅰ（1年次必修）および情報検索演習Ⅱ（2年次）を基礎とし、より高度な情報検索技術の習得を目標とする。

本科目で扱う情報源は、情報提供機関（図書館を含む）において利用可能なものとし、特にレファレンス業務に必要な情報源探索技術を養うため、検索対象のメディア別に特徴、機能、検索に必要な技術の紹介、実習を伴う課題解決演習を行う。

演習には情報検索室の書誌データベースと本学図書館所蔵の印刷体二次資料を併用する。

### 【授業計画】

〔演習予定の検索対象ファイル（データベースサービス）〕

1. 雑誌記事（書誌情報）検索  
MAGAZINE PLUS (NICHIGAI ASSIST)、ISA (DIALOG)、  
JST Plus (J Dream)、大宅壮一文庫雑誌記事索引 CD-ROM版
2. 雑誌記事横断検索：DIALINDEX複数ファイル横断検索 (DIALOG)
3. シソーラスを利用した検索  
JST Plus (J Dream)、ERICファイル (DIALOG)、  
MEDLINE (DIALOG)
4. 引用関係を利用した検索：Social SciSearch (DIALOG)
5. 一次資料が入手可能なシステムの検索  
NACSIS-IR (NII)、OCLC ArticleFirst (OCLC FirstSearch)、  
PubMed (NLM/NCBI)
6. ネットワーク情報資源検索・アクセス：LISA (CSA-IDS)
7. 図書（所蔵/目次情報）検索  
Webcat (NII)、BOOKPLUS (NICHIGAI ASSIST)、WorldCat  
(OCLC FirstSearch)
8. 新聞記事（全文記事）検索：各種新聞ファイル（日経テレコン21）
9. 人物情報検索：人物情報横断検索 (G-Search)

### 【評価方法】

出席点、課題点、試験によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず（配付資料）。

### 【参考文献・資料】

情報と文献の探索 第3版（長澤雅男著 東京 丸善 1994 337p）  
検索演習用例題集  
（上田修一・杉江典子著 東京 日外アソシエーツ 2001 47p）

## 情報利用論Ⅰ（情報探索行動論）

岡澤和世

### 【授業の概要】

情報社会に関する史的展開、情報と知識の性質、コミュニケーションについて論じる。焦点は、情報とは何か、利用者の住む情報社会とはどんな社会か、情報と人、文化との相互関係、アクセス権利の倫理面、データ保護、個人のプライバシー、インターネットなど情報技術がもたらす諸問題についてである。これらを情報環境との関係から概説する。

### 【授業計画】

- 1) 情報社会とは
- 2) 情報社会に至る史的展開
- 3) 情報と知識の性質
- 4) 情報の質と信頼性
- 5) 情報の理解とコミュニケーション
- 6) 情報、知識、文献の管理
- 7) 情報サービスへの応用
- 8) マーケティング/プランニング
- 9) 情報倫理—知的所有権とデータ保護
- 10) 情報社会と人間
- 11) 情報と文化的問題
- 12) 情報と経済的問題
- 13) 情報と政治的問題
- 14) 情報環境
- 15) 情報教育と未来

### 【評価方法】

出席とレポート

### 【テキスト】

マーケティング・プランニング (D.E.Weingrand 岡澤和世訳 敬文堂 1997)

その他配布資料

## 情報利用論Ⅱ（情報探索行動論）

岡澤和世

### 【授業の概要】

教育を受けたいという強い希望、誰もが自由に情報を利用できるアクセス機会の平等を求める運動、民主主義の伝統、そして誰にも頼らない自主探索意欲が巧妙に入り混じってきたのが図書館である。そしてその理想は常に利用者の要求を満足させるところに置かれてきた。しかし、20世紀になると様々なテクノロジーが開発され、従来の図書館が大きく様変わりし始め、それに伴って情報を探る利用者の行動も変わり始めた。この講義では、情報行動について論じる。ニューメディア、インターネット、情報環境などについても概説する。

### 【授業計画】

オリエンテーション

1. 情報の伝達と利用
  - 1) 情報の定義
  - 2) 情報の特質
2. 科学のコミュニケーション
3. 研究活動とインフォーマル・コミュニケーション
  - 1) インフォーマルコミュニケーションの研究
  - 2) 見えざる大学
4. 見えざる大学の調査研究について
5. 情報利用者調査と用語の説明
6. User Studyの概説とUser Studyの方法論
7. 方法の種類
8. 比較・検討
9. User Studyの調査例
10. 行政

### 【評価方法】

小テストで評価。

### 【テキスト】

情報学講義ノート〈3〉（岡澤和世 敬文堂 1990）



## 情報学特殊Ⅲ（情報史の探究）

村主朋英

### 【授業の概要】

人類の歴史全体の中で情報が果たしてきた役割を考えるために、図書館史や情報検索の歴史を拡張・発展させ、コンピュータ史やコミュニケーション史・メディア史を統合した情報史の概念を追究する。

### 【授業計画】

1. オリエンテーション：情報史の構造
  - 1.1 Stevensの情報史の概念
  - 1.2 情報史のモデル：情報空間の概念
2. コミュニケーション史・メディア史：イニスとマクルーハン/コミュニケーション史のトピック群
3. 情報史探求へのステップ
  - 3.1 多様な「情報史」
  - 3.2 情報史の多面性
  - 3.3 図書館情報学の歴史と図書館情報学から見た歴史：上田修一の方法/桂英史の考え方
  - 3.4 総合的な情報史へ向けて

### 【評価方法】

筆記試験（論述を中心とする）

### 【テキスト】

歴史のなかのコミュニケーション（新曜社 税別定価3,800円）

## 情報学特殊Ⅳ（情報伝達論）

高井次郎

### 【授業の概要】

情報伝達行動として、人間のコミュニケーションのプロセスについて検討する。内容は、コミュニケーションのモデル、言語および非言語コミュニケーション、個人内からマスコミュニケーションまでのさまざまなレベルでのコミュニケーションに焦点をあて、相手との相互作用を円滑に運ぶために必要な知識、態度および対人行動技術について考察する。

### 【授業計画】

1. コミュニケーションの定義
2. 言語コミュニケーション
3. 言語コミュニケーション
4. 非言語コミュニケーション
5. 非言語コミュニケーション
6. 対人認知
7. 対人コミュニケーション
8. 対人コミュニケーション
9. 集団コミュニケーション
10. 組織コミュニケーション
11. マスコミュニケーション
12. マスコミュニケーション
13. 異文化コミュニケーション
14. コミュニケーション理論
15. 期末試験

### 【評価方法】

出席および期末試験をもって成績の評価を実施する。

### 【テキスト】

未定

### 【参考文献・資料】

授業において適宜紹介する

## 図書館経営論

山本 進

### 【授業の概要】

図書館の技術的な面—分類・目録等—資料組織とは別に図書館運営上の諸問題—司書の専門職制の問題、図書館の地域サービスと図書館網計画、図書館の経営評価と見直し等、を図書館経営論として論述する。

### 【授業計画】

- |                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 0. オリエンテーション・図書館の経営論の意義         | 1回 |
| 1. 図書館種別の経営上の問題点と管理原則           | 1回 |
| 2. 図書館学の五法則と図書館員の関わり            | 1回 |
| 3. 図書館の自由に関する宣言                 | 2回 |
| 4. 図書館員の倫理綱領                    | 2回 |
| 5. 図書館員と労働基準法解説                 | 1回 |
| 6. 図書館関係法規と図書館のサービス基準解説         | 1回 |
| 7. 図書館サービスの測定と評価（実例課題によるレポート提出） | 1回 |
| 8. 図書館計画の立案と実例解説                | 2回 |
| 9. 生涯学習と図書館及び利用者教育              | 2回 |
| ※講義の中から関心のある事項についてレポート提出        | 2回 |

### 【評価方法】

期末テスト実施—記述式、前期全体の講義の中から問題を2～3問と、提出されたレポートと記述試験の採点を併せて評価する。

### 【テキスト】

講義シラバスを配付する。

## 図書館学特殊Ⅰ

山本 進 山崎茂明 菅野育子 伊藤真理

### 【授業の概要】

「図書館実習」を受講するための前提科目。

各教員が実務的な内容を主としてオムニバス形式で上記担当教員が2回程度実施する。詳細日程は4月初提示する。

### 【授業計画】

1. 図書館の勤務時間と勤務内容
2. 図書館の職階制と司書職制度
3. 学校図書館法上の司書教諭問題
4. 統計から見た図書館の現状
5. 図書館と様々な情報サービス
6. 図書館とIT技術、メタデータ

### 【評価方法】

レポートとテストによる総合評価

### 【テキスト】

プリント配布



## 図書館実習

山本 進 山崎茂明 菅野育子 三和義秀

### 【授業の概要】

各図書館現場での実習を行う。  
前提科目として必ず「図書館学特殊Ⅰ」を受講すること。  
平成16年度は(1)から(3)それぞれ6日間程度の実習を行う。

- (1) 愛知県図書館他、受入実績のある図書館での実習
- (2) 自己開拓
- (3) 北京図書館実習(北京大学および北京国家図書館)

(1)には定員枠がある。詳細は図書館学特殊Ⅰ第一回講義にて述べる。

### 【授業計画】

実習受入先の図書館の作成した実習カリキュラムに従い、実習受入館の指導者によって行う。

### 【評価方法】

実習受入先の図書館の評定に基づく。

### 【テキスト】

実習受入先の作成した資料による。

## 生涯学習概論

古野有隣

### 【授業の概要】

生涯学習という言葉は最近かなり知名度が高くなってきているが、その意味や意義については必ずしも正確に理解されているとはかぎらない。

この講義では生涯学習の意味するところを、その理念の提唱時からの推移の説明をまじえて、理解を深めることをねらいとした。また、先の長い人生を持っている自分にとって生涯学習とは何なのかを考える契機となれども思っている。

1. 生涯教育の理念へ推移を含めて～  
ユネスコ以降わが国における推移  
生涯教育のめざすもの  
生涯教育と生涯学習の関係
2. 生涯教育と社会教育・学校教育との関係  
生涯教育と社会教育  
生涯教育と学校教育
3. 社会教育の内容・方法・形態  
行政社会教育の主要領域  
社会教育の内容・方法・形態
4. 生涯学習関連施設の現状と展望  
生涯学習関連施設の範囲  
社会教育施設の種類と現状
5. 生涯学習指導者  
生涯学習指導者の範囲  
生涯学習指導者の役割

### 【授業計画】

講義。

### 【評価方法】

テスト。

### 【テキスト】

資料集(予価500円)を開始時に頒布。

## 図書館学特殊Ⅲ(児童サービス論)

福永智子

### 【授業の概要】

図書館における児童サービスの理論と実際について、基礎的理解を図る。具体的には、日本の読書推進政策の現状を踏まえ、児童用資料の特性、利用者としての児童の特性、公立図書館・学校図書館における児童サービスおよび、図書館の周辺領域における児童へのサービスについても広くとりあげる。

### 【授業計画】

1. 公立図書館の児童サービス
  - (1) 児童サービスの法的基盤
  - (2) 児童図書館員の役割と専門性
  - (3) サービス対象としての児童：読書興味の発達段階
  - (4) 児童用資料の特性とコレクション構築の実際
  - (5) 児童サービスの企画と運営、施設・設備
  - (6) 周辺領域：子ども文庫活動、ブックスタート活動
2. 学校図書館と情報活用能力の育成
  - (7) 戦後教育改革と学校図書館の制度化
  - (8) 1997年の学校図書館法改正と「人」の問題
  - (9) 情報センター、学習センター、読書センター機能
  - (10) 学校図書館における図書館利用教育のガイドライン
3. 公立図書館と学校図書館の協力体制
  - (11) 異館種間ネットワーク構築の原理
  - (12) 地方自治体における先進事例の紹介
4. 試験(13)

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって、総合的に評価する。

### 【テキスト】

児童サービス論(堀川照代編著 日本図書館協会)

### 【参考文献・資料】

児童サービス論(佐藤涼子編 教育史料出版会)  
学校図書館論 補訂版(塩見昇編 教育史料出版会)

## 個人コミュニケーション論Ⅰ(認知心理学)

岩原昭彦

### 【授業の概要】

見る、聞く、話す、覚える、考えるなどの知的機能を総称して認知という。認知心理学では、人間を高次な情報処理体として見なし、情報の入力と出力との間に生じるさまざまな認知的過程を実験とシミュレーションにより理論化している。本講義では、人間の記憶活動と言語活動がどのように営まれているのかを明らかにするとともに、それらの活動を支える基盤が、脳の中でどのように組織化されているのかについても検討する。また、講義を通じて、我々が日常生活の中で体験する不思議な現象を認知心理学的に解明していきたい。

### 【授業計画】

1. サプリミナル・パーセプション
2. 沈黙の手がかり
3. 意識できない知識
4. 健忘症患者の隠された能力
5. なぜ、ずっと覚えていられないのか
6. 記憶の混乱と偽りの記憶
7. 嫌な出来事が忘れられない
8. 言葉と心
9. 言葉の働き
10. 言葉が失われるとき
11. 言葉が意識を生む
12. 自己意識の起源にせまる

### 【評価方法】

期末試験と授業中に実施する実験・調査への参加回数。

### 【テキスト】

使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

適宜紹介する。



## 個人コミュニケーション論Ⅱ（認知心理学）

岩原昭彦

### 【授業の概要】

人間の脳の中にはさまざまな意識的・無意識的な処理過程が存在している。意識されない刺激情報も私たちの認知や行動に影響を及ぼしている。その事実やその脳内のプロセスを実験結果や脳損傷患者の症例から解き明かすことが本講義の目的である。さらに、「人間はなぜ間違いを犯すのか?」、「人間は自分のとった行動をどれほど理解しているのか?」という問題についても検討してみたい。

### 【授業計画】

1. 幻覚
2. 認識と失認
3. 相貌失認
4. 注意機能障害
5. 情動の起源
6. 記憶障害
7. 記憶錯誤
8. 失語症
9. 分割脳と自己
10. ラテラルティナー
11. 意識と無意識

### 【評価方法】

期末試験と授業中に実施する実験・調査への参加回数。

### 【テキスト】

使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

## 博物館概論

早川正一

### 【授業の概要】

「博物館概論」とは、愛知淑徳大学が文部省（現在の文科省）の認可のもとに、学芸員と呼ぶ博物館や美術館に不可欠な専門職員になるため、基礎知識をカリキュラムを通じて取得させる基幹の学科目である。したがって、この養成課程の当初に受講させるので真剣に取り組まないと脱落しかねない。充分な心構えが肝要である。

次のような単元のもとに講義を展開してゆく予定である。

### 【授業計画】

博物館や美術館の基本概念と必要性  
専門職員としての「学芸員」とは何か  
博物館と美術館の発達とその時代背景  
博物館と呼ぶ施設の機能と多様性  
博物館の分類と現代性  
博物館の日常的な組織と運営の局面への学芸員のかかわり方、そして館外活動への配慮  
博物館の相互協力と情報の活用

毎時間、入念にノートをさせる。コピーは許さない。  
無用な欠席は不合格につながるので、注意されたい。

長谷川鏑治『博物館学論考』（1995）をはじめ、大学図書館に所蔵の関連文献を通読しておくこと。

### 【評価方法】

学期末の筆記試験をはじめ、毎時間の出席状況、受講態度などで総合評価する。資格認定のため厳格である。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川鏑治 戸谷印刷）を参照することをすすめる。

## 博物館概論

長谷川鏑治

### 【授業の概要】

博物館とは何か、発達の歴史をたどり、世界と日本の博物館を概観する。

### 【授業計画】

- ア はじめに…博物館学とは何かなど学習の基礎を説明する。
- イ 博物館の定義…ICOMの定義、博物館法の定義を中心に考えていく。
- ウ 博物館の始原…博物館の始原をたずねてみる。
- エ 博物館の萌芽…ルネサンス期からの博物館的な施設の形を探る。
- オ 近代博物館の出發Ⅰ…王権の誇示としての財宝の展示から考える。
- カ 近代博物館の出發Ⅱ…市民への公開がなされていく過程を考える。
- キ ヨーロッパの博物館…近世からの主要な博物館を例にとり、特徴をまとめる。
- ク アメリカの博物館…合衆国独立から現代までの特徴を探る。
- ケ 博物館の新しい波…企業博物館、エコ・ミュージアム、テーマ・パークなど新しい動きをひろってみる。
- コ 日本の博物館…日本の博物館の歴史を概観する。
  - ・幕末から明治期にかけての博物館の出發
  - ・国威の宣揚と博物館
  - ・通俗教育による教化と博物館
  - ・十五年戦争と博物館

### 【評価方法】

- ・数回にわたるテストとレポートの提出で評価する。
- ・出席率も重要な評価対象である。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川鏑治 戸谷印刷）

## 博物館学各論Ⅰ

長谷川鏑治

### 【授業の概要】

博物館について、学芸員資格にかかわる基本的事項を学習する。

### 【授業計画】

- ア 博物館の機能…生涯学習のための施設の一つと定義されていることを念頭におき考える。
- イ 博物館の分類…分類わけをとおして、博物館の役割やあり方を考えていく。
- ウ 博物館の組織…公立博物館を例にとり、典型的な組織をみていく。
- エ 博物館の運営…名古屋市博物館を例にとり、運営の実際を知る。
- オ 学芸員考…学芸員の実態などに焦点をあて、「学芸員」はいかにあるべきかを考える。
- カ 予算など…博物館のマネジメントについて考える。
- キ 博物館の施設・設備…設置基準のもとに施設・設備についてみる。
- ク 博物館と情報…情報化社会の発展、情報技術の進歩と博物館のあり方を探ってみる。
- ケ 博物館の協力…大学・研究機関などとの連携についても考える。
- コ 文化財の保護…わが国の文化財保護の現状と問題点について考察する。あわせて世界遺産についても考える。

### 【評価方法】

- ・数回にわたるテストとレポートの提出で評価する。
- ・出席率は重要な評価対象である。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川鏑治 戸谷印刷）



## 博物館学各論Ⅰ

早川正一

### 【授業の概要】

愛知淑徳大学の学芸員課程委員会が計画したカリキュラムに準拠し、前段階の「博物館概論」を修得した学生に受講させる。したがって、この講義も基幹をなす学科目であるから、年次計画を考慮し、真面目に受講しないと、資格取得につながらないので、注意が肝要である。

### 【授業計画】

次の単元を土台として講義を展開する予定である。

博物館や美術館の展示と陳列構造  
博物館がとり扱う資料の収集と保存  
博物館と所属する学芸員のおこなう調査と研究  
博物館や美術館のおこなう普及活動と教育  
文化財の種類と保護にかかわる諸問題  
生涯学習の必要性和博物館の関連事業

毎時間、入念にノートさせる。コピーは許さない。  
無用な欠席は不合格につながるので、注意してほしい。

博物館学論考(長谷川銑治 1995)をはじめ、大学図書館に所蔵の関連文献を通読しておくこと。

### 【評価方法】

本学の学長の名において資格を認定する以上、定期試験を厳格に実施し、出席状況や受講態度を含めて総合評価する。

### 【テキスト】

博物館学概説(長谷川銑治 戸谷印刷)を参照することをすすめる。

## 博物館学各論Ⅱ

長谷川銑治

### 【授業の概要】

博物館資料とは何かの定義づけからはじめ、資料の取扱い方を含めて学習する。また、博物館の調査・研究についても考える。

### 【授業計画】

- ア 博物館の資料…「物」が博物館資料と位置づけられるのはどのようなことかを考える。
- イ 博物館資料の実際…資料について実技を含めて具体的に学ぶ。
  - 1 資料の収集
  - 2 資料の取扱い
    - ・掛軸
    - ・古文書 ・和装本
    - ・やきもの ・茶碗
    - ・瓦など
  - 3 資料の整理・保存
  - 4 資料の保全
- ウ 資料情報の管理…資料情報の管理についてその実際を探る。
- エ 調査・研究…博物館における調査と研究、成果の公表について考える。

### 【評価方法】

- ・数回にわたるテストとレポートの提出で評価する。
- ・出席率も重要な評価対象である。

### 【テキスト】

博物館学概説(長谷川銑治 戸谷印刷)

## 博物館学各論Ⅱ

秋元悦子

### 【授業の概要】

博物館の活動の基礎は「資料」にあり、それを有効活用することではじめて博物館と言えよう。本講座では、その収集・取り扱い・整理・保存・活用について具体的事例や実習を取り入れながら学んでいく。

### 【授業計画】

1. 博物館資料とは……「博物館資料」とは、何を指すか、理念およびその具体的種類を知る。
2. 資料収集……資料の収集に際しての、収集方針の重要性、収集方法の事例を学ぶ。
3. 資料の取り扱い……基本資料の取り扱いを実習し、習得するとともに、その構造を知り展示方法等も学ぶ。  
やきもの、和装・卷子本、掛け軸その他で実習する。
4. 資料整理……資料の整理について、分類方法やその整理登録方法を考え、資料カードの作成を実習する。
5. 資料情報……整理された資料の情報、二次的資料の情報の管理運営について考える。
6. 資料保管……資料の保管に関しての、保存条件や方法、問題点などを学ぶ。
7. 資料活用……資料を活用した調査研究活動の実際とその意義を知る。  
また、4年次の「博物館実習」に備えた情報や、館務実習の準備について説明する。

### 【評価方法】

出席、実習態度、レポートおよび小テストで評価する。

### 【テキスト】

博物館学概説(長谷川銑治 戸谷印刷)  
必要に応じてプリントを配布し、ビデオ・スライド等も利用する。

## 博物館学各論Ⅱ

川合 剛

### 【授業の概要】

博物館は「もの(物)」「ひと(人)」「ば(場)」の3つの要素で構成される。この授業では、そのうちの「もの」=博物館資料に焦点をあて、博物館活動の中での役割を考える。博物館資料の定義、収集、整理分類、保管保存、調査研究そして実際の取扱い方について、基礎的な知識と技術を学ぶ。

### 【授業計画】

- 履修学生が、手を動かし、自分で考える「実技」の時間をできるだけ多くとる。
- (a) 博物館と博物館資料
  - (b) 資料を記録する技術  
拓本・実測・写真など。
  - (c) 資料を扱う技術  
掛け軸・卷子・和本・陶磁器・考古資料など。
  - (d) 資料を保管・保存する技術  
ドキュメンテーション・保存科学など。
  - (e) 博物館と調査・研究

### 【評価方法】

実技を行う。出席および授業に臨む姿勢を重視する。あわせて、レポートなどの課題、(時間内の)小テストの結果も勘案する。

### 【テキスト】

博物館学概説(長谷川銑治 戸谷印刷)

### 【参考文献・資料】

随時プリントを配布し、参考文献・論文などを紹介する。



## 博物館実習

長谷川 綏治

### 【授業の概要】

学芸員の基本的な役割について、講義、展示演習、博物館見学、館務実習などを通して、実践的に学習する。

### 【授業計画】

- ア 展示論……展示についての学問的側面、実際の運びなどをみていく。
- 1 展示とは
  - 2 展示のポイント  
・動線 ・視線 ・照明 ・温度 ・湿度
  - 3 展示の施設
  - 4 展示のプロセス
  - 5 展示と保全
- イ 普及・教育論……生涯学習が重要課題となっている現代社会にあって、博物館が果たす役割はどんなものかを探っていく。
- ウ 博物館見学……土・日曜日に展覧会や施設の見学に出かける。
- エ 館務実習……夏休み中に各博物館に依頼して館務実習を行う。
- オ 海外特別実習……夏休み中に希望者と海外の博物館に出かけ学習する。
- カ 県外実習……エ、オに参加できない者は、9月に県外へ見学に出かける。

### 【評価方法】

- ・実習はもちろん、学外での研修にはかならず参加し、それぞれレポートを提出する。
- ・その都度、提出させるレポートを中心に実習態度なども勘案して評価する。

### 【テキスト】

博物館学概論（長谷川 綏治 戸谷印刷）

## 博物館実習

松村 冬樹

### 【授業の概要】

「展示」は博物館における「顔」とも評されるが、最高の広報普及活動でもある。この授業では、さまざまな施設の見学を含め、「展示」の知識と実践を学ぶ。

### 【授業計画】

「展示」を疑似体験できるよう「実技」の時間をできるだけ多くとる。適宜、プリントを配付する。

- (a) 「展示」とは
  - (b) 展示のプロセス
  - (c) 展示の実際（仮想展覧会企画）
  - (d) 展示と解説
  - (e) 印刷物（ポスター、ビラ、図録）
  - (f) まとめ
- \* 1 土曜日に近隣の博物館の展示見学、施設見学を行う（年5～6回程度）。
- \* 2 夏休み中に各博物館に依頼し、館務実習を行う。
- \* 3 夏休み中に海外博物館見学の研修を行う。
- ※ \* 2、\* 3に参加しなかった者は、県外博物館の見学を行う。

### 【評価方法】

出席状況は重視する。意欲や、館務実習では必要な社会常識も評価の対象とする。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川 綏治 戸谷印刷）

## 博物館実習

秋元 悦子

### 【授業の概要】

学芸員資格を取得するにあたって、展示演習、博物館見学、博物館実習を中核に、具体的な学芸員活動を様々な観点から学習する。

### 【授業計画】

1. 展示とは……展示という手法について、その実際と未来像を考える。
2. 展示の実際……計画から、手法、条件などの展示の実際の概要を具体的に事例をふまえながら、学んでゆく。
3. 展示にかかわる事業……展示をとりまく、様々な事業（解説、広報、印刷物、講座など）の存在を知る。
4. 展示の実習……各自で模擬展示の計画書を作成し、展示方法やその活用法を実習する。
5. 展示と教育普及事業……展示を通じての生涯学習機関として、博物館の今後をになう役割と未来を探る。

授業以外に、

- 土曜日に、博物館の展示・施設見学を行う。
- 夏休み中に、各博物館に依頼し館務実習を行う。

### 【評価方法】

授業および学外での研修の出席・レポート、模擬展示の口頭発表およびその計画書で評価する。

### 【テキスト】

博物館学概論（長谷川 綏治 戸谷印刷）

必要に応じてプリントを配布し、ビデオ・スライド等も利用する。



## 教職入門

小栗正彦

### 【授業の概要】

本講義は、教員という職業がどのような意義を持っているのか、学校での教師の職務と役割がどのようなものであるかを、学生の被教育体験を生かしながら具体的に解説する。職務の個々の内容について、現在の中学高校の実体を踏まえて詳説する。その上で、今日の学校が抱えている問題解決の方途を、中教審、教課審の答申を学び、求められている教師像を明らかにすることによって教職につくかどうか、自らの適性を見極めて決定する情報と機会を提供したい。

### 【授業計画】

- 1 教師像の変遷
- 2 現代の理想的教師像
  - (1) 教科指導者としての教師
  - (2) 特別活動の指導者としての教師
  - (3) 教師とカウンセリング
  - (4) 学級経営者としての教師
  - (5) 教師と校務
  - (6) 共生社会における教師の仕事
- 3 家庭人としての教師
- 4 市民としての教師
- 5 子どもの未来を開く魅力ある人間としての教師
- 6 まとめ

### 【評価方法】

筆答試験による。

### 【テキスト】

「教職入門」300円

### 【参考文献・資料】

授業時に紹介する。

## 教職入門

梅村敏郎

### 【授業の概要】

本講義は、教員という職業がどのような意義を持っているのか、学校での教師の職務と役割がどのようなものであるかを、学生の被教育体験を生かしながら具体的に解説する。職務の個々の内容について、現在の中学高校の実体を踏まえて詳説する。その上で、今日の学校が抱えている問題解決の方途を、中教審、教課審の答申を学び、求められている教師像を明らかにすることによって教職につくかどうか、自らの適性を見極めて決定する情報と機会を提供したい。

### 【授業計画】

- 1 社会構造の変化と教育の役割の変化
- 2 偉大な教育者に学ぶ
- 3 日本における教員養成
- 4 日本の民主化と教育
- 5 現代社会と教育
- 6 まとめ

### 【評価方法】

筆答試験による。

### 【テキスト】

「教職入門」300円

### 【参考文献・資料】

授業時に適宜紹介する。

## 教師論

佐藤実芳

### 【授業の概要】

日本における明治維新以降の教員養成制度について、教員免許・資格、教員に求められていた資質等の歴史を学習する。

多様化と個性化、国際化、情報化、高学歴化等の現代社会の急激な社会変化の中において期待される教員像を求め、学生の被教育体験を交えて模索することによって、教職への理解を深め、目的意識をもって教職への道を歩む人材の育成を目指す。

### 【授業計画】

1. 日本における教員養成の制度
  - (1) 教員養成の歴史と現在 (2) 教職課程の仕組 (3) 教員の採用
2. 教師について考える
  - (1) 教科指導 (2) 生徒指導 (3) 教員の研修
3. 様々な教師に学ぶ

### 【評価方法】

レポート、受講態度などにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

使用しない。必要に応じて資料を配布する。

## 教育原理

佐藤実芳

### 【授業の概要】

高等教育機関への高い進学率を誇っている日本では、教育といえば学校教育を思い浮かべることが多いであろう。しかし、学校教育を受けるのは、人生の一時にしかすぎない。しかも学校教育をめぐる様々な問題が生じている今日、学校とは何か、教育とは何か、そのあるべき姿を真剣に考える必要がある。本講義では、教育の本質と目的を中心に教育とは何かを考察していく。

### 【授業計画】

1. 教育とは何か
2. 人間と教育
3. 教育の本質
4. 教育の目的
5. 現代の教育

### 【評価方法】

試験、レポート、受講態度などにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。



## 教育原理

五島敦子

### 【授業の概要】

高等教育機関への高い進学率を誇っている日本では、教育といえば学校教育を思い浮かべることが多いであろう。しかし、学校教育を受けるのは、人生の一時期にしかすぎない。しかも学校教育をめぐる様々な問題が生じている今日、学校とは何か、教育とは何か、そのあるべき姿を真剣に考える必要がある。本講義では、教育の本質と目的を中心に教育とは何かを考察していく。

### 【授業計画】

1. 教育とは何か
  - (1) 教育をめぐる視点
  - (2) 学校の登場と近代学校の性格
2. 教育目的の歴史の変遷
  - (1) 日本における近代公教育の成立
  - (2) 教育勅語体制から戦時体制へ
  - (3) 大正新教育運動の意義
  - (4) 戦後新教育とその修正
  - (5) 高度経済成長と教育爆発
3. 現代日本の教育問題
  - (1) 家族像の変化と子どもの生活
  - (2) 情報化社会の子どもたち
4. これからの教育を考える
  - (1) ゆとりと新しい学力観
  - (2) 学校を改革するとり組み
  - (3) 教育改革の功罪

### 【評価方法】

定期試験、授業内小テスト、出席状況による総合評価

### 【テキスト】

やさしい教育原理 (田嶋一他 有斐閣アルマ)

### 【参考文献・資料】

窓ぎわのトットちゃん (黒柳徹子 講談社)  
教育改革の幻想 (荻谷剛彦 ちくま新書)

## 教育思想史

梅村敏郎

### 【授業の概要】

教育は、人間の本質的な営みの一つであって、既に古代から哲学者や思想家の考察の対象となってきた。これらの思想は、思想家たちが生きた時代や文化の主要な潮流や思想家自身の思考方法の特徴によって極めて多様な思想や理論が形成された。

この授業では、古代から現代まで各時代を代表するような偉大な教育思想を時代順に辿るのではなく、現代の教育についての基本的な考え方や主要な概念に直接的な影響を与え、そのため現代教育と直接的なつながりを持つと思われる17世紀のコメニウスを出発点として、それ以後今日に至るまで最も重要と考えられてきた教育者たちの思想を取り上げる。

その際、学生はそれらの思想についての他人の解釈や解説を聴くことも必要ではあるが、むしろそれらの思想と直接に対決することがより大切である。

専門的な研究者にとっては、それらの思想はそれが書かれた元の言語で読まれるべきであろうが、初歩の学生はまずそれらの書物の良い日本語訳によって、これらの思想に直接触れることが必要である。

### 【授業計画】

- 1 教育思想史を勉強することの意義
- 2 教育思想史を17世紀から取り扱う理由
- 3 コメニウス
- 4 ルソー
- 5 ベスタロッチ
- 6 ヘルバルト
- 7 フレーベル
- 8 デューイ

### 【評価方法】

評価はレポートの提出、あるいは資料持ち込み自由の筆答試験による。

### 【テキスト】

特定のテキストは使用しない。

### 【参考文献・資料】

参考文献は授業中に適宜紹介する。

## 欧米教育文化史

渡辺かよ子

### 【授業の概要】

欧米教育文化史における「近代化」とは具体的に何を意味するのか、という点に焦点をあて、欧米教育・文化の全体的・構造的な変遷過程に着目しつつ、比較教育的なアプローチを試みる。

### 【授業計画】

1. 欧米教育文化史の視点と課題
2. 中世後期の欧米教育文化とルネサンス、宗教改革
3. 近代教育文化の生誕と展開 (啓蒙思想と市民革命、産業革命)
4. 大学の誕生と展開
5. 西洋的教養と学校制度の確立

### 【評価方法】

レポート。

### 【テキスト】

教養の復権 (沼田裕之他 東信堂)

### 【参考文献・資料】

その都度指示する。

## 教育心理学 I

富安玲子

### 【授業の概要】

中学・高校生についての理解を深めるために乳幼児期から青年期までの発達の姿を概観し、発達課題について考えると共に、障害のある幼児、児童、生徒への理解を通して発達の可能性について考えていく。その上で、教育を受ける側と教育する側との相互の人間関係の中で展開される「教育」の営みについて、学習のメカニズムや動機づけの理論を通して考え、心理学的知見を実践の中に生かしていくことを目的としたい。

### 【授業計画】

1. 教育の機能と教育心理学の位置づけ
2. 生涯発達の視点
3. 障害のある幼児、児童、生徒の理解と発達可能性
4. 発達段階と発達課題
5. 認知の発達を通しての人間理解
6. 学習の成立過程
7. 学習における知識の役割
8. 学習意欲を育てる

### 【評価方法】

期末試験によるが、授業への参加関与度を考慮する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。必要な資料等は授業時に配付する。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。



## 教育心理学Ⅰ

小池理穂

### 【授業の概要】

中学・高校生についての理解を深めるために乳幼児期から青年期までの発達  
の姿を概観し、発達課題について考えると共に、障害児への理解を通して発達の可  
能性について考えていく。その上で、教育を受ける側と教育する側との相互の人間  
関係の中で展開される「教育」の営みについて、学習のメカニズムや動機づけの  
理論を通して考え、心理学的知見を実践の中に生かしていくことを目的としたい。

### 【授業計画】

1. 教育心理学を学ぶということ
  - ・教育の機能と教育心理学の位置づけ
2. 発達について考える
  - ・生涯発達の視点
  - ・障害の意味と発達可能性
  - ・発達段階と発達課題
  - ・認知の発達
3. 学習の過程を考える
  - ・学習の成立過程
  - ・学習における知識の役割
  - ・学習意欲を育てる
    - 外発的動機づけと内発的動機づけ/原因帰属をめぐって/知的好奇心の喚起/報酬の意味/目標のありかた

### 【評価方法】

筆記試験またはレポートに加えて、授業への参加関与度を考慮する。

### 【テキスト】

使用せず。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

## 障害児の教育

加藤文字

### 【授業の概要】

障害児についての基本的理解をし、障害児の教育的環境、福祉施設の役割  
などの実情を理解する。また、就学指導の仕組みを理解し、特別支援教育の  
現状と課題を認識する。

### 【授業計画】

- 1 心身障害児の理解
- 2 心身障害児の種類と程度
  - 心身障害児とは
  - 学校教育で対象とする障害児と児童福祉施設で対象とする障害児
  - 視覚・聴覚・肢体不自由・知的障害・病弱・虚弱児等の程度と発生原因
  - 言語障害・情緒障害・重複障害児の発生原因と教育
- 3 心身障害児の早期教育、後期中等教育の重要性
  - なぜ早期発見、早期教育が必要か
  - 社会自立に向けた後期中等教育の重要性
- 4 心身障害児の就学指導の仕組み
- 5 心身障害児（者）教育の歴史
  - 心身障害児（者）教育を開拓した人々
  - 心身障害児（者）教育の歴史の変遷
- 6 まとめ

### 【評価方法】

出席状況・授業態度・レポート・期末試験の成績により総合的に評価する

### 【テキスト】

テキストは使用せず。必要に応じて資料を配布する

## 教育心理学Ⅱ

富安玲子

### 【授業の概要】

人間を発達可能性のある存在として生涯発達の視点から考えながら、一人  
ひとりが自分の教育観・発達観の基礎づくりをすることを目的にしたい。自  
己意識の発達などのプロセスを辿りながら、教育的働きかけとの関わりを考  
え、今日の問題への理解を深めると共に、自分自身の自己形成のプロセスへ  
の関心も深め、自己理解を促進していくことも視野にいれて学んでいく。

### 【授業計画】

1. 発達の心理学を学ぶ/発達の心理学から学ぶ
2. 青年期の意味
3. 発達と教育
4. 「自分」の諸相
5. 「自分でない」世界の認識から
6. 第一「反抗」期の意味
7. 自我と他我
8. 他律的規範への順応
9. 第二の誕生
10. アイデンティティの確立
11. 生涯発達の視点と生き方
12. 自分探しの旅と人間関係

### 【評価方法】

期末試験によるが、授業への参加関与度を考慮する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。必要な資料等は授業時に配付する。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

## 教育制度

佐藤実芳

### 【授業の概要】

社会の変化にともなう学校の誕生や変化に基づき、社会において学校教育  
が果たしてきた役割について考えるとともに、学校教育制度の典型的比較及  
び学校教育制度の歴史の変遷から、学校教育制度の基本的な事項を理解する。  
さらに、学校経営や教育行政に関する規定がある教育法規を取り上げ、現在  
の日本の教育制度の特徴を考察していく。

### 【授業計画】

1. 教育制度の意義
2. 現代学校教育制度の起源
3. 学校教育制度の類型
4. 日本の学校教育制度
5. 教育法規
6. 外国の学校教育制度

### 【評価方法】

試験、受講態度などにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。



## 教育制度

五島敦子

### 【授業の概要】

社会の変化にともなう学校の誕生や変化に基づき、社会において学校教育が果たしてきた役割について考えると、学校教育制度の類型的比較及び学校教育制度の歴史の変遷から、学校教育制度の基本的な事項を理解する。さらに、学校経営や教育行政に関する規定がある教育法規を取り上げ、現在の日本の教育制度の特徴を考察していく。

### 【授業計画】

1. 教育制度の概観
  - (1) 学校教育制度の類型
  - (2) 教育段階とその課題
2. 諸外国の教育制度
  - (1) 先進国
  - (2) 発展途上国
3. 教育を受ける権利
  - (1) 子どもの権利条約
  - (2) 日本国憲法・教育基本法
  - (3) 学校教育法
  - (4) 教育的弱者のための権利保障
4. 教育行政と学級経営
  - (1) 教育職員の服務と研修
  - (2) 教育委員会
  - (3) 学級経営と指導計画
  - (4) 教育評価

### 【評価方法】

定期試験、レポート、グループ・ワークによる総合評価

### 【テキスト】

やさしい教育原理 (田嶋一他 有斐閣アルマ)

### 【参考文献・資料】

世界の教育 (宮澤康人他 放送大学教育振興会)  
世界の教育改革 (佐藤三郎編 東信堂)

## 教育課程

小栗正彦

### 【授業の概要】

特定の発達段階にいる子どもを対象として、各レベルの学校がその教育目的・目標を十分に達成するために、子どもにどの種の教科・教材をどのように学習させるか、またどの種の活動をどう体験させるかについての全体的な教育計画である教育課程(カリキュラム)を学習する。

なお、各学校が教育課程を編成する場合に、広範な人間の文化領域のなかから、子どもが学習・体験すべき教育内容を選択し組織化する原理が何であるかという問題に焦点をあてて教育課程について考察する。

### 【授業計画】

1. 教育課程とは
  - (1) 教育課程の原理と理論
  - (2) 教育課程の構造と種類
  - (3) 教育課程の歴史の変遷
2. 諸外国の教育課程の概観
3. わが国の教育課程
  - (1) 戦前の教育課程の構造
  - (2) 戦後の教育課程の構造
  - (3) 現在の中学校の教育課程の改正の趣旨と構造
  - (4) 現在の高等学校の教育課程の改正の趣旨と構造
4. 総合的な学習の時間の設定の趣旨と具体的な展開
5. まとめ
  - (1) 教育課程研究と教師
  - (2) 望ましい教育課程の展開

### 【評価方法】

中間小テスト(レポート)及び期末考査

### 【テキスト】

教育課程概説(資格教育センター編 300円)

### 【参考文献・資料】

中学校学習指導要領(文部省)  
高等学校学習指導要領(文部省)

## 比較教育論

渡辺かよ子

### 【授業の概要】

進展する国際化・情報化の中にあつて、人間は次世代にどのような夢や願いを託すことができるのか。教育は、自らが社会問題であると共に、貧困や不平等など現代の社会問題に対する有力な解決方策でもある。本講では、日本を含む各国の教育と全世界的教育の状況の比較研究を通じて、日本の教育の特徴と現代教育の課題を明らかにしていく。

### 【授業計画】

1. 比較教育学の基礎理論
2. 社会発展論と教育
3. 近代化と各国の教育制度(識字と就学)
4. 「発展途上」国と「先進」国の教育の実態
5. 近現代日本の教育制度の成立と特徴
6. 文化と教育、異文化交流としての教育
7. 人権としての教育
8. 比較教育と教育改革

### 【評価方法】

試験とレポート。

### 【テキスト】

使用せず。(資料配布)

### 【参考文献・資料】

比較国際教育学(石附実編著 東信堂)  
世界の学校(二宮皓編著 福村出版)  
多文化教育(中島智子編著 明石書店)  
学歴社会 新しい文明病(ドーア著 岩波書店)  
外国の教科書と日本(吉沢柳子著 丸善ブックス)  
比較高等教育論(アルトバック著 玉川大学出版部)  
被抑圧者の教育学(フレイレ著 亜紀書房)  
情報消費型社会と知の構造(中西新太郎 旬報社)  
国際歴史教科書対話(近藤孝弘著 中公新書)  
教育の比較文化誌(石附実著 玉川大学出版部)  
比較教育学の理論と方法(シュリーバー編著 東信堂)

## 教育課程

梅村敏郎

### 【授業の概要】

特定の発達段階にいる子どもを対象として、各レベルの学校がその教育目的・目標を十分に達成するために、子どもにどの種の教科・教材をどのように学習させるか、またどの種の活動をどう体験させるかについての全体的な教育計画である教育課程(カリキュラム)を学習する。

なお、各学校が教育課程を編成する場合に、広範な人間の文化領域のなかから、子どもが学習・体験すべき教育内容を選択し組織化する原理が何であるかという問題に焦点をあてて教育課程について考察する。

### 【授業計画】

1. 教育課程とは
  - (1) 教育課程の原理と理論
  - (2) 教育課程の構造と種類
  - (3) 教育課程の歴史の変遷
2. 諸外国の教育課程の概観
3. わが国の教育課程
  - (1) 戦前の教育課程の構造
  - (2) 戦後の教育課程の構造
  - (3) 現在の中学校・高等学校の教育課程
4. まとめ

### 【評価方法】

中間小テスト(レポート)及び期末考査

### 【テキスト】

教育課程(資格教育センター編 300円)

### 【参考文献・資料】

中学校学習指導要領(文部省)  
高等学校学習指導要領(文部省)



## 国語科教育法Ⅰ

佐々木亜紀子

### 【授業の概要】

中学校学習指導要領には、「国語」の教科目標として、「国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。」とある。この目標を正しく理解して、高等学校あるいは中学校生徒にいかにか教えるかを考える授業にしたい。具体的には、教材研究の方法、学習指導案の作成方法、板書方法、授業の進め方、評価の方法などを学び、教育現場に対応し得る力を養う。

### 【授業計画】

- 1 講 導入  
国語科教育の概観  
新・学習指導要領における国語科教育の目標
- 2 講 学習指導案の作成方法
- 3～5 講 「論説文」(中学校)の学習指導  
(教材研究・指導案・授業・評価などの方法)
- 6～8 講 「短歌」(高等学校)の学習指導  
(同上)
- 9～10 講 古典導入教材の学習指導 (中学校)  
(同上)
- 11～12 講 古文導入教材の学習指導 (高等学校)  
(同上)

### 【評価方法】

授業への参加態度と課題の内容との平常点、及び単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

新版 中学校高等学校国語科学習指導の研究  
(大田勝司他編 双文社)

### 【参考文献・資料】

高等学校学習指導要領解説 国語編  
中学校学習指導要領解説 国語編

## 国語科教育法Ⅱ

佐々木亜紀子

### 【授業の概要】

中学校学習指導要領の趣旨に沿って、国語を正確に理解し、適切に表現する能力を高めるためにどのような授業を行えばよいのか、中学校の教科書を用い、学習指導案の作成と模擬授業を行いながら、具体的・実践的な指導法を研究する。

### 【授業計画】

- 1 講 導入 新・学習指導要領における中学校の国語科教育
- 2・3 講 「説明文」「俳句」教材の学習指導  
(教材研究・指導案・授業・評価などの方法の研究)
- 4～7 講 「評論」「ルポルタージュ」「随想」教材の学習指導  
(教材研究・指導案・授業・評価などの方法の研究と模擬授業)
- 8～10 講 「小説」教材の学習指導  
(同上)
- 11～12 講 「漢詩」教材の学習指導  
(同上)
- 13 講 「言語活動例」を用いた学習指導  
(同上)

### 【評価方法】

授業への参加態度と課題の内容との平常点、及び単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

実践的国語科教育法—新・学習指導要領準拠—  
(原國人編 新典社)

### 【参考文献・資料】

中学校学習指導要領解説 国語編

## 国語科教育法Ⅲ

佐々木亜紀子

### 【授業の概要】

高等学校学習指導要領の趣旨に沿って、国語への関心を高め、表現力を伸ばし、日本の文化と伝統について理解を深める総合的な国語教育の在り方を求め、高等学校の教科書を用い、学習指導案の作成と模擬授業を行いながら、具体的・実践的な指導法を研究する。

### 【授業計画】

- 1 講 導入  
新・学習指導要領における高等学校の国語科教育
- 2～3 講 『国語総合』「小説」の学習指導  
(教材研究・指導案・授業・評価などの方法と研究)
- 4～7 講 『国語総合』古文教材の学習指導  
(教材研究・指導案・授業・評価などの方法の研究と模擬授業)
- 8～11 講 『古典』漢文教材の学習指導  
(同上)
- 12～13 講 「総合的な学習」と国語科  
(同上)

### 【評価方法】

授業への参加態度と課題の内容との平常点及び単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

実践的国語科教育法—新・学習指導要領準拠—  
(原國人編 新典社)

### 【参考文献・資料】

高等学校学習指導要領解説 国語編

## 英語科教育法Ⅰ

松本青也

### 【授業の概要】

英語教育法をテーマとして、目的論、技能論、方法論を中心に、日本における英語教育の歴史、諸外国の言語政策と英語教育、マルチメディアを活用した英語教育、などの話題を含めて考察する。

### 【授業計画】

1. 目的論：問題提起。コミュニケーション能力
2. 学習指導要領。学校英語教育の目標
3. 異文化と国際理解
4. 機能論：Sound
5. Listening
6. Speaking
7. Reading & Writing
8. 方法論：教授法の歴史 (日本)
9. 教授法の歴史 (外国)
10. 外国語教授理論
11. 新しい教授法
12. マルチメディア利用の可能性と課題
13. 〈模擬授業〉指導過程の構成
14. まとめ：これからの英語教育
15. テスト

### 【評価方法】

テストの成績、学習態度、出席状況等による総合評価。

### 【テキスト】

未定。



## 英語科教育法Ⅱ(2003年度以降入学者対象)

高橋美由紀

### 【授業の概要】

学習指導要領の趣旨に沿って実践的コミュニケーション能力の基礎を育成するために、特に入門期でどのような指導をすればいいかを中心に教育方法を考える。授業は、入門期の英語教育の意義や効果的な指導法、授業計画、指導案の書き方、教材・教具研究などの講義と、入門期の学習者が楽しめる英語教育を行うためのワークショップから構成される。

### 【授業計画】

1. オリエンテーション：入門期の英語教員の資質について
2. 入門期の英語教育の現状と課題・レベルや経験年数が異なる学習者の指導について
3. 入門期の英語教育の目的と意義・入門期の学習者の効果的な教授法
4. 音声重視の英語教育・入門期の学習者と文字教育
5. 歌やゲームを利用した英語教育
6. 入門期の英語教育の視覚教材・聴覚教材研究
7. 入門期の英語教育のコンピュータ教材やビデオ教材の研究
8. ALTとのTT授業について・テキストと授業計画、指導案の書き方について
9. 模擬授業の具体例と指導案(その1)
10. 模擬授業の具体例と指導案(その2)
11. 模擬授業
12. 模擬授業
13. 模擬授業
14. 模擬授業
15. 模擬授業の反省と今後の課題

### 【評価方法】

テスト、出席状況、授業態度  
課題レポート

### 【テキスト】

小学校英語活動実践の手引き(文部科学省 開隆堂出版)  
*Sunshine Kids Book 1*(山岡多美子・高橋美由紀 開隆堂出版)  
*Sunshine Kids Book 2*(高橋美由紀・山岡多美子 開隆堂出版)  
子どもに英語おしえたい(アルク出版)  
その他、絵本、カセット、CD、文献等は授業内に紹介する。

## 英語科教育法Ⅱ(2002年度以前入学者対象)

高橋美由紀

### 【授業の概要】

学習指導要領の趣旨に沿って、コミュニケーション能力の基礎を育成するために、日本の中学校ではどのような授業を行えばいいのか、模擬授業を行いながらその具体的な指導法を研究する。

### 【授業計画】

1. オリエンテーション：中学校英語教師の資質について、テキスト説明、小・中・高・大の英語教育について
2. 授業の組み立て：授業を盛り上げるための教材・教具について、教案作成ワークショップその1、ビデオによる模擬授業参観その1
3. 授業の組み立て：歌やゲームを取り入れた授業展開、教案作成ワークショップその2、ビデオによる模擬授業参観その2
4. 授業研究：テキスト内容に沿ったオリジナル教材・教具の作成、生徒を引きつける授業の様々なアイデア
- 5~14. 各グループによる模擬授業
15. 予備日

### 【評価方法】

テストは実施しない、出席状況、授業態度、課題レポート、模擬授業

### 【テキスト】

*Sunshine Kids Book 1*(山岡多美子・高橋美由紀 開隆堂出版)  
*Sunshine Kids Book 2*(高橋美由紀・山岡多美子 開隆堂出版)  
*Sunshine 1・2・3*(松本青也他 開隆堂出版)  
学習指導要領 外国語(英語)(文部科学省)  
その他、ゲーム集、歌、カセット、CD等はコピーを使用する。

### 【参考文献・資料】

教材・教具作成のために画用紙、マジックなどの文具類が必要である。

## 英語科教育法Ⅲ(2002年度以前入学者対象)

島村恭輔

### 【授業の概要】

学習指導要領の趣旨に沿って、コミュニケーション能力を育成することに主眼を置いて、生徒の多様化した日本の高等学校における英語教育を効果的に行うにはどのようにするか、具体的、実践的に指導する方法を研究する。

### 【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2~3回 授業の組み立て
- 第4~12回 マイクロティーチング

### 【評価方法】

出席状況・作成した教案等の提出物・マイクロティーチング等を総合して評価する。

### 【テキスト】

*Sunshine I*(開隆堂)  
*Sunshine II*(開隆堂)

## 情報科教育法Ⅰ

松蘭重弘

### 【授業の概要】

本授業においては、高度情報化社会における学校教育における情報科教育の意義、役割を認識し、情報科の学習指導要領に示された教育の目的を理解するとともに、情報科担当者に要求される教育目標達成に必要な基礎的な知識、技能について実習を織りまぜながら学習する。授業はすべてコンピュータ実習室で行なう。教育実習に参加する学生がある場合には、授業計画を変更することがある。

### 【授業計画】

1. 情報科教育の史的展開と意義の概観
2. 情報倫理、セキュリティの指導法
  - (1) 情報科社会に正しく、主体的に参画する態度
  - (2) 情報の受信と発信における個人の責任
3. 高度情報化社会における職業倫理、職業観の指導法
  - (1) 高度情報化の進展と職業及び職業人としてのあり方
  - (2) 情報に関するスペシャリストに求められる諸資格
4. コンピュータ及び情報に関する基本的な知識・技能の指導法
5. 情報システムの設計、管理、運用に関する知識・技能の指導法
6. 情報通信ネットワークの構築、運用管理、活用に関する知識・技能の指導法
7. マルチメディアを活用した表現・処理に関する知識・技能の指導法

### 【評価方法】

提出された報告書により評価する。

### 【テキスト】

高等学校学習指導要領解説(情報編)(文部省 海隆堂出版 2000)  
全員必須とする。

### 【参考文献・資料】

随時紹介する。



## 情報科教育法Ⅱ

松園重弘

### 【授業の概要】

本授業においては、情報科教育法Ⅰにおいて学習した事項について、授業者として、実際の学校の授業でどのように展開するかを学習することを目的として、効果的な授業を実施するために必要な、学習指導案、教材・教具の開発と活用、教育方法について、授業計画の作成と模擬授業を行ない実践的な学習を実施する。  
授業はすべてコンピュータ実習室で行なう。

### 【授業計画】

1. 情報Aの指導法
  - (1) 教育目標と教育計画
  - (2) 教材・教具の活用と開発
  - (3) 学習指導案の作成と模擬授業の実践
2. 情報Bの指導法
  - (1) 教育目標と教育計画
  - (2) 教材・教具の活用と開発
  - (3) 学習指導案の作成と模擬授業の実践
3. 情報Cの指導法
  - (1) 教育目標と教育計画
  - (2) 教材・教具の活用と開発
  - (3) 学習指導案の作成と模擬授業の実践
4. 専門教科「情報」の指導法
  - (1) 教育目標と教育計画
  - (2) 教材・教具の活用と開発
  - (3) 学習指導案の作成と模擬授業の実践
5. 総合的な学習の時間と情報化教育について、情報機器を活用した効果的な授業の具体的な展開
6. 情報化技術の発展と学校における情報教育のあり方

### 【評価方法】

提出された学習指導案、レポート等により評価する。

### 【テキスト】

高等学校学習指導要領解説（情報編）（文部省 海隆堂出版 2000）  
全員必須とする。（前期と同じテキストです。）

### 【参考文献・資料】

随時紹介する。

## 特別活動指導法

小林春治

### 【授業の概要】

中学校・高等学校の特別活動の変遷とその具体的な活動として学級活動、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事についての指導法を考察する。

そのなかで望ましい人間関係、基本的な生活習慣の形成を通して個人及び社会の一員としての在り方、生き方に関する指導の充実を図ることを学習の目標とする。

### 【授業計画】

1. 教育課程の位置と目標  
特別活動は、各教科、道徳とともに教育課程を構成する領域の一つであり、これらそれぞれの充実と相まって、中学校・高等学校の教育目標を達成することができることを学習する。
2. 戦後の教育状況と教育改革  
敗戦直後の教育状況と教育基本法・学校教育法の施行（六・三・三制の実施）にいたる大要を、GHQのとった教育政策にも注目しながら学習する。
3. 特別活動の変遷  
特別活動の変遷を中学校・高等学校の学習指導要領を通して論じ、その社会的背景についても具体的な資料に基づいて学習する。
4. 特別活動の基本となる指導法  
中学校の学級活動、高等学校のホームルーム活動が、生徒会活動、学校行事などと相互に関連していることの学習を通して、これらの集団生活の在り方、心身ともに健康で安全な生活習慣の形成などを基本にした指導法を、現状にも注目しながら考察する。

### 【評価方法】

期末試験の成績とレポートの評価及び出席率を総合する。

### 【テキスト】

高等学校学習指導要領解説 特別活動編（文部省 東山書房 予価130円）

## 道徳指導法

加藤文子

### 【授業の概要】

道徳とはなにか、わが国の道徳教育の基盤、義務教育における道徳教育の在り方を探求する。その上で、今日の道徳教育に至るまでの歴史の変遷を学び、さらに道徳性の発達理論を考察する。また、道徳指導の実践についての具体例をとりあげ、その理解を深める。

### 【授業計画】

- 1 道徳と道徳教育
- 2 児童・生徒を生かす道徳教育
- 3 公教育における道徳教育の歴史  
・明治5年学制公布から明治23年教育勅語発布までの過程  
・戦後の道徳教育の変遷
- 4 道徳性の発達理論と学校道徳教育
- 5 学校における道徳教育の実際  
・道徳教育の目標  
・道徳教育の内容  
・「道徳の時間」の指導計画、指導案の作成  
・「道徳の時間」の指導の実際、VTR視聴  
・まとめ

### 【評価方法】

期末試験の成績に、毎時間の出席状況、授業中の態度、課したレポート内容を加味して総合的に評価する。

### 【テキスト】

講義資料を配布

## 特別活動指導法

不破民由

### 【授業の概要】

中学校・高等学校の特別活動の変遷とその具体的な活動として学級活動、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事についての指導法を考察する。  
そのなかで望ましい人間関係、基本的な生活習慣の形成を通して個人及び社会の一員としての在り方、生き方に関する指導の充実を図ることを学習目標とする。

### 【授業計画】

1. 自由度の高い特別活動の可能性
2. 特別活動の歴史の変遷
3. 学級活動
4. 生徒会活動
5. 学校行事
  - (1) 儀式的行事 (2) 学芸的行事 (3) 健康安全・体育的行事 (4) 遠足・集団宿泊的行事 (5) 勤労生産・奉仕的行事 等以上の内容の他に、各自のサークル、ゼミ、学園祭等の大学における活動を話題として取り入れる。

### 【評価方法】

数回のレポート

### 【テキスト】

どくとるマンボウ青春記（北杜夫 新潮文庫）

### 【参考文献・資料】

特別活動（高旗正人・倉田侃司編著 ミネルヴァ書房）  
教科外活動を創る（折出健二他編 労働旬報社）  
<教育>の誕生（フィリップ・アリエス 中内敏夫・森田伸子訳 新評社、藤原書店）  
<子供>の誕生（フィリップ・アリエス 杉山光信・杉山恵美子訳 みすず書房）  
教養主義の没落（竹内洋 中公新書）  
立身出世主義（竹内洋 NHKライブラリー）  
立志・苦学・出世（竹内洋 講談社現代新書）  
日本の近代12 学歴貴族の栄光と挫折（竹内洋 中央公論新書）  
近現代日本の教養論（渡辺かよ子 行路社）  
学級経営の歴史（志村廣明 三省堂）  
「勉強」時代の幕開け（江森一郎 平凡社）  
運動会と日本近代（吉見俊哉他編 青弓社）  
教育には何ができないか（広田照幸 春秋社）  
近代日本の公民教育（松野修 名古屋大学出版会）  
教育に関する私の方法叙説（不和de民由 新風舎）

他



## 学級経営

前田勝洋

### 【授業の概要】

学級崩壊、担任不信等学校を取り巻く教育環境が問題となっている今日の教育状況を正しく理解し、学級担任として、どのように生徒に接したらよいか、どのようにして生徒の信頼を回復するのか探求するとともに、楽しい、生き生きした学級作りを具体的な事例から求めて行きたい。

### 【授業計画】

小学校・中学校の学級経営事例に学びながら、教師の資質向上を図る方策を探っていききたい。

- (1) 学級づくりと学級こわしの関係
- (2) 生徒理解と学級担任の役割
- (3) 共感的学級経営の実践
- (4) 成就型教育観と参加型教育観
- (5) 学級担任と言葉の問題
- (6) カルテ（個人記録）と一人ひとりを生かす経営

以上のような視点を軸にしなが、互いに事例について意見交換を行うなど、担任教師としての資質を磨きたい。

### 【評価方法】

毎回の受講感想レポートと「事例に対する意見記述」を中心に行いたい。

### 【テキスト】

後日、必要に応じて採用し、活用する。

## 教育方法

東浦信博

### 【授業の概要】

今日親も教員も子供の本当の姿が見えなくなり、確かな指導の手だてが見出せず苦悩している。この現状を打破するためには、子供の理解を深め、子供の立場に立って教材を開発し、教育方法を構築し、実践する力量が求められている。

テキストを中心に、ビデオ教材、学生同士の討議を加えた参加型授業形態で行い、教員としての教育的力量を培う教育方法を解明したい。

### 【授業計画】

1. 人間回復の学力と教師の在り方
  - (1) 中学・高校における学力論と教師論の検討
  - (2) 生徒の思考の発展を目指す授業方法
  - (3) 生徒の自主的な学習を育てる学習指導法
  - (4) 生徒の側に立った学習指導技術
2. 情報機器及び教材の活用方法
  - (1) 情報機器の特色とその効果的な利用方法
  - (2) 視聴覚教材の特色とその効果的な活用方法
  - (3) メディアの進歩と新しいリテラシーの育成方法
3. 学習者にとって個を生かす学習集団とは
  - (1) 多様化した生徒への対応の仕方
  - (2) 中学校における個を生かす学習集団
  - (3) 高等学校における個を生かす学習集団

### 【評価方法】

資料持込可の論述式定期試験。

### 【テキスト】

教育の方法、技術を学ぶ。(福村出版 ¥1,700)

## 教育方法

霜田一敏

### 【授業の概要】

今日親も教員も子供の本当の姿が見えなくなり、確かな指導の手だてが見出せず苦悩している。この現状を打破するためには、子供理解を深め、子供の立場に立って教材を開発し、教育方法を構築し、実践する力量が求められている。

テキストを中心に、ビデオ教材、学生同士の討議を加えた参加型授業形態で行い、教員としての教育的力量を培う教育方法を解明したい。

### 【授業計画】

1. 人間回復の学力と教師の在り方
  - (1) 中学・高校における学力論と教師論の検討
  - (2) 生徒の思考の発展を目指す授業方法
  - (3) 生徒の自主的な学習を育てる学習指導法
  - (4) 生徒の側に立った学習指導技術
2. 情報機器及び教材の活用方法
  - (1) 情報機器の特色とその効果的な利用方法
  - (2) 視聴覚教材の特色とその効果的な活用方法
  - (3) メディアの進歩と新しいリテラシーの育成方法
3. 学習者にとって個を生かす学習集団とは
  - (1) 多様化した生徒への対応の仕方
  - (2) 中学校における個を生かす学習集団
  - (3) 高等学校における個を生かす学習集団

### 【評価方法】

学生の積極的な授業参加と毎時提出するミニレポート、期末に行う論文試験等によって評価する。

### 【テキスト】

子どもの側に立つ授業論(霜田一敏著 明治図書 2,370円)

## 教育方法

羽場俊秀

### 【授業の概要】

今日親も教員も子供の本当の姿が見えなくなり、確かな指導の手だてが見出せず苦悩している。この現状を打破するためには、子供理解を深め、子供の立場に立って教材を開発し、教育方法を構築し、実践する力量が求められている。

ビデオ教材、学生同士の討議を加えた参加型授業形態で行い、教員としての教育的力量を培う教育方法を解明したい。

### 【授業計画】

1. 人間回復の学力と教師の在り方
  - (1) 中学・高校における学力論と教師論の検討
  - (2) 生徒の思考の発展を目指す授業方法
  - (3) 生徒の自主的な学習を育てる学習指導法
  - (4) 生徒の側に立った学習指導技術
2. 情報機器及び教材の活用方法
  - (1) 情報機器の特色とその効果的な利用方法
  - (2) 視聴覚教材の特色とその効果的な活用方法
  - (3) メディアの進歩と新しいリテラシーの育成方法
3. 学習者にとって個を生かす学習集団とは
  - (1) 多様化した生徒への対応の仕方
  - (2) 中学校における個を生かす学習集団
  - (3) 高等学校における個を生かす学習集団

### 【評価方法】

学生の積極的な授業参加と、期末に行う論文試験等によって評価する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。授業中に参考文献を適宜紹介する。

### 【参考文献・資料】

なし



## 生徒指導（進路指導を含む）

加納篤憲

### 【授業の概要】

生徒指導は、学習指導以外のいっさいの教育的指導を指すが、そのねらいは、生徒一人一人が主体的・自律的な人間としての自己実現をなしとげることができるよう、自己指導能力と自己指導的態度すなわち自己教育力を育成するところにある。

したがって、授業内容は、生活指導・進路指導・集団指導（HRなど）・個別指導など多岐にわたるが、そのほかにも、青年期の特徴・教育観や人間観の歴史などの学習を通じて、生徒理解と教師としての在り方にもふれる。

### 【授業計画】

1. 現代日本における青年期の特徴と問題点
2. 日本における教育観の変遷と21世紀の教育観
3. 生徒指導の基本的観点と今日的課題
4. 生徒指導の方法——集団指導（HR指導を中心に）
5. 生徒指導の方法——個別指導・問題行動をもつ生徒の指導
6. 進路指導の基本的観点と進学・就職指導
7. 人間の在り方を求めて——ヨーロッパ・アジア・日本

以上の項目について学習するが、生徒たちが生きている日本や世界の情勢にも、常に関心を持つことが大切である。

### 【評価方法】

期末試験、レポートの成績と出席状況を総合して評価。

### 【テキスト】

自作プリント教材（付資料）

### 【参考文献・資料】

学期始めに課題図書数冊を指定。『教師をめざす若者たち』（大橋功）など。

## 教育相談（カウンセリングを含む）

富安玲子

### 【授業の概要】

教育相談の役割が認識されるようになった背景からその必要性を考え、教育相談への理解を深めて実践につなげていきたい。教育相談は生徒一人ひとりに関心をもつところから始まる。そこで生徒理解のあり方や不適応行動への対応について考えたい。また、傾聴の大切さを中心にして情報提供や助言の仕方なども含めた面接の進め方を学び、カウンセリングの基礎知識も併せて学んでいく。

### 【授業計画】

1. 今、なぜ「教育相談」「カウンセリング」か
2. 「自分」は他者との関係の中で育つ
3. 教師-生徒の相互影響過程
4. 生徒理解
5. 学校における教育相談
6. 教育相談の進め方
7. 相談とカウンセリング
8. 適応と不適応
9. 問題行動のとらえ方とその対応
10. 不登校を考える
11. いじめを考える
12. 非行を考える

### 【評価方法】

期末試験によるが、授業への参加関与度を考慮する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。必要な資料等は授業時に配付する。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

## 生徒指導（進路指導を含む）

小栗正彦

### 【授業の概要】

生徒指導を管理監督、非行の防止といった消極的な視点からではなく、21世紀に生きる青少年の健全な育成を目指す。個人の尊厳と人格を尊重した生徒指導により生徒の生きる力を養う生徒指導の在り方を求める。

進路指導においては、その理念及び目的を具体的に学習する。

これらの学習をとおして、生徒指導にあたる教員の在り方及び人間観について具体的に指導する。

### 【授業計画】

#### 1. 生徒指導

現代社会における構造変化に注目し生徒指導を考える。

- (1) 社会集団の教育機能の低下と学校における生徒指導の役割
- (2) 青少年非行と矯正教育
- (3) 中学校における生徒指導の在り方と留意点
- (4) 高等学校における生徒指導の在り方と留意点

#### 2. 進路指導

進路指導の基本理念及びその目的を学習する。

- (1) 進路指導における教員の在り方と留意点
- (2) 進路に関する情報伝達と進路相談
- (3) 中学校における進路指導の在り方と留意点
- (4) 高等学校における進路指導の在り方と留意点

### 【評価方法】

期末試験の成績と、レポートの評価及び出席率を総合する。

### 【テキスト】

生徒指導論の試み（300円）

## 教育相談（カウンセリングを含む）

小池理穂

### 【授業の概要】

教育相談の役割が認識されるようになった背景からその必要性を考え、教育相談への理解を深めて実践につなげていきたい。教育相談は生徒一人ひとりに関心をもつところから始まる。そこで生徒理解のあり方や不適応行動への対応について考えたい。また、傾聴の大切さを中心にして情報提供や助言の仕方なども含めた面接の進め方を学び、カウンセリングの基礎知識も併せて学んでいく。

### 【授業計画】

1. 今、なぜ「教育相談」「カウンセリング」か
2. 教師と生徒の人間関係
  - ・「自分」は他者との関係の中で育つ
  - ・教師-生徒の相互影響過程
  - ・生徒理解
3. 教育相談
  - ・学校における教育相談
    - 教育相談の位置づけ
    - 教育相談の特質
  - ・教育相談の進め方
    - カウンセリングの基礎
4. 学校という生活環境と適応
  - ・適応と不適応
  - ・問題行動のとらえ方とその対応
  - ・学校への不適応を考える
  - ・非行・いじめを考える

### 【評価方法】

筆記試験またはレポートに加えて、授業への参加関与度を考慮する。

### 【テキスト】

使用せず。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。



## カウンセリング

富安玲子

### 【授業の概要】

我々が人の話を傾聴するとき、その話を自分にとって都合のよいように切り取って聞いているか、反対に自分に都合の悪い部分を切り捨てて聞いているか、という事実がある。そうした事実を体験的に理解するために試行カウンセリングを行い、傾聴の際の学生が陥りやすいタイプを学ばせたい。従来、ロジャースのいう受容、共感、自己一致の中でも受容と共感に力点が過重に置かれすぎてきたように思われるので、自己一致の重要性を伝えていきたい。

### 【授業計画】

「教育相談」での学習を更に進めて、実習を取り入れながら、「聴く」ことの意味と「聴く」人である自分について考えていきたい。

1. 教育相談とカウンセリングを巡って
2. カウンセリングの歴史
3. カウンセリングの人間観
4. カウンセリングの理論
5. カウンセラーに必要な基本的態度・行動
6. 共感的理解のエクササイズ
7. 正確に「聴く」とは
8. カウンセリングの実例
9. 話しやすさの源は聴き上手：かかわり技法
10. 応答訓練
11. ロールプレイ
12. カウンセリングにおける諸問題

### 【評価方法】

期末試験とロールプレイ・レポートに、授業への出席・関与度を加えて評価する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。必要な資料等は授業時に配付する。

### 【参考文献・資料】

授業の中で紹介する。

## 教育実習指導（介護体験事前指導を含む）

加藤文子

### 【授業の概要】

教育実習前の指導として、学校教育全般にわたる基本的理解並びに教育実習の意義、実習生としての望ましい態度・技能を習得する。また、介護体験実習にむけて個人の尊厳、社会連帯の理念に関する認識を深めさせる。

### 【授業計画】

1. 教育実習の意義と目的
  - ・前年度実習者からのアンケート結果
  - ・「先輩からの一言」
2. 教育実習の内容と方法
  - ・教育実習の領域
  - ・教育実習の方法
3. 教育実習記録
  - ・実習記録の意義
  - ・実習記録の方法
4. 授業研究
  - ・教材研究、教具の意義
  - ・学習理解を深めるための発問・板書の活用方法
5. 教育実習についての全般的諸注意並びに事後指導
6. 介護体験事前指導
  - ・社会福祉施設等の理解と社会連帯の理念
  - ・特別支援教育諸学校教育の理解
  - ・障害児（者）介護への心構え
7. 介護体験事後指導
8. まとめ、アンケート実施

### 【評価方法】

毎時間の授業態度、課したレポート内容、期末試験の結果（実習・体験評価を参考）により総合的に評価する。

### 【テキスト】

教育実習指導では使用せず、必要に応じて資料を配布。

介護体験事前指導では、介護体験ガイドブック「フィリア」（全国特殊学校長会編著 ジアーズ教育新社）使用。

## 総合演習

梅村敏郎 富安玲子 佐藤実芳 加藤文子  
霜田一敏 渡辺かよ子 小栗正彦

### 【授業の概要】

社会構造や家族構造の変化する現代社会において、青少年をとりまく現実的な課題について分析及び検討することにより、総合的な見地に立って未来に生きる中学生、高校生をどのように教育するか、その方法を探究し、総合的な指導力を備えた教員の育成をめざし、次の7テーマに別れて演習を行なう。（各テーマ20名以内）

- (1) いじめ問題（梅村敏郎）
- (2) 福祉一障害のある人も健全な人も共に生きるコミュニティについて（加藤文子）
- (3) 社会と子育て（佐藤実芳）
- (4) 高齢者福祉の実態と未来（霜田一敏）
- (5) ジェンダーと教育（富安玲子）
- (6) 生涯学習における学校（渡辺かよ子）
- (7) みんなの学校問題（小栗正彦）

### 【授業計画】

※印は後期日程（於 星ヶ丘）

1. 全体、各テーマ別 8月6日 ※1月28日
  - (1) 総合演習とは、これからのすすめ方
  - (2) 各テーマの概要説明（各担当者）
  - (3) 希望テーマ提出、テーマ別編成
  - (4) 各テーマ別に課題設定と学習法の指導
2. 8月27日 ※2月18日  
課題レポートの提出（必要部数の印刷）
3. 各テーマ別 9月3日 ※2月25日
  - (1) 課題レポートについて報告（1人10～15分）
  - (2) 質疑応答、問題点について討議
4. 各テーマ別 9月10日 ※3月4日
  - (1) 問題点について分析検討
  - (2) グループとして課題について整理、代表者の選出
5. 全体 9月17日 ※3月11日
  - (1) グループ代表者の発表（1名15～20分）
  - (2) 担当教員の指導
  - (3) 感想文の作成と提出

### 【評価方法】

レポートと感想文により評価

## 教育実習指導（介護体験事前指導を含む）

大倉芳雄

### 【授業の概要】

教育実習前の指導として、学校教育全般にわたる基本的理解並びに教育実習の意義、実習生としての望ましい態度・技能を習得する。また、介護体験実習にむけて個人の尊厳、社会連帯の理念に関する認識を深めさせる。

### 【授業計画】

1. 教育実習の意義と目的
2. 教育実習の内容と方法
3. 教育実習記録
4. 授業研究
  - ・教材研究、教具の意義
  - ・学習理解を深めるための発問・板書の活用方法
5. 教育実習についての全般的諸注意並びに事後指導
6. 介護体験事前指導・事後指導

### 【評価方法】

毎時間の授業態度、課したレポート内容、期末試験の結果（実習・体験評価を参考）を総合的に評価する。

### 【テキスト】

教育実習を考える（岩本敏郎・浪本勝年編著 北樹出版）



## 教育実習Ⅰ

加藤文子

### 【授業の概要】

教科に関する専門科目及び教職に関する専門科目で学習した成果を実践し、検証する機会である。

実習校での3週間の教育実習を通じて、教師という専門職としての自覚と誇りを高めるとともに、生徒から親愛と信頼の念をもって迎えられる実習生となるよう、努力と工夫をして3年間の成果を存分に発揮してほしい。

### 【授業計画】

実習校において、教師としての仕事を行う。

#### (1) 学級担任として

朝の打合せ、STの諸連絡と生徒観察にはじまり、帰りの清掃指導にいたるまでの仕事内容を理解し、生徒指導にあたる。

また、道徳教育、総合的な学習の指導にあたるとともに学級事務を担当する。

#### (2) 教科担任として

前半においては、指導教官の授業参観と授業案の作成及び教材の準備を行う。

後半においては、授業案にもとづいて授業を実施し、指導教官の指導と助言をえて、授業をより充実させるよう努める。

#### (3) 特別活動として

学級活動、生徒会活動、学校行事、クラブ・部活動に積極的に参加する。

### 【評価方法】

実習校の評価（生徒指導、学習指導、実習態度）に基づいて評価する。

### 【テキスト】

「教育実習指導」の授業時に配付の『教育実習記録』を活用する。

## 生涯学習概論

羽場俊秀

### 【授業の概要】

現代社会は、情報化、高齢化、生命・健康、環境などの分野において様々な問題に直面している。また、価値観の多様化に対する寛容さが以前にもまして必要とされる時代になってきている。

このような状況下において、諸問題を解決し、人々が主体的に生活していくためには学校だけでなく、広く社会において絶えず学び続けることが大切である。生涯学習に広がりや深まりが求められるゆえんがそこにある。この講義では、生涯学習の原理、実践等について具体的な事例をもとに考察する。

### 【授業計画】

- 1-3. 生涯学習理念の成立と発展
- 4-7. 生涯学習実践の課題
- 8-11. 生涯学習と社会
- 12-13. 生涯学習と人間
- 14-15. 総括

### 【評価方法】

おもに期末試験（筆記）により評価するが、開講中にレポートを課した場合これを評価に加味する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。授業中に参考文献を適宜紹介する。

### 【参考文献・資料】

なし

## 教育実習Ⅱ

小栗正彦

### 【授業の概要】

教科に関する専門科目及び教職に関する専門科目で学習した成果を実践し、検証する機会である。

実習校での2週間の教育実習を通じて、教師という専門職としての自覚と誇りを高めるとともに、生徒から親愛と信頼の念をもって迎えられる実習生となるよう、努力と工夫をして3年間の成果を存分に発揮してほしい。

### 【授業計画】

実習校において、教師としての仕事を行う。

#### (1) 学級担任として

朝の打合せ、STの諸連絡と生徒観察にはじまり、帰りの清掃指導にいたるまでの仕事内容を理解し、生徒指導にあたる。

また、道徳教育、総合的な学習の指導にあたるとともに学級事務を担当する。

#### (2) 教科担任として

前半においては、指導教官の授業参観と授業案の作成及び教材の準備を行う。

後半においては、授業案にもとづいて授業を実施し、指導教官の指導と助言をえて、授業をより充実させるよう努める。

#### (3) 特別活動として

学級活動、生徒会活動、学校行事、クラブ・部活動に積極的に参加する。

### 【評価方法】

実習校の評価（生徒指導、学習指導、実習態度）に基づいて評価する。

### 【テキスト】

「教育実習指導」の授業時に配付の『教育実習記録』を活用する。

## 国際理解教育論

担当者未定

### 【授業の概要】

日本の近代化の過程において、どのような教育経路により先進諸国の文明が導入されたかを考察する。中学校、高等学校の日常的な教科指導、特別教育活動等において、どのように国際理解教育を展開すべきかを考えてみたい。

### 【授業計画】

1. 日本の近代化の過程における外国文明の摂取について、次の視点から考察する。
  - (1) 海外留学生の派遣と帰国後の活躍
  - (2) 外国人教員の雇用とその教育への影響
  - (3) 技術伝習による日本の産業の近代化
2. 現代の学校教育における国際化について次の視点から考察する。
  - (1) 教科教育における国際理解教育
  - (2) 特別活動、学校教育における国際理解教育
  - (3) 海外留学生の派遣と海外からの留学生の受け入れ
  - (4) 外国人英語教員の雇用とその役割
3. 現在の日本の国際化の現状を分析し、真の意味での日本の国際化について、教育の視点から考察する。  
(授業において、皆さんの体験を踏まえて具体的な事例について、ともに考えていきたい)

### 【評価方法】

授業中に課す「感想、意見」の提出及びレポートにより総合評価を行なう。

### 【テキスト】

国際理解教育論講義概要（300円）

### 【参考文献・資料】

授業中にその都度紹介する。



## 学校経営と学校図書館

小栗正彦

### 【授業の概要】

学校教育における学校図書館の教育的意義を確認し、より効果的な学校図書館の活用を目指し、教職員のみでなく、生徒会及びPTAとの連携を視野に入れた望ましい学校図書館の組織と運営はいかにあるべきかを、次の点に視座をあてて、具体的な成功事例を紹介し学習する。

### 【授業計画】

1. 学校図書館の管理運営組織
  - (1) 生徒の利用時間の設定
  - (2) 生徒への図書等の貸し出し方法
  - (3) 長期休業期間中の開館状況
2. 魅力ある学校図書館について
  - (1) 生徒が親しみやすい雰囲気のある学校図書館
  - (2) 学校図書館の図書・資料等の整備拡充
  - (3) 生徒が利用しやすい学校図書館経営
3. 学校図書館と生徒会活動の連携
  - (1) 生徒会図書委員会の組織と活動
  - (2) 読書週間、読書コンクール、図書館日より
  - (3) 学校図書館の利用PR活動
4. 学校図書館の充実
  - (1) PTA組織を活用した寄贈図書等
  - (2) 地域社会への呼びかけによる寄贈図書等
  - (3) 関係機関への呼びかけによる寄贈図書等

### 【評価方法】

出席状況及び課題による。

### 【テキスト】

プリント配布。

## 学習指導と学校図書館

加納篤憲

### 【授業の概要】

学校図書館は、教育に必要な資料を生徒及び教員の利用に供することによって、(1) 学校の教育課程の展開に寄与するとともに、(2) 生徒の健全な教養を育成することを目的としている。

この授業では、(1) の目的を達成するために学校図書館はどのようなものでなければならないかを、蔵書構成や利用指導の現状と実践例、教科学習や総合学習における図書館利用の方法と実践例について学ぶ。

また、司書教諭の役割とこれからの学校教育に占める重要性について学習するとともに、利用指導の図書館実習を体験することによって、司書教諭の仕事への理解を深める。

### 【授業計画】

1. 教育課程と学校図書館
2. 学習活動を促進する学校図書館——実践例
3. 学校図書館の現状と問題点——蔵書冊数・蔵書構成・図書館利用
4. 各教科・科目の学習指導と図書館——実践例
5. 「総合学習」における図書館利用
6. 図書館利用における学級担任及び生徒図書委員の役割
7. 図書館実習——テーマ学習における司書教諭の指導について
8. 討論——中学・高校時代の経験を踏まえて、学校図書館及び司書教諭の望ましいあり方について考える。

### 【評価方法】

期末試験、レポートの成績と出席状況を総合して評価。

### 【テキスト】

自作プリント教材（付資料）

### 【参考文献・資料】

特になし

## 学校図書館メディアの構成

中村和夫

### 【授業の概要】

情報化の著しい進展と共に、従来の活字メディア中心の学校図書館は児童生徒の活字離れにより、大きく変容を迫られている。これからの学校図書館は、児童生徒が喜んで利用できるよう、そのニーズに応え、多様なメディアを取り入れなければならない。この点を中心にして、これからの学校図書館のメディア構成を考えてみたい。

### 【授業計画】

1. 児童生徒が喜んで利用するメディア構成
  - (1) 現在の学校図書館メディア構成の実態分析
  - (2) 児童会・生徒会図書委員会と学校図書館の資料選定
  - (3) 児童生徒の学校図書館に期待するものは何か
2. 教育課程にマッチしたメディア構成
  - (1) 教養中心から教科学習に必要な資料の収集へ
  - (2) 「総合学習の時間」の視点からのメディア構成
  - (3) 「情報」、「オーラル英語」等新しい教科科目の教材
3. 情報化時代にふさわしいメディアの特質の理解
  - (1) ビデオ、DVD、CD等の視聴覚的メディア
  - (2) CD-ROM、マイクロフィルム等の活字メディアに代わるもの
  - (3) Webサイトに代表されるネットワーク系メディアの活用と問題点
4. 学校図書館メディアの組織化
  - (1) 分類の意義と分類作業の基本
  - (2) 目録の種類と目録作業の基本、目録の機械化

### 【評価方法】

出席状況及びレポート等による。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

学校図書館メディアの構成（小田光宏編 樹村房）  
分類・目録法入門（木原通夫・志保田務 新改訂第3版 第一法規）

## 読書と豊かな人間性

梅田卓夫

### 【授業の概要】

現在、児童生徒の読書離れの傾向は拡大し、まったくと言っていいほど本を読まなくなってきた。

児童生徒の読書離れの要因と実態を解明するとともに、学校図書館が「読書と豊かな人間性」の視点に立って、どのような役割を果たすべきかを、具体的な事例を紹介するとともに、一方的な講義に終わることなく、受講者自身の体験も取り入れ、以下のような視座に立った参加型授業を展開する。

### 【授業計画】

1. 読書のよこごび
  - (1) 人はどのようにして読書の楽しみと出会うのか
  - (2) 代表的な先人の読書経験から学ぶもの
  - (3) 受講者自身の学校図書館での本との出会い
2. 人間形成と読書
  - (1) 幼児期における読み聞かせの教育的意味
  - (2) 少年期・青年期の決定的・運命的な読書との出会い
  - (3) 読書における、内省、思索の意義
3. 学校教育における読書指導
  - (1) 教師による本の紹介、読み聞かせ
  - (2) 「十分間読書」「朝の黙読」等の実践例
4. 読書と仲間作り
  - (1) 家庭での読書についての親子の対話
  - (2) 友達同士の読書グループ、読書会
  - (3) 学区図書館を利用した共同研究
5. 読書の技術
  - (1) 情報化時代の読書のあり方
  - (2) 愛読書、好きな作家

### 【評価方法】

出席状況及びレポートによる。

### 【テキスト】

使用しない。



## 【授業の概要】

学校図書館の高度情報化は21世紀には避けて通れない状況である。現在の状況は必ずしも満足はできないが、学校図書館に将来関係すると思われる新しいメディアの運用についての基礎知識と技能は、今後学校図書館の仕事に携わる教員にとって必須だと言える。以上の観点から、次のテーマで実践的な学習を行ない、これからの情報化される学校図書館の効果的な活用を目標とする。

## 【授業計画】

1. 学校図書館と情報機器
  - (1) 学校図書館におけるコンピュータの役割と活用
  - (2) 学校図書館に設置する情報機器
2. 学校図書館とコンピュータとの関わり
  - (1) 図書検索とコンピュータ (OPAC)
  - (2) インターネットを使用する資料の収集
3. 学校図書館の情報メディアの活用
  - (1) 視覚メディアとしてのVTR等
  - (2) 聴覚メディアとしてのDVD、CD等
  - (3) 活字メディアに代わるCDRom、マイクロフィルム等

## 【評価方法】

出席状況及び試験による。

## 【テキスト】

使用しない。



## 生涯学習概論

古野有隣

### 【授業の概要】

生涯学習という言葉は最近かなり知名度が高くなってきているが、その意味や意義については必ずしも正確に理解されているとはかぎらない。

この講義では生涯学習の意味するところを、その理念の提唱時からの推移の説明をまじえて、理解を深めることをねらいとした。また、先の長い人生を持っている自分にとって生涯学習とは何なのかを考える契機となればとも思っている。

1. 生涯教育の理念～推移を含めて～  
ユネスコ以降わが国における推移  
生涯教育のめざすもの  
生涯教育と生涯学習の関係
2. 生涯教育と社会教育・学校教育との関係  
生涯教育と社会教育  
生涯教育と学校教育
3. 社会教育の内容・方法・形態  
行政社会教育の主要領域  
社会教育の内容・方法・形態
4. 生涯学習関連施設の現状と展望  
生涯学習関連施設の範囲  
社会教育施設の種類と現状
5. 生涯学習指導者  
生涯学習指導者の範囲  
生涯学習指導者の役割

### 【授業計画】

講義。

### 【評価方法】

テスト。

### 【テキスト】

資料集（予価500円）を開始時に頒布。

## 図書館情報学概論 I

櫻木貴子

### 【授業の概要】

この科目は、図書館情報学に関する学習の基礎固めのためのものである。Iでは、図書館情報学における基本的な考え方および分野の特徴について概説する。

### 【授業計画】

1. 情報と知識の研究と実務に関わる分野  
図書館学／情報学／図書館情報学  
図書館情報学を学ぶための情報源／指定図書
2. 情報の概念  
概念・考え方・観点・立場  
定義の多様性と現象の多面性  
情報概念の歴史／情報・知識・データ  
定義の整理のための枠組み／構造的な理解  
認識・認知・ところ／人間・人・ヒト
3. 情報検索の過程

### 【評価方法】

出席点、試験およびレポートにて評価を行う。

注「図書館情報学概論 I」の単位を取得済でない学生については、「同 II」の単位を認定しない。

### 【テキスト】

図書館情報学用語辞典（丸善 3,800円税別定価）および配布資料

## 図書館情報学概論 I

村主朋英

### 【授業の概要】

この科目は、図書館情報学に関する学習の基礎固めのためのものである。Iでは、図書館情報学における基本的な考え方および分野の特徴について概説する。

### 【授業計画】

1. 情報と知識の研究と実務に関わる分野  
図書館学／情報学／図書館情報学  
図書館情報学を学ぶための情報源／指定図書
2. 情報の概念  
概念・考え方・観点・立場  
定義の多様性と現象の多面性  
情報概念の歴史／情報・知識・データ  
定義の整理のための枠組み／構造的な理解  
認識・認知・ところ／人間・人・ヒト
3. 情報検索の過程

### 【評価方法】

定期試験

注1)「図書館情報学概論 I」の単位を取得済でない学生については、「同 II」の単位を認定しない。

注2)「図書館情報学概論 I」の最終日に夏休みレポート課題を提示する。採点は「同 II」の成績に組み込む。今年度「同 II」のみ履修予定の学生は、7月初旬までに問い合わせること。

### 【テキスト】

図書館情報学用語辞典（丸善 3,800円 税別定価）

## 図書館情報学概論 II

村主朋英

### 【授業の概要】

この科目は、図書館情報学に関する学習の基礎固めのためのものである。IIでは、図書館・情報サービスの実際に関して、最低限知っておくべき事項を紹介し、今後の学習への指針を提供する。

### 【授業計画】

1. 情報の流過程  
情報の流れと情報メディア／学術情報の流過程
2. 図書館・情報サービスの世界  
構成要素と機能／情報システムとしての図書館
3. 協力と競争  
図書館ネットワーク／競争する情報サービス
4. 図書館員と情報専門職の世界
5. 図書館情報学の未来

### 【評価方法】

定期試験と夏休みレポート

注1)「図書館情報学概論 I」の単位を取得済でない学生については、「同 II」の単位を認定しない。

注2)「図書館情報学概論 I」の最終日に夏休みレポート課題を提示する。採点は「同 II」の成績に組み込む。今年度「同 II」のみ履修予定の学生は、7月初旬までに問い合わせること。

### 【テキスト】

図書館情報学用語辞典（丸善 3,800円 税別定価）



## 図書館情報学概論Ⅱ

櫻木貴子

### 【授業の概要】

この科目は、図書館情報学に関する学習の基礎固めのためのものである。Ⅱでは、図書館・情報サービスの実際に関して、最低限知っておくべき事項を紹介し、今後の学習への指針を提供する。

### 【授業計画】

1. 情報の流通過程  
情報の流れと情報メディア／学術情報の流通過程
2. 図書館・情報サービスの世界  
構成要素と機能／情報システムとしての図書館
3. 協力と競合  
図書館ネットワーク／競合する情報サービス
4. 図書館員と情報専門職の世界
5. 図書館情報学の未来

### 【評価方法】

出席点、試験およびレポートにて評価を行う。

注「図書館情報学概論Ⅰ」の単位を取得済でない学生については、「同Ⅱ」の単位を認定しない。

### 【テキスト】

図書館情報学用語辞典（丸善 3,800円税別定価）および配布資料

## 図書館経営論

山本進

### 【授業の概要】

図書館の技術的な面—分類・目録等—資料組織とは別に図書館運営上の諸問題—司書の専門職制の問題、図書館の地域サービスと図書館網計画、図書館の経営評価と見直し等、を図書館経営論として論述する。

### 【授業計画】

- |                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 0. オリエンテーション・図書館の経営論の意義         | 1回 |
| 1. 図書館館種別の経営上の問題点と管理原則          | 1回 |
| 2. 図書館学の五法則と図書館員の関わり            | 1回 |
| 3. 図書館の自由に関する宣言                 | 2回 |
| 4. 図書館員の倫理綱領                    | 2回 |
| 5. 図書館員と労働基準法解説                 | 1回 |
| 6. 図書館関係法規と図書館のサービス基準解説         | 1回 |
| 7. 図書館サービスの測定と評価（実例課題によるレポート提出） | 1回 |
| 8. 図書館計画の立案と実例解説                | 2回 |
| 9. 生涯学習と図書館及び利用者教育              | 2回 |
| ※講義の中から関心のある事項についてレポート提出        | 2回 |

### 【評価方法】

期末テスト実施—記述式、前期全体の講義の中から問題を2～3問と、提出されたレポートと記述試験の採点を併せて評価する。

### 【テキスト】

講義シラバスを配付する。

## 情報サービス基礎論Ⅰ

逸村裕

### 【授業の概要】

情報化社会は社会における産業構造の変化をもたらしている。「情報」を扱う産業は、急速に増大し、社会に大きな影響力を与えている。この科目では、図書館情報学の観点から現代社会における特徴的な情報産業の現状を概観し、「情報」を商品化するプロセスを考察するとともに、すべての職業において進展している「情報化」の持つ意味を検討する。また進路としての情報関連産業について論じる。さらに、情報産業の事例紹介を論じ、職業倫理と勤労観についても言及する。

### 【授業計画】

1. 情報化社会と情報産業
2. 産業と職業における情報とITの意味
3. 情報サービス事例1：メディア産業と通信
4. 情報サービス事例2：通信と出版産業
5. 情報サービス事例3：図書館情報
6. 情報サービス事例4：マルチメディアリソース
7. 情報サービス事例5：電子ジャーナル
8. 情報サービス事例6：電子ブック
9. 情報サービス事例7：情報分析・シンクタンク
10. 情報産業と大学
11. 情報化社会における知的所有権問題
12. 情報化社会と情報倫理
13. 情報産業における勤労観と職業倫理

講義中心に行なう。適宜、小テスト、レポートを課す。  
「インターネット講習会」を必ず受講しておくこと。

### 【評価方法】

小テスト、レポート、期末試験による総合評価。  
詳細は初回講義の際に説明する。

### 【テキスト】

使用せず。

### 【参考文献・資料】

図書館情報学辞典 第2版（丸善 2002）

## 情報サービス基礎論Ⅰ

松下鈞

### 【授業の概要】

電子情報技術の急速な発展とグローバルな広がりを背景として、人と情報との関わりが変化してきた。社会はあらゆる面で急速な変化の様相を見せている。「情報サービス基礎論Ⅰ」では、社会の多様化と情報の多様化と膨大化及び情報流通の変化に直面する「図書館」のサービスについて、主として公共図書館のサービスを念頭において諸問題を概観する。

### 【授業計画】

1. オリエンテーション
2. 図書館サービスの基本原則
3. 情報媒体と利用ニーズの多様性
4. 図書館設計に見る図書館サービス
5. こども向けのサービス
6. 青少年へのサービス
7. 老人むけのサービス
8. 働かざるを支援するサービス
9. 行政サービス
10. 学術サービス
11. 多文化サービス
12. 図書館建築の動向
13. 学校、大学、企業図書館との連携
11. 電子情報サービスの進展状況
12. ホームページに見る日米公共図書館の比較
14. サービス業としての図書館
15. まとめ

講義を中心とし、課題小レポート、グループ研究発表を交える。  
受講に先立ち次ぎのことをしておくこと。  
\* 「インターネット講習会」を受講しておくこと。  
\* 身近な公共図書館の施設やサービスを注意深く観察しておくこと。

### 【評価方法】

小レポート、期末レポート及びグループ研究と発表をもって評価する。  
授業への積極的な参加の姿勢を参考点として加味する。

### 【テキスト】

適宜、プリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

適宜、紹介する。



## 情報サービス基礎論Ⅱ

逸村 裕

### 【授業の概要】

図書館で行われる情報サービスには幅広いものがある。また、これらのサービスはその対象、館種、主題、規模ごとに多くの特徴を持つ。さらに今日、伝統的な図書館サービスに加え、情報通信技術の普及発展に伴う新たな対応を迫られている。

これら図書館情報サービスの紹介と評価の視点から講義を行なう。

1. この講義の対象と範囲
2. パブリック・サービス（奉仕・直接サービス）
  - A. 貸出閲覧
  - B. レファレンスサービス
  - C. 相互協力
  - D. 視聴覚資料
  - E. パブリックサービスの今後
3. テクニカル・サービス（資料組織・間接サービス）
  - A. 選書
  - B. 取書
  - C. 整理
  - D. 雑誌
  - E. テクニカルサービスの今後
4. 評価の視点から見た情報サービス
  - A. 蔵書
  - B. 人的サービス
  - C. 図書館アメニティ
  - D. コンソーシアム
  - E. その他のサービス

### 【授業計画】

講義中心に行なう。適宜、小テスト、レポートを課す。  
「インターネット講習会」を受講しておく

### 【評価方法】

小テスト、レポート、期末試験による総合評価。詳細は初回講義の際に説明する。

### 【テキスト】

大学図書館の21世紀（勁草書房 2004夏刊行予定）

### 【参考文献・資料】

図書館情報学辞典 第2版（丸善 2002）

## 情報サービス基礎論Ⅱ

松下 鈞

### 【授業の概要】

「情報サービス基礎論Ⅰ」の履修を前提とする。

あなたが図書館員であると仮定し、図書館の現場で利用者からの期待に応えるさまざまな業務と施設を計画立案し、実施、評価するケーススタディなどを交え、より具体的に図書館サービスについての理解を深めることを目的とする。

### 【授業計画】

1. イントロダクション「サービス機関としての図書館」
2. 図書館予算と資料の購入計画
3. 資料の配置
4. 保存と廃棄
4. 開館時間と図書館員の労働環境
5. 弱者へのサービス
6. 情報電子化と情報弱者への対応
7. 住民パワーの活用
8. 情報広場としての図書館
9. 複合文化施設としての図書館
10. 地域文化の情報拠点
11. 知識情報のネットワーク
12. 図書館サービスの国際動向
13. レファレンスFQAとレファレンス協同DBの構築
14. 図書館建築プラン
15. まとめ「図書館学の五法則」

講義とケーススタディを主とし、グループ研究と発表を交えて展開する。

\* 「情報サービス基礎論Ⅰ」の履修者に限る。

\* 受講に先立ち、いくつかの図書館を視察し、蔵書、サービス、施設などについて批判的評価を試みる。また、仮に自分を図書館員であると仮定し、それらの問題点をどのように解決したらよいか、改革プランを考えておくこと。

### 【評価方法】

グループ研究の成果、小レポート、最終レポートによる。  
授業及びグループ研究への積極的な参加態度も評価の参考とする。

### 【テキスト】

適宜、プリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

適宜、指示する。

## レファレンスサービス論

佐藤義則

### 【授業の概要】

図書館における情報サービスの中核を成してきたレファレンスサービスに関して、レファレンスコレクションの構築、レファレンス質問からその回答にいたる一連のレファレンスプロセス、サービス組織のあり方、等について理解を深めることを主な目的として講義を進める。この科目は、「情報検索演習Ⅲ（情報と文献の探索）」と相互に補完するものとして扱う。

### 【授業計画】

1. 情報ニーズに応える情報サービス
2. レファレンスサービスから情報サービスへ
3. レファレンス機能に基づくレファレンス業務
4. レファレンスサービスのための情報源
5. レファレンス質問を起点とするレファレンスプロセス
6. 質問の受付から内容の確認へ
7. 質問内容の分析から探索の実行へ
8. 質問回答とレファレンスプロセスの終結
9. レファレンスサービスの組織と運営

### 【評価方法】

講義の最終日に試験を行う。出題形式等については、講義の最初に説明する。

### 【テキスト】

レファレンスサービス：図書館における情報サービス（長澤雅男著 丸善 1995）

### 【参考文献・資料】

講義において指示する。

## レファレンスサービス論

櫻木貴子

### 【授業の概要】

図書館における情報サービスの中核を成してきたレファレンスサービスに関して、レファレンスコレクションの構築、レファレンス質問からその回答にいたる一連のレファレンスプロセス、サービス組織のあり方、等について理解を深めることを主な目的として講義を進める。この科目は、「情報検索演習Ⅲ（情報と文献の探索）」と相互に補完するものとして扱う。

### 【授業計画】

1. 情報ニーズに応える情報サービス
2. レファレンスサービスから情報サービスへ
3. レファレンス機能に基づくレファレンス業務
4. レファレンスサービスのための情報源
5. レファレンス質問を起点とするレファレンスプロセス
6. 質問の受付から内容の確認へ
7. 質問内容の分析から探索の実行へ
8. 質問回答とレファレンスプロセスの終結
9. レファレンスサービスの組織と運営

### 【評価方法】

講義の最終日に試験を行う。出題形式等については、講義の最初に説明する。

### 【テキスト】

レファレンスサービス：図書館における情報サービス（長澤雅男著 丸善 1995）

### 【参考文献・資料】

講義において指示する。



## 情報検索演習Ⅱ（学術情報の探索）

伊藤真理

### 【授業の概要】

学術論文を対象として、オンライン情報検索システムの活用に必要な知識と技術を習得することを目的とする。テーマ検索の実習に基づき、検索過程の把握や検索ツールの利用、および検索結果に対する評価について理解する。

当科目は、情報検索演習Ⅰ（図書館情報学科の学生のみ）、図書館情報学概論Ⅰ、Ⅱの履修を前提条件とする。また、LAN講習会を必ず受講すること。

### 【授業計画】

1. 情報検索とは
2. 抄録・索引誌
3. CD-ROM検索
4. オンライン情報検索システム
  - 4.1 JOIS
  - 4.2 シソーラス
  - 4.3 DIALOG
5. テーマ検索

### 【評価方法】

平常点、小テストと、レポート作成の総合評価。

### 【テキスト】

使用せず（プリント配布）。

## 情報検索演習Ⅱ（学術情報の探索）

松井美紀

### 【授業の概要】

学術論文を対象として、オンライン情報検索システムの活用に必要な知識と技術を習得することを目的とする。テーマ検索の実習に基づき、検索過程の把握や検索ツールの利用、および検索結果に対する評価について理解する。

当科目は、情報検索演習Ⅰ（図書館情報学科の学生のみ）、図書館情報学概論Ⅰ、Ⅱの履修を前提条件とする。また、LAN講習会を必ず受講すること。

### 【授業計画】

1. 情報検索とは
2. 抄録・索引誌
3. CD-ROM検索
4. オンライン情報検索システム
  - 4.1 JOIS
  - 4.2 シソーラス
  - 4.3 DIALOG
5. テーマ検索

### 【評価方法】

平常点、小テストと、レポート作成の総合評価。

### 【テキスト】

使用せず（プリント配布）。

## 情報検索演習Ⅱ（学術情報の探索）

櫻木貴子

### 【授業の概要】

学術論文を対象として、オンライン情報検索システムの活用に必要な知識と技術を習得することを目的とする。テーマ検索の実習に基づき、検索過程の把握や検索ツールの利用、および検索結果に対する評価について理解する。

当科目は、情報検索演習Ⅰ（図書館情報学科の学生のみ）、図書館情報学概論Ⅰ、Ⅱの履修を前提条件とする。また、LAN講習会を必ず受講すること。

### 【授業計画】

1. 情報検索とは
2. 抄録・索引誌
3. CD-ROM検索
4. オンライン情報検索システム
  - 4.1 JOIS
  - 4.2 シソーラス
  - 4.3 DIALOG
5. テーマ検索

### 【評価方法】

平常点、小テストと、レポート作成の総合評価。

### 【テキスト】

使用せず（プリント配布）。

## 情報検索演習Ⅲ（情報と文献の探索）

櫻木貴子

### 【授業の概要】

情報検索演習Ⅰ（1年次必修）および情報検索演習Ⅱ（2年次）を基礎とし、より高度な情報検索技術の習得を目標とする。

本科目で扱う情報源は、情報提供機関（図書館を含む）において利用可能なものとし、特にレファレンス業務に必要な情報源探索技能を養うため、検索対象のメディア別に特徴、機能、検索に必要な技術の紹介、実習を伴う課題解決演習を行う。

演習には情報検索室の書誌データベースと本学図書館所蔵の印刷体二次資料を併用する。

### 【授業計画】

〔演習予定の検索対象ファイル（データベースサービス）〕

1. 雑誌記事（書誌情報）検索  
MAGAZINE PLUS (NICHIGAI ASSIST)、ISA (DIALOG)、JST Plus (J Dream)、大宅壮一文庫雑誌記事索引CD-ROM版
2. 雑誌記事横断検索：DIALINDEX複数ファイル横断検索 (DIALOG)
3. シソーラスを利用した検索  
JST Plus (J Dream)、ERICファイル (DIALOG)、MEDLINE (DIALOG)
4. 引用関係を利用した検索：Social SciSearch (DIALOG)
5. 一次資料が入手可能なシステムの検索  
NACSIS-IR (NII)、OCLC ArticleFirst (OCLC FirstSearch)、PubMed (NLM/NCBI)
6. ネットワーク情報資源検索・アクセス：LISA (CSA-IDS)
7. 図書（所蔵/目次情報）検索  
Webcat (NII)、BOOKPLUS (NICHIGAI ASSIST)、WorldCat (OCLC FirstSearch)
8. 新聞記事（全文記事）検索：各種新聞ファイル（日経テレコン21）
9. 人物情報検索：人物情報横断検索 (G-Search)

### 【評価方法】

出席点、課題点、試験によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず（配付資料）。

### 【参考文献・資料】

情報と文献の探索 第3版（長澤雅男著 東京 丸善 1994 337p）  
検索演習用例題集  
（上田修一・杉江典子著 東京 日外アソシエーツ 2001 47p）



# 情報メディア基礎論 I

菅野育子

## 【授業の概要】

情報流通における情報メディアの役割について論じる。各種メディアの生産から流通までを対象に、その過程での問題点について議論し、より効果的な情報流通のための情報メディアのあり方を検討する。

## 【授業計画】

- 1 情報流通と情報メディア
- 2 学術情報の流通モデル
- 3 情報メディアの特徴と問題点
  - (1) 図書  
出版流通過程と制度  
オンライン書店、オンデマンド出版
  - (2) 雑誌  
学術雑誌の機能、査読制度  
雑誌論文の構成  
抄録作成法、引用法、  
プレプリント、e-print  
レター、editorial comment
  - (3) 新聞  
新聞の流通制度  
新聞記事の構成
  - (4) 会議資料  
学会、会議録
  - (5) 特許資料  
特許制度  
パテントファミリー、引用特許
  - (6) 規格票  
規格制度、情報関連の標準化活動
  - (7) データベース  
情報検索システムの歴史  
検索技術、シソーラス
  - (8) インターネット  
ネットワーク情報資源の特徴  
WWWの評価  
Web citation、メタデータ  
ウェブ・アーカイビング
- 4 情報流通モデルの修正
- 5 電子環境下における情報メディア

## 【評価方法】

期末試験と出席回数によって評価する。

## 【テキスト】

なし。

## 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。

# 情報メディア基礎論 I

櫻木貴子

## 【授業の概要】

情報流通における情報メディアの役割について論じる。各種メディアの生産から流通までを対象に、その過程での問題点について議論し、より効果的な情報流通のための情報メディアのあり方を検討する。

## 【授業計画】

- 1 情報流通と情報メディア
- 2 学術情報の流通モデル
- 3 情報メディアの特徴と問題点
  - (1) 図書  
出版流通過程と制度  
オンライン書店、オンデマンド出版
  - (2) 雑誌  
学術雑誌の機能、査読制度  
雑誌論文の構成  
抄録作成法、引用法、  
プレプリント、e-print  
レター、editorial comment
  - (3) 新聞  
新聞の流通制度  
新聞記事の構成
  - (4) 会議資料  
学会、会議録
  - (5) 特許資料  
特許制度  
パテントファミリー、引用特許
  - (6) 規格票  
規格制度、情報関連の標準化活動
  - (7) データベース  
情報検索システムの歴史  
検索技術、シソーラス
  - (8) インターネット  
ネットワーク情報資源の特徴  
WWWの評価  
Web citation、メタデータ  
ウェブ・アーカイビング
- 4 情報流通モデルの修正
- 5 電子環境下における情報メディア

## 【評価方法】

期末試験と出席回数によって評価する。

## 【テキスト】

なし。

## 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。

# 情報メディア基礎論 II

菅野育子

## 【授業の概要】

情報流通における情報メディアの役割について論じる。各種メディアの生産から流通までを対象に、その過程での問題点について議論し、より効果的な情報流通のための情報メディアのあり方を検討する。

## 【授業計画】

- 1 情報流通と情報メディア
- 2 学術情報の流通モデル
- 3 情報メディアの特徴と問題点
  - (1) 図書  
出版流通過程と制度  
オンライン書店、オンデマンド出版
  - (2) 雑誌  
学術雑誌の機能、査読制度  
雑誌論文の構成  
抄録作成法、引用法、  
プレプリント、e-print  
レター、editorial comment
  - (3) 新聞  
新聞の流通制度  
新聞記事の構成
  - (4) 会議資料  
学会、会議録
  - (5) 特許資料  
特許制度  
パテントファミリー、引用特許
  - (6) 規格票  
規格制度、情報関連の標準化活動
  - (7) データベース  
情報検索システムの歴史  
検索技術、シソーラス
  - (8) インターネット  
ネットワーク情報資源の特徴  
WWWの評価  
Web citation、メタデータ  
ウェブ・アーカイビング
- 4 情報流通モデルの修正
- 5 電子環境下における情報メディア

## 【評価方法】

期末試験と出席回数によって評価する。

## 【テキスト】

なし。

## 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。

# 情報メディア基礎論 II

櫻木貴子

## 【授業の概要】

情報流通における情報メディアの役割について論じる。各種メディアの生産から流通までを対象に、その過程での問題点について議論し、より効果的な情報流通のための情報メディアのあり方を検討する。

## 【授業計画】

- 1 情報流通と情報メディア
- 2 学術情報の流通モデル
- 3 情報メディアの特徴と問題点
  - (1) 図書  
出版流通過程と制度  
オンライン書店、オンデマンド出版
  - (2) 雑誌  
学術雑誌の機能、査読制度  
雑誌論文の構成  
抄録作成法、引用法、  
プレプリント、e-print  
レター、editorial comment
  - (3) 新聞  
新聞の流通制度  
新聞記事の構成
  - (4) 会議資料  
学会、会議録
  - (5) 特許資料  
特許制度  
パテントファミリー、引用特許
  - (6) 規格票  
規格制度、情報関連の標準化活動
  - (7) データベース  
情報検索システムの歴史  
検索技術、シソーラス
  - (8) インターネット  
ネットワーク情報資源の特徴  
WWWの評価  
Web citation、メタデータ  
ウェブ・アーカイビング
- 4 情報流通モデルの修正
- 5 電子環境下における情報メディア

## 【評価方法】

期末試験と出席回数によって評価する。

## 【テキスト】

なし。

## 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。



## 情報メディア論Ⅳ（人文社会情報メディア）

菅野育子

### 【授業の概要】

人文・社会科学分野における情報メディアの特徴から、学問分野における学術情報の生産と利用について検討することを目的とする。

### 【授業計画】

- 1 学問分野と情報メディア
- 2 自然科学分野と人文・社会科学分野
- 3 人文・社会情報メディア
  - 3.1 美術分野
  - 3.2 音楽分野
  - 3.3 文学
  - 3.4 ビジネス分野
  - 3.5 法律分野
  - 3.6 心理学
  - 3.7 図書館情報学
- 4 情報メディアからみた情報の生産と利用

### 【評価方法】

レポートと出席回数によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

### 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。

## 情報メディア論Ⅳ（人文社会情報メディア）

櫻木貴子

### 【授業の概要】

人文・社会科学分野における情報メディアの特徴から、学問分野における学術情報の生産と利用について検討することを目的とする。

### 【授業計画】

- 1 学問分野と情報メディア
- 2 自然科学分野と人文・社会科学分野
- 3 人文・社会情報メディア
  - 3.1 美術分野
  - 3.2 音楽分野
  - 3.3 文学
  - 3.4 ビジネス分野
  - 3.5 法律分野
  - 3.6 心理学
  - 3.7 図書館情報学
- 4 情報メディアからみた情報の生産と利用

### 【評価方法】

レポートと出席回数によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

### 【参考文献・資料】

必要に応じて資料を配布する。

## 情報メディア論Ⅴ（科学技術情報メディア）

山崎茂明

### 【授業の概要】

自然科学領域における主要な一次情報源である学術雑誌を中心に解説します。学術雑誌と科学論文についての知識は、情報サービス専門家に欠かせない知識です。学術雑誌を理解するポイントは、図書館資料としての狭い枠組みでなく、研究活動と科学コミュニケーションのなかで、その役割や問題を知ることにあります。とくに、研究者による論文生産の視点から、学術雑誌について検討します。

1. 環境としての学術情報
2. 文献情報と文献調査
3. 学術雑誌の歴史と生態
4. 総合誌、レビュー誌、レター誌
5. 日本からの英文論文発表
6. 主要海外誌への日本からの発表傾向
7. 生物医学雑誌への統一投稿規程
8. オーサーシップからみた学術論文
9. 出版倫理と利害の衝突
10. ニュースメディアと学術雑誌
11. レフェリーシステム
12. 一流誌への発表
13. インパクトファクターの批判的吟味
14. 電子メディア（データベース、一次雑誌）の現在

### 【授業計画】

講義を中心に行う。教科書はできるだけ事前に読んでもらいたい。講義内容に関係する資料を随時配付する。

### 【評価方法】

期末レポート、小レポート（授業時間内）

### 【テキスト】

論文投稿のインフォマティクス（山崎茂明著 中外医学社）

### 【参考文献・資料】

電子時代の学術雑誌（Lambert, J. 著 日本図書館協会）  
出版産業の起源と発達（Thompson, J.W. 著 出版同人）  
歴史としての学問（中山茂著 中央公論社）  
生命科学論文投稿ガイド（山崎茂明著 中外医学社）  
医学文献サーチガイド 第2版（山崎茂明著 日本医書出版協会）  
研究評価（根岸正光・山崎茂明著 丸善）

## 情報メディア論Ⅴ（科学技術情報メディア）

櫻木貴子

### 【授業の概要】

自然科学領域における主要な一次情報源である学術雑誌を中心に解説します。学術雑誌と科学論文についての知識は、情報サービス専門家に欠かせない知識です。学術雑誌を理解するポイントは、図書館資料としての狭い枠組みでなく、研究活動と科学コミュニケーションのなかで、その役割や問題を知ることにあります。とくに、研究者による論文生産の視点から、学術雑誌について検討します。

1. 環境としての学術情報
2. 文献情報と文献調査
3. 学術雑誌の歴史と生態
4. 総合誌、レビュー誌、レター誌
5. 日本からの英文論文発表
6. 主要海外誌への日本からの発表傾向
7. 生物医学雑誌への統一投稿規程
8. オーサーシップからみた学術論文
9. 出版倫理と利害の衝突
10. ニュースメディアと学術雑誌
11. レフェリーシステム
12. 一流誌への発表
13. インパクトファクターの批判的吟味
14. 電子メディア（データベース、一次雑誌）の現在

### 【授業計画】

講義を中心に行う。教科書はできるだけ事前に読んでもらいたい。講義内容に関係する資料を随時配付する。

### 【評価方法】

期末レポート、小レポート（授業時間内）

### 【テキスト】

使用せず（配付資料）。

### 【参考文献・資料】

電子時代の学術雑誌（Lambert, J. 著 日本図書館協会）  
出版産業の起源と発達（Thompson, J.W. 著 出版同人）  
歴史としての学問（中山茂著 中央公論社）  
生命科学論文投稿ガイド（山崎茂明著 中外医学社）  
医学文献サーチガイド 第2版（山崎茂明著 日本医書出版協会）  
研究評価（根岸正光・山崎茂明著 丸善）



## 資料組織論

伊藤真理

### 【授業の概要】

情報の組織化に関する理論と概念について理解することを目的とする。様々な情報資源を念頭において、資料組織業務の標準化と統一化の流れを把握し、目録の機能を理解することを目指す。

目録に関する用語と、英米目録規則、日本目録規則、主要な分類表および主題件名標目表を網羅する。

### 【授業計画】

- 第1回 情報の組織化
- 第2回 目録
- 第3回 書誌コントロール
- 第4回 書誌ユーティリティ
- 第5回 目録規則の標準化、統一
- 第6回 記述目録と主題目録
- 第7回 記述目録(1) AACR 2r, NCR
- 第8回 記述目録(2) アクセス・ポイントの選定; 標目形
- 第9回 記述目録(3) 典拠コントロール
- 第10回 主題目録(1) 概要
- 第11回 主題目録(2) 主要分類法
- 第12回 主題目録(3) 主要件名標目表
- 第13回 MARC
- 第14回 メタデータ

### 【評価方法】

平常点、試験

### 【テキスト】

初回時にテキスト配布。

## 資料組織演習

岡澤和世 菅野育子

### 【授業の概要】

資料組織論で学んだ理論について、実習を通してより深い理解と習得することを目的とする。

講義内容は、記述目録法と主題目録法の2部から成り、オムニバス形式で授業を進める。主題目録法では日本十進分類法や基本件名標目表などを取り上げ、記述目録については、国際的な標準規則として認められている英米目録規則を用いる。主に図書資料を対象として、書誌レコードを作成する。

本科目の履修については、「資料組織論」の履修を条件とする。

### 【授業計画】

- ・目録作業の概要
- ・主題目録法
  - 分類: NDC
  - 主題件名標目表: BSH
- ・記述目録法
  - ISBD
  - アクセス・ポイント
  - 標目形
- ・MARCについて

### 【評価方法】

出席、実習およびレポート提出

### 【テキスト】

「資料組織論」で配布したテキストを使用

## 資料組織演習

伊藤真理

### 【授業の概要】

資料組織論で学んだ理論について、演習を通してより深い理解と習得を目的とする。

講義内容は、記述目録法と主題目録法の2部から成り、オムニバス形式で授業を進める。

記述目録では、目録規則の適用について学ぶ。カード目録作成により、ISBDや記述目録の基本を理解し、オンライン目録の実習を通して、書誌ユーティリティを利用したオンライン目録作業について理解を深める。主題目録法では日本十進分類法、国際十進分類法、基本件名標目表などを取り上げる。主に図書資料を対象として、書誌レコードを作成する。

本科目の履修については、「資料組織論」の履修を条件とする。

### 【授業計画】

- ・目録作業の概要
- ・主題目録法
  - 分類: NDC
  - 主題件名標目表: BSH
- ・記述目録法
  - ISBD
  - カード目録
  - オンライン目録
  - アクセス・ポイント
  - 典拠コントロール

### 【評価方法】

出席、実習およびレポート提出

### 【テキスト】

「資料組織論」で配布したテキストを使用

## 資料組織演習

田中敦司

### 【授業の概要】

資料組織論で学んだ理論について、演習を通してより深い理解と技術の習得を目的とする。

講義内容は、資料目録法と資料分類法を中心とし、それぞれについて実例に即して実習する形式とする。

資料目録法では、目録規則の適用について、NCRを中心に学ぶ。カード目録作成により、目録の基本を理解し、オンライン目録を通して、書誌ユーティリティを利用したオンライン目録作業について理解を深める。また、資料分類法では、日本十進分類法、基本件名表目表を取り上げる。主に図書資料を対象として、書誌レコードを作成する。

図書館の現場では、コピーカATALOGINGの機会が大半であるが、まったく修正せずに使用できるデータは限られている。利用のための資料組織ができることを目指して、演習を行う。

本科目の履修については、「資料組織論」の履修を条件とする。

### 【授業計画】

- ・目録作業の概要
- ・資料分類法
  - 分類: NDC
  - 主題件名標目表: BSH
- ・資料目録法
  - カード目録
  - オンライン目録
  - ISBD
  - アクセス・ポイント
  - 典拠コントロール

### 【評価方法】

出席状況、提出したレポート、最後に行う試験を総合して評価。

### 【テキスト】

「資料組織論」で配布したテキストを使用

### 【参考文献・資料】

資料組織演習 新訂版(吉田憲一編著 日本図書館協会)



## 資料組織演習

櫻木貴子

### 【授業の概要】

資料組織論で学んだ理論について、演習を通してより深い理解と習得を目的とする。

講義内容は、記述目録法と主題目録法の2部から成り、オムニバス形式で授業を進める。

記述目録では、目録規則の適用について学ぶ。カード目録作成により、ISBDや記述目録の基本を理解し、オンライン目録の実習を通して、書誌ユーティリティを利用したオンライン目録作業について理解を深める。主題目録法では日本十進分類法、国際十進分類法、基本件名標目表などを取り上げる。主に図書資料を対象として、書誌レコードを作成する。

本科目の履修については、「資料組織論」の履修を条件とする。

### 【授業計画】

- ・目録作業の概要
- ・主題目録法
  - 分類：NDC
  - 主題件名標目表：BSH
- ・記述目録法
  - ISBD
  - カード目録
  - オンライン目録
  - アクセス・ポイント
  - 典拠コントロール

### 【評価方法】

出席、実習およびレポート提出

### 【テキスト】

「資料組織論」で配布したテキストを使用

## 情報学Ⅲ（図書館と情報検索の歴史）

村主朋英

### 【授業の概要】

図書館情報サービスと知識の組織化過程の発達を中心に、図書館情報学分野に関わる歴史を概観する。〈人類の情報環境の発達過程を概観する〉というコンセプトを掲げ、とくに〈情報・知識の伝達・継承のために人類がどのような活動を行ってきたか〉という問題を軸に探求する。

具体的には、まず環境要因となるメディア技術（情報・通信技術）の発達過程を概観し、つぎに情報流通の制度・機構（情報サービス機関や情報専門職など）、および情報の蓄積・検索の技術・技法が整備されていった過程を詳述する。それらも、人類にとって一種の環境要因である。その上で、そうした環境要因と人間との関わりによって生ずる現象（とくに情報の社会的蓄積・継承）を論ずる。

Ⅲでは、古代から中世までを対象とし、Ⅳに引き継ぐ。

### 【授業計画】

1. 古代文明のメディアと情報・知識
2. ギリシア・ローマにおける進展
3. 中世の学術と書物・図書館
4. 印刷革命

### 【評価方法】

定期試験 ※穴埋め・訂正問題、論述問題

### 【テキスト】

歴史のなかの科学コミュニケーション（勁草書房 税別定価3,800円）  
図書館情報学用語辞典（丸善 税別定価3,800円）

## 図書館学特殊Ⅲ（児童サービス論）

福永智子

### 【授業の概要】

図書館における児童サービスの理論と実際について、基礎的理解を図る。具体的には、日本の読書推進政策の現状を踏まえ、児童用資料の特性、利用者としての児童の特性、公立図書館・学校図書館における児童サービスおよび、図書館の周辺領域における児童へのサービスについても広くとりあげる。

### 【授業計画】

1. 公立図書館の児童サービス
  - (1) 児童サービスの法的基盤
  - (2) 児童図書館員の役割と専門性
  - (3) サービス対象としての児童：読書興味の発達段階
  - (4) 児童用資料の特性とコレクション構築の実際
  - (5) 児童サービスの企画と運営、施設・設備
  - (6) 周辺領域：子ども文庫活動、ブックスタート活動
2. 学校図書館と情報活用能力の育成
  - (7) 戦後教育改革と学校図書館の制度化
  - (8) 1997年の学校図書館法改正と「人」の問題
  - (9) 情報センター、学習センター、読書センター機能
  - (10) 学校図書館における図書館利用教育のガイドライン
3. 公立図書館と学校図書館の協力体制
  - (11) 異館種間ネットワーク構築の原理
  - (12) 地方自治体における先進事例の紹介
4. 試験 (13)

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって、総合的に評価する。

### 【テキスト】

児童サービス論（堀川照代編著 日本図書館協会）

### 【参考文献・資料】

児童サービス論（佐藤涼子編 教育史料出版会）  
学校図書館論 補訂版（塩見昇編 教育史料出版会）

## 情報学Ⅳ（図書館と情報検索の歴史）

村主朋英

### 【授業の概要】

図書館情報サービスと知識の組織化過程の発達を中心に、図書館情報学分野に関わる歴史を概観する。Ⅳでは、Ⅲの知見を踏まえた上で、近・現代を対象とする。

### 【授業計画】

1. 印刷のもたらした近代
  - 学術情報流通システムの成立/新聞と雑誌/読書大衆
2. 図書館の世紀
3. 書誌とドキュメンテーション
4. 情報メディア技術の発達
5. 20世紀の情報流通システムと情報検索
6. 図書館学と情報学
7. 未来を求めて：Vannevar BushのMemex構想をもとに

### 【評価方法】

定期試験 ※穴埋め・訂正問題、論述問題

### 【テキスト】

歴史のなかの科学コミュニケーション（勁草書房 税別定価3,800円）  
図書館情報学用語辞典（丸善 税別定価3,800円）



## 個人コミュニケーション論 I (認知心理学)

岩原昭彦

### 【授業の概要】

見る、聞く、話す、覚える、考えるなどの知的機能を総称して認知という。認知心理学では、人間を高次元情報処理体として見なし、情報の入力と出力との間に生じるさまざまな認知的過程を実験とシミュレーションにより理論化している。本講義では、人間の記憶活動と言語活動がどのように営まれているのかを明らかにするとともに、それらの活動を支える基盤が、脳の中でどのように組織化されているのかについても検討する。また、講義を通じて、我々が日常生活の中で体験する不思議な現象を認知心理学的に説明していきたい。

### 【授業計画】

1. サプリメンタル・パーセプション
2. 沈黙の手がかり
3. 意識できない知識
4. 健忘症患者の隠された能力
5. なぜ、ずっと覚えていられないのか
6. 記憶の混乱と偽りの記憶
7. 嫌な出来事が忘れられない
8. 言葉と心
9. 言葉の働き
10. 言葉が失われるとき
11. 言葉が意識を生む
12. 自己意識の起源にせまる

### 【評価方法】

期末試験と授業中に実施する実験・調査への参加回数。

### 【テキスト】

使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

### 【参考文献・資料】

適宜紹介する。

## 情報メディア論 I (マルチメディア)

松井美紀

### 【授業の概要】

現代社会ではあらゆる組織においてコンピュータ等情報機器が不可欠のツールとなっている。これら情報機器を使いこなすことにより、情報のより効果的な利用が可能となる。

この授業では、情報メディア・情報機器に関する基礎的なことを解説する。また、情報技術について図書館・情報サービスにおける導入・活用の実例を示しながら解説する。

情報技術活用のための基礎を身につけることを目標とする。

### 【授業計画】

- 1) ガイダンス：授業の目的、方法、授業計画について説明
- 2) メディアとは何か
- 3) 情報機器の発展経緯と種類、機能
- 4) 情報メディアの発展経緯と特性
- 5) 視聴覚メディアの種類と特性
- 6) コンピュータの基本的な仕組み
- 7) 図書館の機械化
- 8) データベースと情報検索
- 9) メディアの多様化と情報技術
- 10) インターネットについての基礎知識
- 11) インターネットによる情報発信
- 12) 電子情報と知的所有権

### 【評価方法】

(1) 出席状況 (2) 定期試験 (またはレポート)  
以上の結果により評価を行う。

### 【テキスト】

授業時に提示する。

## 情報メディア論 I (マルチメディア)

三和義秀

### 【授業の概要】

社会、教育現場における情報機器の発展経緯、種類、機能、ならびに情報メディアの発達と変化について論じながら、情報メディアの特性、視聴覚メディア、図形処理と画像処理を中心とするソフトウェア、インターネットとシミュレーションに係るツールの活用方法、情報メディアと情報通信(ネットワーク)技術やマルチメディアとの関係について考察する。また、技術的な側面として、インターネットでの情報の検索手法、ハイパーテキスト・システムの本質的問題、およびその設計・開発手法についても触れていく。

### 【授業計画】

- 1) ガイダンス：授業の目的、方法、授業計画について説明
- 2) メディアとは何か
- 3) 情報機器の発展経緯と種類、機能
- 4) 情報メディアの発展経緯と特性
- 5) 視聴覚メディアの種類と特性
- 6) 図形・画像処理とソフトウェア
- 7) 情報通信とメディア
- 8) マルチメディアと情報通信技術
- 9) ネットワーク技術とインターネット
- 10) 放送の高度化とマルチメディア
- 11) 通信の高度化とマルチメディア
- 12) インターネットとシミュレーション
- 13) インターネットでの情報の検索手法
- 14) ハイパーテキストの仕組みと本質的問題
- 15) ハイパーテキスト・システムの作成手法

### 【評価方法】

出席回数、レポート、および定期試験により評価を行う。

### 【テキスト】

授業時に提示する。



## 博物館概論

長谷川 銑治

### 【授業の概要】

博物館とは何か、発達の歴史をたどり、世界と日本の博物館を概観する。

### 【授業計画】

- ア はじめに…博物館学とは何かなど学習の基礎を説明する。
- イ 博物館の定義…ICOMの定義、博物館法の定義を中心に考えていく。
- ウ 博物館の始原…博物館の始原をたずねてみる。
- エ 博物館の萌芽…ルネサンス期からの博物館的な施設の形を探る。
- オ 近代博物館の発端Ⅰ…王権の誇示としての財宝の展示から考える。
- カ 近代博物館の発端Ⅱ…市民への公開がなされていく過程を考える。
- キ ヨーロッパの博物館…近世からの主要な博物館を例にとり、特徴をまとめる。
- ク アメリカの博物館…合衆国独立から現代までの特徴を探る。
- ケ 博物館の新しい波…企業博物館、エコ・ミュージアム、テーマ・パークなど新しい動きをひろってみる。
- コ 日本の博物館…日本の博物館の歴史を概観する。
  - ・幕末から明治期にかけての博物館の発端
  - ・国威の宣揚と博物館
  - ・通俗教育による教化と博物館
  - ・十五年戦争と博物館

### 【評価方法】

- ・数回にわたるテストとレポートの提出で評価する。
- ・出席率も重要な評価対象である。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川 銑治 戸谷印刷）

## 博物館学各論Ⅰ

長谷川 銑治

### 【授業の概要】

博物館について、学芸員資格にかかわる基本的事項を学習する。

### 【授業計画】

- ア 博物館の機能…生涯学習のための施設の一つと定義されていることを念頭におき考える。
- イ 博物館の分類…分類わけをとおして、博物館の役割やあり方を考えていく。
- ウ 博物館の組織…公立博物館を例にとり、典型的な組織をみていく。
- エ 博物館の運営…名古屋市博物館を例にとり、運営の実際を知る。
- オ 学芸員考…学芸員の実態などに焦点をあて、「学芸員」はいかにあるべきかを考える。
- カ 予算など…博物館のマネージメントについて考える。
- キ 博物館の施設・設備…設置基準をもとに施設・設備についてみる。
- ク 博物館と情報…情報化社会の発展、情報技術の進歩と博物館のあり方を探ってみる。
- ケ 博物館の協力…大学・研究機関などとの連携についても考える。
- コ 文化財の保護…わが国の文化財保護の現状と問題点について考察する。あわせて世界遺産についても考える。

### 【評価方法】

- ・数回にわたるテストとレポートの提出で評価する。
- ・出席率は重要な評価対象である。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川 銑治 戸谷印刷）

## 博物館概論

早川 正一

### 【授業の概要】

「博物館概論」とは、愛知淑徳大学が文部省（現在の文科省）の認可のもとに、学芸員と呼ぶ博物館や美術館に不可欠な専門職員になるため、基礎知識をカリキュラムを通じて取得させる基幹の学科目である。したがって、この養成課程の当初に受講させるので真剣に取り組まないと脱落しかねない。充分な心構えが肝要である。

次のような単元のもとに講義を展開してゆく予定である。

### 【授業計画】

博物館や美術館の基本概念と必要性  
専門職員としての「学芸員」とは何か  
博物館と美術館の発達とその時代背景  
博物館と呼ぶ施設の機能と多様性  
博物館の分類と現代性  
博物館の日常的な組織と運営の局面への学芸員のかかわり方、そして館外活動への配慮  
博物館の相互協力と情報の活用

毎時間、入念にノートさせる。コピーは許さない。  
無用な欠席は不合格につながるので、注意されたい。

長谷川 銑治『博物館学論考』（1995）をはじめ、大学図書館に所蔵の関連文献を通読しておくこと。

### 【評価方法】

学期末の筆記試験をはじめ、毎時間の出席状況、受講態度などで総合評価する。資格認定のため厳格である。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川 銑治 戸谷印刷）を参照することをすすめる。

## 博物館学各論Ⅰ

早川 正一

### 【授業の概要】

愛知淑徳大学の学芸員課程委員会が計画したカリキュラムに準拠し、前段階の「博物館概論」を修得した学生に受講させる。したがって、この講義も基幹をなす学科目であるから、年次計画を考慮し、真面目に受講しないと、資格取得につながらないので、注意が肝要である。

### 【授業計画】

次の単元を土台として講義を展開する予定である。  
博物館や美術館の展示と陳列構造  
博物館がとり扱う資料の収集と保存  
博物館と所属する学芸員のおこなう調査と研究  
博物館や美術館のおこなう普及活動と教育  
文化財の種類と保護にかかわる諸問題  
生涯学習の必要性和博物館の関連事業

毎時間、入念にノートさせる。コピーは許さない。  
無用な欠席は不合格につながるので、注意してほしい。

博物館学論考（長谷川 銑治 1995）をはじめ、大学図書館に所蔵の関連文献を通読しておくこと。

### 【評価方法】

本学の学長の名において資格を認定する以上、定期試験を厳格に実施し、出席状況や受講態度を含めて総合評価する。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川 銑治 戸谷印刷）を参照することをすすめる。



## 博物館学各論Ⅱ

長谷川 銑治

### 【授業の概要】

博物館資料とは何かの定義づけからはじめ、資料の取扱い方を含めて学習する。また、博物館の調査・研究についても考える。

### 【授業計画】

- ア 博物館の資料…「物」が博物館資料と位置づけられるのはどのようなことかを考える。
- イ 博物館資料の実際…資料について実技を含めて具体的に学ぶ。
  - 1 資料の収集
  - 2 資料の取扱い
    - ・掛軸
    - ・古文書 ・和装本
    - ・やきもの ・茶碗
    - ・瓦など
  - 3 資料の整理・保存
  - 4 資料の保全
- ウ 資料情報の管理…資料情報の管理についてその実際を探る。
- エ 調査・研究…博物館における調査と研究、成果の公表について考える。

### 【評価方法】

- ・数回にわたるテストとレポートの提出で評価する。
- ・出席率も重要な評価対象である。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川 銑治 戸谷印刷）

## 博物館学各論Ⅱ

川合 剛

### 【授業の概要】

博物館は「もの（物）」「ひと（人）」「ば（場）」の3つの要素で構成される。この授業では、そのうちの「もの」＝博物館資料に焦点をあて、博物館活動の中での役割を考える。博物館資料の定義、収集、整理分類、保管保存、調査研究そして実際の取扱い方について、基礎的な知識と技術を学ぶ。

### 【授業計画】

- 履修学生が、手を動かし、自分で考える「実技」の時間をできるだけ多くとる。
- (a) 博物館と博物館資料
  - (b) 資料を記録する技術  
拓本・実測・写真など。
  - (c) 資料を扱う技術  
掛け軸・卷子・和本・陶磁器・考古資料など。
  - (d) 資料を保管・保存する技術  
ドキュメンテーション・保存科学など。
  - (e) 博物館と調査・研究

### 【評価方法】

実技を行う。出席および授業に臨む姿勢を重視する。あわせて、レポートなどの課題、(時間内の)小テストの結果も勘案する。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川 銑治 戸谷印刷）

### 【参考文献・資料】

随時プリントを配布し、参考文献・論文などを紹介する。

## 博物館学各論Ⅱ

秋元悦子

### 【授業の概要】

博物館の活動の基礎は「資料」にあり、それを有効活用することではじめて博物館と言えよう。本講座では、その収集・取り扱い・整理・保存・活用について具体的事例や実習を取り入れながら学んでいく。

### 【授業計画】

1. 博物館資料とは……「博物館資料」とは、何を指すか、理念およびその具体的種類を知る。
2. 資料収集……資料の収集に際しての、収集方針の重要性、収集方法の事例を学ぶ。
3. 資料の取り扱い……基本資料の取り扱いを実習し、習得するとともに、その構造を知り展示方法等も学ぶ。  
やきもの、和装・卷子本、掛け軸その他で実習する。
4. 資料整理……資料の整理について、分類方法やその整理登録方法を考え、資料カードの作成を実習する。
5. 資料情報……整理された資料の情報、二次的資料の情報の管理運営について考える。
6. 資料保管……資料の保管に関しての、保存条件や方法、問題点などを学ぶ。
7. 資料活用……資料を活用した調査研究活動の実際とその意義を知る。  
また、4年次の「博物館実習」に備えた情報や、館務実習の準備について説明する。

### 【評価方法】

出席、実習態度、レポートおよび小テストで評価する。

### 【テキスト】

博物館学概説（長谷川 銑治 戸谷印刷）

必要に応じてプリントを配布し、ビデオ・スライド等も利用する。

## 博物館実習

長谷川 銑治

### 【授業の概要】

学芸員の基本的な役割について、講義、展示演習、博物館見学、館務実習などを通して、実践的に学習する。

### 【授業計画】

- ア 展示論……展示についての学問的側面、実際の運びなどをみていく。
  - 1 展示とは
  - 2 展示のポイント
    - ・動線 ・視線 ・照明 ・温度 ・湿度
  - 3 展示の施設
  - 4 展示のプロセス
  - 5 展示と保全
- イ 普及・教育論……生涯学習が重要課題となっている現代社会にあつて、博物館が果たす役割はどんなものかを探っていく。
- ウ 博物館見学……土・日曜日に展覧会や施設の見学に出かける。
- エ 館務実習……夏休み中に各博物館に依頼して館務実習を行う。
- オ 海外特別実習……夏休み中に希望者と海外の博物館に出かけ学習する。
- カ 県外実習……エ、オに参加できない者は、9月に県外へ見学に出かける。

### 【評価方法】

- ・実習はもちろん、学外での研修にはかならず参加し、それぞれレポートを提出する。
- ・その都度、提出させるレポートを中心に実習態度なども勘案して評価する。

### 【テキスト】

博物館学概論（長谷川 銑治 戸谷印刷）



## 博物館実習

秋元悦子

### 【授業の概要】

学芸員資格を取得するにあたって、展示演習、博物館見学、博物館実習を中核に、具体的な学芸員活動を様々な観点から学習する。

### 【授業計画】

1. 展示とは……展示という手法について、その実際と未来像を考える。
2. 展示の実際……計画から、手法、条件などの展示の実際の概要を具体的事例をふまえながら、学んでゆく。
3. 展示にかかわる事業……展示をとりまく、様々な事業（解説、広報、印刷物、講座など）の存在を知る。
4. 展示の実習……各自で模擬展示の計画書を作成し、展示方法やその活用法を実習する。
5. 展示と教育普及事業……展示を通じての生涯学習機関として、博物館の今後をになう役割と未来を探る。

授業以外に、

- 土曜日に、博物館の展示・施設見学を行う。
- 夏休み中に、各博物館に依頼し館務実習を行う。

### 【評価方法】

授業および学外での研修の出席・レポート、模擬展示の口頭発表およびその計画書で評価する。

### 【テキスト】

博物館学概論（長谷川銕治 戸谷印刷）

必要に応じてプリントを配布し、ビデオ・スライド等も利用する。

## 生涯学習概論

羽場俊秀

### 【授業の概要】

現代社会は、情報化、高齢化、生命・健康、環境などの分野において様々な問題に直面している。また、価値観の多様化に対する寛容さが以前にもまして必要とされる時代になってきている。

このような状況下において、諸問題を解決し、人々が主体的に生活していくためには学校だけでなく、広く社会において絶えず学び続けることが大切である。生涯学習に広がりや深まりが求められるゆえんがそこにある。この講義では、生涯学習の原理、実践等について具体的な事例をもとに考察する。

### 【授業計画】

- 1-3. 生涯学習理念の成立と発展
- 4-7. 生涯学習実践の課題
- 8-11. 生涯学習と社会
- 12-13. 生涯学習と人間
- 14-15. 総括

### 【評価方法】

おもに期末試験（筆記）により評価するが、開講中にレポートを課した場合はこれを評価に加味する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。授業中に参考文献を適宜紹介する。

### 【参考文献・資料】

なし

## 博物館実習

松村冬樹

### 【授業の概要】

「展示」は博物館における「顔」とも評されるが、最高の広報普及活動でもある。この授業では、さまざまな施設の見学を含め、「展示」の知識と実践を学ぶ。

### 【授業計画】

「展示」を疑似体験できるよう「実技」の時間をできるだけ多くとる。適宜、プリントを配付する。

- (a) 「展示」とは
- (b) 展示のプロセス
- (c) 展示の実際（仮想展覧会企画）
- (d) 展示と解説
- (e) 印刷物（ポスター、ビラ、図録）
- (f) まとめ

\*1 土曜日に近隣の博物館の展示見学、施設見学を行う（年5～6回程度）。

\*2 夏休み中に各博物館に依頼し、館務実習を行う。

\*3 夏休み中に海外博物館見学の研修を行う。

※ \*2、\*3に参加しなかった者は、県外博物館の見学を行う。

### 【評価方法】

出席状況は重視する。意欲や、館務実習では必要な社会常識も評価の対象とする。

### 【テキスト】

博物館学概論（長谷川銕治 戸谷印刷）

## 生涯学習概論

古野有隣

### 【授業の概要】

生涯学習という言葉は最近かなり知名度が高くなってきているが、その意味や意義については必ずしも正確に理解されているとはかぎらない。

この講義では生涯学習の意味するところを、その理念の提唱時からの推移の説明をまじえて、理解を深めることをねらいとしたい。また、先の長い人生を持っている自分にとって生涯学習とは何なのかを考える契機となればとも思っている。

1. 生涯教育の理念～推移を含めて～  
ユネスコ以降わが国における推移  
生涯教育のめざすもの  
生涯教育と生涯学習の関係
2. 生涯教育と社会教育・学校教育との関係  
生涯教育と社会教育  
生涯教育と学校教育
3. 社会教育の内容・方法・形態  
行政社会教育の主要領域  
社会教育の内容・方法・形態
4. 生涯学習関連施設の現状と展望  
生涯学習関連施設の範囲  
社会教育施設の種類と現状
5. 生涯学習指導者  
生涯学習指導者の範囲  
生涯学習指導者の役割

### 【授業計画】

講義。

### 【評価方法】

テスト。

### 【テキスト】

資料集（予価500円）を開始時に頒布。



## 視聴覚教育メディア論

東浦信博

### 【授業の概要】

「学芸員のための」を前提としながらも幅広く視聴覚教育メディア全般の特性を検討し、最近のマルチメディアまでの各視聴覚教育メディアを論ずる。

### 【授業計画】

1. 視聴覚教育の意義と効果
2. 博物館と視聴覚教育メディア（手段としてのメディア、目的物としてのメディア）
3. 視聴覚教育メディア各論  
領域と種類  
録音メディア（レコード・テープ・CD等）  
映像メディア1（スライド・OHP等）  
映像メディア2（映画・ビデオ等）  
マルチメディアと情報ネットワーク  
講義中心であるが、OHP、ビデオを多用する。

### 【評価方法】

論述式定期試験（テキスト・ノート持込み可）。

### 【テキスト】

視聴覚メディアと教育（樹村房 ¥1,800+税）

## 教育学概論

羽場俊秀

### 【授業の概要】

教育学の基本的な知識や概念の修得とそれに基づく具体的な諸問題についての考察を進めていくことにする。とりわけ、人間の社会生活と教育との関連に力点をおいて、本来の教育の意義や望ましい教育の作用を明らかにするように努めていくことにする。その際、取り上げる題材としてプリントやVTRを使用して理解を深めていきたい。

### 【授業計画】

- 1-3. 教育学の概念
- 4-6. 教育学の歴史
- 7-9. 教育学の課題
- 10-12. 学校と教育
- 13-14. 社会と教育
15. 総括

### 【評価方法】

おもに期末試験（筆記）により評価するが、開講中にレポートを課した場合はこれを評価に加味する。

### 【テキスト】

テキストとしては使用しない。授業中に参考文献を適宜紹介する。

### 【参考文献・資料】

なし

## 民俗学

谷沢 明

### 【授業の概要】

なにげなくくりかえしている日々の暮らしの中に、古い生活の投影がある。現代人の物の見方、考え方の中にも、伝統的な生活文化が反映している。民俗学においては、日本人はいかなる文化をつくりあげて今日にいたったかを、民衆の立場にたち、民衆の生活の中から、社会・経済・儀礼・信仰などの伝承をとおして具体的にみつめていきたい。また、古いものが今日の暮らしの中にどのように残存しているか、新しく変わった部分はどこで、何が新しくさせていく力になったかも考えてみたい。

### 【授業計画】

1. 民俗学を学ぶ～方法論と調査研究法～
2. 稲作と日本文化～伝統的文化のとらえかた～
3. 農耕儀礼～田遊びを中心に～
4. 年中行事～正月行事を中心に～
5. 年中行事～盆行事を中心に～
6. 人生儀礼～人生の折りにあたって～
7. 暮らしの中の習俗～海に生きる人々～
8. 暮らしの中の習俗～山に生きる人々～
9. 庶民信仰を探る～絵馬に託された願い～
10. 庶民信仰を探る～庚申信仰～
11. 日本民俗学のあゆみ～柳田國男の役割～
12. 日本民俗学のあゆみ～宮本常一のまなざし～  
学外教育としてフィールドワークを行う。

### 【評価方法】

中間レポート及び授業内小テスト・試験による

### 【テキスト】

フィールドワークで探る民俗と地域文化

## 美術史

角田美奈子

### 【授業の概要】

日本の美術の歴史にはたくさんの不思議があります。例えば、今、私たちが美術館で目にする「絵画」が、「日本画」と「洋画」に区別して紹介されていたりするのはどうしてでしょう。また、それはいつからのことでしょうか。

このような不思議を手がかりに日本の美術の歴史をたどり、理解を深めるとともに、作品鑑賞を豊かにする視点や問題意識を育みます。

必要にあわせて東洋や西洋の美術の歴史も参照します。

### 【授業計画】

ワーク・シートを配布し、設問に答えるところから全体の授業をはじめます。

不思議を授業を通して発見する。

講義は、不思議の背景などを説明し、また新たな不思議を見出すはたらきかけとします。

解説プリント、ワーク・シート、感想・質問・要望などを記すフィードバック・シートを適宜配布する。

### 【評価方法】

ワーク・シートやフィードバック・シートを回収し、出欠の確認に代るとともに、内容を評価する。

これらを使用しないときは、出欠を確認し、評価に反映させる。

授業で自分の考えや答えを発表してもらう。授業に参加する姿勢もあわせて評価する。

内容の評価には、回答の正しさを必ずしも求めない。取り組みの姿勢や理解の深まりなども評価の対象とする。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

必要により、授業で紹介する。



## 【授業の概要】

本講義では、古来日本に多くの影響を与えてきた中国の古代文化について、理解を深めることを目的とする。文化を理解するためには、その環境の理解が不可欠であるため、自然地理の知識から学び、人間と自然環境の関係を考慮しながら進めたい。また、関連する考古資料・歴史文献・古地図等の様々な資料を知るとともに、その所在や利用法等も学ぶ。授業では、必要に応じて文献講読（漢文資料）や地図分析作業も行う。

## 【授業計画】

1. 中国および日本の自然地理と古代文化  
日本も含む基本的な自然地理について理解し、古代の自然を考察する。
2. 中国古代都市の立地と遺跡  
中国の古代都市は時代により様々な位置に置かれた。各都市の遺跡を確認しながら、その立地を考察する。
3. 文献にみる中国古代の様相  
歴史文献を通じて古代中国の各地域に関する思想を知る。『尚書』禹貢篇、『漢書』地理志等を講読。
4. 地図にみる中国古代の様相  
現代に伝わる古地図や近代地形図の残存状況を知り、内容を理解する。
5. 遺物にみる中国古代の様相  
近年の考古学的発掘による大量の遺物が知られるが、その研究状況をj知る。
6. 現代科学にみる中国古代の様相  
現代の科学分析による歴史研究の状況と、その方法について知る。

## 【評価方法】

おもに期末試験（筆記）により評価する。（毎回出欠調査する。欠席回数が多い場合は受験資格を失う。）期中にレポートを提出させた場合は、これを成績評価に反映させる。

## 【テキスト】

テキストとしては使用しない。

## 【参考文献・資料】

世界の歴史と文化 中国（陳舜臣・尾崎秀樹監修 新潮社）

## 【授業の概要】

考古学は、遺跡・遺物をもとに人間の営んできた歴史を明らかにする学問である。その研究方法には、層位学や型式学、分類学などの科学的方法論がとられ、人文科学の中でもとりわけ自然科学との結びつきが強い学問でもある。そうした学問の基本を学び、考古学が明らかにしてきた日本の歴史の一面を把握する。特に、全国各地で行われている遺跡の発掘調査によって、知られるようになった最近の新しい遺構、遺物を紹介し、学際的な研究の進展を学ぶ。また遺跡調査への関心を高め、文化財の保護という現代的課題についても考える。現代に生きる我々がどういう社会を築くかを、歴史の中から学ぶ際に、考古学の果たす役割と受け継ぐべき文化遺産の重要性を認識する。

まず、考古学の研究方法を学び、世界の考古学研究の発展過程を眺める。次に日本の旧石器時代から近世に至る、日本考古学の研究成果を把握する。なかでも原始・古代遺跡における最近の新発見や社会構造の捉え方の変化、中世から近世の城館や都市遺跡の発掘調査から判明してきた当時の生活様式などに理解を深める。また日本考古学の研究対象が近世・近代にまで広がっていることを認識するとともに、遺跡や遺物の文化財としての保存の必要性和その活用方法についても考える。

## 【授業計画】

各時代毎の解説の後、スライド・OHPなどにより視覚的に確認し、次の時代に進む。新聞記事等最近のニュースも逐次取り入れる。研究史から始め、日本の考古学研究の現在や遺跡保存の歩みなどを序章から第IV章までの5章にて構成し、13項の講義を行う。

## 【評価方法】

講義内容から出題するテスト。集中授業での欠席 1/3 を越えたものは受験資格を失う。

## 【テキスト】

印刷物をテキストとして配布する。



## ドイツ語Ⅰ

濱田義孝

### 【授業の概要】

ドイツ語の基礎を習得する。

ドイツ語は英語と同じく西ゲルマン語から出た言語で類似点も多いが、英語に比べてかなり保守的で、面倒な語形変化などがある。しかし一見やっかいそうな文法もいったん慣れてしまえば、かえって語句の関係が明確であり構文の把握も容易になる。

言葉は何よりもまず音声であるから、初めにドイツ語の発音に慣れること。そのためには教師（またはテープ）のドイツ語をよく聞いて、積極的に口を動かして真似ること。こうして繰り返し反復練習することによって、基本的なドイツ語の語句や言い回しになじみ、やさしい文を覚えていけば、週一回という短時間の学習でも、ドイツ語の基礎をマスターできるでしょう。

またドイツ語の学習を通してドイツやオーストリアの生活と文化に触れることもできる。

### 【授業計画】

テキストは全12課で、各課ともドイツ語の会話と基本的な文法事項、練習問題から構成されている。LL方式のパターン練習で基本構文や表現パターンを覚え、それをペアで行なう対話練習で実践し、段階的に表現能力を身に付けてゆく。

1課を2回の授業で修了するくらいのゆっくりしたペースで進む。

### 【評価方法】

授業での平常点と期末試験の成績を総合して評価する。

### 【テキスト】

コミュニケーションのためのドイツ語（在間・田畑共著 第三書房）

## ドイツ語Ⅱ

濱田義孝

### 【授業の概要】

ドイツ語の基礎を習得する。

ドイツ語は英語と同じく西ゲルマン語から出た言語で類似点も多いが、英語に比べてかなり保守的で、面倒な語形変化などがある。しかし一見やっかいそうな文法もいったん慣れてしまえば、かえって語句の関係が明確であり構文の把握も容易になる。

言葉は何よりもまず音声であるから、初めにドイツ語の発音に慣れること。そのためには教師（またはテープ）のドイツ語をよく聞いて、積極的に口を動かして真似ること。こうして繰り返し反復練習することによって、基本的なドイツ語の語句や言い回しになじみ、やさしい文を覚えていけば、週一回という短時間の学習でも、ドイツ語の基礎をマスターできるでしょう。

またドイツ語の学習を通してドイツやオーストリアの生活と文化に触れることもできる。

### 【授業計画】

テキストは全12課で、各課ともドイツ語の会話と基本的な文法事項、練習問題から構成されている。LL方式のパターン練習で基本構文や表現パターンを覚え、それをペアで行なう対話練習で実践し、段階的に表現能力を身に付けてゆく。

1課を2回の授業で修了するくらいのゆっくりしたペースで進む。

### 【評価方法】

授業での平常点と期末試験の成績を総合して評価する。

### 【テキスト】

コミュニケーションのためのドイツ語（在間・田畑共著 第三書房）

## ロシア語Ⅰ

杉本一直

### 【授業の概要】

みなさん、知っていますか？日本の大学のなかでロシア語を学ぶことができるところは本当に少ないんですよ。ということは、「ロシア語がわかる人」は日本ではとても希少価値があるのです！「芸術の国ロシア」の言葉を今すぐ学んでみませんか？

この授業では、初歩のロシア語を学びながらロシアの芸術や文化や街について楽しく紹介していきます。映画の鑑賞会もありますから、楽しみにしててくださいね。

### 【授業計画】

初級のわかりやすい辞書を「テキスト」として授業を進めてきます。まず、例の不思議な形をしたキリル文字を覚え、発音を覚え、そのあとは辞書で遊び(?)ながら「使える単語」「使えるフレーズ」を集めていきます。たくさんたくさん集めたら、あれ、いつのまにかロシア語の達人！

辞書以外に補助教材として会話用プリントを配布します。学ぶ項目は以下のとおりです。

- キリル文字と発音
- 大きな声であいさつしよう
- 買い物に行ってみよう
- 乗り物に乗ろう
- おなかがすいたら...
- 自分について話してみよう
- 好きな音楽について
- 手紙を書こう（本当にロシアへ送るぞ!）

### 【評価方法】

定期試験の成績による。

### 【テキスト】

ロシア語ミニ辞典（白水社）

## ロシア語Ⅱ

杉本一直

### 【授業の概要】

ロシア語Ⅰに引き続き、ロシア語の基礎を学びます。ロシア語Ⅱでは、基本的な文法事項の習得に重点をおきます。

### 【授業計画】

毎回ひとつの重要な文法事項をクローズ・アップし、ひとつづつじっくり習得していきます。

取り上げる文法事項の主なものは以下の通り。

- 動詞の過去形
- 名詞の前置格
- 名詞の対格
- 名詞の生格
- 不完了体と完了体
- 関係代名詞と関係副詞

### 【評価方法】

定期試験の成績による。

### 【テキスト】

ロシア語ミニ辞典（白水社）



# 資本市場と証券投資（野村証券提供講座）

上原 衛

## 【授業の概要】

直接金融への期待が高まる現在、資本市場に求められる役割とは何か。金融ビッグバン以降、激変する日本の資本市場の全容と投資とリスク・リターンの方、株式投資・債券投資・分散投資・グローバル証券投資・分散投資の方法などを実務の観点から解説します。

## 【授業計画】

- (1) ガイダンス
  - (2) 経済情報の捉え方
  - (3) 経済成長と金融資本市場
  - (4) 証券投資のリスク・リターンについて
  - (5) 株式市場の役割と投資の基礎知識について
  - (6) 債券市場の役割と投資の基礎知識について
  - (7) 投資信託の役割とその仕組みについて
  - (8) ポートフォリオ・マネジメント
  - (9) 市場のグローバル化と証券投資について
  - (10) 資産運用とライフプランニング
  - (11) 資本市場における投資家心理について
  - (12) 個人投資家と証券ビジネスについて
- ※授業はオムニバス形式で毎回講師が来て行われる。

## 【評価方法】

期末試験の結果により評価する。

## 【テキスト】

必要に応じてそのつど関連資料を配布する。

## 【参考文献・資料】

証券投資の基礎（野村証券投資情報部編 丸善株式会社）  
日本の資本市場（氏家純一編 東洋経済新聞社）



## 英語海外セミナー

担当者未定

### 【授業の概要】

語学学習と異文化体験を目的とする、アメリカ北東部のウェスト・バージニア大学における海外英語研修プログラム。全学を対象に実施される。参加者は、キャンパス内の大学寮等に滞在し、約3週間の集中授業を受ける。週末のホームステイ、小旅行、現地学生および留学生との交流なども用意されている。出発前に行われる数回のオリエンテーションおよび事前事後のライティング課題なども含めて全てを修了すれば、本学の2単位が与えられる。

期間は2月中旬から3月中旬の約1ヶ月、定員は約30名。面接およびTOEICスコアにより選考を行う。

2003年度実施研修プログラムにおける1日(9:00~15:20)の学習内容は、以下の通り:

- 午前 少人数制英会話クラスと総合英語の授業
- 午後 アメリカ文化の授業とプロジェクト(音楽/芸術・ドラマ・ニューズレター作成などのプロジェクトから、各自が興味のある分野を選択し、英語による意見交換を行いながら仕上げていき、修了パーティーで発表する。)

### 【授業計画】

この研修は、ウェスト・バージニア大学が本学学生のために用意する特別プログラムである。(全期間の学習および生活面全ての指導は、現地教員およびプログラムスタッフが当たる。期間中、本学教職員は滞在しない。)

### 【評価方法】

ウェスト・バージニア大学授業担当者の評価および研修前後の課題から総合的に判断する。

### 【テキスト】

現地にて用意される。

### 【参考文献・資料】

オリエンテーションで指示する。

## 外国文化海外研修Ⅰ(中国)

馮 富榮

### 【授業の概要】

この授業では、言語実践を通して、言葉を知り、理解し、発信し、理解されることの楽しさを体験することができる。また南京師範大学に滞在して生活することで、中国に対する単なる傍観者・観察者ではなく、客観的な目をもった共感者になることを目指す。

1. 京師範大学において3週間の中国語研修を行う。

- ◎ 月曜～金曜の午前中は8:00～11:30まで中国語の授業。日本語のできない先生が中国語で授業するが、分かるのが不思議。内容は会話表現中心。
- ◎ 午後は課外活動として南京市内見学(中山陵、南京博物館、玄武湖、夫子廟、南京大屠殺記念館など)を通して、南京の風俗、歴史を学び、日本語学科の学生との交流会などを通して中国人同世代の人の考え方や生活を学ぶ。
- ◎ 夜は予習復習に追われる。みんな教室に集まって、黙々と勉強。
- ◎ 土曜と日曜は言語実践の日。南京の街へ飛び出そう!
- ◎ 風光明媚な「瘦西湖」で名高い揚州へ、庭園で知られている蘇州への一日旅行。

2. 言語文化論Ⅰの講義内容と呼応した5日間ほどの研修旅行。
3. 定員は20名程度。
4. 今年度の2月中旬から3月中旬にかけて実施する。
5. 終了者に2単位を認定する。

### 【授業計画】

4月のガイダンスで研修の内容などを説明する。後期間講科目であるが、履修登録を必要とせず、参加したことによって単位が取得できる。9月下旬頃、参加募集を掲示に出し、10月中旬頃に参加者を決定する。その後、説明会を2回ほど、オリエンテーションを1回実施する。詳しくは掲示を見る。2月中旬に出発し、3月中旬に帰国する。費用は25万程度。

### 【評価方法】

引率者は平常点で評価する。

### 【テキスト】

南京師範大学の研修授業の担当先生が決めるテキストを使用する。

## 米国 NPO インターンシッププログラム

榎田勝利

### 【授業の概要】

米国ワシントンD.C.にあるCivil Society Consulting Group(CSCG)との共同プログラムとして実施する。米国の民間非営利組織(NPO)でのインターンシップの体験を通して米国社会が抱える深刻な社会問題を理解し、その問題解決の方法を学ぶ。インターンシップの期間中は、一般の米国人の家庭でのホームステイをし、日常生活を体験する。インターンシップの受け入れ場所は、ワシントンD.C.および周辺地域で、学生の関心分野、英語力、専門的知識、経験等を考慮し、受け入れ団体を決める。実践の場を通して、異文化コミュニケーション能力と情報技術能力の向上を図り、学生の将来のキャリア形成の一助ともなる機会を提供する。

(活動可能な分野)老人、児童・青少年、自然・環境、識字教育、障害者、家族、ホームレス、ジェンダー、文化・芸術、スポーツ、バイリンガル教育、外国人支援、国際交流・国際協力、博物館・美術館、図書館、その他。

(米国側協力団体) Civil Society Consulting Group(CSCG)

### 【授業計画】

(事前研修)・インターンシップの活動分野の決定・日米のNPO、ボランティア団体等の現状学習・日本のNPO、ボランティア団体ヘフィールドワーク・英会話のトレーニング・米国側ディレクターによる宿舎オリエンテーション

(現地プログラム)・オリエンテーション宿舎・基本的に月曜から金曜までの5日間のインターン・1日特別研修プログラム・インターンシップの体験報告書の作成と提出・評価会、修了式、さよならパーティ(事後研修)・フォローアップ研修、報告書作成

### 【評価方法】

現地での評価(受け入れ団体、ホストファミリー等と報告書)を考慮し全体評価を行う。

## 外国文化海外研修Ⅱ(韓国)

曹 述燮

### 【授業の概要】

本学の姉妹校の一つである韓国の大邱カトリック大学で、韓国の文化や言語などの研修を積む。本研修のために姉妹校からは少人数制の語学授業、陶磁器工芸・伝統音楽・伝統料理などの韓国文化に対する講義と実習、そして両校の学生交流、ホームステイなどの課外活動を含む特別のカリキュラムが編成されている。と同時に本研修には姉妹校での研修を前後して慶州市、独立記念館、ソウル市への旅行などのプログラムも企画されている。

本研修を通じて参加学生たちは、良好に組まれたカリキュラムから韓国に対する知識を習得すると同時に、多様な韓国・韓国人を直接体験し自ら触れあうことで新世紀のパートナーとしての韓国の理解を深める。

期間:  
夏期休暇の8月中の3週間前後  
内容:

1. 語学研修
  - a. 14日間、午前中、1日3時間(2コマ)授業
  - b. 現地教員による少人数制の授業で韓国語の発音、文法、文型、会話などの練習
  - c. 初級と中級のクラス編成予定で初心者への授業参加可
2. 韓国文化研修
  - a. 午後週1~2回
  - b. 専門家による講演・指導と質疑応答
  - c. 伝統文化実演の鑑賞(古典劇、音楽など)
  - d. 自己参加型の実習(工芸・料理、舞踊など)
3. その他の各種の課外活動

### 【授業計画】

本研修参加のための数回の事前研修と事後研修が予定されている。事後報告書をまとめる。

### 【評価方法】

現地教員およびプログラムスタッフ、そして引率教員による総合評価による。

### 【テキスト】

特になし



## 情報処理技術特殊Ⅰ

中野雅晴

### 【授業の概要】

基本情報技術者試験合格のための教育科目である。

情報技術全般の基礎知識を活用し、情報システム開発においてプログラムの設計・開発を行うとともに、将来高度な技術者を目指す者として、以下の知識・能力を身につける。

- 1) 情報技術全般に関する基本的な用語・内容の知識
- 2) 上位技術者の指導のもとにプログラム設計書を作成する能力
- 3) プログラミングに必要な論理的思考能力
- 4) プログラムのテスト手法を理解し実施する能力

### 【授業計画】

- ステップ1 コンピュータ科学基礎
- ステップ2 データベース技術
- ステップ3 コンピュータシステムの開発と運用
- ステップ4 ネットワーク技術
- ステップ5 情報と経営
- ステップ6 セキュリティと標準化

### 【評価方法】

出席状況・小テストなどで評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 情報処理技術特殊Ⅱ

中野雅晴

### 【授業の概要】

ソフトウェア開発技術者試験合格のための教育科目である。

情報システム開発のソフトウェア開発技術者として、外部仕様に基づいて内部設計・プログラム設計・プログラム開発を行い、高品質なソフトウェアを開発するための、以下の知識・能力を身につける。

- 1) ネットワーク、データベース、システム構成などの情報技術に関する一般的な知識と、上位技術者の指導のもとに情報システムの設計ができる能力
- 2) 内部設計書・プログラム設計書の作成能力
- 3) プログラミングに必要な高度の論理的思考能力
- 4) ネットワーク、データベースなどに関する実装技術と知識
- 5) プログラムのテスト手法を熟知し、単体テスト・結合テストの計画と管理が行え、テストの実施についてはプログラム開発要員を指導できる能力

### 【授業計画】

- ステップ1 コンピュータ科学基礎上級
- ステップ2 コンピュータシステム上級
- ステップ3 システムの開発と運用
- ステップ4 ネットワーク技術
- ステップ5 データベース技術
- ステップ6 セキュリティと標準化

### 【評価方法】

出席状況・小テストなどで評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 情報処理技術特殊Ⅲ

黒部晃一

### 【授業の概要】

「画像情報技能検定試験CG部門（CG検定）」の2級合格を目標として、その対策を会得する。2級問題は、3級レベルのCGに関する総合的な知識の他に、厳密な理論的知識をも要求されるので、VCによるCGプログラミングのサンプルを解説することでそれを理解する。

### 【授業計画】

- 配布するサブテキストに基づいて、講義方式で行う。
1. CG概論、CG検定試験2級対策
  2. 各種CGツールの紹介、そのデモンストレーションと作例紹介
  3. VisualC++によるGUIプログラミング
  4. VisualC++によるインターフェースの設計
  5. 平成15年度前期CG検定2級試験問題の検証と分析
  6. 平成15年度前期CG検定2級試験問題の検証と分析
  7. 平成15年度後期CG検定2級試験問題の検証と分析
  8. 平成15年度後期CG検定2級試験問題の検証と分析
  9. 平成14年度前期CG検定2級試験問題の検証と分析
  10. 平成14年度後期CG検定2級試験問題の検証と分析
  11. 演習
  12. まとめ

### 【評価方法】

出席状況で評価

### 【テキスト】

技術編 CG標準テキストブック（画像情報教育振興協会）  
平成16年度版 CG検定2級問題集（画像情報教育振興協会）

### 【参考文献・資料】

- 入門コンピュータグラフィックス（画像情報教育振興協会）
- 基礎から学ぶVisualC++プログラミング（山岡祥 CQ出版社）

## 情報処理技術特殊Ⅳ

黒部晃一

### 【授業の概要】

「画像情報技能検定試験CG部門（CG検定）」の1級合格を目標として、その対策を会得する。1級問題は、CGプログラミングのスキルを要求されるので、自ら発案するテーマに基づいたプログラミングの実習を行う。

### 【授業計画】

- 前半は講義方式で、後半は主に実習形式で行う。
1. CG検定試験1級の概要と対策
  2. VisualC++によるGUIプログラミング
  3. 平成15年度CG検定1級試験問題（マークシート）の検証と分析
  4. 平成15年度CG検定1級試験問題（記述式）の検証と分析
  5. 平成15年度CG検定1級試験問題（二次試験）の検証と分析
  6. 平成15年度CG検定1級試験問題（二次試験）の検証と分析
  7. 平成15年度CG検定1級試験問題（三次試験）の検証と分析
  8. 平成15年度CG検定1級試験問題（三次試験）の検証と分析
  9. 自ら提議したテーマに基づいたプログラミング実習
  10. 自ら提議したテーマに基づいたプログラミング実習
  11. 自ら提議したテーマに基づいたプログラミング実習
  12. 自ら提議したテーマに基づいたプログラミング実習、まとめ

### 【評価方法】

出席状況で評価

### 【テキスト】

技術編 CG標準テキストブック（画像情報教育振興協会）  
平成16年度版 CG検定1級問題集（画像情報教育振興協会）

### 【参考文献・資料】

- コンピュータグラフィックス理論と実践  
（J.D.Foley, A.v.Dam, S.K.Feiner F.Hughes オーム社）
- 基礎から学ぶVisualC++プログラミング（山岡祥 CQ出版社）



## スポーツ特殊講座（スクーバダイビング）

杉山 和

### 【授業の概要】

「海の中」の自然を体験し、より視野を広める、スクーバダイビングに必要な初級のライセンスを取得し、生涯スポーツの実践へつなげる。

### 【授業計画】

〔スクーバダイビング〕

#### 1. 期日

プール実習 平成16年9月6日（月）～11日（土）  
この期間中に時差をつけて3日間実施します。  
海洋実習 平成16年9月14日（火）～9月17日（金）  
3泊4日

第1回説明会 平成16年5月19日（水）5限目

第2回説明会 平成16年7月17日（土）10：00～

#### 2. 場所

プール実習 ロコダイバース 室内プール（一社）

海洋実習 沖縄県 伊江島

#### 3. 諸経費

実習費 約50,000円（講習費、テキスト代、申請料）

用具代 約50,000円（重器材レンタル代、個人器材）

海洋実習費 約78,000円（交通費、宿泊費）

その他 約30,000円（ウェットスーツ希望者のみ）

#### 4. 定員 約20名

\*諸経費については、15年度のものでありますので変更になる場合があります。

\*説明会には必ず参加すること。

### 【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。
2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。

## スポーツ特殊講座（スケート）

松田秀子

### 【授業の概要】

スケートを通して、基礎的技術の向上と、知識の習得を目標とし、楽しさを学び生涯スポーツの実践へつなげる。

### 【授業計画】

〔スケート〕

#### 1. 期日

実習 平成17年2月2日（水）・3日（木）  
4日（金）・7日（月）  
8日（火）・9日（水）

計6日間 午前中のみ

#### 2. 説明会 平成17年1月12日（水）12：30～13：15

実習に必要な諸手続きを行ないますので、必ず参加すること。

#### 3. 場所 名古屋スポーツセンター（大須）

#### 4. 実習費 7,200円

#### 5. 定員 40名

### 【評価方法】

出席状況と実習中の技術の上達度により総合評価する。

## スポーツ特殊講座（ボウリング）

松田秀子

### 【授業の概要】

ボウリングを通して、基礎技術の向上と知識の習得を目標とし、生涯スポーツの実践へつなげる。

### 【授業計画】

〔ボウリング〕

#### 1. 期日

実習 平成16年9月8日（水）・9日（木）  
10日（金）・13日（月）  
14日（火）・15日（水）

計6日間 午前中のみ

#### 2. 説明会 平成16年7月7日（水）12：30～13：15

実習に必要な諸手続きを行ないますので、必ず参加すること。

#### 3. 場所 星ヶ丘ボウル

#### 4. 実習費 6,000円（15年度のものでありますので変更する場合があります。）

#### 5. 定員 40名

### 【評価方法】

出席状況と実習中の技術の上達度により総合評価する。

## ASU TOEIC I E

天野純子 太田晶子

### 【授業の概要】

TOEICスコア470点以上の学習者を対象とする全学向けのTOEIC対策講座。日本人教員担当の「ASU TOEIC I」、ネイティブスピーカー担当の「ASU TOEIC II」から成る。最高期に2コマ（I、IIの両科目を受講した場合）、4年間続けて履修できる。週1回に2単位とする。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。毎回、授業外での読解演習（60分×7日×13回）とリスニング演習（60分×7日×13回）（それぞれ91時間相当）が課せられる。課題は毎回チェックされる。授業中に演習に取り組む態度、出席、課題などにより総合的な評価を行う。

### 【授業計画】

第1回 オリエンテーションおよび模擬演習

第2回～第14回 演習・解説、Vocabularyテスト

・1週間の宿題の範囲からVocabularyの小テスト・採点・解説（15分）

・前回の宿題で間違いが多かった点の解説（15分）

・演習（文法問題・Reading・リスニング）（30分）

・問題解説（25分）

第15回 模擬テスト

\*宿題 読解演習・文法問題（60分×7日）＝毎回7時間相当分

（合計 7時間×13回＝91時間）

リスニング演習（60分×7日）＝毎回7時間相当分

（合計 7時間×13回＝91時間）

### 【評価方法】

出席・演習に取り組む態度・宿題の遂行度合いなどにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

掲示（外国語教育センターの掲示板）を参照のこと。



## ASU TOEIC I F

天野純子 太田晶子

### 【授業の概要】

TOEICスコア470点以上の学習者を対象とする全学向けのTOEIC対策講座。日本人教員担当の「ASU TOEIC I」、ネイティブスピーカー担当の「ASU TOEIC II」から成る。最高期に2コマ（I、IIの両科目を受講した場合）、4年間続けて履修できる。週1回に2単位とする。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。毎回、授業外での読解演習（60分×7日×13回）とリスニング演習（60分×7日×13回）（それぞれ91時間相当）が課せられる。課題は毎回チェックされる。授業中に演習に取り組む態度、出席、課題などにより総合的な評価を行う。

### 【授業計画】

第1回 オリエンテーションおよび模擬演習

第2回～第14回 演習・解説、Vocabularyテスト

- ・1週間の宿題の範囲からVocabularyの小テスト・採点・解説（15分）
- ・前回の宿題で間違いが多かった点の解説（15分）
- ・演習（文法問題・Reading・リスニング）（30分）
- ・問題解説（25分）

第15回 模擬テスト

\*宿題 読解演習・文法問題（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）  
リスニング演習（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）

### 【評価方法】

出席・演習に取り組む態度・宿題の遂行度合いなどにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

掲示（外国語教育センターの掲示板）を参照のこと。

## ASU TOEIC II F

STEPHENSON, Brett DUNKLEY, Daniel

### 【授業の概要】

TOEICスコア470点以上の学習者を対象とする全学向けのTOEIC対策講座。日本人教員担当の「ASU TOEIC I」、ネイティブスピーカー担当の「ASU TOEIC II」から成る。半期に2コマ（I、IIの両科目を受講した場合）、4年間続けて履修できる。週1回に2単位とする。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。毎回、授業外での読解演習（60分×7日×13回）とリスニング演習（60分×7日×13回）（それぞれ91時間相当）が課せられる。課題は毎回チェックされる。授業中に演習に取り組む態度、出席、課題などにより総合的な評価を行う。

### 【授業計画】

第1回 オリエンテーションおよび模擬演習

第2回～第14回 演習・解説、Vocabularyテスト

- ・1週間の宿題の範囲からVocabularyの小テスト・採点・解説（15分）
- ・前回の宿題で間違いが多かった点の解説（15分）
- ・演習（リスニング・Reading）（30分）
- ・問題解説（25分）

第15回 模擬テスト

\*宿題 読解演習・文法問題（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）  
リスニング演習（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）

### 【評価方法】

出席・演習に取り組む態度・宿題の遂行度合いなどにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

掲示（外国語教育センターの掲示板）を参照のこと。

## ASU TOEIC II E

STEPHENSON, Brett DUNKLEY, Daniel

### 【授業の概要】

TOEICスコア470点以上の学習者を対象とする全学向けのTOEIC対策講座。日本人教員担当の「ASU TOEIC I」、ネイティブスピーカー担当の「ASU TOEIC II」から成る。半期に2コマ（I、IIの両科目を受講した場合）、4年間続けて履修できる。週1回に2単位とする。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。毎回、授業外での読解演習（60分×7日×13回）とリスニング演習（60分×7日×13回）（それぞれ91時間相当）が課せられる。課題は毎回チェックされる。授業中に演習に取り組む態度、出席、課題などにより総合的な評価を行う。

### 【授業計画】

第1回 オリエンテーションおよび模擬演習

第2回～第14回 演習・解説、Vocabularyテスト

- ・1週間の宿題の範囲からVocabularyの小テスト・採点・解説（15分）
- ・前回の宿題で間違いが多かった点の解説（15分）
- ・演習（リスニング・Reading）（30分）
- ・問題解説（25分）

第15回 模擬テスト

\*宿題 読解演習・文法問題（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）  
リスニング演習（60分×7日）＝毎回7時間相当分  
（合計 7時間×13回＝91時間）

### 【評価方法】

出席・演習に取り組む態度・宿題の遂行度合いなどにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

掲示（外国語教育センターの掲示板）を参照のこと。

## 上級英語セミナー 2004A

WRINGER, Paul

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット（4単位）を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。（1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。）

### 【Schedule】

Topics will be covered over a two to three week period and will include a variety of interesting and motivating themes selected mostly by the teacher.

First semester (AESa)  
Personal information  
Travel & vacations  
Strange phenomena  
Entertainment  
Crime & capital punishment  
Controversy

### 【Assessment】

Assessment will be continual and based on the following criteria:  
ATTENDANCE  
CLASS PARTICIPATION / EFFORT  
HOMEWORK AND ASSIGNMENTS  
END OF SEMESTER REPORTS  
TOEIC SCORES

### 【Textbooks】

To be announced.

「上級英語セミナー2004A」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WRINGER, Paul先生（木曜日1限）、CURRAN, Beverley先生（金曜日5限）の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。



## 上級英語セミナー 2004A

CURRAN, Beverley

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

### 【Schedule】

Each week, in my class, a different student will be responsible for selecting a topic and introducing a discussion about it in English. The other students will listen with attention and then continue the discussion through their own questions and comments. The goal in each class is to engage in animated discussion for 90 minutes, giving each student an opportunity to grow more comfortable and confident in initiating and continuing a conversation or discussion in English. Special guests will also be invited to the class to talk about themselves with the students in a relaxed and supportive atmosphere.

### 【Assessment】

Assessment will be based on participation and effort.

### 【Textbooks】

No text required.

「上級英語セミナー2004A」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WRINGER, Paul先生(木曜日1限)、CURRAN, Beverley先生(金曜日5限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004B

CURRAN, Beverley

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

### 【Schedule】

In the second semester, discussions will continue, and students will be encouraged to take more responsibility for engaging in discussion and offering support to the speaker through a thoughtful consideration of the topic. Each week will be a chance to grow closer as a group of engaged language learners whose communal energy will motivate individual student growth in English ability and self-confidence. Special guests will also be invited to the class to talk to the students in English in a relaxed but lively atmosphere.

### 【Assessment】

Assessment will be based on participation and effort.

### 【Textbooks】

No text required.

「上級英語セミナー2004B」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WRINGER, Paul先生(木曜日1限)、CURRAN, Beverley先生(金曜日5限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004B

WRINGER, Paul

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

### 【Schedule】

Topics will be covered over a two to three week period and will include a variety of interesting and motivating themes selected mostly by the teacher.

Second semester (AESb)  
The past  
Current events in the news  
Relationships  
Food & Health  
Fashion  
The world of work

### 【Assessment】

Assessment will be continual and based on the following criteria:

ATTENDANCE  
CLASS PARTICIPATION / EFFORT  
HOMEWORK AND ASSIGNMENTS  
END OF SEMESTER REPORTS  
TOEIC SCORES

### 【Textbooks】

To be announced.

「上級英語セミナー2004B」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WRINGER, Paul先生(木曜日1限)、CURRAN, Beverley先生(金曜日5限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004C

横山綾子

### 【授業の概要】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

習得した英語を使い、さらに通訳になるための訓練に進むと、今までの学習内容とは異なったものも要求される事に気がつくでしょう。それは言語の知識、訳出技術に加え論理的思考や外国人と心のcommunicationをしたいと思うか、未知の事柄や社会の問題を知りたいと思う好奇心があるか…等です。

さらに人に頼らず判断し、自分の考えを表現する自主性も大切です。このクラスではニュース記事とテープを使い、時事英語の知識と通訳に欠かせぬFIFO(First in First out)の技術を体得します。さらに自然で美しい日本語への訳し方、学習した時事問題を分かりやすい英語で話す練習もします。

Memoを取りspeedyな訳出も出来るようになって欲しいと思います。最終的には国際的な場面で社会の問題を話し合える知識と技術を身に付ける、そして国際交流に貢献して欲しいと希望します。

### 【授業計画】

第一回  
通訳一般概論 Sight translation  
第二～十回  
The Student Timesからの記事使用(テープ)  
Shadowing Sight translationメモ取り  
逐次通訳演習  
同時通訳入門

### 【評価方法】

出席状況 平常の実技評価 Translation test

### 【テキスト】

The Student Times その他

「上級英語セミナー2004C」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(水曜日3限)、Long, Jonathan E.B.先生(木曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。



## 上級英語セミナー 2004C

LONG, Jonathan E.B.

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

In this course the students will use all four language skills to explore the similarities and differences between Japanese and North American cultures. The class activities will include some TOEFL test preparation.

### 【Schedule】

Not yet determined.

### 【Assessment】

This will be a combination of attendance, class participation and homework.

### 【Textbooks】

To be announced.

### 【Reference】

To be announced.

「上級英語セミナー2004C」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(水曜日3限)、Long, Jonathan E.B.先生(木曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004D

LONG, Jonathan E.B.

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

In this course the students will use all four language skills to explore the similarities and differences between Japanese and North American cultures. The class activities will include some TOEFL test preparation.

### 【Schedule】

Not yet determined.

### 【Assessment】

This will be a combination of attendance, class participation and homework.

### 【Textbooks】

To be announced.

### 【Reference】

To be announced.

「上級英語セミナー2004D」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(水曜日3限)、Long, Jonathan E.B.先生(木曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004D

横山綾子

### 【授業の概要】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

習得した英語を使い、さらに通訳になるための訓練に進むと、今までの学習内容は異なったものも要求される事についでしよう。それは言語の知識、訳出技術に加え論理的思考や外国人と心のcommunicationをしたいと思うか、未知の事柄や社会の問題を知りたいと思う好奇心があるか…等です。

さらに人に頼らず判断し、自分の考えを表現する自主性も大切です。このクラスではニュース記事とテープを使い、時事英語の知識と通訳に欠かせぬFIFO(First in First out)の技術を体得します。さらに自然で美しい日本語への訳し方、学習した時事問題を分かりやすい英語で話す練習もします。

Memoを取りspeedyな訳出も出来るようになって欲しいと思います。最終的には国際的な場面で社会の問題を話し合える知識と技術を身に付ける、そして国際交流に貢献して欲しいと希望します。

### 【授業計画】

第一回

通訳一般概論 Sight translation

第二～十回

The Student Timesからの記事使用(テープ)

Shadowing Sight translation メモ取り

逐次通訳演習

同時通訳入門

### 【評価方法】

出席状況 平常の実技評価 Translation test

### 【テキスト】

The Student Times その他

「上級英語セミナー2004D」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(水曜日3限)、Long, Jonathan E.B.先生(木曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004E

WOODMAN, Jo-Anne

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

Good translation / interpretation / communication requires, among other things, an extensive knowledge of vocabulary, so this course will require students to demonstrate a vast improvement in their vocabulary - in both written and spoken forms.

Vocabulary lists / tests will be generated from:

a) teacher presented materials - (ie. CNN and BBC news broadcasts, as well as a wide gamut of newspaper articles)

b) student research - (students will be required to prepare one newspaper article for class discussion each week - this will include preparing an extensive vocabulary list as well as brief background and contextual information about the article)

c) TOEIC vocabulary text / materials

The course will deal with contemporary issues throughout the world, so emphasis will be placed on encouraging the students to improve their general knowledge of world affairs.

Inherent in this course will be the need for the students to "think on their feet", that is to say they will have to glean as much information as they can from class presentations and then ask questions and participate in discussions.

### 【Schedule】

The aim of this course is to discuss up-to-date issues, so the schedule will be determined by the current events of the week. However, students should expect to address social, economic, political, religious, environmental, medical and other such issues.

### 【Assessment】

Assessment will include the following components:

1) Vocabulary tests - 3 types

2) Preparation for (and participation in) class discussions

3) Listening comprehension activities

4) Attendance

「上級英語セミナー2004E」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WOODMAN, Jo-Anne先生(水曜日4限)、横山先生(火曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。



## 上級英語セミナー 2004E

横山綾子

### 【授業の概要】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

習得した英語を使い、さらに通訳になるための訓練に進むと、今までの学習内容とは異なったものも要求される事に気がつくでしょう。それは言語の知識、訳出技術に加え論理的思考や外国人と心のcommunicationをしたいと思うか、未知の事柄や社会の問題を知りたいと思う好奇心があるか...等です。

さらに人に頼らず判断し、自分の考えを表現する自主性も大切です。このクラスではニュース記事とテープを使い、時事英語の知識と通訳に欠かせぬFIFO(First in First out)の技術を体得します。さらに自然で美しい日本語への訳し方、学習した時事問題を分かりやすい英語で話す練習もします。

Memoを取りspeedyな訳出も出来るようになって欲しいと思います。最終的には国際的な場面で社会の問題を話し合える知識と技術を身に付ける、そして国際交流に貢献をして欲しいと希望します。

### 【授業計画】

第一回

通訳一般概論 Sight translation

第二～十回

The Student Timesからの記事使用(テープ)

Shadowing Sight translation メモ取り

逐次通訳演習

同時通訳入門

### 【評価方法】

出席状況 平常の実技評価 Translation test

### 【テキスト】

The Student Times その他

「上級英語セミナー2004E」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(火曜日3限)、WOODMAN, Jo-Anne先生(水曜日4限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004F

横山綾子

### 【授業の概要】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

習得した英語を使い、さらに通訳になるための訓練に進むと、今までの学習内容とは異なったものも要求される事に気がつくでしょう。それは言語の知識、訳出技術に加え論理的思考や外国人と心のcommunicationをしたいと思うか、未知の事柄や社会の問題を知りたいと思う好奇心があるか...等です。

さらに人に頼らず判断し、自分の考えを表現する自主性も大切です。このクラスではニュース記事とテープを使い、時事英語の知識と通訳に欠かせぬFIFO(First in First out)の技術を体得します。さらに自然で美しい日本語への訳し方、学習した時事問題を分かりやすい英語で話す練習もします。

Memoを取りspeedyな訳出も出来るようになって欲しいと思います。最終的には国際的な場面で社会の問題を話し合える知識と技術を身に付ける、そして国際交流に貢献をして欲しいと希望します。

### 【授業計画】

第一回

通訳一般概論 Sight translation

第二～十回

The Student Timesからの記事使用(テープ)

Shadowing Sight translation メモ取り

逐次通訳演習

同時通訳入門

### 【評価方法】

出席状況 平常の実技評価 Translation test

### 【テキスト】

The Student Times その他

「上級英語セミナー2004F」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。横山先生(火曜日3限)、WOODMAN, Jo-Anne先生(水曜日4限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 上級英語セミナー 2004F

WOODMAN, Jo-Anne

### 【Course Content】

週2日の授業で1セット(4単位)を基本とする全学対象の上級英語科目。TOEICスコアで選抜を行い、少人数クラスを編成する。多様な授業活動を通して語彙力を増強し、総合的英語運用能力の強化を目指す。学期末のTOEIC受験およびその得点アップが期待される。各自、到達度・進捗度を確認することが望ましい。総合的な評価を行う。

4年間続けて履修できる。(1年生・編入生は1年目の前期は受講できない。)

Good translation / interpretation / communication requires, among other things, an extensive knowledge of vocabulary, so this course will require students to demonstrate a vast improvement in their vocabulary in both written and spoken forms.

Vocabulary lists / tests will be generated from:

a) teacher presented materials (ie. CNN and BBC news broadcasts, as well as a wide gamut of newspaper articles)

b) student research (students will be required to prepare one newspaper article for class discussion each week - this will include preparing an extensive vocabulary list as well as brief background and contextual information about the article)

c) TOEIC vocabulary text / materials

The course will deal with contemporary issues throughout the world, so emphasis will be placed on encouraging the students to improve their general knowledge of world affairs.

Inherent in this course will be the need for the students to "think on their feet", that is to say they will have to glean as much information as they can from class presentations and then ask questions and participate in discussions.

### 【Schedule】

The aim of this course is to discuss up-to-date issues, so the schedule will be determined by the current events of the week. However, students should expect to address social, economic, political, religious, environmental, medical and other such issues.

### 【Assessment】

Assessment will include the following components:

- 1) Vocabulary tests - 3 types
- 2) Preparation for (and participation in) class discussions
- 3) Listening comprehension activities
- 4) Attendance

「上級英語セミナー2004F」は、週2回コースの授業で4単位の科目である。WOODMAN, Jo-Anne先生(水曜日4限)、横山先生(火曜日3限)の両方の授業に出席し、それぞれの評価の平均を、この科目の評価とする。

## 中国語読解 1 A

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

身近な実用読解文を多くとりあげた教材を通じて中国語の初級段階を総合的に学習し、中国語の文法面・表現面における全体像がつかめるような基礎的能力を養成する。さらに、HSK基礎試験の2級に受かることを目標に定め、<中国漢語水平考試大綱>に規定された400~900前後の語彙力と70項目の文法力を身につける。このことで、中国語の平易な文面の読解が可能になると同時に、履修翌学期からHSK試験対策コースである<HSK基礎コースA><HSK基礎コースB>の履修が可能になる。

### 【授業計画】

- 1、オリエンテーション
- 2、母音、数字、挨拶
- 3、疑問文、形容詞述語文
- 4、子音、声調、曜日表現
- 5、省略疑問文、疑問詞疑問文
- 6、音節、勧誘表現
- 7、動詞述語文、指示代名詞
- 8、我姓松本。自己紹介
- 9、介詞"和"、副詞"也""都"
- 10、我的家庭。所有・存在の"有"、名詞述語文
- 11、部分否定文、感嘆表現、変調と軽声
- 12、我們的大学。介詞"給""在"
- 13、名詞の修飾表現
- 14、我的一天。時の表現、方向補語
- 15、まとめ

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。



## 中国語読解 1 B

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

講義の内容等とカリキュラム上の位置づけは<中国語読解 1 A>と大同小異であるが、中国語学習に対して特別に関心を示す学生に対して週2回の受講を可能にするため設定された講義である。ただし、文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が<中国語読解 1 A>と異なっている教材を使用する。このことで、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにすることを図る。

### 【授業計画】

読解に必要な、基礎的な表現や文法事項を、特に日本人の苦手な部分に重点を置いて、半期にわたって講義する。

- |      |              |
|------|--------------|
| 第一課  | 発音 (1)       |
| 第二課  | 発音 (2)       |
| 第三課  | 発音 (3)       |
| 第四課  | 発音 (4)       |
| 第五課  | 人称代名詞・“是”    |
| 第六課  | 指示代名詞・数詞・量詞  |
| 第七課  | 形容詞と形容詞述語文   |
| 第八課  | 動詞述語文        |
| 第九課  | “有”・年月日      |
| 第十課  | 場所・時間・数量     |
| 第十一課 | 前置詞 (介詞)・“了” |
| 第十二課 | 能願動詞         |

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

愛知淑徳大学生のための中国語読解 1 B (中国語教育委員会編)

### 【参考文献・資料】

教場で指示する。

## 中国語会話 1 B

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは<中国語会話 1 A>と大同小異であるが、中国語学習に対して特別に関心を示す学生に対して週2回の受講を可能にするため設定された講義である。ただし、文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定などが<中国語会話 1 A>と異なっている教材を使用する。このことで、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにすることを図る。

### 【授業計画】

- 1、オリエンテーション
- 2、今天星期幾? 曜日と疑問詞利用の疑問文
- 3、我很高興。省略疑問文、形容詞述語文
- 4、我學習中文專業。能願動詞“能”
- 5、現在幾點? 時間表現、語氣助詞“了”
- 6、我的家庭。介詞“在”
- 7、談天氣。天氣表現、選疑問文、感嘆文、
- 8、邀請。假定文、反復疑問文、部分否定文
- 9、中間テスト
- 10、我的大學。伝聞の表現
- 11、找手機。目的語位置換えの“把”、結果補語“到”
- 12、喜歡甚麼? 過去の経験表現「V+“過”」  
結果や程度表現「V+“得”」
- 13、幫我。能願動詞“會”
- 14、假期做甚麼? 結果補語“好”
- 15、まとめ

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

## 中国語会話 1 A

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

分かりやすい実用会話文を多くとりあげた教材を通じて中国語の初級段階を総合的に学習し、中国語の音声面・表現面における全体像がつかめるような基礎的能力を養成する。さらに、HSK基礎試験の2級に受かることを目標に定め、HSK試験センターより出された<中国漢語水平考試大綱>に規定された400~900前後の語彙力と70項目の文法力を身につける。このことで、一般的な挨拶・自己紹介などが可能になると同時に、履修翌学期からHSK試験対策コースである<HSK基礎コースA><HSK基礎コースB>の履修が可能になる。

### 【授業計画】

初めて中国語を学ぶ学生を対象に日常会話表現の習得を目指す。

- |      |          |
|------|----------|
| 第一課  | 発音 (1)   |
| 第二課  | 発音 (2)   |
| 第三課  | 発音 (3)   |
| 第四課  | 発音 (4)   |
| 第五課  | あいさつ表現   |
| 第六課  | 時間の表し方   |
| 第七課  | 年齢を言う    |
| 第八課  | 家庭を語る    |
| 第九課  | 自分の家を語る  |
| 第十課  | 学校について語る |
| 第十一課 | 趣味について語る |
| 第十二課 | 中国へ行く    |

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

愛知淑徳大学生のための中国語会話 1 A・2 (中国語教育委員会編)

### 【参考文献・資料】

教場で指示する。

## 中国語読解 2

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

読解学習を通じて中国語の全体像がつかめる基礎的能力を養成する。さらに、HSK基礎試験の3級に受かることを目標に定め、<中国漢語水平考試大綱>に規定された900~1500前後の語彙力と140項目の文法力を身につける。HSK試験対策のためには<HSK基礎コースA>か、<HSK基礎コースB>と並行した履修が望ましく、基礎能力の深度を深めるためには<中国語会話 2>と並行した履修が望ましい。

### 【授業計画】

- 1、就要放暑假了。語氣助詞“了”、介詞“和”
- 2、伝聞の表現、能願動詞“想”“要”
- 3、暑假回家的一天。完了の表現、結果補語“到”
- 4、使役の表現“讓”
- 5、鈴木一家。能願動詞“會”“能”
- 6、過去の経験表現「V+“過”」
- 7、我家的照片。動作の進行・状態の持続などの表現「V+“着”」
- 8、介詞“離”、連動文
- 9、終於習慣了。感嘆表現2
- 10、自己の意見表示
- 11、我做了一個夢。動作の進行表現の「“在”+V」、程度補語と可能補語
- 12、副詞用法の“地”
- 13、我太幸福了。目的語位置換えの“把”、比較の表現、受身文
- 14、春暇の計画。未完了の表現、許諾の表現
- 15、まとめ

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。



## 中国語会話 2

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

主として、身近で分かりやすい実用例文を多くとりあげた会話学習を通じて、中国語の音声面・文法面・表現面における全体像がつかめるような基礎的能力を養成する。さらに、HSK基礎試験の3級に受かることを目標に定め、HSK試験センターより出された中国漢語水平考試大綱に規定された900～1500前後の語彙力と140項目の文法力を身につける。履修後は、旅先での中国語による買い物などが可能になる。

### 【授業計画】

中国語会話1をクリアした学生が、さらに深く生きた中国語を話せるようになることを目指す。学生が、中国に留学している気分での学習できるように配慮した。

- |      |           |
|------|-----------|
| 第一課  | 部屋を借りる    |
| 第二課  | 換金する      |
| 第三課  | 道を尋ねる     |
| 第四課  | 交通機関を利用する |
| 第五課  | 市場での買い物   |
| 第六課  | デパート      |
| 第七課  | ホテル       |
| 第八課  | 郵便局       |
| 第九課  | 電話        |
| 第十課  | 中国人宅に訪問する |
| 第十一課 | レストラン     |
| 第十二課 | スピーチの仕方   |

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

愛知淑徳大学生のための中国語会話1A・2（中国語教育委員会編）

### 【参考文献・資料】

教場で指示する

## HSK基礎コースB ※読解中心

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは<HSK基礎コースA>と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が<HSK基礎コースA>で用いる教材と異なっている教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。

### 【授業計画】

12課編成で授業を進める予定である。まず文法の説明から入り、そのあと、練習問題を解いて、練習問題について解説する。各課の文法のポイントは下記の通りである。

1. “我”と“你”；“左右”と“前后”など
2. “是”；“语气助词”の“吗”と“呢”など
3. “了”；“形容词谓语句”など
4. “动词+过”と“形容词+过”；“在”など
5. “数量补语”；“头”と“面”など
6. “有字句”；结构助词“地”など
7. “量词的重叠”；“把字句”など
8. “从”と“离”；“一边～一边～”など
9. “都”と“一共”；“程度补语”など
10. “被字句”；“在・正・正在”など
11. “趋向补语”；“多么”など
12. “复合趋向补语”；“是～还是～”など

授業の予習としてホームページを利用することができる。

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

HSK基礎B

## HSK基礎コースA ※聴解中心

大森信徳 河井昭乃 曹志偉

### 【授業の概要】

履修後、HSK基礎試験の2級か3級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される400～1500前後の語彙量とその語彙量に相応する文法力を身につける。

### 【授業計画】

12課編成で授業を進める予定である。まず文法の説明から入り、そのあと、練習問題を解いて、練習問題について解説する。各課の文法のポイントは下記の通りである。

1. “了”や“过”の使い方など
2. “时点”の言い方や“时段”の言い方など
3. “小时”や“钟头”の使い方など
4. “方位词表”について
5. “多会儿”や“哪会儿”の使い方など
6. “该”や“应该”の使い方など
7. 介词の“朝”、“向”と“往”の使い方
8. 比較表現について
9. “是字句”について
10. “愿意”や“想”の使い方など
11. “趋向补语”について
12. “复合趋向补语”である“下来”や“下去”などの意味について  
授業の予習としてホームページを利用することができる。

### 【評価方法】

出席、平常点、期末試験。

### 【テキスト】

HSK基礎A



下記の科目は、本年度開講しません。

## 中国語読解 3

### 【授業の概要】

読解中心のテキストを用い、更なる意欲で中国語の表現の学習に励み中国語文の読解力と理解力を一層高めていくための講義である。さらに、HSK初等試験の4級に受かることにねらいを定め、1500～2000前後の語彙量とそれに相応する文法項目をマスターしていく。HSK試験対策のためには< HSK初等コースA >か、< HSK初等コースB >と並行した履修が、中国語コミュニケーションの深度を深めるためには< 中国語会話3 >と並行した履修が望ましい。

## HSK 初等コースA ※聴解中心

### 【授業の概要】

履修後、HSK初等試験の4級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される1500～2000前後の語彙量とそれに相応する文法力をマスターしていく。

## 中国語読解 4

### 【授業の概要】

読解中心のテキストを用い、更なる意欲で中国語の表現の学習に励み、中国語の読解力と理解力を一層高めていくための講義である。さらに、HSK初・中等試験の5級に受かることにねらいを定め、2000～2500前後の語彙力とそれに相応する文法力を身につける。HSK試験対策のためには< HSK中等上級コースA >か、< HSK中等上級コースB >と並行した履修が、中国語コミュニケーションの深度を深めるためには< 中国語会話4 >と並行した履修が望ましい。

## HSK 中等上級コースA ※聴解中心

### 【授業の概要】

履修後、HSK初・中等試験の5級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される2000～2500前後の語彙力とそれに相応する文法力をマスターしていく。

## 中国語会話 3

### 【授業の概要】

第二外国語として一年間ほど中国語を学んできた学習者が、生活において日常的に取り上げられる話題を中心に構成された会話のテキストを用い更なる意欲で中国語の表現の学習に励み、中国語によるコミュニケーション能力を一層高めていくための講義である。さらに、HSK初等試験の4級に受かることにねらいを定め、1500～2000前後の語彙量とそれに相応する文法項目をマスターしていく。履修後は家族生活・大学生活などについて語るができる。

## HSK 初等コースB ※読解中心

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは< HSK初等コースA >と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が< HSK初等コースA >で用いる教材と異なる教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。

## 中国語会話 4

### 【授業の概要】

1. 5年間ほど中国語を学んできた学習者が、生活において日常的に取り上げられる話題を中心に構成された会話のテキストを用い更なる意欲で中国語の表現の学習に励み、中国語によるコミュニケーション能力を一層高めていくための講義である。さらに、HSK初・中等試験の5級に受かることにねらいを定め、2000～2500前後の語彙力とそれに相応する文法力を身につける。履修後は趣味生活・地域社会などについて語るができる。

## HSK 中等上級コースB ※読解中心

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは< HSK中等上級コースA >と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が< HSK初等コースA >で用いる教材と異なる教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。



## 中国語作文1

### 【授業の概要】

第二外国語として2年間ほど中国語を学んできた学習者が、その間会話と読解を中心に習得してきた中国語の表現力と理解力を活用し、みずから平易な中国語文章が書けることにねらいをさだめる。さらに、HSK中等試験の6級または7級に受かることを目標にし、2500～3500前後の語彙量とそれに相応する文法項目をマスターしていく。

## HSK 中等高級コース1 B ※読解中心

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは<HSK中等高級コース1 A>と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が<HSK中等高級コース1 A>で用いる教材と異なる教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。

## 中国語作文2

### 【授業の概要】

2. 5年間ほど中国語を学んできた学習者が、その間会話と読解を中心に習得してきた中国語の表現力と理解力を活用し、中国語の一般的な文章が書けることにねらいを定める。さらに、HSK中等試験の7級または8級に受かることを目標にし、3500～4000前後の語彙量とそれに相応する文法項目を身につける。履修後は、友人・知人への略式手紙、中国官公署向けの書類作成、中国語による日記・メモの作成などが可能になる。

## HSK 中等高級コース2 B ※読解中心

### 【授業の概要】

設定する目標、扱う語彙量と文法ポイントなどを含めた講義内容と位置づけは<HSK中等高級コース2 A>と大同小異であるが、HSKの資格取得に対して特別に関心を示す学生に週2回のHSK対策コースの受講可能を図るため設定された講義である。文法項目の順序と用例、そして練習問題などの設定が<HSK中等高級コース2 A>で用いる教材と異なる教材を使用し、習得した文法事項が確実に身に付くこと、同じ文法項目をちがった角度から見ることで理解の幅を広めること、多面にわたる練習問題を多く解くことでHSKの合格をより確実なものにしていく。

## HSK 中等高級コース1 A ※聴解中心

### 【授業の概要】

履修後、HSK中等試験の6級または7級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される2500～3500前後の語彙量とそれに相応する文法力をマスターしていく。

## 同時通訳入門1

### 【授業の概要】

第二外国語として2年間ほど中国語を学んできた学習者が、その間会話と読解を中心に習得してきた中国語の表現力と理解力を活用し、初歩的な同時通訳ができる実力を養成する。ねらいは、高度な中国語の運用能力を身につけ、実社会で中国語を使った仕事ができることに定める。さらに、HSK中等試験の6級または7級に受かることを目標にし、2500～3500前後の語彙量とそれに相応する文法項目をマスターしていく。

## HSK 中等高級コース2 A ※聴解中心

### 【授業の概要】

履修後、HSK中等試験の7級または8級に受かることを目標に定めた授業である。ねらいの試験で要求される3500～4000前後の語彙力とそれに相応する文法力をマスターしていく。

## 同時通訳入門2

### 【授業の概要】

2. 5年間ほど中国語を学んできた学習者が、その間会話と読解を中心に習得してきた中国語の表現力と理解力を活用し、平易な同時通訳ができる実力を養成する。ねらいは、高度な中国語の運用能力を身につけ、実社会で中国語を使った仕事ができることに定める。さらに、HSK中等試験の7級または8級に受かることを目標にし、3500～4000前後の語彙量とそれに相応する文法項目を身につける。HSK試験対策のためには<HSK中等高級コース2 A>か、<HSK中等高級コース2 B>と並行した履修が、中国語表現の深度を深めるためには<中国語作文2>と並行した履修が望ましい。



## 研究技法 I (データ解析)

太田浩司

### 【授業の概要】

この講義では調査によって収集されたデータをSPSSという統計パッケージを利用して解析する手法を紹介する。扱う統計手法は記述統計、ピアソン積率相関、T検定、分散分析、重回帰分析を予定している。特にデータ分析の結果の読み方と解釈の仕方に焦点を置く。講義の詳しい内容は最初の授業で知らせる。

### 【授業計画】

学期の最初に提示をする。

### 【評価方法】

出席、学期末データ分析ペーパー。

### 【テキスト】

未定

### 【参考文献・資料】

パソコンによるデータ解析 (新村秀一著 講談社ブルーバックス)

## 地域社会特別講義IV (地域文化論)

谷沢 明

### 【授業の概要】

「風土・歴史・文化を生かした地域づくり」をテーマとした事例研究の講義をする。併せて、受講生によるプレゼンテーションも行なう。

### 【授業計画】

1. 北海道池田町：ワインによる地域づくり
2. 大分県大山村：「村おこし」の元祖
3. 長野県南木曾町：「町並み保存」の元祖・妻籠宿
4. 石川県金沢市：城下町の歴史を生かした景観形成
5. 山口県萩市：城下町の歴史を生かした景観形成
6. 北海道函館市：港町の歴史を生かした都市づくり
7. 長崎県長崎市：港町の歴史を生かした都市づくり
8. 北海道小樽市：小樽運河保存問題と都市景観保全
9. 福岡県柳川市：掘割を生かした環境形成
10. 滋賀県近江八幡市：八幡堀の保全とまちづくり
11. 岐阜県八幡町：水の恵みを生かした地域づくり
12. 受講生による課題の成果発表

### 【評価方法】

「風土・歴史・文化を生かした地域づくり」をテーマに、夫々が該当地区を1箇所取材して事例研究を行い、その成果をパワーポイントで作成し、発表・提出する。成果物は、CDRで提出のこと。評価は成果物CDRとその発表、及び平生の授業態度で行なう。

### 【テキスト】

テキストは特に使用しないが、次の参考文献を使用する。  
まちづくりの実践 (田村明 著 岩波新書)  
町並みまちづくり物語 (西村幸夫 著 古今書店)  
歴史的文化遺産の保存・活用とまちづくり (大河直躬編 学芸出版社)  
都市の歴史とまちづくり (大河直躬編 学芸出版社)  
新・町並み時代 (全国町並み保存連盟 学芸出版社)  
インターネット等を利用して、各自が予習・復習を行なうこと。

## 国際社会特別講義V (比較政治論)

西尾林太郎

### 【授業の概要】

東アジアにおける国際体系の変化と中国、韓国、日本の近代史は深く連動しながら展開した。この点を考慮しつつ、政治的近代化論を軸として、中・韓・日3国の近代史と現代の政治システムについて比較分析することを、本講義の目的とする。また、その結果をふまえて、「アジア的国家」と西欧近代国家との比較も試みたい。

### 【授業計画】

- 1 「沖繩」からみた近代日本へプロローグに代えて～
- 2 伝統的東アジアの国際秩序
- 3 科挙官僚制と中国の近代化
- 4 両班 (ヤンバン) と李氏朝鮮の近代化
- 5 徳川幕藩体制と日本の近代化
- 6 アメリカの発展と太平洋進出
- 7 “アジア的国家”とは何か?
- 8 イギリス、ドイツ、フランスにおける政治的近代化
- 9 stateとnation
- 10 1950年代～80年代における中国、韓国の政治と社会

### 【評価方法】

出席状況とレポートによる。

### 【テキスト】

特に定めない。随時、資料を配布する。

### 【参考文献・資料】

1. *Asian Power and Politics: The Cultural Dimensions of Authority* (Lucian W. Pye Harvard Univ. Press)
2. ステイトとネイション——近代国民国家と世界経済の政治経済学—— (佐々木隆生『経済学研究』VOL.47～50、北海道大学経済学部、1997～2000年、に連載)

## メディアプロデュース特別講義IV (教育メディア論)

大西 誠

### 【授業の概要】

デジタルメディア社会をむかえ、メディアの教育性が注目されている。いわゆる教材・教具から映像をベースにした番組やインターネットまで幅広いメディアの教育利用が求められている。メディアの成り立ちや歴史的発展とともにメディアの教育利用について理論と実習を通じて明らかにする。

### 【授業計画】

近年、市民が番組を制作する機会が多くなっている。取材 (ロケ) 映像とスタジオ映像とは、それぞれどのような特徴があり、どのように作られているのか。また、それらを効果的に組み合わせる市民に資する番組を制作するには、どうしたら良いか。基本的なモデルを教育番組に求める。

本講では、教育メディアの歴史と理論を学ぶとともに、情報化社会におけるメディアのあり方や教育とのかかわりを、実際に放送された教育・教養番組の内容を分析し、グループ・ワークで番組を試作する。

- ・教育番組の制作過程
- ・「日本賞」教育番組国際コンクール
- ・映像制作技術 (実習)
- ・インターネット交流  
など

### 【評価方法】

授業への参加度、期末の課題と作品で評価する。

### 【テキスト】

未定



## 都市環境デザイン特別講義Ⅱ（建築保存再生論）

河辺泰宏

### 【授業の概要】

西洋と日本を中心に、都市と建築の歴史的遺産について理解を深めるとともに、それらの保存・修復・復原や都市資産としての利活用の方法について論じる。

### 【授業計画】

授業は主に講義形式で進めるが、テーマによって担当者を決め、報告会を行うことがある。

- 1) 破壊との闘い  
人類の蛮行と遺産保護への執念
- 2) 変わりゆく保存の概念  
文化遺産保存活動の歴史とユネスコの世界遺産条約
- 3) 開発・建設の時代から維持・再生の時代へ  
建築におけるサステナビリティ
- 4) 文化財保存の論理  
日本における文化財保護の歴史
- 5) 文化財保存の事例研究  
日本・イタリア・トルコ・シリア etc.
- 6) 町並み保存の論理  
日本における町並み保存の歴史
- 7) 町並み保存事例研究  
ポーラ・マリア・妻籠・長浜・倉敷 etc.
- 8) 近代建築保存の論理  
近代建築および近代化遺産の保存・再生の歴史
- 9) 近代建築保存・再生の技法  
保存・再生の基本理念と具体的方法
- 10) 近代建築保存・再生の事例研究  
神戸・横浜・大阪・京都 etc.

### 【評価方法】

授業や見学会への参加状況とレポート、課題発表の内容等によって決める。

### 【テキスト】

必要に応じてプリントを配布する。

## 主題講義Ⅱ

垂井洋蔵 日色真帆

### 【授業の概要】

建築のデザインの前提として、我々は制作者として、現代という時間と空間、さらに建築の作り出す場所としての都市をどうとらえるのか、そして、作ることに意味について自らの立場を表明することができなければならない。建築の制作にかかわるさまざまなキーワードをもとに、建築とそれをとりまく事象との関連を、建築分野以外の制作にかかわる視点も参考にしながら考察する。

### 【授業計画】

数人の講師による集中講義の形式をとる。講義の前提となる、問題の提示、学生による発表の後、さまざまな分野の講師による講義を行い、最終的な討論と総括を行う。

詳細なテーマは別途決定次第発表する。

### 【評価方法】

研究発表とレポートによる。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

講義の初めに紹介する。

## 都市環境デザイン特別講義Ⅲ（情報化建築論）

吉田邦彦

### 【授業の概要】

現在の都市・建築は、マルチメディア化とネットワーク化により著しく進展した情報化（高度情報化）によって、大きな変革が進みつつある。情報化の観点から、生活空間の変化の方向を探り、それらが今後の都市・建築のあり方およびそこの生活にどのような影響を与えるかを論じる。

### 【授業計画】

下記のテキストを各自が読解し、ディスカッション形式で理解が深まるように講義を進める。

### 【評価方法】

分担部分の発表内容・形式、討議への参加、および課題に対するレポートなどを総合して評価する。

### 【テキスト】

- (1) シティ・オブ・ビットー情報革命は都市・建築をどうかえるかー  
(ウィリアム・J・ミッチェル著 掛井秀一他訳 彰国社)
- (2) e-トピアー新しい都市創造の原理ー  
(ウィリアム・J・ミッチェル著 渡辺俊訳 丸善株式会社)

## 文化創造総論（異文化理解と創造）

榎田勝利 島田修三 清水良典 皆川修吾

### 【授業の概要】

主体的かつ創造的な表現に必要な人間性や知的な奥行き、そして日本の伝統文化への造詣、また国際交流に必要な異文化理解や現状認識、それに実践的処理能力など、より高度な文化創造への素養や姿勢、加えて人間の感性や理性に働き掛ける心理的・社会的状態など文化創造の根元について学ぶ。

(オムニバス方式)

(島田教授) 日本文化の伝統的特質を古典文学の表現を通して学び、日本人が歴史的に培った固有性およびグローバルな普遍性への志向を探る。

(清水教授) 現代日本における多様化しグローバル化した文化状況を現代文学の表現を通して学び、日本固有の文化創造の可能性を考える。

(皆川教授) 地球存続に必要なグローバル共生文化の涵養プロセスと共生文化の理念を軸とした異文化理解や現状認識の術を学ぶ。

(榎田教授) 国際交流の実践に必要な素養や姿勢を学び、創造されつつあるグローバル市民社会の現状を検証し、発展的に将来像を探る。

### 【授業計画】

- 第1回 日本古典文学における伝統と文化の意識の発生
- 第2回 日本古典文学における中国文学の受容とその独自の再編
- 第3回 日本古典文学における文化的独創性の獲得
- 第4回 近代文学の文体について
- 第5回 言文一致運動期の文体模索について
- 第6回 現代文学の文体実験について
- 第7回 社会科学としての文化論：文化を分析概念として使う
- 第8回 国際社会の変容：価値体系の地球規模の共有化
- 第9回 国際秩序の制度化過程：歴史の視野とリアリズムを通しての現状認識
- 第10回 国際社会の変容とシベリアン・パワー
- 第11回 シベリアン・パワーとしてのNGO
- 第12回 シベリアン・パワーの現状と将来

### 【評価方法】

出席点および各教員の講義ごとに1200字のレポートを課し、総合的に評価する

### 【テキスト】

授業中に適宜、プリントを配布する

### 【参考文献・資料】

各講義ごとに授業中に指示する



## 詩歌創作理論Ⅰ

荒川洋治

### 【授業の概要】

韻文作品を成立させる方法論や、その表現技術を支える修辞学等の創作に関わる基礎的な理論を取り上げ、どのように創作理論が実際の韻文テキストを構築していくか、という問題を創作のプロセスと関連させながら考えていく。

### 【授業計画】

現代詩前期（明治・大正・昭和）の詩論を読む。

- ・漢詩、和歌、俳諧の詩学
- ・岩野泡鳴の詩論
- ・萩原朔太郎の詩論
- ・西脇順三郎の詩論
- ・小野十三郎の詩論
- ・伊藤信吉の詩人論
- ・武者小路実篤と詩語

### 【評価方法】

出席状況とレポートによる。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

日本文学史（小西基一著 講談社学術文庫）  
伊藤信吉著作集第4巻（沖積舎）  
武者小路実篤詩集（角川文庫）  
詩を読む人のために（三好達治著 岩波文庫）  
詩とは何か（嶋岡農著 新潮選書）

## 散文創作理論Ⅰ

三木卓

### 【授業の概要】

近代・現代の代表的な作家における小説作法や小説観等の創作に関わる理論的な発言を検討しながら、それらが実際の小説作品の上にどのような表現として反映されているか、という問題を解析的に考えていく。

### 【授業計画】

- 第1回 小説の創造について
- 第2～6回 近代小説の変遷
- 第7～11回 近代小説の諸理論
- 第12回 総括と議論

### 【評価方法】

皆出席を原則とする。出席ならびに、受講態度、議論に臨む姿勢、レポート内容等を総合的に評価する。

### 【テキスト】

開始時に指示する。

### 【参考文献・資料】

同上

## 詩歌創作理論Ⅱ

荒川洋治

### 【授業の概要】

韻文作品を成立させる方法論・技術論・修辞学に関する体系的理論のうち、主として現代詩に関する代表的なものを検討すると同時に、そうした創作理論と現代詩のテキストとの相互性を多角的に検証し、理論と実作の有機的な関係をとらえる。

### 【授業計画】

戦後の詩論を読む。

- ・小野十三郎の詩論
- ・田村隆一の詩論
- ・高見順「三人の詩について」
- ・粟津則雄の現代詩史

### 【評価方法】

出席状況とレポートによる。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

現代詩手帖（小野十三郎著 創元社）  
高見順全集第16巻（勁草書房）

## 散文創作理論Ⅱ

三木卓

### 【授業の概要】

リアリズム理論をはじめとする、近代・現代の体系的な小説創作理論を検討し、創作主体の姿勢・素材の選択・主題による素材の再構成・プロットの構想・登場人物の設定等の小説を成立させる諸問題との関係を考えていく。

### 【授業計画】

- 第1回 現代小説の諸問題
- 第2～6回 リアリズムの手法ならびに理論
- 第3～11回 脱リアリズムの手法ならびに理論
- 第12回 総括と議論

### 【評価方法】

皆出席を原則とする。出席ならびに、受講態度、議論に臨む姿勢、レポート内容等を総合的に評価する。

### 【テキスト】

開始時に指示する。

### 【参考文献・資料】

同上



## 映像創作理論Ⅰ

若松孝二

### 【授業の概要】

多くの創作表現ジャンルの中で、映画という動く映像表現の際立った特性を、その制作方法に関わる基礎的な理論および技術を通して考える。教材として、日本・外国映画の代表的な作品を用い、具体的な検討をしていく。

### 【授業計画】

映画製作のための作品分析と技法を学ぶ

1. 映画を作ることは？
2. 「寝盗られ宗介」鑑賞
3. 同作品の分析と技法の解明
4. 「エンドレスワルツ」鑑賞
5. 同作品の分析と技法の解明
6. 「キスより簡単」鑑賞
7. 同作品の分析と技法の解明
8. 「天使の恍惚」鑑賞
9. 同作品の分析と技法の解明
10. 「狂走情死考」
11. 同作品の分析と技法の解明
12. 映像の表現とカメラ位置について
13. シナリオの作成方法

### 【評価方法】

作品を分析したレポートで評価する

## 映像創作理論Ⅱ

若松孝二

### 【授業の概要】

映画の創作理論として、モンタージュ理論・リアリズム理論・フォトジェニー論等多くの歴史的成果が挙げられるが、これらをつぶさに検討しながら、現代映画が時代社会や、そこに生きる人間を映像化していく新たな理論の可能性について考えていく。

### 【授業計画】

映画とテレビの表現方法の相違、海外での製作、プロデューサーの役割について探究する。

1. テレビドラマ「ウェディング・ベル」の鑑賞と分析
2. 映画とテレビ製作との相違について
3. 「シンガポール・スリング」鑑賞
4. 海外での映画製作の実態について
5. 「愛のコリーダ」鑑賞
6. プロデューサーの役割について
7. 映画の予算の組み立て方
8. 俳優を指導する方法
9. シナリオの役割について

### 【評価方法】

作品を分析したレポートで評価する。

## ライフ・ライティング実作演習（随筆・自分史）

清水良典

### 【授業の概要】

3週間程度の限定された期間で、随筆あるいは自分史の実践的な創作を試み、ワークショップ作品として提出する。

### 【授業計画】

講義内で文章を書きながら、そのつど相互批評をしていくが、第10回までに各自のモチーフに従った作品（10～20枚程度）を執筆提出する。

- 第1回 ライフ・ライティングとは何か
- 第2・3回 「記憶」を書く
- 第4回 相互批評
- 第5～7回 文体づくりの試み
- 第8・9回 相互批評
- 第10～11回 提出作品の相互批評
- 第12回 全体講評

### 【評価方法】

集中講義形式なので、皆出席を原則とし、提出された作品の質によって評価する。

なお、優秀作品は、大学院ホームページ等で公開する。

### 【テキスト】

自分づくりの文章術（清水良典著 ちくま新書）

### 【参考文献・資料】

新作文宣言（梅田卓夫著 ちくま学芸文庫）

## フィクション実作演習Ⅰ（短篇小説）

清水良典

### 【授業の概要】

3週間程度の限定された期間で、短篇小説の実践的な創作を試み、ワークショップ作品として提出する。

### 【授業計画】

第10回までに、短篇小説（20～30枚程度）を提出する。

- 第1回 短篇小説の特質
- 第2～6回 「描写」の練習
- 第7～9回 短篇小説の技術を読む
- 第10～12回 相互批評と講評

### 【評価方法】

集中講義形式なので、皆出席を原則とし、提出された作品の質によって評価する。

なお、優秀作品は、大学院ホームページ等で公開する。

### 【テキスト】

戦後短篇小説再発見10 表現の冒険（講談社文芸文庫）

### 【参考文献・資料】

戦後短篇小説再発見1～18（講談社文芸文庫）



## フィクション実作演習Ⅱ(童話・ファンタジー)

酒井晶代

### 【授業の概要】

3週間程度の限定された期間で、童話あるいはファンタジーの実践的な創作を試み、ワークショップ作品として提出する

### 【授業計画】

400字詰原稿用紙10～20枚程度の短編を完成させることを目標とする。構想から完成に至る一連の作業を通して、童話・児童文学の特質を体験的に学ぶ場としたい。また、合評会をはじめとする受講者間の共同作業と交流を通して、作品の推敲や批評の方法も身に付けていきたい。

第1回 授業の進め方、全体計画について

第2回～作品の構想・執筆・推敲

第12回 完成作品の合評会

執筆段階をいくつかに区切って、課題を提出してもらう予定。授業は、各自の課題発表と相互批評を中心に進めていく。課題の執筆は自宅作業になる場合もあるので、注意すること。

### 【評価方法】

出席状況、発表内容や質疑応答の様子、課題などにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

未定。授業時に指示する。

### 【参考文献・資料】

未定。授業時に適宜指示する。

## 現代短歌実作演習

篠弘

### 【授業の概要】

3週間程度の限定された期間で、現代短歌の実践的な創作を試み、ワークショップ作品として提出する。

### 【授業計画】

定型詩としての短歌、その機能と魅力を理解するところから、表現の基本をつかむ。提出された短歌の添削と批評を実施し、現代短歌のレベルを目指した実作の指導をおこなう。

1. 定型のなりたち
2. 叙事と叙情
3. 心情の具象化
4. 写実の役割
5. 発想の単純化
6. 用語の選択
7. 比喩の活用
8. 個性の発見
9. 生活態度の反映
10. 連作の試み
11. 作品鑑賞の要点

### 【評価方法】

出席状況、授業内に提出された短歌、さらに題詠の成果等を総合的に評価する。

### 【テキスト】

生き方の表現（篠弘著 日本放送出版協会）

疾走する女性歌人（篠弘著 集英社新書）

## 現代詩実作演習

荒川洋治

### 【授業の概要】

3週間程度の限定された期間で、現代詩の実践的な創作を試み、ワークショップ作品として提出する。

### 【授業計画】

20編前後の「量的」詩作を試み、一冊の「詩集」を提示する。

- ・詩集の著者とは何か
- ・テーマについての考え方
- ・題名と配列
- ・割付と活字
- ・詩集の余白と美術
- ・詩集の形態と流通
- ・ことばはどこから、詩になるのか
- ・詩のつくり方と、こわし方
- ・発表と読者

### 【評価方法】

提出された作品で評価する。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

特にない。

## シナリオ実作演習

海上宏美

### 【授業の概要】

3週間程度の限定された期間で、シナリオの実践的な創作を試み、ワークショップ作品として提出する。

### 【授業計画】

抽象的な思考と具体的な手法を往還する発想法を練習する。

- 1・主題を考える
- 2・物語の語り手は誰なのかを考える
- 3・叙情なのか叙事なのか語り口を考える
- 4・物語の場面構成を考える
- 5・ジェンダーを考える
- 6・台詞の役割と分量を考える
- 7・始まりと終わりを考える

### 【評価方法】

出席状況と提出作品で評価する。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

適宜授業内で指示する。



## 創造表現特講Ⅰ（現代詩）

宮崎真素美

### 【授業の概要】

戦後から現在までの代表的な詩や詩論を主な手がかりとして、現代詩の変遷を検証するとともに、創作理論・主題・様式・修辞といった方法を多角的に検討し、詩は時代の問題をどのように作品化し得るか、あるいはどのように時代を超え得るかという創作方法について学ぶ。

### 【授業計画】

「荒地」派の詩と詩論をめぐる以下のような観点から、日本の戦後詩について考察する。

- 1 「荒地」派とは何か（1）
- 2 「荒地」派とは何か（2）
- 3 黒田三郎の詩と詩論（1）
- 4 黒田三郎の詩と詩論（2）
- 5 鮎川信夫の詩と詩論（1）
- 6 鮎川信夫の詩と詩論（2）
- 7 鮎川信夫の詩と詩論（3）
- 8 「荒地」派の周辺
- 9 「荒地」派の影響
- 10 「荒地」派をめぐる評価

### 【評価方法】

講義における発言内容、および学期末に課すレポートの双方によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

プリント配布。

## 創造表現特講Ⅲ（現代小説）

清水良典

### 【授業の概要】

戦後から現在までの代表的な創作や評論を主な手がかりとして、現代小説の変遷を検証するとともに、文学理論・主題・モチーフ・人物造型・文体といった方法を多角的に検討し、小説は時代の病理や問題をどのように作品化し得るか、あるいはどのように時代を超え得るかという創作方法について学ぶ。

### 【授業計画】

テキスト購読と講義を主としつつ、相互の討議と調査・報告を課す。

- 第1回 現代文学概論
  - 第2～4回 村上春樹を解説する
  - 第5～7回 高橋源一郎を解説する
  - 第8～10回 村上龍を解説する
  - 第11～12回 総括と討議
- なお、指定テキスト以外にも、現代文学関係の書籍を大量に読む必要がある。

### 【評価方法】

出席は皆出席を前提とする。受講態度ならびに討議の積極性、調査・報告の質等を総合的に考慮して評価する。

### 【テキスト】

- 羊をめぐる冒険（村上春樹著 講談社文庫）  
さようなら、ギャングたち（高橋源一郎著 講談社文芸文庫）  
トバーズ（村上龍著 角川文庫）  
上記以外は、指示する。

### 【参考文献・資料】

文学がどうした!?（清水良典著 毎日新聞社）

## 創造表現特講Ⅱ（現代短歌）

篠弘

### 【授業の概要】

戦後短歌から前衛短歌にいたる戦後短歌史を踏まえながら、主として1980年代以降の代表的歌人の作品を題材に、その創作理論・主題・修辞といった方法を多角的に検討し、現代をどのように作品化していくかという創作方法について学ぶ。

### 【授業計画】

- 第1回 近代短歌から現代へ
- 第2回 戦後短歌の運動
- 第3回 第二芸術論議
- 第4回 民衆詩としての短歌
- 第5回 前衛短歌の時代
- 第6回 女性歌人の興隆
- 第7回 リアリズムの変質
- 第8回 主題の獲得
- 第9回 喩的表現の拡大
- 第10回 美意識の深化
- 第11回 文体の確立
- 第12回 口語的発想
- 第13回 アイロニカルトーン
- 第14回 アニミズムの浸透
- 第15回 自然観の変容

### 【評価方法】

出席状況、授業内の数回の小レポート、学期末の課題レポート等を総合的に評価する。

### 【テキスト】

現代の短歌—100人の名歌集（篠弘編著 三省堂）

## 創造表現特講Ⅳ（童話）

酒井晶代

### 【授業の概要】

近現代の代表的な創作や児童文学論を主な手がかりとして、日本児童文学史を検証するとともに、主題・モチーフ・文体等の方法のみならず、広く社会史や文化史の視点から子ども観の変容を検討し、「子どもの文学」の創作方法とその独自性について学ぶ。

### 【授業計画】

近年刊行された児童文学関係の理論書から一冊を選び、演習形式で講読していく。児童文学研究は、作家・作品論のほか、読者論やメディア論といった社会・文化史的なアプローチなど、さまざまな文学理論の影響下でその幅を広げつつある。一方で、研究の深まりや多様化とともに、従来の「文学」の枠組みを解体する、より大きな視座の必要性も指摘されるようになってきた。理論書の講読を通して、児童文学をめぐる言説の最前線と現代的課題を考える場としたい。

- 第1回 授業の進め方、全体計画について
  - 第2回 児童文学研究の現在
  - 第3回～理論書の講読
- 授業は、レポーターが調査・分析したことをレジュメにより報告し、受講者全員で討議する演習形式で進めていく。報告のまとめとして小論文の提出を求めることがある。

### 【評価方法】

出席状況、発表内容や質疑応答の様子、課題などにより総合的に評価する。

### 【テキスト】

未定。授業時に指示する。

### 【参考文献・資料】

・研究＝日本の児童文学＜全5巻＞（日本児童文学学会編 東京書籍）  
その他の参考文献は、授業時に適宜指示する。



## 創造表現特講V (アニメ・コミック)

とりいかずよし

### 【授業の概要】

手塚治虫作品とその影響下にある戦後漫画・コミックおよび宮崎駿などのアニメーション作品を主な題材として、広く社会史や文化史の視点も導入しながら、表象文化としてのアニメ・コミックの芸術的特質や機能を考察し、その可能性を生かした創作方法について学ぶ。

### 【授業計画】

実践的アニメ・コミックの習作

- A アニメ化するコミックとそうでないコミックとは？
- B 読者のピンポイント化するコミック界の現況

### 【評価方法】

感性、表現、創作、将来性等の巧拙

### 【テキスト】

その都度対応して作成

### 【参考文献・資料】

広範なコミック雑誌、単行本、アニメビデオ等  
※入手可能な成否を精査し検討

## 創造表現各論I (詩学)

宮崎真菜美

### 【授業の概要】

近現代の詩作品を主な手がかりとして、「ことば」をめぐる哲学や現代思想の変遷も念頭に置きながら、詩の本質や詩的言語の規則・方法に関する批評的解読の方法について多角的かつ理論的に学ぶ。

### 【授業計画】

明治初期の詩作品に見られる伝統的古典詩歌に対する意識の錯綜を通して、その連続と切断のありよう、および詩学の確立への模索について、以下の観点から考察する。

- 1 『新体詩抄』の詩と思想(1)
- 2 『新体詩抄』の詩と思想(2)
- 3 『新体詩抄』の詩と思想(3)
- 4 近代詩と伝統歌謡(1)
- 5 近代詩と伝統歌謡(2)
- 6 近代詩と伝統歌謡(3)
- 7 『新体詩歌』の詩と思想(1)
- 8 『新体詩歌』の詩と思想(2)
- 9 『新体詩歌』の詩と思想(3)
- 10 鴉外の役割

### 【評価方法】

講義における発言内容、および学期末に課すレポートの双方によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

プリント配布

## 創造表現各論II (シナリオ論)

海上宏美

### 【授業の概要】

近現代の代表的なシナリオ作品を主な手がかりとして、放送史をはじめとするメディアの変遷も念頭に置きながら、主題・ストーリー・人物造型・台詞・場面構成などの方法を多角的に検討し、シナリオ表現の特質や創作に関する諸方法について学ぶ。

### 【授業計画】

言葉であるシナリオに基づいて表現された作品構造全体において、その基盤となるシナリオの言葉がどのような機能を担っているのかを、構造(主義)・話法・技術(史)などの面から探っていく。

- 1・メディアの変遷
- 2・観客の変遷
- 3・テキスト(シナリオ)の位置
- 4・話法と人称性の問題
- 5・大きな物語と小さな物語の違い
- 6・台詞における口語的表現と文語的表現の違い
- 7・描く対象(主題)の選択が意味するもの
- 8・表象されるジェンダーについて
- 9・物語と無意識

### 【評価方法】

出席状況とレポート提出で評価する。

### 【テキスト】

授業内で適宜指示する。

### 【参考文献・資料】

授業内で適宜指示する。

## 創造表現各論III (舞台芸術論)

角田達朗

### 【授業の概要】

演劇の重要な構成要素である「舞台」の歴史的展開を主な手がかりとして、照明・音響・映像による舞台効果にも目配りしながら、演劇空間あるいは場面転換装置としての舞台の機能や特質とその解読方法について多角的かつ理論的に学ぶ。

### 【授業計画】

舞台芸術は生(ライブ)の芸術であり、生の上演に接することなしに舞台芸術への理解を深めることは不可能である。よって、この授業では鑑賞課題を2本設定し、鑑賞ノートの提出を課すものとする。課題を鑑賞するまでは、舞台芸術の歴史について、芸能や演劇がいかんして誕生したか、上演において舞台が果たす役割はどのようなものかを概説する。鑑賞ノート提出以降は、レポートを編集したプリントをテキストとして使用し、上演への理解を深めて行く。

### 【評価方法】

鑑賞ノート・劇評

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考文献・資料】

授業内で適宜指示する。



## 国際交流研究 I (基礎)

榎田勝利

### 【授業の概要】

「非軍事的なあらゆる手段で途上国の人々を支援する試み」と定義されている国際協力の基礎的な理念、仕組みを検証するとともに、国際協力の新しいアプローチを作り出している背景要因を学ぶ。

### 【授業計画】

- 1 講義のねらいと評価の方法
- 2 国際協力の概念
- 3 国際協力の新しい潮流
- 4 国際協力のアクター I (国連、国際機関)
- 5 国際協力のアクター II (政府援助機関-JICA・OECD, USAID, AFD, CIDA, GTZ, DFID)
- 6 国際協力のアクター III (NGO, 欧米の NGO と日本の NGO)
- 7 国際協力の方法 I (政府開発援助-ODA)
- 8 国際協力の方法 II (地方自治体)
- 9 国際協力の方法 III (NGO, ボランティア)
- 10 開発課題と国際協力 (貧困、人口、食料、教育、保健、難民、ジェンダー、児童労働、少数民族、環境、都市スラム、開発と保存)
- 11 国際協力事業の評価
- 12 国際協力の果たす役割

### 【評価方法】

平常の出席・遅刻状況、毎回の講義の際の貢献度、最終課題レポートにて評価する。

### 【テキスト】

使用しない。毎回プリントを配付する。

### 【参考文献・資料】

- 国際協力 (下村・辻・稲田・深川著 有斐閣選書)  
国際協力 (功刀達郎編著 サイマル出版会)  
国際連合の基礎知識 (国際連合広報局 世界の動き社)  
政府開発援助 (ODA) 白書 (2001年版外務省・経済協力局発行)  
UNDP・人間開発報告書 (2002年版 国連開発計画編 国際協力出版会)  
国際協力用語集第2版 (国際開発ジャーナル社)  
ボランティア学のすすめ (内海成治編著 昭和堂)

## 国際文化研究 A I (言語系基礎)

中野弘三

### 【授業の概要】

英語学の研究対象や研究分野を概観し、新言語学に基づく英語学研究的現状と言語を科学的に分析する視点を学ぶ。

### 【授業計画】

<言語の構造>

1. 文の統語構造
2. 文の意味構造
3. 語の構造
4. 語の音声構造
5. 語の意味構造

<言語の機能>

6. 文の発話の機能
7. 文の構成要素の機能
8. 文の意味解釈
9. 文と談話
10. 談話標識の機能

### 【評価方法】

出席状況・平常点・課題などにより評価する。

### 【テキスト】

英語学セミナー (高橋勝忠・福田稔 松柏社)

### 【参考文献・資料】

- Linguistics: An Introduction to Language and Communication* (4th Edition) 1995 A. Akmajian, R.A. Demers, A.K. Farmer, and R.M. Harnish / The MIT Press)  
*Syntactic Theory and the Structure of English: A Minimalist Approach* (1997 A. Radford / Cambridge University Press)  
*Morphology* (1993 F. Katamba / Macmillan Press)  
*An Introduction to Functional Grammar* (2nd Edition) 1994 M.A.K. Halliday / Arnold)  
*Semantics* (2000 K. Kearns / Macmillan Press)  
*Pragmatics* (1996 G. Yule / Oxford University Press)

## 国際交流研究 II (発展)

皆川修吾

### 【授業の概要】

「国際秩序の統治」と定義されているグローバル・ガバナンスの概念の国際関係における有効性と限界について研究し、国際秩序が制度化されていくプロセスを経験的に学ぶ。

### 【授業計画】

- 第1講 国際システムの構造とプロセス
- 第2講 バランス・オブ・パワーの教訓
- 第3講 集団安全保障の挫折
- 第4講 冷戦
- 第5講 権力と国際法
- 第6講 国際連合の役割
- 第7講 相互依存の管理体制の必要性
- 第8講 1) 開発政策
- 第9講 2) 世界経済
- 第10講 3) 国際協力
- 第11講 グローバル・ガバナンスの構造
- 第12講 国際秩序制度化の今後の課題
- 第13講 単位認定試験

### 【評価方法】

単位認定試験の成績と出席状況との総合評価による。

### 【参考文献・資料】

- 現代国際関係学 (新藤栄一著 有斐閣)  
グローバル・ガバナンス: 政府無き秩序の模索 (渡辺昭夫編著 東大出版)  
グローバル化とは何か (デヴィット・ヘルド編著 法律文化社)  
現代国際関係学 (新藤栄一著 有斐閣)  
国際紛争 (ジョセフ・ナイ著 有斐閣)  
地球政治の構想 (猪口孝著 NTT出版)  
グローバル・ポリティクス (小林誠・遠藤誠治編著 有信堂)

## 国際文化研究 A II (言語系発展)

大野清幸

### 【授業の概要】

英語や日本語などにおける特定の研究対象を選択し、新言語学における特定の理論に基づき、言語を科学的に分析する実際に学ぶ。

### 【授業計画】

- 第1講 PC実践教室において、授業計画指示など。必ず出席すること!
- 第2講 PC実践教室において、認知言語学など関連分野の本物情報を検索・探索する。
- 第3講 1 学術論文などを利用して、演習を行う。

### 【評価方法】

出席状況・平常点・課題などによる。  
授業においては、基本的に、学術論文を精読し、議論する。

- 学期末レポート: 現代英語に関する研究題材を選び、  
(1) 先行研究を調査し、  
(2) 仮説をたて、  
(3) データを採集・整理し、  
(4) 理論の枠組みで分析し  
(5) 論文としてまとめ、提出する。

### 【テキスト】

学術論文。ただし、未定。演習を中心に行う。

※授業・課題などにおいて電子メールなどインターネットを利用しますので、インターネット利用を日常化しておいて下さい。  
理想的には、自宅においてインターネット環境を実現しておいて下さい。

### 【参考文献・資料】

- 認知文法論 (1995 山梨正明 ひつじ書房)  
認知言語学原理 (2000 山梨正明 くろしお出版)  
認知言語学論考 No.1 (2001 山梨正明編著 ひつじ書房)  
認知言語学論考 No.2 (2002 山梨正明編著 ひつじ書房)  
現代言語学の潮流 (2003 山梨正明編著 勁草書房)  
認知意味論: 英語動詞の多義と構造 (1990 田中茂範 三友社出版)  
認知意味論 (1993 George Lakoff著 池上嘉彦・河上誓作他訳 紀伊國屋書店)  
認知意味論の原理 (1994 中右実 大修館書店)  
認知意味論の方法: 経験と動機の言語学 (1995 吉村公宏 人文書院)  
認知言語学の基礎 (1996 河上誓作編著 研究社出版)  
認知言語学の発展 (2000 坂原茂編 ひつじ書房)  
認知言語学 (2000 定延利之 大修館書店)  
認知意味論の展開: 語源学から語用論まで (2000 Eve E. Sweetser著 澤田治美訳 研究社出版)  
ことばの認知科学事典 (2001 辻幸夫編 大修館書店)  
認知意味論のしくみ (2002 榎山洋介 研究社)



## 国際文化研究 B I (文化系基礎)

平林美都子

### 【授業の概要】

20世紀に入って顕著になってきた異文化接触のコロニアリズムやポストコロニアリズムなどの諸問題を、様々な文化批評理論から系統的に学ぶ。

### 【授業計画】

Frantz Fanon, Homi Bhabha, Edward Said, Stuart Hallらの主要論文を読み、コロニアリズム、ポスト・コロニアリズム理論を理解する。

- 1 Frantz Fanon とコロニアリズム
- 2 Homi Bhabha
- 3 Edward Said とオリエンタリズム
- 4 ポスト・コロニアリズム

なお、英文原書の講読が中心のため、英語力が必要である。

### 【評価方法】

出席およびレポートによる。

### 【テキスト】

Patrick Williams and Laura Chrisman eds. *Colonial Discourse and Post-Colonial Theory* (Columbia University Press)

## 国際文化研究 B II (文化系発展)

杉本一直

### 【授業の概要】

ロシア亡命者の文学作品や芸術作品を講読・鑑賞し、「国文学」「伝統文化」という概念とは対極的ないわば「脱領域」的な表現様式、あるいはグローバルな普遍性を獲得しようとした亡命者たちの創作意識を考察する。

### 【授業計画】

英文による原典講読を中心とし、あわせて文学研究の方法論を学ぶ。原典講読のテキストとして、国外からアメリカへ移住した作家のなかでもっともアメリカの読者やアメリカ人作家に愛読された作家のひとり、ウラジーミル・ナボコフの代表作『ロリータ』を使用し、ヨーロッパ文化とアメリカ文化との相克を作品のなかを読み取っていく。また、サブテキストとして、ナボコフを含めた亡命作家たちの文学について論じた研究書や、20世紀アメリカ文学におけるコスモポリタニズムについて論じた研究書等を用い、現代アメリカ文学の根底に流れる形而上の本質、つまり脱領域的(extraterritorial)本質についての理解を促す。

- 第1回 概説
- 第2回～第4回 原典講読
- 第5回 サブテキスト解説
- 第6回～第8回 原典講読
- 第9回 サブテキスト解説
- 第10回～第13回 原典講読
- 第14回 サブテキスト解説
- 第15回 総論

### 【評価方法】

学期末レポートと平常点により評価する。

### 【テキスト】

Vladimir Nabokov "The Annotated Lolita" Random House Inc.

### 【参考文献・資料】

徹夜の塊／亡命文学論 (沼野充義著 作品社)  
言語の都市 (トニー・タナー著 白水社)  
脱領域の知性 (ジョージ・スタイナー著 河出書房新社)

## 国際交流特講 I

榎田勝利

### 【授業の概要】

国際協力の主要なアクターである国連・国際開発機関、政府開発援助(OIDA)、非政府組織(NGO)の存在意義・役割・活動を研究するとともに、非営利組織の実践的なマネジメントを学ぶ。

### 【授業計画】

- 1 国際協力とは
- 2 国際協力の基本的な仕組み
- 3 国際協力活動の変遷(1) 1980年代まで  
・国連開発の十年  
・新国際経済秩序  
・ベーシック・ヒューマン・ニーズ(BHN)  
・持続可能な開発の思想
- 4 国際協力の変遷(2) 1990年代～  
・人間の安全保障  
・21世紀の新開発戦略  
・包括的開発フレームワーク
- 5 開発課題への取組み(1)  
・人間の安全保障と貧困問題への取組み
- 6 開発課題への取組み(2)  
・持続可能な開発と地球環境問題への取組み
- 7 国際協力のあり方  
・オーナーシップとガバナンス
- 8 日本の援助政策(OIDA)
- 9 欧米主要国の援助政策(OIDA)  
・米国、イギリス、ドイツ、フランス
- 10 国連とNGO
- 11 日本のNGOと欧米のNGO
- 12 政府(OIDA)とNGOとのパートナーシップ

### 【評価方法】

出席状況と最終の課題レポートにて評価する。

### 【テキスト】

使用しない。毎回プリントを配付する。

### 【参考文献・資料】

世界銀行 開発金融と環境・人権問題 (鷲見一夫著 有斐閣)  
ODA大綱の政治経済学・運用と援助理念 (下村・中川・斉藤著 有斐閣)  
社会開発・経済成長から人間中心型発展へ (西川潤編 有斐閣選書)  
日本のODAをどうするか (渡辺利夫・草野厚著 日本放送出版会)  
人間開発戦略・共生への挑戦 (マープル・ハク著 日本評論社)  
草の根環境会議・アメリカの新しい萌芽 (マークダウイ著 戸田清訳 日本経済評論社)  
地球環境対策 (堀内行蔵編 有斐閣)  
ハンドブックNGO (馬橋憲男・斎藤千広著 明石書店)  
NGOとは何か (伊勢崎賢治著 藤原書店)、他